本書ではお車の各装置や装備の正しい取り扱いかたと、快適ドライブ情報やお手入れのしかた、万一のときの応急処置などを記載しています。

◎お車を安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
◎「安全・快適カーライフのために」は取り扱い時の要点を記載しています。しっかりお読みください。
◎「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。

●本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。	
警告	守らないと生命の危険又は重大な傷害につながるおそれがあります。
注意	守らないと傷害又は事故につながるおそれがあります。
お車のために守っていただきたいこと。	
アドバイス	守らないと車両破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。
お車を使ううえで知っておいていただきたいこと。	
知識	知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

●グレードにより異なる装備又はオプションのため、すべての車に付いていない装備はグレード・オプションマークを表示しています。
●オートマチック車の取り扱い説明について
オートマチック車には、デュアルマチック M-ATx 車と E-ATx 車の 2 種類があります。本書の中では次のように使い分けしています。
■ 5M-AT 車とは……マニュアルモード付フルレンジ電子制御 5 速オートマチック車を示す。
■ 4AT 車とは ……フルレンジ電子制御 4 速オートマチック車を示す。
■オートマチック車とは…5M-AT 車と 4AT 車両方を示す。
●日産販売会社で取り付けられた装備（ディーラーオプション）については、その装備に付属の取扱説明書をお読みください。
●点検・整備、保証については別冊のメンテナンスノートをお読みください。
●モニター画面の説明や操作方法は別冊の取扱説明書をお読みください。
●その他、ご不明な点はカーライフアドバイザー（営業部員）にお申しつけください。

・本書と別冊のメンテナンスノートはお車の中に保管してください。
・お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
・車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

目　次

●イラスト目次…… 2

1. 安全・快適カーライフのために 1

●お出かけまえには…… 8
●お子さまを乗せるときは…… 11
●走行するときは…… 13
●駐・停車するときは…… 16
●オートマチック車を運転するときは… 18
●こんなことにも注意…… 21
●こんなときは異常ではありません… 23
●セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは… 24
●経済的な運転をするために… 25

2. 走行する前に 2

●各部の開閉のしかた…… 28
●ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた… 52
●シートベルトの着用のしかた… 78
● SRS エアバッグ …… 84
●前席ロードリミッター付プリテンショナー シートベルト …… 94
●前席緊急ブレーキ感応型プリクラッシュ シートベルト …… 95

3. 走行するとき 3

●メーター・表示灯・警告灯の見かた…… 98
●スイッチの使いかた…… 118
●運転のしかた…… 129
● ABS（アンチロック ブレーキシステム）…… 203

4. 室内装備の使いかた 4

●エアコンの使いかた…… 206
●オーディオの使いかた…… 221
●室内装備品の使いかた…… 236

5. 車との上手なつきあいかた 5

●快適ドライブのために…… 256
●お手入れのしかた…… 266
●環境保護のために…… 277
●点検・整備、保証について… 278

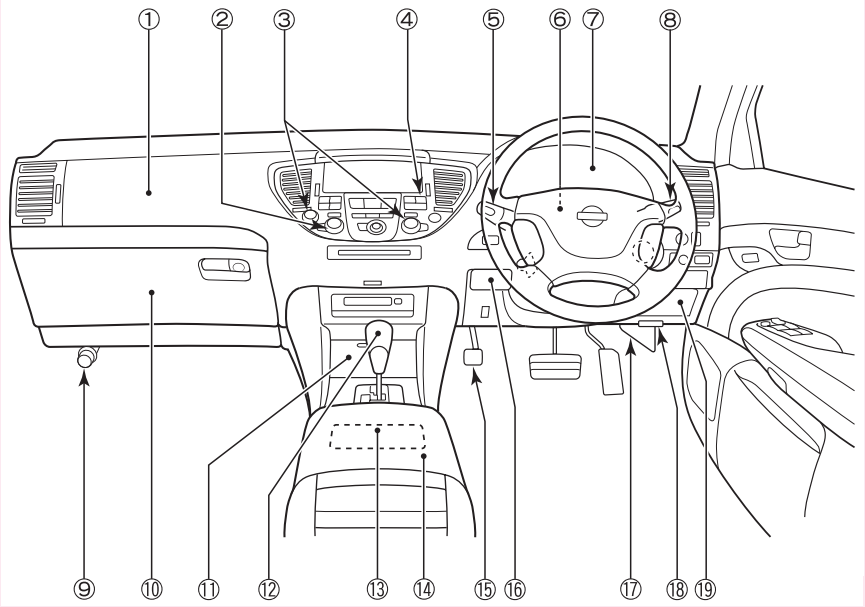
6. 万一のとき 6

●発炎筒の使いかた…… 280
●道路で故障したときは…… 281
●けん引するときは…… 283
●バッテリーがあがったときは… 286
●オーバーヒートしたときは… 288
●ヒューズを交換するときは… 289
●工具・ジャッキ・スペアタイヤについて…… 291
●パンクしたときは…… 296
●事故がおきたときは…… 299

●サービスデータ…… 301
●さくいん…… 307

イラスト目次（運転席まわり）

車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。

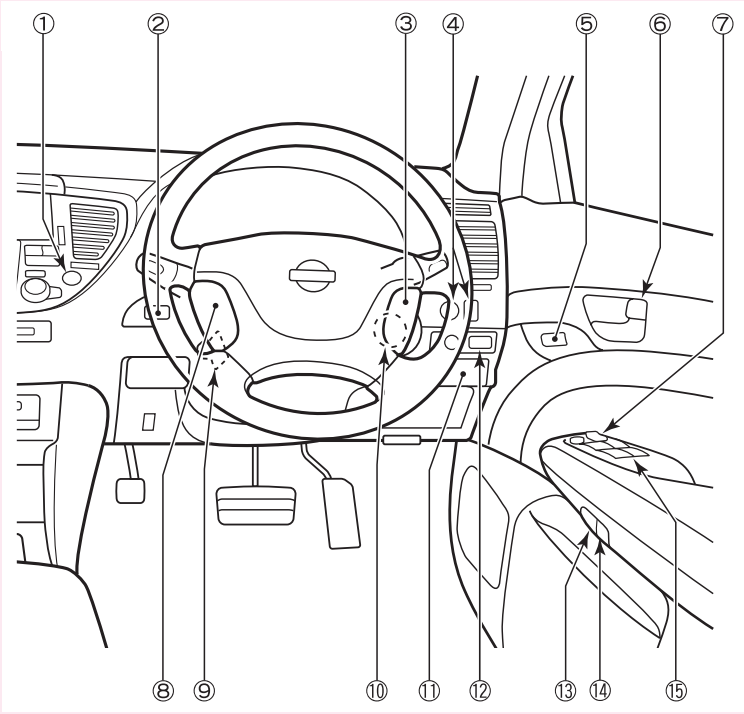


ESA1358Z

①助手席 SRS エアバッグ
システム…… 84
②オーディオ…… 221
③エアコン…… 206
④リヤウインドーデフォッガー
スイッチ…… 127
⑤ワイパー・ウオッシャースイッチ… 123
⑥運転席 SRS エアバッグ
システム…… 84
⑦メーター…… 98
⑧ライトスイッチ…… 118
方向指示器スイッチ…… 122
⑨発炎筒…… 280
⑩グローブボックス…… 244
⑪灰皿、シガーライター…… 240、242
⑫セレクトレバー…… 132、135
⑬コンソールポケット
（前席カップホルダー）…… 247
⑭コンソールボックス…… 245
⑮パーキングブレーキ…… 130
⑯パーキングブレーキ解除レバー… 131
⑰ヒューズボックス…… 289
⑱エンジンフードオープナー…… 43
⑲インストポケット…… 249

イラスト目次（運転席側部）

車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。

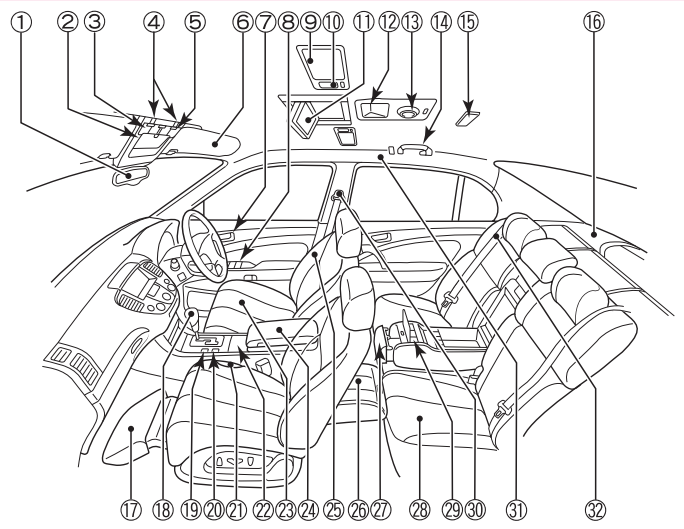


ESD1002Z

①非常点滅表示灯スイッチ…… 123
② VDC OFF スイッチ …… 191
TCS OFF スイッチ …… 189
A/T モードスイッチ …… 138
③クルーズシステムスイッチ
…… 163、175、182
ASCD スイッチ …… 154
④ドアミラースイッチ…… 73
⑤運転席オートドライビング
ポジションスイッチ…… 61
⑥ドアロック…… 34
⑦ドアロックスイッチ…… 34
⑧ステアリングスイッチ…… 232
⑨ハンドル位置調節スイッチ…… 53
⑩キースイッチ…… 129
⑪カードホルダー…… 248
ETC（ノンストップ自動料金
支払いシステム）ユニット…… 198
⑫アクティブダンパー
サスペンションスイッチ…… 142
リヤ電動サンシェードスイッチ… 253
⑬トランクオープナー…… 38
⑭フューエルフィラーリッド
オープナー…… 48
⑮パワーウインドースイッチ…… 45

イラスト目次（室内）

車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。

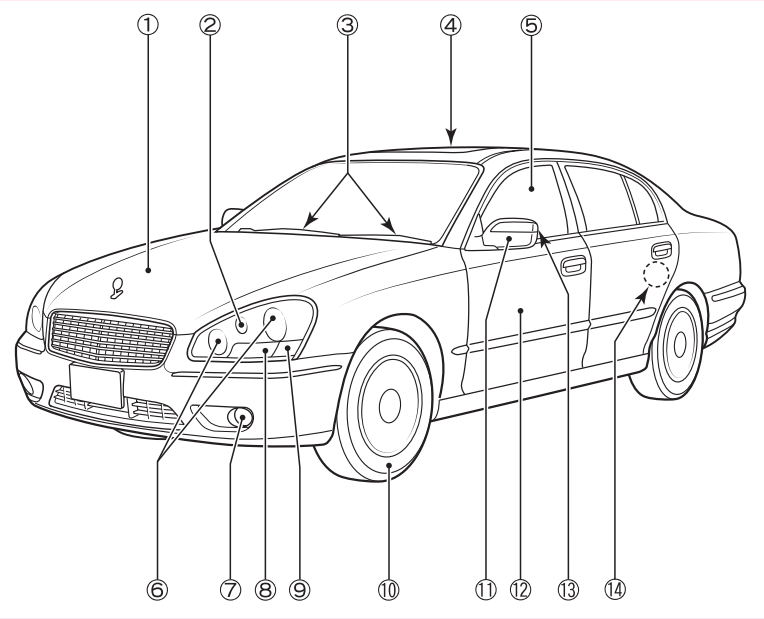


ZSI0020

①ルームミラー…… 76
②オーバーヘッドコンソール…… 249
③サンルーフスイッチ…… 50
④前席ヒーター付シートスイッチ… 56
⑤マップランプ…… 238
⑥サンバイザー…… 236
⑦ドアロック…… 34
⑧パワーウインドースイッチ…… 45
⑨後席オーバーヘッドコンソール（バニティーミラー）…… 250
⑩リヤパーソナルランプ（ツインモニター付車）…… 239
⑪ツインモニター…… 別冊
⑫後席オーバーヘッドコンソール（デジタル時計）…… 237
⑬後席オーバーヘッドコンソール（読書灯）…… 250
⑭アシストグリップ…… 254
⑮リヤパーソナルランプ（ツインモニター無車）…… 239
⑯ピュアトロン…… 220
⑰助手席パワーオットマン機構…… 56
⑱セレクトレバー…… 132、135
⑲リヤ電動サンシェードスイッチ… 253
⑳ A/T モードスイッチ …… 138
㉑前席エアコンディショニングシート …… 58
㉒コンソールポケット（前席カップホルダー）…… 247
㉓前席シート…… 54
㉔コンソールボックス…… 245
㉕ SRS サイドエアバッグシステム …… 85
㉖助手席リラックスシート…… 69
㉗後席カップホルダー…… 248
㉘後席シート…… 66
㉙リヤセンターアームレスト内蔵コントロールスイッチ…… 219、234
㉚シートベルト…… 78
㉛ SRS カーテンエアバッグシステム …… 85
㉜シートベルト…… 78

イラスト目次（外観）

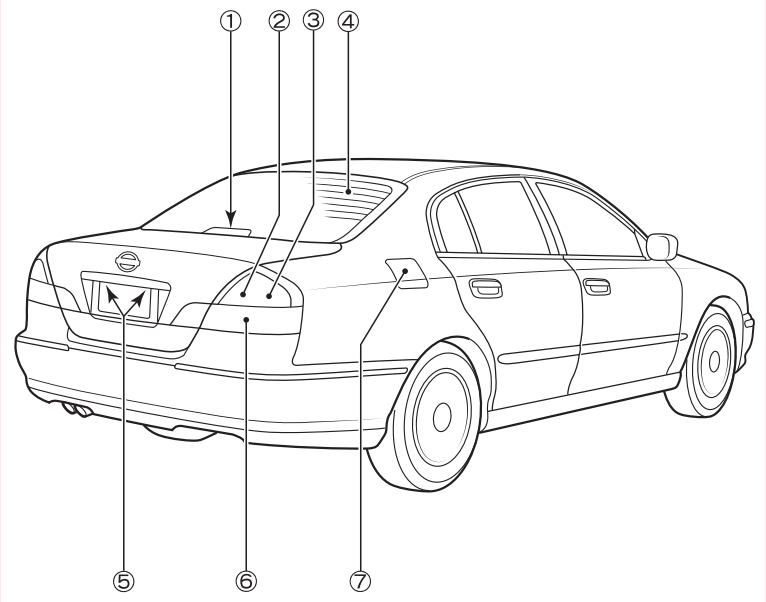
車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。



ZSI0021

①エンジンフード…… 43
②方向指示器 兼 非常点滅表示灯 …… 122、123
③ワイパー…… 123
④サンルーフ…… 50
⑤パワーウインドー…… 45
⑥ヘッドランプ…… 118、304
⑦フォグランプ…… 122、304
⑧ベンディングランプ（アクティブ AFS） …… 119、304
⑨車幅灯…… 118、304
⑩タイヤ…… 274、304
⑪ドアミラー…… 73
⑫ドア…… 32
⑬方向指示器 兼 非常点滅表示灯 …… 122、123
⑭チャイルドセーフティドアロック …… 35

イラスト目次（外観）



ZSI0022

①ハイマウントストップランプ…… 304
②後退灯…… 304
③方向指示器 兼 非常点滅表示灯
…… 122、123
④リヤウインドーデフォッガー…… 127
⑤番号灯…… 118、304
⑥尾灯・制動灯…… 304
⑦フューエルフィラーリッド…… 48

安全・快適カーライフのために 1

●お出かけまえには……8
●お子さまを乗せるときは…… 11
●走行するときは…… 13
●駐・停車するときは…… 16
●オートマチック車を運転するときは…… 18
●こんなことにも注意…… 21
●こんなときは異常ではありません…… 23
●セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは…… 24
●経済的な運転をするために…… 25

⚠重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

日常点検は必ず実施

・お車を安全にお使いいただくため、日常点検は必ず実施してください。
車の状態に応じて、適切な時期に実施することが法律で義務づけられています。
（詳しくはメンテナンスノートをお読みください。）

・いつもと違うことに気がついたら日産販売会社で点検を受けてください。
（音、振動、臭い、水・油漏れなど）



TSC0614Z

タイヤの空気圧はときどき点検する

・タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。タイヤの空気圧はときどき点検してください。
（詳しくは274ページをお読みください。）

バッテリーの液量はときどき点検する

・バッテリーの液量が下限（LOWER LEVEL）以下になったまま使用、又は充電すると、バッテリーが爆発するおそれがあります。バッテリーの液量はときどき点検してください。（詳しくはメンテナンスノートをお読みください。）

お車にあった燃料を補給

・指定以外の燃料は補給しないでください。

・軽油や有鉛ガソリンを使用すると車に悪影響を与えます。

・粗悪な燃料も車に悪影響を与えるので補給しないでください。

エンジン型式	使用燃料
VK45DE	無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）ガソリン

・本車両には、無鉛プレミアムガソリンをご使用ください。なお、無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合、無鉛レギュラーガソリンも使用できますが、エンジン出力低下などの現象が発生します。

車庫や屋内ではエンジンをかけたままにしない

・車庫や屋内など換気が悪い所では、排気ガスが充満しやすいため、エンジンをかけたままにしないでください。排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれていますので、吸い込むと一酸化炭素中毒になるおそれがあります。



TSC0615Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

正しい運転姿勢に調節

・走行前にシート、ハンドル、ヘッドレストの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節し、ドアミラー（フェンダーミラー）、ルームミラーなどを後方視界が十分確認できる位置に調節してください。

シートベルトは正しく着用

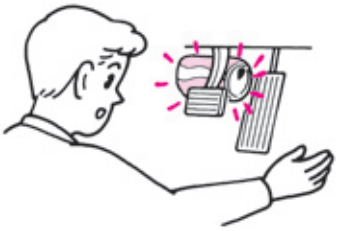
・走行する前に必ず全員がシートベルトを着用してください。
・シートベルトは正しく着用しないと、ベルトの効果が十分発揮できなかったり、ベルトによりケガをするおそれがあります。正しい着座姿勢で正しく着用してください。
・SRS エアバッグは、シートベルトの補助装置でシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。



TSC0616Z

運転席足元には物を置かない

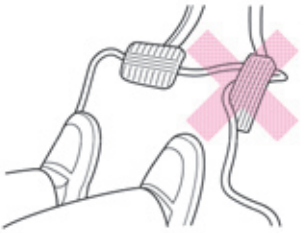
・足元のまわりにあき缶などの物を置かないでください。
・ブレーキペダルやアクセルペダルに物が挟まると、ペダルの操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSC0617Z

車に合わないフロアマットは使わない

・フロアマットは車に合ったものを正しく敷いてください。ペダルを覆ったり重ねて敷くとペダルに引っ掛かるなど操作の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ESD0822Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

・ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まないでください。引火や爆発するおそれがあり危険です。



TSC0618Z

インストルメントパネルの上に物を置かない

・アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。SRS エアバッグが作動したときの衝撃で飛び、思わぬ事故につながるおそれがあります。
・走行中に移動しやすい物や、視界を妨げるような大きい物は置かないでください。安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSC0619Z

荷物を積みすぎない

・助手席や後席に荷物を重ねて積まないでください。急ブレーキなどのとき荷物が落ちてきて、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSA5563Z

アクセサリーの取り付けに注意

・ウインドーにアクセサリーを取り付けると、視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり、SRS エアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSC0644Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



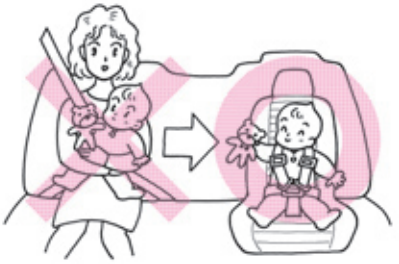
お子さまを乗せるときは

お子さまは後席に

・助手席に乗せるのはできるだけ避けてください。お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになるおそれがあります。
また、助手席 SRS エアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などで SRS エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを着用

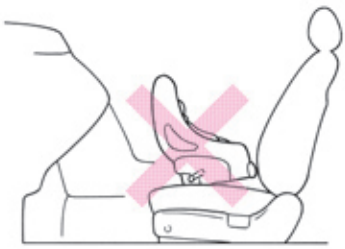
・お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
(78ページも合わせてお読みください。)
・シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨に掛からないような小さなお子さまには、チャイルドセーフティシートやジュニアセーフティシートをお使いください。また、ひとりで座れない小さなお子さまには、乳児用チャイルドシートをお使いください。
(詳しくは、日産販売会社にご相談ください。)



TSA5564Z

チャイルドシートは後席に

・助手席に乳児用チャイルドシートを取り付けたり、チャイルドセーフティシートを後ろ向きに取り付けることはやめてください。SRS エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
・チャイルドシートをお使いになるときは後席に取り付けてください。やむを得ず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。なお、乳児用チャイルドシートなど後ろ向きにしか使用できないシートは、必ず後席に取り付けてください。また、チャイルドシートは、走行する前に確実に固定されていることを確認してください。(チャイルドシートの固定方法、及びその他取り扱いかたは、それぞれの商品に付属の取扱説明書に従ってください。72ページも合わせてお読みください。)



TSC0622Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



お子さまを乗せるときは

〈チャイルドシート選択の目安〉

	体重（kg）	参考身長（cm）	参考年齢
チャイルドセーフティシート（後向き用）	新生児～13未満	新生児～85未満	新生児～18か月頃
チャイルドセーフティシート（前向き用）	9～18以下	70～100以下	9か月頃～4才頃
ジュニアセーフティシート	15～36以下	100～150以下	3才頃～12才頃

ドア、ウインドーなどは大人が操作

・ドア、ウインドー、トランク、サンルーフなどの開閉は、お子さまには操作させないでください。開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
・パワーウインドーロックスイッチは必ず押し込んでおいてください。（詳しくは47ページをお読みください。）
・チャイルドセーフティドアロックはロック側にしておいてください。いたずらによりドアが開くと危険です。（詳しくは35ページをお読みください。）
・お子さまがトランクで遊んで、自らが閉じ込められてしまうと、重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さまが車のまわりにいるときは、トランクに入り込まないように注意してください。

窓やサンルーフから手や顔を出さない

・お子さまが手や顔を出さないように注意してください。急ブレーキ時にぶつけて思わぬケガをしたり、車外の障害物に当たり、重大な傷害につながるおそれがあります。



TSA5566Z

車内にお子さまだけを残さない

・車から離れるときは、必ずお子さまを一緒に降ろしてください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
・お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSA5567Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

高速道路に入る前には燃料などを再確認

・燃料は十分補給してください。高速道路上での燃料切れは危険です。
・タイヤの空気圧が不足していないか確認してください。空気圧不足の状態で高速走行をすると、バースト（破裂）するおそれがあり危険です。
・万一のために停止表示板（停止表示灯）を車に備えておいてください。停止表示板（停止表示灯）の表示は、法律で義務づけられています。（別売りです）



TSC1802Z

車のためにならし運転を

・エンジン本体、駆動系などこの車両の持っている性能を十分に引き出すためには、ならし運転が必要です。
走行距離約1,600kmまでは適度な車速、エンジン回転で運転してください。

走行中はエンジンを止めない

・エンジンが止まると、極度にハンドル操作が重くなったり、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSC0626Z

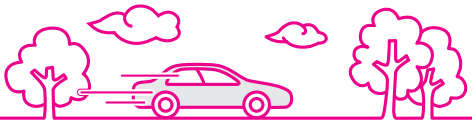
長い下り坂ではエンジンブレーキを併用

・ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあり危険です。坂の勾配に応じてエンジンブレーキを併用してください。（エンジンブレーキとは走行中アクセルペダルから足を離したときに発生するブレーキ力です。）
・5M-AT車は、坂の勾配に応じてマニュアルモードを低速ギヤに入れてください。
・4AT車はセレクトレバーを**2**又は**1**に入れます。
（詳しくは149ページをお読みください。）



TSC1803Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

雨天時の走行は速度を落とす

・路面がぬれると滑りやすくなります。
通常より注意して安全運転に心がけてください。
・わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、タイヤが水に乗った状態（ハイドロプレーニング現象）になり、ハンドルやブレーキが効かなくなり危険です。スピードを落として走行してください。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起こりやすいので注意してください。
・冠水路など深い水たまりは走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。



TCA0015Z

タイヤを傷つける運転をしない

・道路の縁石などにタイヤの側面を接触させたり、道路上の凹みや突起物の乗り越しなどは避けてください。タイヤを傷つけるおそれがあります。

水たまり走行後はブレーキの効きを確認

・水たまり走行後や洗車後は、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ブレーキペダルを軽く踏んで効きを確認してください。
・効きが悪いときは、周囲の安全に十分注意しながら低速で走行し、効きが回復するまでブレーキペダルを繰り返し軽く踏んでください。



TSC1804Z

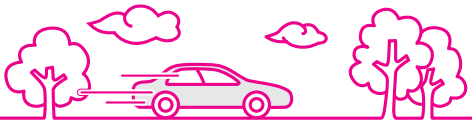
滑りやすい路面を走行するときは慎重に

・ぬれた路面や凍結路、積雪路などではスピードを落としてください。
・急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキは避けてください。
タイヤがスリップしやすく、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSA5568Z

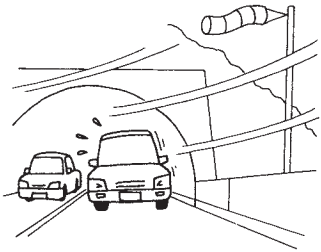
⚠重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

横風が強いときは

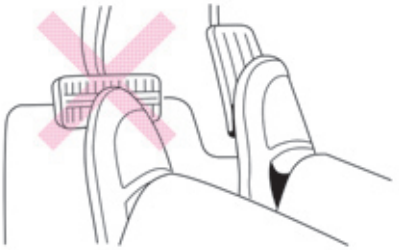
・横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落としてください。
・トンネルの出口、橋の上、切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。



TCA0018Z

ブレーキペダルに足をのせたままにしない

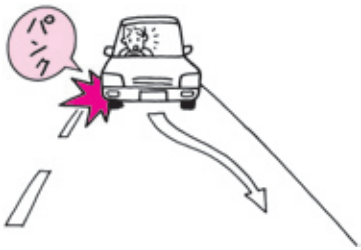
・ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。ブレーキの部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。



TSA5569Z

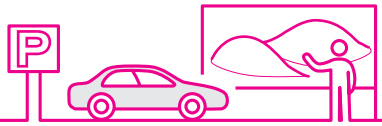
走行中に異常があったら

・警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。
そのまま走行すると思わぬ事故につながるおそれがあります。（詳しくは105ページをお読みください。）
・走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）したときは、あわてずにハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落とし、安全な場所に停車してください。急ブレーキや急ハンドルを行うと、車両がコントロールできなくなり危険です。
・床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに安全な場所に停車し、ブレーキ液や燃料の漏れ、マフラーなど車体下部の各部に損傷がないか確認してください。漏れや損傷がある場合は、日産販売会社に連絡してください。



TSC0632Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



駐・停車するときは

燃えやすい物の上や近くに車を止めない

・枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐・停車しないでください。排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。
・車両後方に木材、ベニヤ板などの可燃物があるときは、車両後端から十分に距離をとって止めてください。すき間が少ないと、排気ガスにより変色や着火するおそれがあります。



TSA5570Z

車から離れるときは必ずエンジンを止め施錠する

・無人で車が動き出したり、盗難など思わぬ事故につながるおそれがあります。
・お子さまや介護が必要な方を車内に残したままにしたり、貴重品を置いたままにしないでください。
・お子さまがトランクに閉じ込められると、重大な傷害を受けるおそれがあります。車を使用しないときは、ドアを施錠し、トランクを閉め、車のキーはお子さまの手の届かない所に保管してください。



TSC1805Z

仮眠するときは必ずエンジンを止める

・無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、車の不意な発進やエンジン過熱による火災など、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
・エアコンの吸い込み口を内気循環にして長時間エンジンをかけたままにした場合、排気管に腐食や損傷による穴や亀裂があると、排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。



TSA5571Z

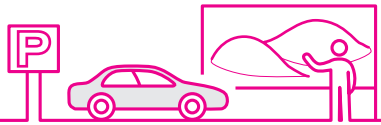
ハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けない

・車庫入れなどで、エンジンをかけたままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、パワーステアリング装置を損傷するおそれがあります。



TSC1806Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



駐・停車するときは

坂道駐車はパーキングブレーキを確実に

・無人で車が動き出すなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
・パーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーを**P**に入れてください。
さらにタイヤに輪止めをすると効果があります。



TSC1807Z

車の移動はエンジンをかけて

・必ずエンジンをかけて移動してください。
エンジンをかけないで坂道を利用した移動は、極度にブレーキの効きが悪かったり、ハンドル操作が重くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSC1808Z

エンジンをかけたまま小休止するとき

・エンジンをかけたまま仮眠や長時間駐車はしないでください。
・冬場の駐車など暖房をせざるを得ない状況で、やむを得ずエンジンをかけたまま長時間駐車するときは、以下のことを確認してから駐車してください。
＊換気の悪い車庫や屋内など排気ガスが充満するような場所でないこと。
＊他車の排気口が近くにないこと。
＊エアコンの吸い込み口が内気循環になっていないこと。
＊大雪などで、スッポリと埋まる可能性がないこと。
＊セレクトレバーやアクセルペダルに、無意識に触れることがないよう後席に座ること。

⚠重要です。しっかりお読みください。



オートマチック車を運転するときは

オートマチック車はその特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。
詳しくは145ページの「オートマチック車の運転のしかた」も合わせてお読みください。
※セレクトレバー位置の（ ）内は、4AT 車を示します。

クリープ現象に注意

・エンジンがかかっているとき、セレクトレバーを**D**、**R**、マニュアルシフトゲート（**D**、**2**、**1**、**R**）に入れると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。（これをクリープ現象といいます。）
・停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。特にエンジン始動直後やエアコン作動時など、エンジン回転が上がっているときは、動く力が強くなりますので、しっかりと踏んでください。



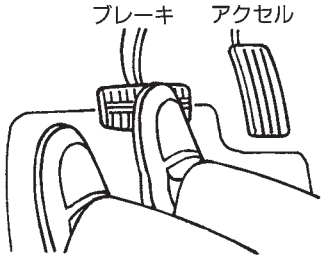
TSC1809Z

キックダウンは適切に

・**D**、マニュアルシフトゲート（**D**、**2**）の位置で走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり急加速が得られます。（これをキックダウンといいます。）
・滑りやすい路面や急カーブではキックダウン操作を避けてください。キックダウンすると、タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ペダルの位置を確認

・ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。エンジンをかける前に必ずペダルの位置を確認してください。
・アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。



TCA0579Z

セレクトレバーの操作は正しく確実に

・発進時はブレーキペダルを踏んでセレクトレバーを操作してください。アクセルペダルを踏んだ状態で操作すると、急発進して危険です。
・後退したあとは、すぐ**R**から**N**に戻す習慣をつけてください。

⚠重要です。しっかりお読みください。

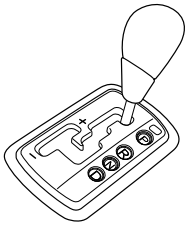


オートマチック車を運転するときは

セレクトレバー位置は目で確認

・エンジンをかけるときはP、前進するときはD、後退するときはRの位置にあることを目で確認してください。

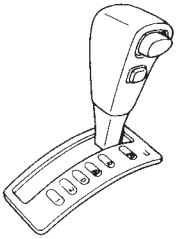
〈5M-AT 車〉





TSD0313Z

〈4AT 車〉

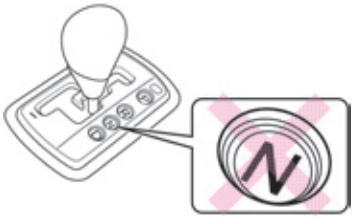




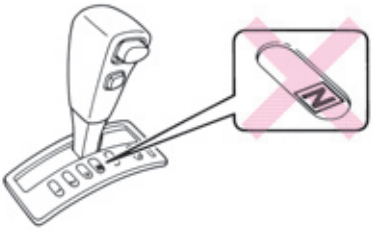
TSA5551Z

走行中はNにしない

・走行中にセレクトレバーをNにすると、エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションが故障する原因となります。



ESD1006Z



TSA5553Z

無用な空吹かしはしない

・万一、セレクトレバーがD、R、マニュアルシフトゲート（D、2、1、R）に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

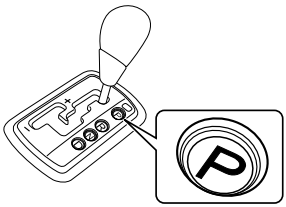
⚠重要です。しっかりお読みください。



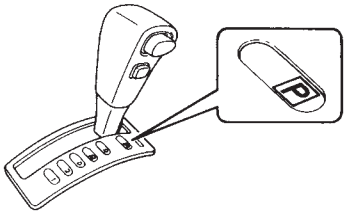
オートマチック車を運転するときは

駐車するときはPにする

・エンジンがかかったまま、セレクトレバーがD、R、マニュアルシフトゲート（D、2、1、R）に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ESD1007Z



TSC1831Z

シフトロックシステム

オートマチック車を安全にお使いいただくために、シフトロックシステムが付いています。よく理解して正しく操作してください。（詳しくは、140ページをお読みください。）

①キースイッチがONのときは、ロック装置が作動し、ブレーキペダルを踏んでいないと、Pからセレクトレバーを動かすことができません。

②セレクトレバーをPに入れないと、キースイッチからキーが抜けません。

③キースイッチがONのとき、セレクトレバーをRに入れると、後退位置を知らせるブザーが車内で鳴ります。（車外の人に注意するものではありません。）

⚠重要です。しっかりお読みください。



こんなことにも注意

ラジエーターが熱いときはキャップを外さない

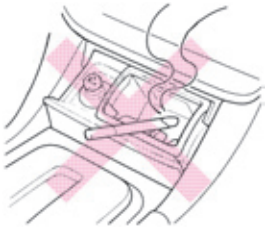
・ラジエーターやリザーバータンクが熱いときはキャップを外さないでください。
蒸気や熱湯が吹き出し危険です。
・冷却水の補給は温度が下がってから行ってください。



TSC0642Z

タバコの吸いがらの火は消して

・タバコやマッチなどの火は確実に消し、灰皿のふたは必ず閉めてください。
・灰皿の中には吸いがらを入れすぎたり、燃えやすい物を入れないでください。



TSA5555Z

炎天下で駐車するときは

・炎天下で駐車するときは、車内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

ガスライターにも注意

・操作部が露出しているガスライターを、グローブボックスなどに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して、火災につながるおそれがあります。

工具や布などの置き忘れに注意

・点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

薬を服用したときは運転しない

・カゼ薬など眠けをもよおす薬を服用された方は運転を避けてください。

⚠重要です。しっかりお読みください。



こんなことにも注意

違法改造はしない

・車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自己流のエンジン調整や配線などを行わないでください。正常な性能を発揮できなかったり、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

・日産が国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違法改造になることがあります。



TSA5573Z

・次の場合は日産販売会社にご相談ください。

＊タイヤ、ロードホイールの交換

指定以外のタイヤやロードホイールを装着しないでください。性能や機能に支障をきたし、安全な走行ができなくなるおそれがあります。

＊電装品、無線機などの取り付け

適切でない電装品や無線機などを取り付けないでください。電子機器部品に悪影響を及ぼしたり、誤った配線は故障や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

＊ハンドルの取り外しや交換

ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRS エアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

電話は安全な場所に停車して

・運転しながらのハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話などの使用はやめてください。周囲への注意力が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSC0646Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



こんなときは異常ではありません

ブレーキペダルを踏むと音がする

・朝一番及び長時間駐車後の走り始め、又は降雨後や洗車後など湿気が多いときにブレーキペダルを踏むと、“キー”という音がする場合があります。この音はブレーキパッドが水分を吸収し、表面の摩擦力が一時的に変化したためで異常ではありません。

・高性能スポーツブレーキパッド採用車は、スポーツ走行用の摩擦係数のきわめて高いブレーキパッドを採用しているため、従来のブレーキパッドに比べ、ブレーキを緩め発進するときや停止する間際に“グー”や“キー”といった音が発生する場合があります。

・これらの音がときどきするのは異常ではありませんが、頻繁に音がする場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる

・ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。またヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもるのと同様の現象で、機能上の問題ではありません。
また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。
ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

⚠重要です。しっかりお読みください。



セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは

燃料補給時に必ず守ること

・エンジンを必ず止め、車のドアや窓は閉めてください。
・タバコを吸うなど火気を近づけないでください。
・フューエルキャップを開ける前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。身体に静電気を帯びていると、放電による火花で燃料に引火したり、やけどをするおそれがあります。
・補給口のリッドを開ける操作から給油が完了するまでの作業は、必ず一人で行ってください。
給油作業中の人以外は、帯電しているおそれがあるため、給油口に近づけないでください。
また、給油の作業を行う人は、給油中に再び車内のシートに戻らないでください。再帯電するおそれがあります。
・フューエルキャップはツマミ部分を持って回してください。
(開閉操作は、48ページをお読みください。)
フューエルキャップは純正品以外は使用しないでください。
・給油ノズルは確実に給油口へ挿入してください。給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。
・給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしないでください。継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。
・ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項は必ず守ってください。

燃料給油時は注意

・給油時に気化した燃料を吸わないようにしてください。

⚠重要です。しっかりお読みください。



経済的な運転をするために

もっと燃費を向上するには

＊無用なアイドリングをやめる（アイドリングストップ）
人待ちや荷降ろしなどで駐停車するときは、エンジンのかけっぱなしをやめましょう。

＊経済速度で走る
一般道路なら時速40km 程度、高速道路なら時速80km 程度で走るのが経済的な走りかたです。

＊点検・整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正にする

＊無駄な荷物を積まない
車のエンジンは荷物の重さに敏感です。

＊無駄な空吹かしをやめる
10回の空吹かしは乗用車でガソリン約60ccの燃料が無駄になります。

＊急発進、急加速、急ブレーキをやめ、適切な車間距離をとる

＊渋滞をまねく違法駐車をしない
迷惑駐車は交通渋滞をもたらし余分な排気ガスを出させる原因になります。

＊エアコンの使用を控えめにする
エアコン使用時はエンジンの回転数が高くなるため、結果として燃料の使用量が増加します。まめに適正な温度に調節することが重要です。

●各部の開閉のしかた…… 28
キー …… 28
カードキー …… 28
マルチリモートエントリーシステム …… 29
エンジンイモビライザー（盗難防止装置）… 31
ドア …… 32
カーアラーム（盗難防止装置）…… 36
トランク …… 37
エンジンフード …… 43
パワーウインドー …… 45
燃料補給口 …… 48
電動ガラスサンルーフ …… 50

●ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた…… 52
正しい運転姿勢 …… 52
ハンドル …… 53
シート …… 54
チャイルドシートについて …… 72
ドアミラー …… 73
ルームミラー …… 76

●シートベルトの着用のしかた…… 78
シートベルトの着用について …… 78
シートベルトの着用のしかた …… 81
チャイルドシート固定機構付シートベルトについて… 82

● SRS エアバッグ …… 84
SRS エアバッグの作動 …… 84
SRS エアバッグが作動するとき・しないとき… 90

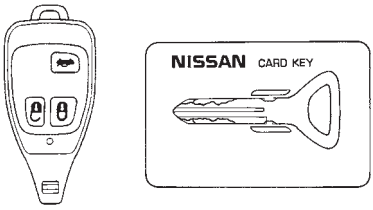
●前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト … 94
前席ロードリミッター付プリテンショナー
シートベルトの作動 …… 94
プリテンショナーシートベルト付車の
取り扱いについて …… 94

●前席緊急ブレーキ感応型プリクラッシュシートベルト … 95
前席緊急ブレーキ感応型プリクラッシュシートベルトの作動… 95

各部の開閉のしかた

キー

・キーは3個ついています。
・電子キー2個と、カードキー1個です。



〈電子キー〉　〈カードキー〉

キー番号タグ →

TSB0621Z

警告

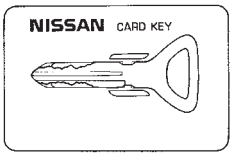
・航空機内ではリモコンのスイッチを押さないでください。また、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。

知識

・キー番号を打刻したタグは大切に保管してください。
・キーを紛失したとき、キー番号を日産販売会社に連絡すると購入できます。
・電子キーには、エマージェンシーキーが内蔵されています。
＊エマージェンシーキーの使いかた
…30ページをお読みください。

カードキー

緊急用のキーとしてドアの施錠・解錠及びトランクの解錠ができます。
・車に電子キーを閉じ込めてしまったときなどに使います。
・財布などにしまえるカードタイプのキーになっています。



TSA5502Z

アドバイス

・カードキーが曲がってしまうような使いかたはしないでください。

知識

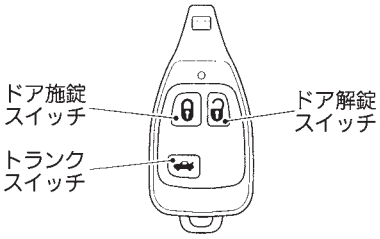
・カードキーでは、エンジンの始動はできません。
・グローブボックスの施錠、解錠もすることができます。

マルチリモートエントリーシステム

リモコンで離れたところ（約1m）から、全ドアの施錠・解錠とトランクの解錠ができます。
また、トランクオート開閉機構付車は、トランクを開くこともできます。

●リモコンの使いかた

・車に近づき、リモコンのスイッチを押します。



TSD0257Z

スイッチ	作　　動
ドア施錠スイッチ	全ドアを施錠します。
ドア解錠スイッチ	全ドアを解錠します。
トランクスイッチ	約0.5秒間押し続けるとトランクが解錠します。 トランクオート開閉機構付車は、トランク解錠後、もう一度約0.5秒間押し続けるとトランクが自動的に開きます。

・リモコンでドアを施錠したときは、非常点滅表示灯が1回点滅し、ブザーが1回鳴ります。解錠したときは、非常点滅表示灯が2回点滅し、ブザーが2回鳴ります。
・リモコンでトランクを解錠したときは、非常点滅表示灯が1回点滅し、ブザーが4回鳴ります。
・リモコンでトランクオート開閉機構を作動させたときは、4回ブザーが鳴ります。
・ドア解錠スイッチを押してから約30秒以内にドアを開けなかったとき、又はキースイッチにキーを差し込まなかったときは、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。（オートロック機能）
オートロック機能で施錠される前に、もう一度「ドア解錠スイッチ」を押すと、その時点から約30秒経過後、「トランクスイッチ」を押すと、その時点から約80秒経過後に全ドアが施錠されます。
また、「トランクスイッチ」を押してトランクを解錠した後、約8秒以内に「ドア解錠スイッチ」を押すと、その時点から約80秒経過後に全ドアが施錠されます。
・次のような場合はリモコンが作動しません。
＊キーをキースイッチに差し込んでいるとき。
＊ドアが完全に閉まっていないとき。（解錠のみできます。）
＊車から離れすぎているとき。
＊リモコンの電池が切れているとき。

アドバイス

・リモコンで施錠したあとは、ドアハンドルを引いて、施錠されたことを確認してください。
・周囲の状況によっては、作動する距離が変わることがあります。確実に作動させるためには、ドア及びトランクから約1mまで近づいてください。
・リモコンは日常防水加工をしてありますが、水にぬらすと故障の原因になります。水にぬらしたときはすぐにふき取ってください。
・洗濯機にかけたり、長時間水につかったりすると、故障の原因になります。
・リモコンを高い所から落としたりぶつけたりしないでください。また、長時間高温になる場所に置かないでください。故障の原因になります。

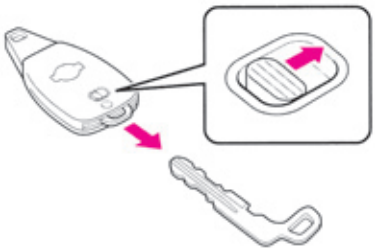
知識

・運転席ドアを解錠すると、トータルコーディネート室内照明が約15秒間点灯します。詳しくは、キー連動室内照明システム…240ページをお読みください。
・ドアを解錠すると、ドアミラー下部の足元照明ランプが約15秒間点灯します。ただし、点灯中にドアを開けると消灯します。
・リモコンは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
・リモコンを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
・スイッチを押しても作動しない場合は、電池の消耗が考えられます。電池の交換は、日産販売会社にご相談ください。

●エマージェンシーキーの使いかた

バッテリーあがりなどでリモコンでの操作ができないときや、グローブボックスの施錠・解錠をするときに使います。

・電子キー裏側のロックを外してキーを引き出します。
・元に戻すときは、ロックノブが戻るまで確実に差し込みます。



TSC1810Z

アドバイス

・元に戻したときは、キーが外れないように、ロックノブが確実に戻っていることを確認してください。

知識

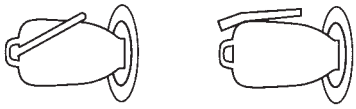
・エマージェンシーキーでは、エンジンの始動はできませんが、キースイッチにキーを差し込み回すと、ハンドルロックを解除することができます。バッテリーあがりなどのとき車を移動させる場合に使います。

エンジンイモビライザー（盗難防止装置）

車両の盗難に対する防御性能を高めるために、電子キーに送信機を内蔵し、あらかじめ登録されているキー以外でのエンジンの始動を禁止するシステムです。

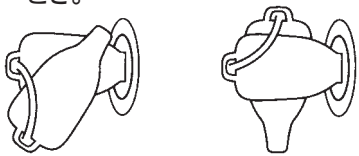
アドバイス

・電子キーは送信機を内蔵している電子部品です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
＊キーを無理に曲げたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
＊長時間高温になる場所に置かないでください。
＊磁気を帯びたキーホルダーなどを付けないでください。
＊超音波洗浄機などにかけないでください。
＊塩水（海水など）へ浸したりしないでください。
・次のような場合、電子キーからの信号を車両が正確に受信できず、エンジンの始動ができない場合があります。
＊キーグリップが金属製のものと接触しているとき。



TSA1014Z

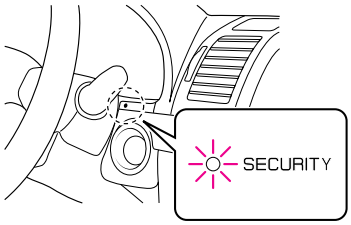
＊キーが他の車両のイモビライザーシステム用のキー（送信機内蔵のもの）と接触しているとき。
＊自車のキーどうしが接触しているとき。



TSA1015Z

知識

・キーに登録された信号は、キーごとに異なります。
・キーの登録は、最大4本までできることができます。詳しくは日産販売会社へご相談ください。
・エンジンが始動できない場合は、一度キーを OFF にして、10秒以上経過してから再始動してください。
・上記の操作を行ってもエンジンが始動できない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。
・キースイッチを ON にしたときセキュリティーインジケーターが点灯し続ける場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。
・エンジンイモビライザーが働いているときは、常時セキュリティーインジケーターが点滅し、作動していることをお知らせします。



ESA1372Z

ドア

警告

- ドアの開閉はお子さまにはさせないでください。手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ドアを開けるときは、前後の安全を十分確認してください。不用意に開けると、後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 後席ドアは開く角度が前席ドアより大きいため、注意してください。
- 走行する前にドアを確実に閉めてください。走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ずエンジンを止め施錠してください。

アドバイス

- エンジン停止時に長時間ドアを開けたままにしないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

知識

衝撃感知式ドアロック解除システム

- キースイッチが ON のとき、車両が前後左右から強い衝撃を受けるとシステムが作動し、約3秒後に自動的に全ドアが解錠されます。システム作動後にシステムを解除させる（ドアをロックする）には、一旦キースイッチからキーを抜いてください。

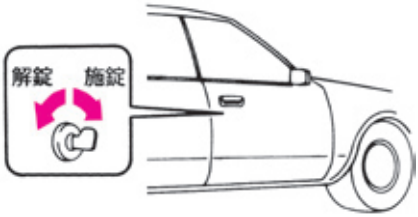
車外からの施錠・解錠

●エマージェンシーキー、カードキーによる施錠・解錠

エマージェンシーキー又はカードキーをキー穴に差し込み、車の前方に回すと運転席ドアが施錠し、後方に回すと運転席ドアが解錠します。

＊エマージェンシーキーの使いかた…30 ページをお読みください。

＊カードキー…28 ページをお読みください。



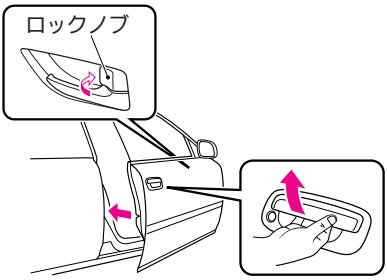
TSB0622Z

知識

- カーアラームがセットされているときにエマージェンシーキー又はカードキーでドアを解錠すると、カーアラームが作動します。
  カーアラームの作動を停止するときは、キーをキースイッチに差し込み Acc 又は ON 位置まで回してください。
  ＊カーアラーム（盗難防止装置）…36ページをお読みください。
- 運転席ドアを解錠すると、トータルコーディネート室内照明が約15秒間点灯します。
  ＊詳しくは、キー連動室内照明システム…240ページをお読みください。

●キーを使わない施錠

・前席ドアは車内のロックノブを押し込み、ドアハンドルを引きながらドアを閉めます。
・後席ドアは車内のロックノブを押し込み、そのままドアを閉めます。



ESA1373Z

アドバイス

・キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠してください。

知識

・いずれかのドアが開いていて、キースイッチにキーが差し込まれているときは、運転席ロックノブで施錠できません。

●リモコンによる施錠・解錠

・車に近づき、リモコンのスイッチを押します。
＊マルチリモートエントリーシステム
…29 ページをお読みください。

リヤドアオートクロージャー

グレード

・後席ドアを閉めるとき、ドアを軽く押しつけるとオートクロージャーが作動し、自動的に閉まります。

注意

・ドアを閉めるときは、手などを挟まないよう注意してください。
・オートクロージャー作動中は自動的に閉まるため、指を挟まないように注意してください。

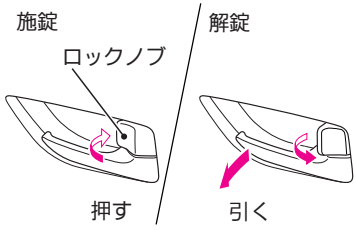
知識

・ドアハンドルやインサイドハンドルを引いたままドアを閉めると、オートクロージャーは作動しません。
・オートクロージャー作動中でも、ドアハンドル又は、インサイドハンドルを引けば、手動で開けることができます。
・手動でドアを全閉することもできます。

車内からの施錠・解錠

●ロックノブによる施錠・解錠

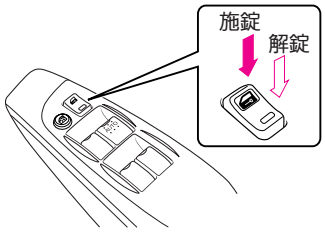
・車内のロックノブを押し込むと施錠し、手前に引くと解錠します。
・運転席のロックノブで施錠・解錠すると、全ドアが同時に、施錠・解錠します。
・ドアを開けるときは、解錠後ハンドルを引きます。



ESD1008Z

●ドアロックスイッチによる施錠・解錠

・運転席のドアロックスイッチで、助手席ドアと後席ドアの施錠・解錠ができます。
・スイッチの前側を押すと施錠し、後ろ側を押すと解錠します。



ESA1375Z

知識

・運転席ドアは、解錠のみドアロックスイッチに連動します。

車速検知式オート集中ドアロック

・車速が約25km/h 以上になると、助手席と後席のドアが自動的に施錠されます。
・約25km/h 以上で走行中、助手席又は後席のロックノブを手前に引くと自動的に施錠しようとしてノブが振動します。
・衝撃感知式ドアロック解除システム（P.32）作動後は、一旦キーを抜くまでは機能しません。

＊車速検知式オート集中ドアロックの作動を解除することができます。
設定のしかたは別冊の取扱説明書をお読みください。

Pポジション連動ドアロック解除機能

・セレクトレバーをPに入れたとき、自動的に施錠されているドアが解錠するように設定することができます。

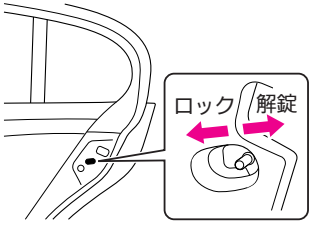
＊設定のしかたは別冊の取扱説明書をお読みください。

チャイルドセーフティドアロック

車内のロックノブの位置に関係なく、後席ドアを車内から開けられなくなります。お子さまを乗せるときにお使いください。

●施錠のしかた

・左右の後席ドアにあるロックレバーをロック側にしてドアを閉めます。



ESA1376Z

＊ロックを解除するときは、ロックレバーを元に戻します。

●ドアを開けるとき

・ロック作動中にドアを開けるときは、車内のロックノブが解錠していることを確認し、車外からドアハンドルを引きます。

知識

・車内から開けるときは、窓ガラスを下げ、手を外に出してドアハンドルを引きます。

カーアラーム（盗難防止装置）

車両が不正な方法（リモコン以外）で解錠されたり、トランクやエンジンフードを開けられたとき、周囲に異常を知らせるシステムです。

アドバイス

・車内に人が乗っている状態や、窓ガラスが開いた状態でもシステムは作動します。
システム本来の目的以外での作動は、まわりの迷惑となりますので作動させないでください。

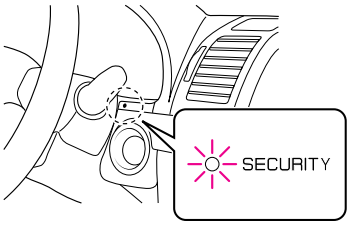
●カーアラームをセットするには

・キーをキースイッチから抜き、全ドア、トランク、エンジンフードを閉め、リモコンで施錠するとカーアラームが準備状態になります。
（セキュリティーインジケーターが点滅から点灯に変わります。）

知識

・エマージェンシーキー又はカードキーで施錠した場合には、カーアラームはセットされません。

・約30秒経過すると、自動的にセットされます。
（セキュリティーインジケーターが点灯から点滅に変わります。）



ESA1372Z

知識

・カーアラームが準備状態のときに、次のような操作を行った場合はシステム準備状態を解除します。
＊いずれかのドアを解錠したとき。
＊キーをキースイッチに差し込んだとき。
・カーアラームがセットされているとき、次のような操作を行った場合はセットを解除します。
＊いずれかのドアをリモコンで解錠したとき。
＊キーをキースイッチに差し込み、Acc 又は ON 位置まで回したとき。
・カーアラームがセットされているときに、トランクをリモコンで解錠した場合は、カーアラームは準備状態になります。

●カーアラームの作動

・不正な行為が行われると、約30秒間ホーンを鳴らすと共に非常点滅表示灯を点滅させ、周囲に異常を知らせます。

知識

・エマージェンシーキー又はカードキーで解錠した場合には、カーアラームが作動します。

・次のような操作が行われた場合は、盗難のおそれがあると判断し作動します。
＊ドア、トランクのいずれかをリモコン以外の方法で解錠したとき。
＊エンジンフードを開けたとき。

●カーアラームの作動を停止するには

・カーアラーム作動中に次の操作を行うと、作動を停止します。
＊リモコンでドアを解錠したとき。
＊キーをキースイッチに差し込み、Acc 又は ON 位置まで回したとき。
・警報作動を終了（約30秒以上経過）すると、再びシステム作動可能状態になります。

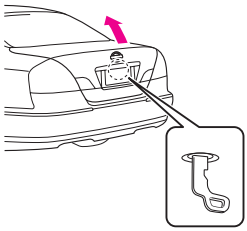
トランク

警告

・トランクの開閉はお子さまにはさせないでください。手、首、足などを挟んだりして重大な傷害につながるおそれがあります。
・トランクの中に人は乗らないでください。閉じ込められると、中から開けられません。お子さまが入らないよう注意してください。
・お子さまがトランクで遊んで、自らが閉じ込められてしまうと、重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さまが車のまわりにいるときは、トランクに入り込まないように注意してください。
・車を使用しないときは、ドアを施錠し、トランクを閉め、車のキーはお子さまの手の届かない所に保管してください。
・走行前に、トランクが確実に閉まっていることを必ず確認してください。トランクを開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

●エマージェンシーキー及びカードキーによる解錠

・エマージェンシーキー又はカードキーをキー穴に差し込み右に回すと解錠します。
＊エマージェンシーキーの使いかた…30 ページをお読みください。
＊カードキー…28 ページをお読みください。



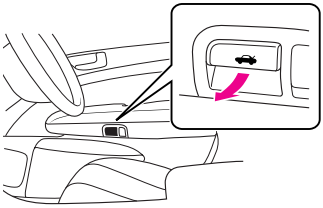
ZIC0026

知識

・カーアラームがセットされているときにエマージェンシーキー又はカードキーでトランクを解錠すると、カーアラームが作動します。
カーアラームの作動を停止するときは、キーをキースイッチに差し込みAcc 又は ON 位置まで回してください。
＊カーアラーム（盗難防止装置）…36ページをお読みください。

●トランクオープナーによる解錠

＊トランクオート開閉機構付車は、40 ページをお読みください。
・運転席ドアアームレスト下部にあるオープナーを引くと解錠します。



ESA1378Z

知識

・カーアラームのセット中は、トランクオープナーでの解錠はできません。
＊カーアラーム（盗難防止装置）…36ページをお読みください。
・トランクオープナーがキャンセルされているときは、トランクオープナーでの解錠はできません。
＊トランクオープナーのキャンセルのしかた…39ページをお読みください。

●リモコンによる解錠

＊トランクオート開閉機構付車は、42 ページをお読みください。
・トランクに近づき、リモコンのトランクスイッチを約0.5秒間押し続けます。
＊マルチリモートエントリーシステム…29 ページをお読みください。

●リッドの開けかた

＊トランクオート開閉機構付車は、42 ページをお読みください。
・解錠後、トランクリッドを持ち上げ、全開にします。

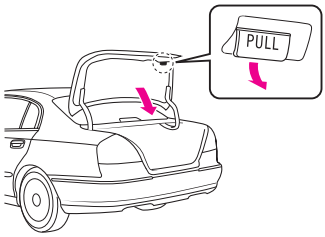
注意

・トランクリッドは必ず全開してください。途中で止めると突然閉まるおそれがあります。
・風が強いときに開けると、風にあおられ急に閉まることがありますので特に注意してください。

●リッドの閉めかた

＊トランクオート開閉機構付車は、42 ページをお読みください。

・トランクリッドを閉め、軽く押しつけると、オートクロージャーが作動し、自動的に閉まります。



ZIC0027

注意

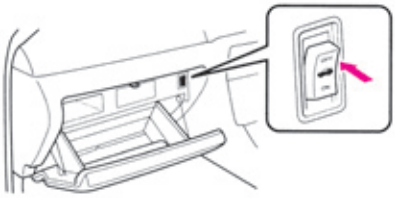
・トランクを閉めるときは、手などを挟まないよう注意してください。
・オートクロージャー作動中は自動的に閉まるため、指を挟まないように注意してください。

アドバイス

・キーをトランク内に置き忘れないでください。

●トランクオープナーのキャンセルのしかた

・グローブボックス内にあるスイッチの OFF 側を押すと、トランクオープナー及びリモコンでは解錠できなくなります。
・ON 側を押すと、トランクオープナー及びリモコンが使えます。



TSA5505Z

知識

・駐車場などで車を預けるときは、スイッチを OFF にし、グローブボックスを施錠してエマージェンシーキーを抜いた電子キーを預けます。

トランクオート開閉機構 グレード

注意

- 周囲に人がいないことを確認してから操作してください。トランクが自動的に開閉作動するため、指や腕、首などを挟まないように注意してください。
- 作動時には警報ブザーが鳴りますので、トランクリッドから離れてください。
- トランクリッドを閉めるときは、周囲に注意し、完全に閉まるまで車から離れないでください。

アドバイス

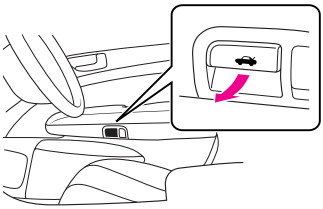
- トランクに荷物を積みすぎないでください。オート閉操作したとき、トランクリッドや荷物が壊れたり、変形するおそれがあります。
- 風が強いときや、トランクリッドに雪が積もっているとき、トランクリッドが凍っているときは作動しない場合があります。
- トランクリッドに重いアクセサリーを付けると、オート作動できない場合があります。
- トランクリッドに寄りかかったままオート作動させたり、トランクリッドの上に荷物を載せて操作しないでください。
- 屋根のある駐車場で作動させる場合は、天井の高さに気をつけてください。天井の低い駐車場で作動させたとき、トランクリッドを傷つけたり、壊したりするおそれがあります。
- 洗車機の中で作動させないでください。
- 連続して開閉操作を行った場合、保護回路が働き、作動できなくなるときがあります。
- オート作動中にエンジンを始動させた場合、誤作動するおそれがあります。

知識

・次のような場合は、トランクオート開閉機構が作動しません。
＊セレクトレバーがP以外の位置のとき。
＊車速が7km/h 以上のとき。
・トランクオート開閉機構作動中に、次のような操作をした場合は、オート作動が解除されます。
＊トランクオープナーを引いたとき。
＊リモコンのトランクスイッチを0.5秒以上押したとき。
＊クローズスイッチを押したとき。
＊セレクトレバーをP以外の位置にしたとき。
＊車速を7km/h 以上にしたとき。
＊オートクロージャー機構が作動する前に、手でトランクリッドの閉作動を止めたとき。

●トランクオープナーの使いかた

・運転席ドアアームレスト下部にあるオープナーを引くと解錠します。
・オープナーを“ピッピッ”と音がするまで約1秒間引き続けると、自動的にトランクが全開します。



ESA1378Z

知識

・カーアラームのセット中は、トランクオープナーでの解錠はできません。
＊カーアラーム（盗難防止装置）…36ページをお読みください。
・トランクオープナーがキャンセルされているときは、トランクオープナーでの解錠はできません。
＊トランクオープナーのキャンセルのしかた…39ページをお読みください。

●リモコンによる開けかた

・トランクに近づき、リモコンのトランクスイッチを約0.5秒間押し続けると、トランクが解錠します。
・トランク解錠後、リモコンのトランクスイッチを約0.5秒間押し続けると、自動的にトランクが全開します。

＊マルチリモートエントリーシステム
…29 ページをお読みください。

注意

・風が強いときはリッドが風にあおられる場合があります。ぶつからないように注意してください。

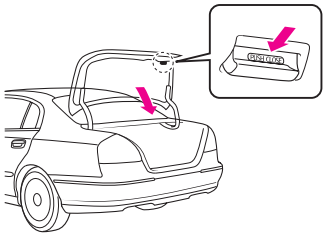
オート作動で開きたくないとき

雨天時などオート作動させたくないときに使います。次の操作では、トランクは解錠のみされます。

・トランクオープナーを引くときは約1秒未満とする。
・リモコンのトランクスイッチは1回のみ押す。

●リッドの閉めかた

・トランクリッドにあるクローズスイッチを“ピッピッ”と音がするまで押すと、自動的にトランクが閉まります。



ZIC0028

注意

・ロック直前には、オートクロージャーが作動します。オートクロージャー作動中は自動的に閉まるため、指を挟まないように注意してください。

アドバイス

・閉じたときにモーター音がすることがありますが、故障ではありません。
・キーをトランク内に置き忘れないでください。

知識

・トランクが全開していないと、クローズスイッチを押しても作動しません。

●挟み込み防止機構

トランクを閉じるときに、トランクリッドと車体の間に異物の挟み込みを感知すると、トランクリッドの下降が停止します。

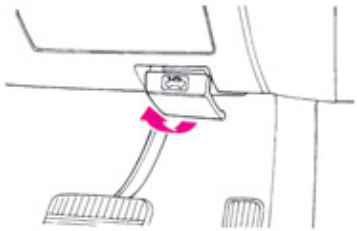
知識

- 故障などでクローズスイッチを押しても閉まらないときは、手でトランクリッドを確実にロックするまで押しつけてください。
- 挟み込み防止機構が作動した後は、トランクリッドは下降しません。手でトランクリッドを軽く押しつけるとオートクロージャーが作動し、自動的にロックします。

エンジンフード

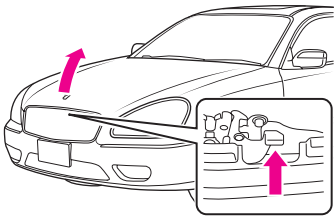
●開けかた

①運転席右下にあるオープナーを引きます。
ロックが外れ、エンジンフードの先端が少し浮き上がります。



TSC1811Z

②エンジンフード先端のすき間に手を入れ、レバーを押し上げながらエンジンフードを持ち上げます。



ZIC0029

注意

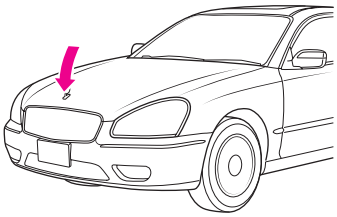
・風が強いときに開けると、風にあおられますので、しっかり持ってゆっくり開けてください。
・エンジンがかかっているとき、エンジンルーム内に手、衣服、工具などを入れないでください。思わぬケガをするおそれがあります。
・エンジン停止直後は、排気系部品、ラジエーターなどの高温部に触れないでください。やけどをするおそれがあります。

アドバイス

・寒冷地仕様車は、ワイパーアームを起こしたままエンジンフードを開けないでください。エンジンフードやワイパーを損傷します。

●閉めかた

エンジンフードをゆっくり降ろし、先端を押しつけ、確実にロックします。



ZIC0030

警告

・走行前に、エンジンフードが確実に閉まっていることを、必ず確認してください。ロックされていないと、走行中エンジンフードが開いて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

・エンジンフードを閉めるときは、手などを挟まないようにゆっくり降ろしてください。

パワーウインドー

キースイッチが ON のとき操作できます。

警告

- パワーウインドーの操作は大人が行い、お子さまには操作させないでください。お子さまが誤って窓ガラスの開閉をすると、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 窓ガラスを閉めるとき、他の人の手、首などを挟まないよう注意してください。特にお子さまには気をつけてください。窓ガラスに挟まれると、重大な傷害につながるおそれがあります。

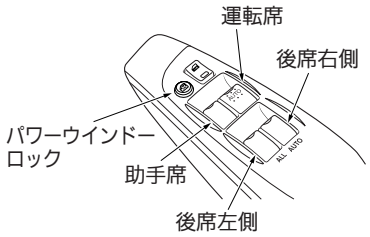
知識

キー OFF 後作動機構

- 窓ガラスはキースイッチを Acc 又は（OFF）、LOCK にした後でも、約15分間は開閉することができます。ただし、その約15分間に運転席ドアを開けて閉める（ドアが開いているときは閉める）と、窓ガラスの開閉はできなくなります。

●運転席での開閉

運転席ドア部のスイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。

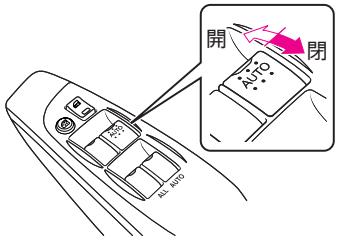


ESD0833Z

運転席の窓ガラスの開閉

運転席スイッチで開閉します。

- スイッチを軽く押している間、開きます。
  強く押すと自動で全開します。
- スイッチを軽く引き上げている間、閉まります。
  強く引き上げると自動で全閉します。
- 自動で開閉中に途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引きます。

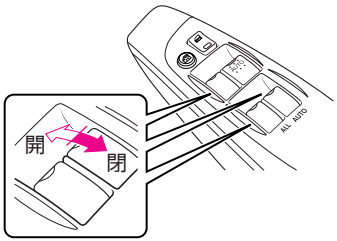


ESD0834Z

助手席・後席の窓ガラスの開閉

各席用のスイッチで開閉します。

・スイッチを軽く押している間、開きます。
強く押すと自動で全開します。
・スイッチを軽く引き上げている間、閉まります。
強く引き上げると自動で全閉します。
・自動で開閉中に途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引きます。



ESD0835Z

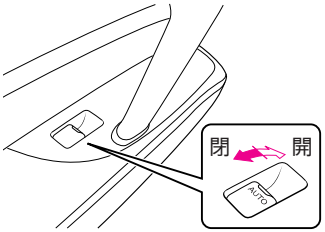
知識

・運転席のパワーウインドーロックスイッチが押し込まれているときは操作できません。

●助手席・後席での開閉

各席ドア部のスイッチで開閉します。

・スイッチを軽く押している間、開きます。
強く押すと自動で全開します。
・スイッチを軽く引き上げている間、閉まります。
強く引き上げると自動で全閉します。
・自動で開閉中に途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引きます。



ESD0836Z

知識

・運転席のパワーウインドーロックスイッチが押し込まれているときは操作できません。

●挟み込み防止機構

窓ガラスを閉めるときに、車体と窓ガラスの間に異物の挟み込みを感知すると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し下降し止まります。

次の場合に作動します。

＊スイッチで自動で閉めているとき。

＊キー OFF 後作動機構で閉めているとき。

注意

・窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まれないよう注意してください。

アドバイス

・故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを上側へ引き続けて閉めてください。

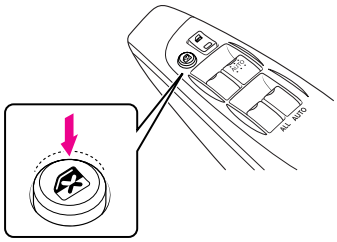
知識

・環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じ衝撃や荷重が窓ガラスに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。

●パワーウインドーのロックのしかた

・運転席のパワーウインドーロックスイッチを押し込むと、助手席と後席の窓ガラスの開閉ができなくなります。

・スイッチを押し戻すと開閉できます。



ESD0837Z

スイッチ位置	作　動
ON	ロックされます。
OFF	ロックが解除されます。

警告

・お子さまを乗せているときは、パワーウインドーロックスイッチを押し込みロックしてください。お子さまが誤って窓ガラスの開閉をすると、重大な傷害につながるおそれがあります。

燃料補給口

燃料補給口は車の右側後方にあります。

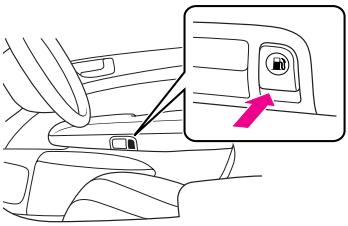
＊セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは、24 ページをお読みください。

⚠ 警告

- 燃料を補給するときは、必ずエンジンを止めてください。
- たばこなど一切の火気は厳禁です。燃料は引火しやすく火災につながるおそれがあります。
- キャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外してください。急に開けると、燃料が補給口より吹き返すおそれがあります。

●開けかた

①運転席ドアアームレスト下部にあるオープナーを押し、リッドを開けます。



ESA1387Z

②キャップを左にゆっくり回して開けます。

・補給時、キャップはリッドの裏側に置きます。



TSC1976Z

●閉めかた

①キャップを“カチッ、カチッ”と、2回以上音がするまで右に回して閉めます。
②リッドを押しつけてロックします。

警告

・キャップは確実に閉めてください。閉まっていないと走行中に燃料が漏れ、火災につながるおそれがあります。

燃料の補給

・燃料タンクの容量は、約80ℓです。

エンジン型式	使用燃料
VK45DE	無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）ガソリン

アドバイス

・指定以外の燃料は補給しないでください。
・本車両には、無鉛プレミアムガソリンをご使用ください。
なお、無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合、無鉛レギュラーガソリンも使用できますが、エンジン出力低下などの現象が発生します。

電動ガラスサンルーフ
オプション

⚠ 警告

・走行中は顔や手、物などを出さないでください。車外のものなどに当たると重大な傷害につながるおそれがあります。また、急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
・サンルーフを開閉するときは、他の人の手や首などを挟まないよう注意してください。重大な傷害につながるおそれがあります。



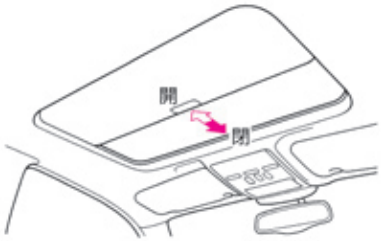
TSA5575Z

⚠ 注意

・屋根に水や雪などがあるときは開けないでください。突然の水や雪におどろき、思わぬ事故につながるおそれがあります。
・開口部に腰を掛けたり、荷物を載せるなど、大きな力をかけないでください。屋根が変形するおそれがあります。
・車から離れるときは、盗難や事故防止のためサンルーフを必ず閉めてください。

●サンシェード（日よけ）の開閉

・キースイッチに関係なく手で開閉できます。
・サンルーフを開けると、サンシェードが連動して開きます。
閉めるときは、連動しません。



TSA5508Z

⚠ 注意

・サンシェードを閉めるときは、サンシェードとルーフの間に指を挟まないようにしてください。

●サンルーフの開閉

キースイッチが ON のとき操作できます。

チルトアップのしかた

・スイッチの UP 側を押している間、後部が上がります。
・スイッチの DOWN 側を押している間、後部が下がります。



TSA5509Z

開閉のしかた

・スイッチを OPEN 側に押している間、開きます。強く押すと自動で全開します。
・スイッチを CLOSE 側に押している間、閉まります。強く押すと自動で全閉します。
・自動で開閉中に途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押します。



TSA5510Z

アドバイス

・チルトアップしているときは、前後の開閉はできません。
・サンルーフの閉め忘れに注意してください。

●挟み込み防止機構

自動でサンルーフを閉めるときに、車体とサンルーフの間に異物の挟み込みを感知すると、サンルーフが停止し、自動で開きはじめます。

注意

・サンルーフを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まないよう注意してください。
・チルトアップしたサンルーフを閉めるときは、挟み込み防止機構は働きません。指などを挟まないように注意してください。

アドバイス

・故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、サンルーフを自動で閉めることができないときは、サンルーフスイッチを閉方向に押し続けて閉めてください。

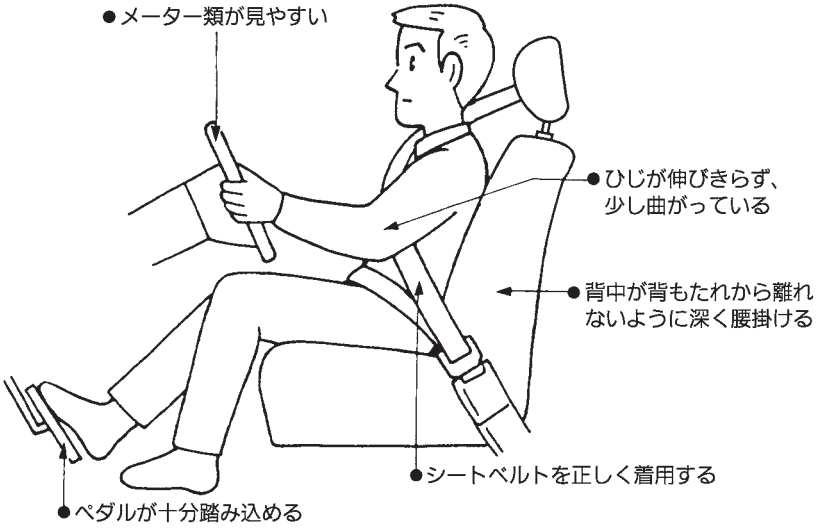
知識

・環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じ衝撃や荷重がサンルーフに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。

ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるよう、ハンドル、シート、ミラーを調節してください。



TCD0008Z

警告

・ハンドル、シート、ミラーの調節は、安全のため必ず走行前に行ってください。走行中にハンドルやシートの調節を行うと、突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ハンドルやシートを調節した後は、確実に固定されたことを確認してください。固定されていないと走行中にハンドルやシートが突然動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

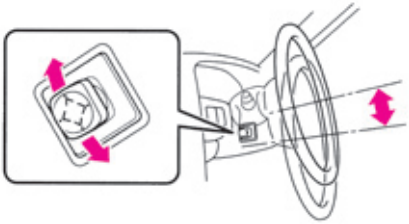
・ハンドルやシートを調節しているときは、動いている部分に手、足などを近づけないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
・背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
・室内を清掃するときやシートの下に落とした物を拾うときなど、シートの下に手を入れるときは十分に注意してください。シートレールやシートフレームに当たりケガをするおそれがあります。

ハンドル

キースイッチの位置に関係なく調節できます。
調節用スイッチはハンドルの左側にあります。

●上下調節

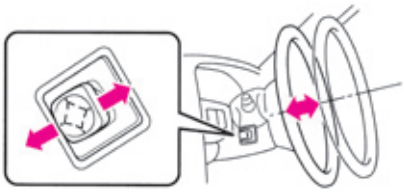
・スイッチを上又は下に押して調節します。



ESA1388Z

●前後調節

・スイッチを前又は後ろに押して調節します。



ESA1389Z

知識

・キースイッチの位置に関係なく、調節した位置が記憶されます。
＊運転席オートドライビングポジションシステム…61ページも合わせてお読みください。

シート

注意

・シートを調節しているときは、シートの下などの動いている部分に手、足などを入れないでください。思わぬケガをするおそれがあります。

前席シート

キースイッチの位置に関係なく調節できます。

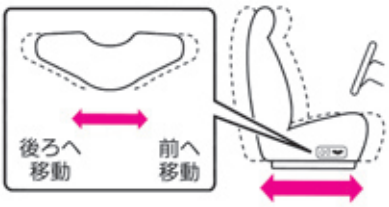
注意

・お子さまには操作させないでください。

●前後位置調節

・スイッチを前又は後ろに押して調節します。

〈運転席〉

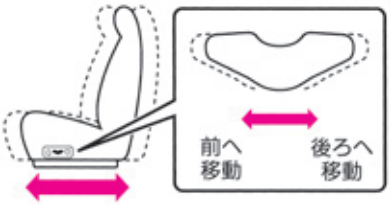


TSA5511Z

知識

・キースイッチの位置に関係なく、調節した位置が記憶されます。
＊運転席オートドライビングポジションシステム…61ページをお読みください。

〈助手席〉

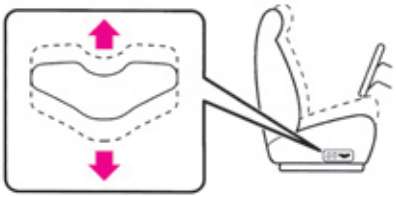


TSA5512Z

＊イラストは、助手席パワーオットマン機構付車です。

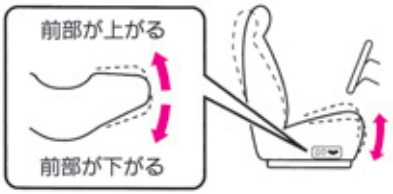
●クッションの上下調節（運転席）

・スイッチ全体を上げるとシート全体及びクッション前部が上がります。
戻すときは、スイッチ全体を下げます。



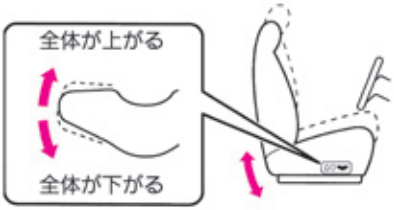
TSD0367Z

・前側を調節するときは、スイッチの前側を上又は下に押します。



TSA5514Z

・シート全体の高さを調節するときは、スイッチの後ろ側を上又は下に押します。

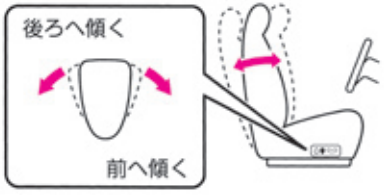


TSF0008Z

●背もたれの角度調節

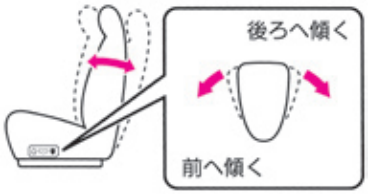
・スイッチを前方又は後方に押して調節します。

〈運転席〉



TSA5516Z

〈助手席〉



TSA5517Z

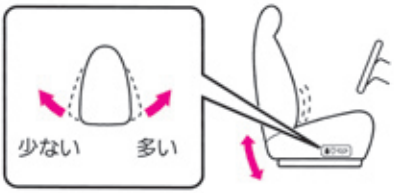
＊イラストは、助手席パワーオットマン機構付車です。

警告

・背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

●腰部の張り出し量の調節（運転席）

・スイッチを前方に押している間、腰部の張り出し量が多くなります。
・スイッチを後方に押している間、張り出し量が少なくなります。



ESD1204Z

●助手席パワーオットマン機構

グレード オプション

＊助手席リラックスシート付車には付きません。

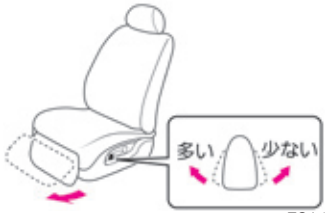
シート下のオットマン（ふくらはぎ部）を調節することで、楽な姿勢をとることができます。また、足の疲労も軽減することができます。

①助手席を最後方へ動かします。

②スイッチを前方又は後方に押して調節します。

③助手席シートの前後位置を調節します。

＊乗降時は、シートに格納してください。



ESA1391Z

注意

・シート位置が前方に調節されたままオットマンを前方に調節すると、足を挟まれるおそれがあります。

・乗降時及び使用後はシート下に格納してください。格納していないと、オットマンにつまずいて転倒するなど、思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

・オットマンの上には乗らないでください。破損するおそれがあります。

●前席ヒーター付シート オプション

キースイッチが ON のとき使えます。

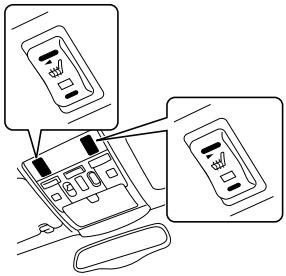
前席シートを温めます。

・スイッチの▬側、又は━側を押します。
（スイッチの表示灯が点灯）

・早く温めたいときはスイッチの▬側を押します。温まってきたらスイッチの━側を押して保温に切り替えます。

・止めるときはスイッチを中立位置にします。

スイッチ位置	働　き
━	保温したいとき。
▬	早く温めたいとき。



ESA1439Z

⚠ 注意

- 長時間の連続使用は低温やけどの原因となります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意して使ってください。
- シートに毛布や座布団をのせたり、日産純正以外のシートカバーを使わないでください。過熱のおそれがあります。
- 固くて重い物や突起がある物をシートにのせたり、ピンや針などの鋭い物でシートをつきささないでください。
- シート清掃時シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤の使用はやめてください。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取ってください。

アドバイス

- バッテリーあがりを防止するためエンジン始動後に使ってください。また、アイドリング状態での連続使用は避けてください。

●前席エアコンディショニングシート

オプション

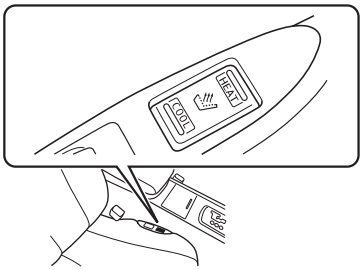
＊車種により、運転席側のみになります。

キースイッチが ON のとき使えます。
シート表面から暖風又は冷風を出し、冷えや蒸れを軽減します。
運転席、助手席それぞれ別々に調節することができます。

〈冷暖房切り替えスイッチ〉

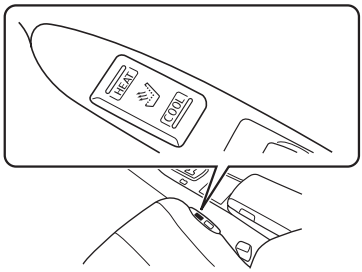
・冷やしたいときは、スイッチの COOL 側を押します。
（スイッチの COOL 表示灯が点灯）
・暖めたいときは、スイッチの HEAT 側を押します。
（スイッチの HEAT 表示灯が点灯）
＊止めるときは、スイッチを中立位置にします。
（スイッチの表示灯が消灯）

〈運転席用〉



ESD0838Z

〈助手席用〉



ESD0839Z

〈風量・温度切り替え調節〉

COOL 側

ダイヤルを回して、温度と風量を調節します。
・数字が大きくなるほど温度が下がり、風量も多くなります。

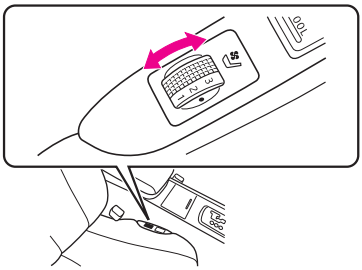
知識

・使用し始めやダイヤル調節をしたあとは風量が少なくなることがありますが、しばらくすると自動的に調節した風量になります。

HEAT 側

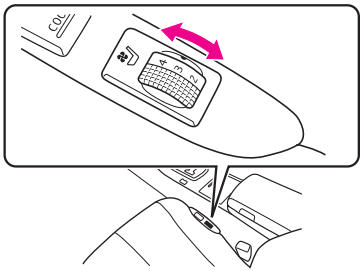
ダイヤルを回して、温度を調節します。（風量は自動調節されます。）
・数字が大きくなるほど、温度が上がります。

〈運転席用〉



ESD0840Z

〈助手席用〉



ESD0841Z

⚠ 注意

- 長時間の連続使用は低温やけどや冷やしすぎの原因となります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意して使ってください。
- シートに毛布や座布団をのせたり、日産純正以外のシートカバーを使わないでください。過熱のおそれがあります。
- 固くて重い物や突起がある物をシートにのせたり、ピンや針などの鋭い物でシートをつきささないでください。
- シート清掃時シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤の使用はやめてください。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取ってください。

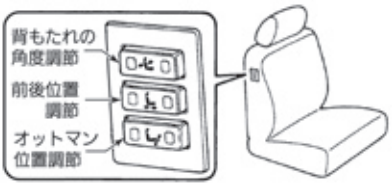
アドバイス

- バッテリーあがりを防止するためエンジン始動後に使ってください。また、アイドリング状態での連続使用は避けてください。
- ほこりなどを集じんするためのフィルターを装着しています。
  快適にお使いいただくため、定期的な交換をおすすめします。
  交換時期は、48,000ｋｍ又は2年ごとです。交換については、日産販売会社にご相談ください。

●運転席や後席からの助手席調節

キースイッチの位置に関係なく調節できます。

助手席シート背もたれの横に付いているスイッチで、運転席や後席から助手席シートを調節することができます。

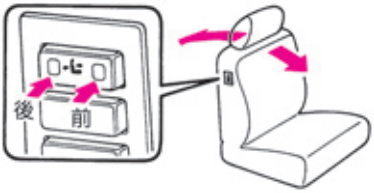


ESA1392Z

＊イラストは、助手席パワーオットマン機構付車です。

〈背もたれの角度調節〉

・スイッチの前側を押すと前方に、後ろ側を押すと後方に傾きます。



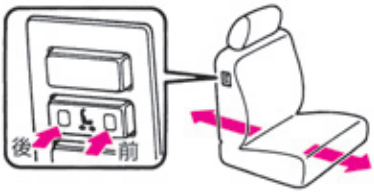
TSC1813Z

注意

・助手席に同乗者がいるときは、背もたれを必要以上に倒さないでください。万一のときシートベルトの機能が十分発揮されないことがあります。

〈前後位置調節〉

・スイッチの前側を押すと前方に、後ろ側を押すと後方に動きます。



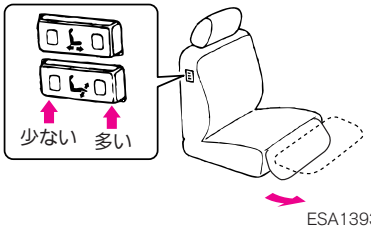
TSC1814Z

〈オットマン位置調節〉

グレード オプション

＊助手席リラックスシート付車には付きません。

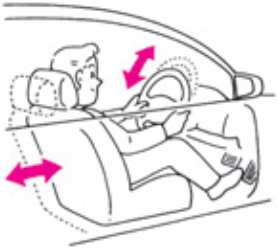
・スイッチの前側を押すと前方に、後ろ側を押すと後方に動き格納します。



ESA1393Z

●運転席オートドライビングポジションシート

・運転席に乗り降りするとき、運転席シートとハンドルが自動的に動き、乗り降りを楽にするシステムです。
・メモリースイッチを押すだけで、あらかじめ記憶したドライビングポジションにシート位置、ハンドル位置が自動的にセットされます。



TSC1815Z

知識

・セレクトレバーがP以外の位置のときは作動しません。
・退避位置にあるとき、シート又はハンドル位置を調節すると元の位置に復帰しません。

〈運転席から降りるとき〉

次の操作をした場合、運転席シートは後方へ移動し、ハンドルは上昇しながら前方へ移動します。（退避位置）

＊キーをキースイッチから抜いたとき。
＊キースイッチをLOCKにし、運転席ドアを開けたとき。
＊キースイッチがAccのとき、運転席ドアを開け、キースイッチをLOCKにしたとき。

アドバイス

後席オートリターン機構付車

グレード オプション

・後席右側が前後位置を調節していないのに動くことがあります。これは運転席シートがオートで後方に移動したとき、後席右側シートも移動することによって後席の足元スペースを確保するためです。手などを挟まないように注意してください。
＊後席オートリターン機構…68ページをお読みください。

〈運転席へ乗ったとき〉

次の操作をした場合、運転席シートは前方へ移動し、ハンドルは下降して、直前に調節されていた位置に戻ります。(復帰位置)

＊キーをキースイッチに差し込んだとき。

＊キースイッチを LOCK にし、運転席ドアを閉めたとき。

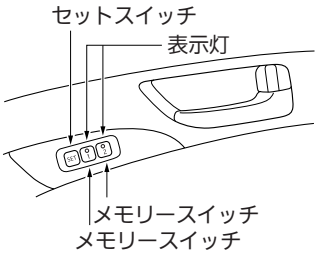
＊キースイッチを Acc から ON にしたとき。

知識

・エンジン始動時には作動が一時停止しますが、エンジン始動後に再開します。

シート位置、ハンドル位置の記憶のしかた

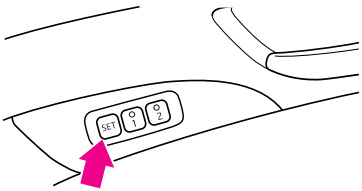
運転席シート位置（前後、上下、背もたれの角度）とハンドル位置を2名分記憶させることができます。



ESD0842Z

①セレクトレバーを P 又は N にします。

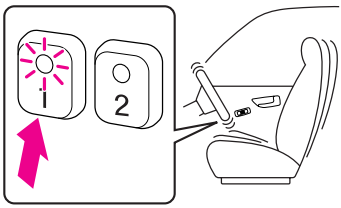
②キースイッチを ON にし、シートとハンドルをお好みの位置に調節した後、セットスイッチを押します。



ESA1395Z

③セットスイッチを押してから5秒以内に、スイッチ内の表示灯が点灯するまでメモリースイッチの1を押します。

＊同様の操作で、メモリースイッチの2にも記憶させることができます。



ESA1369Z

注意

・位置を記憶させるときは、車を安全な場所に停車させてから行ってください。

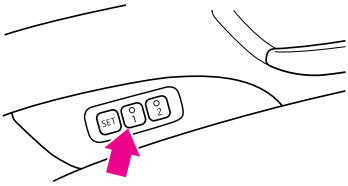
アドバイス

・セレクトレバー位置に関係なく記憶させることができますが、安全のためP、又はN位置で操作してください。
・セットスイッチを押して表示灯が点灯したときは、すでに記憶されています。
・同じスイッチに重ねて記憶させると、以前の記憶は消去されます。
・バッテリーを外すと記憶は消去されます。この場合、キーをキースイッチに差し込み、ドアの開閉操作を2回繰り返してシステムを回復させてから記憶をやり直してください。
・システムが解除されていると、メモリースイッチを押しても自動調節しません。

＊ハンドル位置の調節のしかた…53ページをお読みください。
＊シート位置の調節のしかた…54ページをお読みください。

呼び出しのしかた

①セレクトレバーをPにします。
②キースイッチをONにし、呼び出したい位置のメモリースイッチを押します。



ESA1396Z

また、次の操作でも呼び出すことができます。
・運転席ドアを開け、希望するメモリースイッチを押し、表示灯が点灯してから1分以内にキーをキースイッチに差し込みます。

知識

・呼び出し中はスイッチ内の表示灯が点滅します。呼び出しが完了すると、表示灯が約5秒間点灯後、消灯します。
・シートとハンドルが移動中に以下の操作をした場合、移動が停止します。
＊シート位置、ハンドル位置を調節したとき。
＊セットスイッチ、メモリースイッチの1、メモリースイッチの2のいずれかのうち2つを同時に押したとき。

システムの解除のしかた

・運転席オートドライビングポジションシートのシステムを解除することができます。
＊設定のしかたは、別冊の取扱説明書（車両情報を見る）をお読みください。

知識

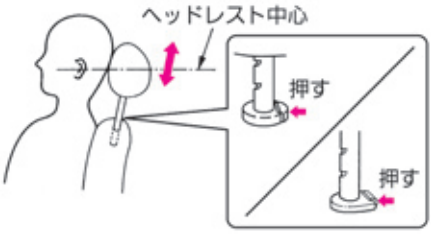
・シートとハンドルが移動中に以下の操作をした場合、移動が停止します。
＊シート位置、ハンドル位置を調節したとき。
＊セットスイッチ、メモリースイッチの1、メモリースイッチの2のいずれかのうち2つを同時に押したとき。

＊セットスイッチ、メモリースイッチ…62 ページをお読みください。

●ヘッドレストの調節

上下調節

ヘッドレストの中心が、耳の高さになるように調節します。
・上げるときは、そのままヘッドレストを引き上げます。
・下げるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。



TSA5518Z

前後調節

ヘッドレストが頭部に軽くあたる程度に調節します。
・ヘッドレストを持って前後に動かします。



TSC1816Z

脱着するとき

・取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。
・取り付けるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを差し込みます。

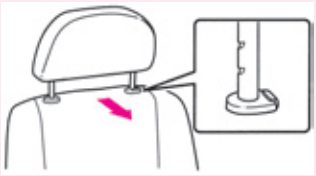
＊助手席可倒式ヘッドレストを脱着するときは、70 ページも合わせてお読みください。

警告

・ヘッドレストは外したまま走行しないでください。万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

注意

・取り付けるときは、前後の向きを間違えないでください。



TSC0648Z

・取り付けた後は、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認してください。万一のとき、ヘッドレストが効果を十分発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

●前席アクティブヘッドレストについて

＊助手席リラックスシート付車は、運転席のみとなります。

追突されたときに背もたれが乗員を受け止める力を利用して、ヘッドレストが瞬時に前上方に移動します。

ヘッドレストの移動により、頭部の過度な後方への傾きを防ぎ、首への負担を軽減します。

いわゆる「むち打ち症」が多く発生するといわれている、低速から中速での追突時に効果を発揮します。



TSC1817Z

注意

・ヘッドレストのステーにテーブル、テレビなどの用品を取り付けないでください。万一の追突時にアクティブヘッドレストの機能が損われるおそれがあります。

知識

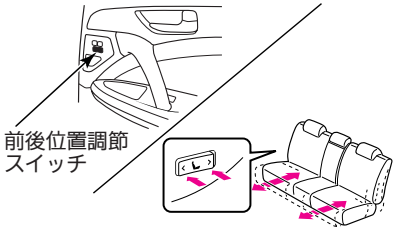
・アクティブヘッドレストは、追突時のみ作動し、追突後は元の位置に戻ります。
・アクティブヘッドレストの調節方法は、通常のヘッドレストと同じです。正しく調節してください。

後席シート

●前後位置調節 グレード オプション

キースイッチの位置に関係なく調節できます。
左側と右側が別々に調節できます。
スイッチは後席左右のドア部にあります。

・スイッチの前側を押すと前方に、後ろ側を押すと後方に動きます。



ESD1009Z

注意

・シートを調節しているときは、シートの下などの動いている部分に手、足などを入れないでください。思わぬケガをするおそれがあります。
・お子さまには操作させないでください。

知識

・クッションの動きに合わせて背もたれも傾きます。

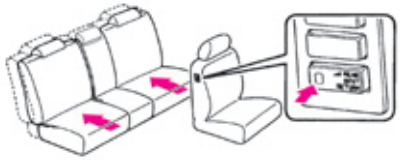
●運転席からの後席調節

グレード オプション

＊助手席パワーオットマン機構付車には付きません。

キースイッチの位置に関係なく調節できます。
助手席シート背もたれの横に付いているスイッチで、後席シートを後方に動かすことができます。

・スイッチの後ろ側を押すと後席シートが後方へ動きます。



TSD0314Z

知識

・このスイッチでは、後席シートを前方に動かすことはできません。

●アームレストの使いかた

・アームレストを前に倒して使います。



TSD0427Z

＊車種によりアームレストの形状は異なります。

●ヘッドレストの調節

〈手動式ヘッドレスト〉 グレード

・ヘッドレストの調節は、前席シートと同じです。
中央席のヘッドレストは上下調節のみとなります。
＊前席シートのヘッドレストの調節…64 ページをお読みください。

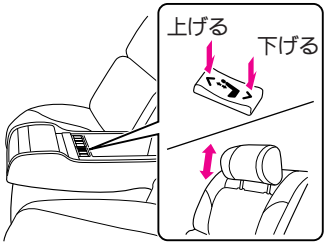
〈電動式ヘッドレスト〉

グレード オプション

キースイッチの位置に関係なく調節できます。
後席左側シートのヘッドレストを電動で調節します。

上下調節

ヘッドレストの中心が、耳の高さになるように調節します。
・スイッチはリヤセンターアームレスト内にあります。
・スイッチの前側を押すと高くなり、後ろ側を押すと低くなります。



ESA1397Z

＊前後調節…64 ページをお読みください。

脱着するとき

・取り外すときは、ヘッドレストをやや強く引き上げます。
・取り付けるときは、ヘッドレストを一番下まで差し込みます。

⚠ 警告

・ヘッドレストは外したまま走行しないでください。万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

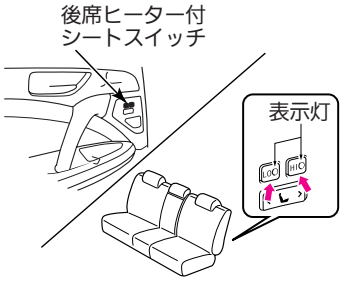
⚠ 注意

・取り付けるときはヘッドレスト底面にある左右の識別マークを確認し、左右を間違えないでください。また、前後の向きも間違えないでください。
・取り付けた後は、軽く引いて抜け出さないことを確認してください。万一のとき、ヘッドレストが効果を十分発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

●後席ヒーター付シート

グレード オプション

キースイッチがONのとき使えます。後席ドア部（助手席側後方）にあるスイッチを操作して、後席シート（助手席側後方）を温めます。スイッチは後席左側のドア部にあります。
・スイッチを押すとスイッチ内の表示灯が点灯し作動します。
　HI …早く温めたいとき
　LO…保温したいとき
・止めるときは、点灯しているスイッチをもう一度押します。



ESD1010Z

注意

- 長時間の連続使用は低温やけどの原因となります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意して使ってください。
- シートに毛布や座布団をのせたり、日産純正以外のシートカバーを使わないでください。過熱のおそれがあります。
- 固くて重い物や突起がある物をシートにのせたり、ピンや針などの鋭い物でシートをつきささないでください。
- シート清掃時シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤の使用はやめてください。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取ってください。

アドバイス

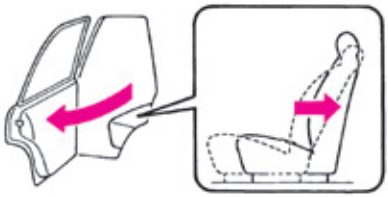
- バッテリーあがりを防止するためエンジン始動後に使ってください。また、アイドリング状態での連続使用は避けてください。

●後席オートリターン機構

グレード オプション

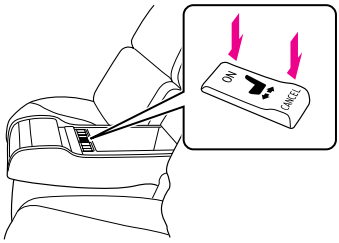
キースイッチの位置に関係なく使えます。

- 後席ドアを開けると、開けた側のシートが一番後方へスライドし、乗り降りを楽にします。



TSA5601Z

- オートリターン機構を使わないときは、リヤセンターアームレスト内のキャンセルスイッチのCANCEL側を押します。（左右両席共にキャンセルされます。）
- スイッチのON側を押すとオートリターン機構が作動可能となります。



ESA1398Z

注意

・シート移動中は、シートの下などの動いている部分に手などを入れないでください。思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

・前後位置調節をしていないのに後席右側が動くことがあります。これは運転席シートがオートで後方に移動したとき、後席右側シートも移動することによって後席の足元スペースを確保するためです。手などを挟まないように注意してください。
＊運転席オートドライビングポジションシステムについては…61ページをお読みください。

知識

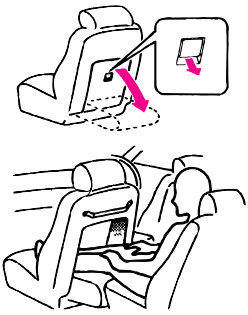
・シートが移動中に以下の操作をした場合、移動が停止します。
＊後席の前後位置調節をしたとき。
＊キャンセルスイッチを押したとき。

●助手席リラックスシートの使いかた

グレード オプション

後席から助手席クッションに足を伸ばすことができます。

①助手席の背もたれを前傾にし、取っ手を引いて背もたれの中央部を倒します。
②助手席シートの前後位置、背もたれの角度を調節します。
③背もたれの空間に足を入れて伸ばします。



TSC1820Z

＊背もたれ中央部を元に戻すときは、“カチッ”と音がするまで押し戻します。

注意

・押し戻したときは確実に固定されていることを確認してください。助手席に座ったときに背もたれの一部が急に倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

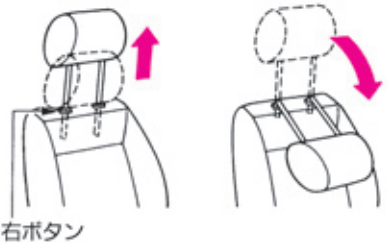
＊助手席シートの前後位置、背もたれの角度調節は、60ページの「運転席や後席からの助手席調節」をお読みください。

●助手席可倒式ヘッドレストの使いかた

グレード オプション

助手席リラックスシートのヘッドレストは前へ折りたたむことができます。

・右側のボタンを押しながらヘッドレストを一番上まで引き上げ、ヘッドレストの後部を押すと、前へ折りたためます。
・取り外すときは、左右のボタンを押したままヘッドレストを引き上げます。
・取り付けるときは、左右のボタンを押しながらヘッドレストを差し込みます。



TSC1821Z

警告

・ヘッドレストは外したまま走行しないでください。万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

注意

・取り付けるときは、前後の向きを間違えないでください。
・取り付けた後は、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認してください。
万一のとき、ヘッドレストが効果を十分発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

・前へ折りたたんだ状態でヘッドレストに寄りかかったり、重い物をぶらさげないでください。破損するおそれがあります。

●シートバイブレーターの使いかた

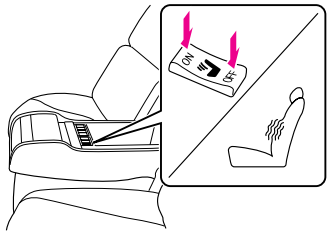
グレード オプション

キースイッチがONのとき使えます。後席左側の背もたれ部及び助手席リラックスシート部を振動させることができます。

スイッチは、リヤセンターアームレスト内にそれぞれあります。

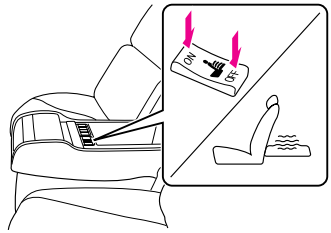
・スイッチのON側を押すと振動します。
約25分間作動後、自動的に止まります。
・作動を止めるときは、スイッチのOFF側を押します。
・スイッチのON側を押し続けると振動が繰り返し強くなったり弱くなったりします。スイッチから手を離すと離した時点の強さで振動し続けます。

〈腰用〉



ESA1399Z

〈ふくらはぎ用〉



ESA1400Z

注意

・次のような場合には、ご使用前に医師にご相談ください。
＊妊娠中、産後、炎症、発疹、悪性腫瘍、心臓疾患、その他の安静を必要とするとき、及び身体に異常があるとき。
・お子さまには使用しないでください。
・食後すぐの使用又は長時間の使用は避けてください。
・使用中に気分が悪くなったときは、ただちに使用を中止してください。
・万一故障したときは、使用を中止し、日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

・消費電力が大きいのでエンジンを始動してから使ってください。また、アイドリング状態での連続使用はできるだけ避けてください。バッテリーあがりの原因になります。

チャイルドシートについて

警告

・後席パワーシート付車にチャイルドシートを取り付けるときは、チャイルドシートを正しく機能させるために後席シートを最後方まで下げた位置で取り付け、使用してください。また、チャイルドシートを取り付けたままシートの前後位置を調節しないでください。チャイルドシートや後席シートが変形したり、破損するおそれがあります。

選択の目安

・チャイルドセーフティシートには次のような種類があります。年齢、体格で使い分けてください。
・ご使用、ご購入の際は、日産販売会社にご相談ください。

	体重（kg）	参考身長（cm）	参考年齢
チャイルドセーフティシート（後向き用）	新生児～13未満	新生児～85未満	新生児～18か月頃
チャイルドセーフティシート（前向き用）	9～18以下	70～100以下	9か月頃～4才頃
ジュニアセーフティシート	15～36以下	100～150以下	3才頃～12才頃

＊チャイルドシート固定機構付シートベルトについて…82 ページも合わせてお読みください。

警告

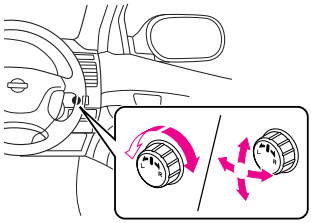
・助手席に乳児用チャイルドシートを取り付けたり、チャイルドセーフティシートを後ろ向きに取り付けることはやめてください。SRS エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
・チャイルドシートをお使いになるときは後席に取り付けてください。やむを得ず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。なお、乳児用チャイルドシートなど後ろ向きにしか使用できないシートは、必ず後席に取り付けてください。また、チャイルドシートは、走行する前に確実に固定されていることを確認してください。（チャイルドシートの取り扱いかたは、それぞれの商品に付属の取扱説明書に従ってください。）
・一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分発揮しないことがあります。事故などにより衝撃を受けたり傷がついた場合は、日産販売会社に点検を依頼してください。
・シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分発揮しないことがあります。

ドアミラー

キースイッチが Acc 又は ON のとき操作できます。
スイッチはハンドルの右側にあります。

●角度調節

①スイッチを回し、調節する側を選びます。
（左側は L、右側は R）
②スイッチを上下・左右に動かし、後方が十分確認できる位置に調節します。



ESA1401Z

自動防眩ドアミラー

運転席側ドアミラーは、ルームミラーの防眩切り替えが自動のとき、連動して防眩切り替えを自動的に行い、夜間走行時、後続車のヘッドランプのまぶしさを防ぎます。
＊ルームミラー…76 ページをお読みください。

警告

・鏡面の調節は走行前に行ってください。走行中の調節は前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

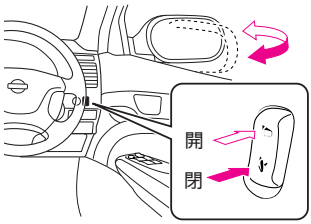
・ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。
・ミラーは車体より張り出しています。ぶつけないようにしてください。

知識

・助手席側ドアミラーはまぶしさを低減したブルー鏡を使用しています。

●格納するとき

・スイッチの下側を押すと、左右のミラー本体が格納されます。
・スイッチの上側を押すと、元に戻ります。



ESA1402Z

注意

・ミラーが動いているときは手を触れないでください。手を挟んだり、ミラーの故障の原因になるおそれがあります。
・ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができないため危険です。
・手動でも開閉できますが、手動で開くと走行中ミラーが前方に倒れるおそれがあります。必ず電動で操作してください。

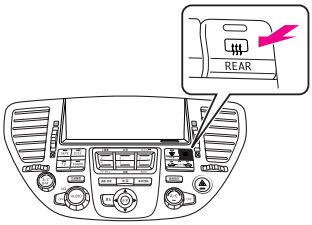
アドバイス

・手動で開閉した場合、格納スイッチの位置により、キースイッチを Acc 又は ON にしたときにミラーが動き出すことがあります。
・スイッチの上側が押されたままでミラーを前方に倒したとき、キースイッチを Acc 又は ON にするとミラーが更に前方に倒れます。元の状態に戻すときは一度格納操作をしてください。
・スイッチ操作を連続して行うと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから作動させてください。

●ヒーター付ドアミラーの使いかた

キースイッチがONのとき使えます。
ドアミラーに付いた霜やくもりを取るときに使います。

・集中コントロールスイッチ部にあるリヤウインドーデフォッガースイッチを押すと作動します。
（スイッチの表示灯が点灯）
約15分間作動後、自動的に切れます。
・作動を途中で止めるときは、スイッチをもう一度押します。
（スイッチの表示灯が消灯）



ESD0868Z

アドバイス

・連続して長時間使用しないでください。消費電力が大きいためバッテリーあがりの原因になります。
・ドアミラーヒーターのスイッチとリヤウインドーデフォッガースイッチは共用です。スイッチを押すとリヤウインドーデフォッガーも同時に作動します。

知識

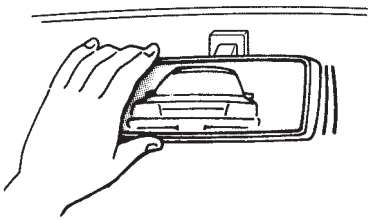
・タイマーの作動時間を約30分間に延長することができます。
＊設定のしかたは、別冊の取扱説明書（車両情報を見る）をお読みください。

＊リヤウインドーデフォッガースイッチ…127 ページをお読みください。

ルームミラー

●角度調節

・ミラー本体を動かし、後方視界が十分確認できる位置にします。



TSD0315Z

警告

・角度の調節は走行前に行ってください。走行中の調節は前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●防眩の切り替え

キースイッチが ON のとき作動します。

防眩切り替えを自動的に行い、夜間走行時、後続車のヘッドランプのまぶしさを防ぎます。通常は自動切り替え（AUTO）の状態でお使いください。

〈自動切り替え〉

・AUTO スイッチを押します。（スイッチの表示灯が点灯）

・まぶしさに応じて自動的にミラーの反射率が切り替わります。

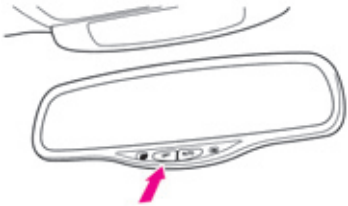


ESA1404Z

〈手動切り替え〉

・OFF スイッチを押します。（AUTO スイッチの表示灯が消灯）

・ミラーの反射率を高反射率側に固定します。



ESA1405Z

アドバイス

・照度センサー部にマスコットを下げたり、ガラスクリーナーを吹きかけたりしないでください。感度が悪くなり、正常な作動ができなくなります。



ESA1406Z



TSA1078Z

シートベルトの着用のしかた

シートベルトの着用について

・走行する前に全員が必ずシートベルトを着用してください。
・シートベルトは正しい姿勢で正しく着用しないと、シートベルトの効果が十分発揮できなかったり、ベルトによりケガなどをするおそれがあります。
・次の使用方法、警告にしたがって正しく着用してください。



TCD0009Z

警告

・走行する前に全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
・シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。着用するときは以下のことを必ずお守りください。
＊運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
＊ベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使わないでください。
＊ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
＊腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腹部に強い圧迫を受けることがあります。
＊肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分掛かっていないと、上半身を拘束しないことがあります。
＊シートベルトをクリップなどで故意にたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果を発揮しないことがあります。

警告

・シートの背もたれは倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

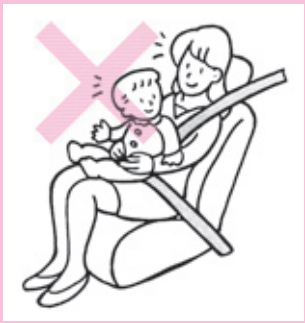


TSC0653Z

・バックルや巻き取り装置の中に異物を入れないでください。シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。

・妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは、確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。

・お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。



TSC0654Z

・シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドセーフティシートやジュニアセーフティシートをお使いください。また、ひとりで座れない小さなお子さまには乳児用チャイルドシートをお使いください。

・一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分発揮しないことがあります。事故などにより衝撃を受けたり傷がついた場合は、日産販売会社に点検を依頼してください。

警告

・シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分発揮しないことがあります。

知識

・運転者がシートベルトを着用していないと、警告灯や警報が作動します。
＊シートベルト警告灯…110ページをお読みください。
＊シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）…117ページをお読みください。
・チャイルドシートは年齢、体格に応じて使い分けるように設定しています。詳しくは72ページをお読みください。

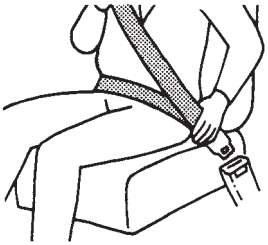
シートベルトの着用のしかた

ELR（緊急固定）付3点式シートベルト

通常は身体の動きにあわせて伸縮しますが、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックし身体を固定します。

●着用のしかた

・タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。
・ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。



TCA0043Z

・ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



TSC0655Z

アドバイス

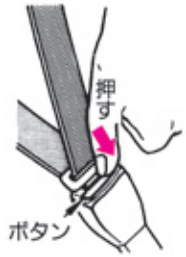
・ベルトがロックして引き出せないときは、ベルトをゆるめ再度ゆっくり引き出してください。

知識

テンションリデューサー機構
（前席：標準装備 / 後席 グレード オプション）
・キースイッチ ON で、シートベルトを装着した状態から一旦シートベルトを30～50cm 引き出すと、巻き取り力が弱くなり、快適な装着感が得られます。

●外しかた

・バックルのボタンを押し、タングを持ってゆっくり戻します。



TSC0656Z

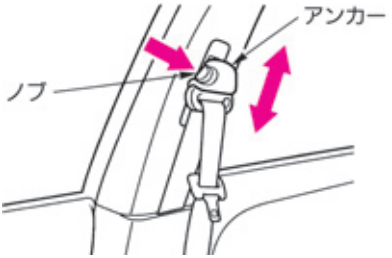
アドバイス

・ベルトを外すとき、タングが急に戻ることがありますので、タングから手を離さないでください。

●肩ベルトのアンカー位置調節（前席）

肩ベルトのアンカー位置の高さを4段階に調節できます。
ベルトが肩にきちんと掛かる位置に調節します。

・アンカー部を上げるときはそのまま押し上げ、下げるときはノブを押しながら下げます。ベルトが肩に確実に掛かる位置に調節し手を離します。
・手を離した後、“カチッ”と音がするまで動かし固定させます。



TSC1824Z

警告

・肩ベルトは確実に肩に掛かるように、アンカー位置を調節してください。また、アンカーは確実に固定されていることを確認してください。ベルトが肩から外れたり、アンカーが固定されていないと、万一のときシートベルトが十分効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

チャイルドシート固定機構付シートベルトについて

後席にチャイルドシート（別売り）を容易に、しっかりと固定できるシートベルトを装備しています。チャイルドシート固定機構が働くと、ベルトが引き出し方向に動かないようにロックされるので、ロッキングクリップを使わずにチャイルドシートを固定することができます。

●固定のしかた

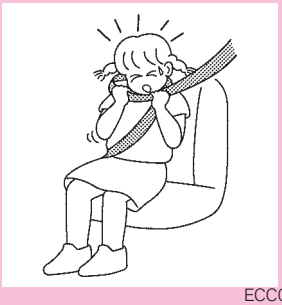
①チャイルドシートを取り付けます。（チャイルドシートの取り扱いかたは、それぞれの商品に付属の取扱説明書に従ってください。）
②タングを持ってベルトをゆっくり引き出し、タングをバックルに差し込みます。
③肩ベルトをゆっくりと全部引き出します。（自動的にチャイルドシート固定機構が作動します。）
④ベルトのたるみがなくなるまで肩ベルトを巻き取らせ、チャイルドシートをしっかりと固定しロックさせます。
⑤チャイルドシートをゆさぶり固定されていることを確認します。



ESA1407Z

警告

・チャイルドシートは確実に固定してください。確実に固定されていないと、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
・お子さまをチャイルドシート固定機構付シートベルトで遊ばせないでください。ベルトを首や身体に巻きつけ遊んでいるときに誤ってシートベルト固定機構を作動させてしまうと、シートベルトが引き出し方向に動かなくなるため、窒息などの重大な傷害につながるおそれがあります。万一、誤ってそのような状態になってしまい、バックルも外せないときは、シートベルトをハサミなどで切断してください。



ECC0014Z

注意

・炎天下では、車内に置いたままにしたチャイルドシートは高温になります。やけどをしないように、お子さまを座らせる前にはバックルやシート表皮が熱くないか確認してください。

アドバイス

・後席中央席にもチャイルドシートを取り付けることができますが、確実に固定できない場合や種類により取り付けられないものがありますので、できるだけ左右席に取り付けてください。

●解除のしかた

①バックルのボタンを押してベルトを外します。
②ベルトを全部巻き取らせます。（自動的にチャイルドシート固定機構が解除します。）

注意

・チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、トランク内などに収納してください。室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

・通常のシートベルト着用時に、身体を大きく動かすなどしてシートベルトが全部引き出されると、チャイルドシート固定機構が作動しロックします。その場合は、一度ベルトを全部巻き取らせ、ロックを解除してから着用し直してください。

SRS エアバッグ

SRS エアバッグの作動

SRS エアバッグは、キースイッチが ON のとき作動可能です。

＊SRS とは、Supplemental Restraint System の略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

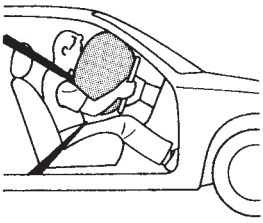
●運転席・助手席 SRS エアバッグシステム

万一、正面衝突など車両前方から強い衝撃を受けたとき SRS エアバッグ（運転席・助手席）が瞬時に作動し、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和するシステムです。シートベルトと併用することで、安全性を高めます。

シートベルトは必ず着用してください。

〈運転席〉

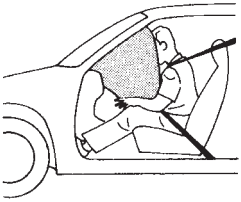
・ハンドル部に格納された運転席 SRS エアバッグが瞬時に膨らみます。



TCA0050Z

〈助手席〉

・助手席側インストルメントパネル部に格納された助手席 SRS エアバッグが瞬時に膨らみます。同乗者がいなくても、運転席と同時に作動します。



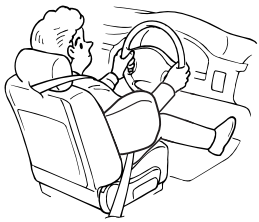
TCA0051Z

●運転席・助手席 SRS サイドエアバッグシステム

万一、側面衝突など真横から側面に強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側の SRS サイドエアバッグ（運転席又は助手席）が瞬時に作動し、シートベルトを着用した乗員の主に胸部にかかる衝撃を緩和するシステムです。

・運転席、助手席シート背もたれ側面（外側）に格納された SRS サイドエアバッグが瞬時に膨らみます。助手席シートは助手席に乗員がいなくても作動します。

〈運転席〉



ESA1408Z

〈助手席〉



ESA1409Z

● SRS カーテンエアバッグシステム

万一、側面衝突など真横から側面に強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側の SRS カーテンエアバッグが瞬時に作動し、シートベルトを着用した乗員の主に頭部にかかる衝撃を緩和するシステムです。

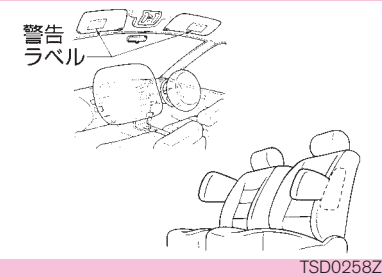
・左右のルーフサイドに格納された SRS カーテンエアバッグが瞬時に膨らみます。助手席と後席左右席は乗員がいなくても作動します。



TSA5603Z

⚠ 警告

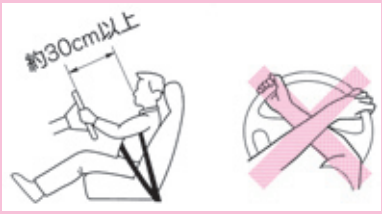
・SRS エアバッグは、シートベルトを補助する装置です。シートベルトに代わる装置ではありません。SRS エアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。必ずシートベルトを着用してください。
・シートベルトは正しい姿勢で正しく着用してください。正しく着用しないと SRS エアバッグの効果が十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。
・SRS エアバッグと乗員の間に部用品（AV 機器、アクセサリーなど）を取り付けないでください。SRS エアバッグが作動したときの衝撃で飛び、重大な傷害につながるおそれがあります。



TSD0258Z

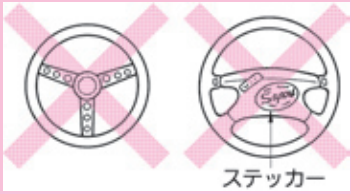
・電気テスターを使って SRS エアバッグの回路診断をしたり、回路を変更しないでください。SRS エアバッグが誤って作動したり、正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
・車両にエアロパーツなどを取り付けたり、サスペンションを改造するときは日産販売会社にご相談ください。
不適正な取り付けや改造をすると、衝撃を正しく検知できず、SRS エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
・車両前部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。不適切に修理すると SRS エアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

〈運転席 SRS エアバッグシステム〉
・ハンドルから顔をできるだけ（約 30cm 以上）離し、ハンドルにもたれかかるなど SRS エアバッグ格納部に手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。また、内がけでのハンドル操作はしないでください。SRS エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



TSC0659Z

・不適正なハンドルに交換したり、センターパッド部（SRS エアバッグ格納部）にステッカーなどを貼らないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



TSC0660Z

・前面ガラスにアクセサリーなどを付けないでください。SRS エアバッグが作動したときの衝撃で飛び、重大な傷害につながるおそれがあります。
・ハンドルまわり、センターコンソールまわりを修理するときは、日産販売会社にご相談ください。不適切に修理すると SRS エアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

警告

〈助手席 SRS エアバッグシステム〉

・インストルメントパネルの SRS エアバッグ格納部に手や足を置いたり、顔や胸などを近づけないでください。また、お子さまを SRS エアバッグ格納部の前に立たせたり、助手席で抱いて座らないでください。お子さまは助手席を避けて後席に乗せてください。
SRS エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

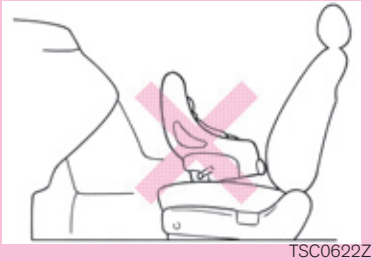


TSC0661Z



TSC0662Z

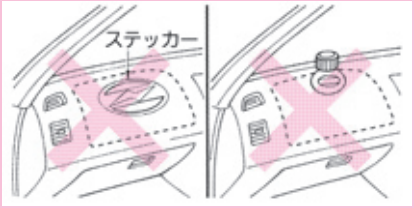
・助手席に乳児用チャイルドシートを取り付けたり、チャイルドセーフティシートを後ろ向きに取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。



TSC0622Z

・チャイルドシートをお使いになるときは後席に取り付けてください。やむを得ず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。
なお、乳児用チャイルドシートなど後ろ向きにしか使用できないシートは、必ず後席に取り付けてください。また、チャイルドシートは、走行する前に確実に固定されていることを確認してください。（チャイルドシートの取り扱いかたはそれぞれの商品に付属の取扱説明書に従ってください。）

・インストルメントパネル上面（SRS エアバッグ格納部）にステッカーなどを貼らないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



TSA5582Z

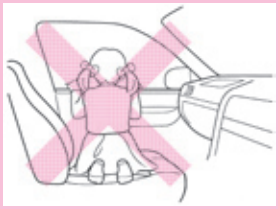
・インストルメントパネル上面（SRS エアバッグ格納部）及び周辺部にアクセサリーや芳香剤などの物を置かないでください。SRS エアバッグが作動したときの衝撃で飛び、重大な傷害につながるおそれがあります。

・インストルメントパネルまわり、センターコンソールまわりを修理するときは日産販売会社にご相談ください。不適切に修理すると SRS エアバッグが誤って作動したり、正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

警告

〈運転席・助手席 SRS サイドエアバッグシステム及び SRS カーテンエアバッグシステム〉

・前席シート背もたれ側面（外側）の SRS サイドエアバッグ及び SRS カーテンエアバッグシステム格納部に手、足、顔を不必要に近づけないでください。前席・後席に乗るときは窓から腕を出したりドアにもたれかからないでください。また、後席に乗るときは前席の背もたれを抱えないでください。SRS サイドエアバッグ及び SRS カーテンエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。特にお子さまには注意してください。



TSC0663Z



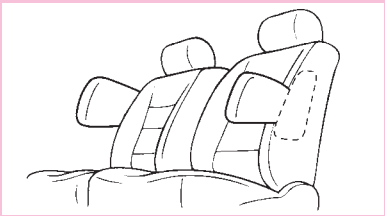
TSC0664Z

・シートカバーは前席シート背もたれ側面（SRS サイドエアバッグ格納部）を覆わないものをお使いください。カバーで覆うと SRS サイドエアバッグの機能が損われるおそれがあります。日産純正シートカバーをおすすめします。

・前席シート背もたれ側面（SRS サイドエアバッグ格納部）付近に傘やカバンなどの物を置かないでください。SRS サイドエアバッグが作動したときの衝撃で飛ばされたり、SRS サイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

・前席シートまわり、フロント、センター及びリヤのピラーまわり、センターコンソールまわりルーフサイド部を修理するときは日産販売会社にご相談ください。不適切に修理すると SRS サイドエアバッグ及び SRS カーテンエアバッグが誤って作動したり、正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

・前席ドアをガラスが割れるほど強く閉めないでください。SRS サイドエアバッグ及び SRS カーテンエアバッグが誤って作動するおそれがあります。



ESA1412Z

注意

- キースイッチ ON 後約7秒間はメーター内の SRS エアバッグ警告灯が点灯し、システムチェックを行うため、SRS エアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。
- SRS エアバッグは膨らんだ後、高温になりますので30分以内はさわらないでください。やけどをするおそれがあります。
- 廃車にするときは、決められた手順で SRS エアバッグを作動させる必要がありますので、日産販売会社にご相談ください。不適切に行うと SRS エアバッグの作動により、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- SRS エアバッグは、一度膨らむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。

知識

- SRS エアバッグは、とっさの事故から乗員の生命を守るために、高温のガスにより高速で膨らみます。事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- SRS エアバッグが膨らむとき、作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。また、発生するガスにより、むせることがありますが毒性はありません。ただし、SRS エアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。
  皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じることがあります。
- 運転席、助手席 SRS エアバッグは膨らんだ後すぐにしぼむので、視界の妨げになることはありません。
- 助手席 SRS エアバッグが作動した衝撃で前面ガラスが割れることがあります。

SRS エアバッグが作動するとき・しないとき

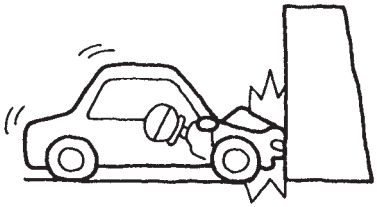
正面衝突時や側面衝突時において、乗員がシートベルトを正しく着用していても、重大な傷害を受けるおそれのあるような衝撃を受けたとき作動します。車体の衝撃吸収ボディ構造により、衝突時のエネルギーは車両で吸収又は分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃は強くならない場合があります。したがって、車両の損傷が大きくても SRS エアバッグが必ずしも作動するとはかぎりません。

〈運転席・助手席 SRS エアバッグシステムの作動〉

●作動するとき

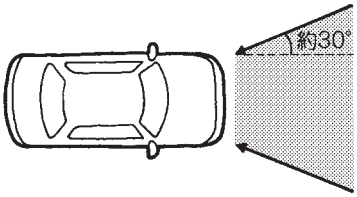
次のような衝撃が強いときに作動します。

・25km/h 以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき



TCA0063Z

・車両前方左右、約30度以内の方向から強い衝撃（左図と同等）を受けたとき



TCA0064Z

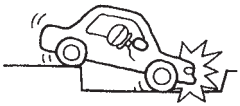
次のように、走行中路面などから車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。

・高速で縁石などに衝突したとき



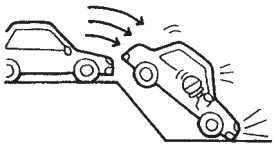
TCA0065Z

・深い穴や溝に落ち込んだとき



TCA0066Z

・ジャンプして地面にぶつけたとき



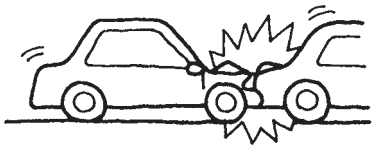
TCA0067Z

これらの場合、車両の損傷は少なく見えても、乗員に加わる衝撃は思った以上に強いことがあり、これを検知して乗員を守るために SRS エアバッグを作動させています。

●作動しにくいとき

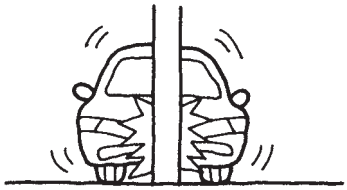
次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。
衝突したものが変形したり移動した場合、また、衝突したものの形状や衝突の状態によっても衝突時の衝撃が緩められるため SRS エアバッグは作動しにくくなります。

・停車している同クラスの車に約 50km/h 以下の速度で衝突したとき



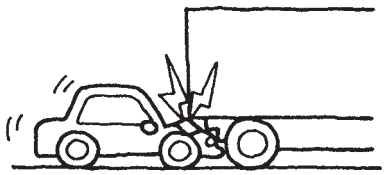
TCA0068Z

・衝突時に折れない電柱などに約 30km/h 以下の速度で正面衝突したとき



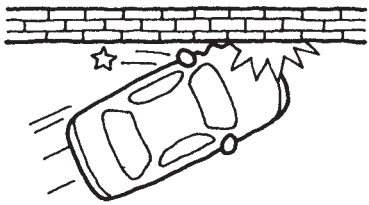
TCA0069Z

・トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき



TCA0070Z

・斜め前方からガードレールなどに衝突したとき

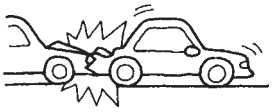


TCA0071Z

●作動しないとき

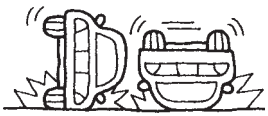
次のようなときは作動しません。

・横方向や後ろから衝突されたとき



TCA0072Z

・横転、転覆したとき



TCA0073Z

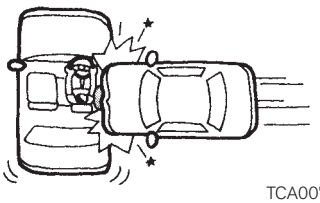
・一度、SRS エアバッグが作動した後の衝突

〈運転席・助手席 SRS サイドエアバッグシステム、SRS カーテンエアバッグシステムの作動〉

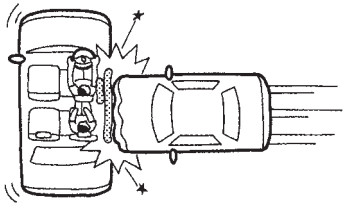
●作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

・一般的な乗用車に25km/h 以上の速度で側面に真横から衝突されたとき



TCA0074Z



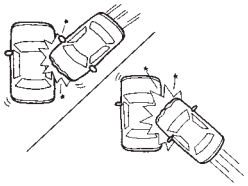
〈SRSカーテンエアバッグシステム〉

TCA0580Z

●作動しにくいとき

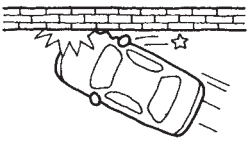
次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。
衝突したものが変形したり移動した場合、また、衝突したものの形状や衝突の状態によっても衝突時の衝撃が緩められるため SRS サイドエアバッグ及び SRS カーテンエアバッグシステムは作動しにくくなります。

・側面に斜め方向から衝突されたとき



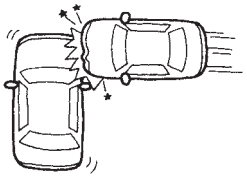
TCA0581Z

・斜め前方から衝突したとき



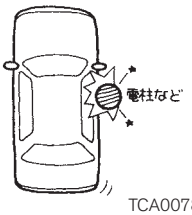
TCA0076Z

・エンジンルーム（トランクルーム）に衝突されたとき



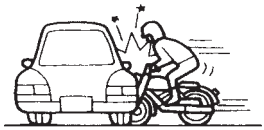
TCA0077Z

・電柱などに衝突したとき



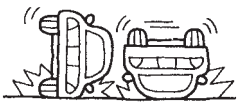
TCA0078Z

・側面にバイクが真横から衝突したとき



TCA0492Z

・横転、転覆したとき

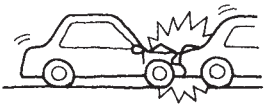


TCA0080Z

●作動しないとき

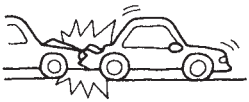
次のようなときは作動しません。

・停車中や走行中の車に正面衝突したとき



TCA0081Z

・後ろから衝突されたとき



TCA0082Z

・一度、SRS サイドエアバッグ、SRS カーテンエアバッグが作動した後の衝突

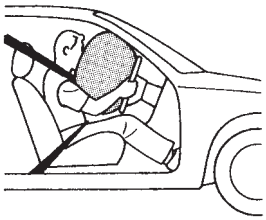
前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト

前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルトの作動

正面衝突など車両前方から強い衝撃を受けたとき、装着したシートベルトを瞬時に巻き取るプリテンショナーと乗員に加わるシートベルトの拘束力を一定レベルに保つロードリミッターが運転席と助手席シートベルトに付いています。

・運転席・助手席 SRS エアバッグシステムと同時に作動します。

＊ SRS エアバッグが作動するとき・しないとき…90 ページを合わせてお読みください。



TCA0050Z

警告

・使用方法は通常のシートベルトと同じです。正しく着用しないと、プリテンショナー及びロードリミッターの効果が十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。

注意

・キースイッチ ON 後約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーは作動しません。SRS エアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

プリテンショナーシートベルト付車の取り扱いについて

警告

・プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってプリテンショナーのシステムの回路診断をしないでください。誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

注意

・廃車にするときは、決められた手順でプリテンショナーを作動させる必要がありますので、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

・プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。
・一度プリテンショナーが作動した後は再度大きい衝撃が加わっても作動しません。
・プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

前席緊急ブレーキ感応型プリクラッシュシートベルト

グレード オプション

前席緊急ブレーキ感応型プリクラッシュシートベルトの作動

＊前席緊急ブレーキ感応型プリクラッシュシートベルトは、以下プリクラッシュシートベルトと称します。

運転者のブレーキ操作（踏み込み速度と踏み込み量）から車両のコントロールユニットが緊急ブレーキであることを判断すると、電動モーターでシートベルトを巻き取り、ベルトのたるみを減少させます。
また、インテリジェントブレーキアシストが作動した場合も同様にシートベルトが巻き取られます。
＊インテリジェントブレーキアシスト…195 ページをお読みください。

警告

・使用方法は通常のシートベルトと同じです。正しく着用しないと、プリクラッシュシートベルトの効果が十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。
・プリクラッシュシートベルトを過信しないでください。運転するときは常に周囲の状況、天候、路面状況に注意し、急ブレーキをかけなくても停止できるように心がけてください。

注意

・緊急ブレーキやインテリジェントブレーキアシストが必要な状況でも、シートベルト着用していないとプリクラッシュシートベルトは作動しません。
・インテリジェントブレーキアシストの作動が必要な状況以外では、ブレーキを強く踏まないとプリクラッシュシートベルトは作動しません。
＊インテリジェントブレーキアシスト…195ページをお読みください。

知識

・セレクトレバーがRのときは、後退操作の妨げになるため、プリクラッシュシートベルトは作動しません。
・服装によって、プリクラッシュシートベルトの巻き取り量は異なります。
・積雪路や凍結路及びぬれた路面では、緊急ブレーキが必要ないように十分に走行速度を落とし、注意して運転してください。

アドバイス

・プリクラッシュシートベルトは、シートベルト着用中で車速約15km/h 以上で走行しているとき、次のような場面で作動します。
＊運転者のブレーキ操作が緊急ブレーキであることをコントロールユニットが判断したとき
＊インテリジェントブレーキアシストが作動したとき

●メーター・表示灯・警告灯の見かた…… 98
メーター …… 98
表示灯 …… 101
警告灯 …… 105
警報装置 …… 116

●スイッチの使いかた…… 118
ライトスイッチ …… 118
フォグランプスイッチ …… 122
方向指示器スイッチ …… 122
非常点滅表示灯スイッチ …… 123
ワイパー・ウオッシャースイッチ …… 123
リヤウインドーデフォッガースイッチ …… 127
ホーンスイッチ …… 128

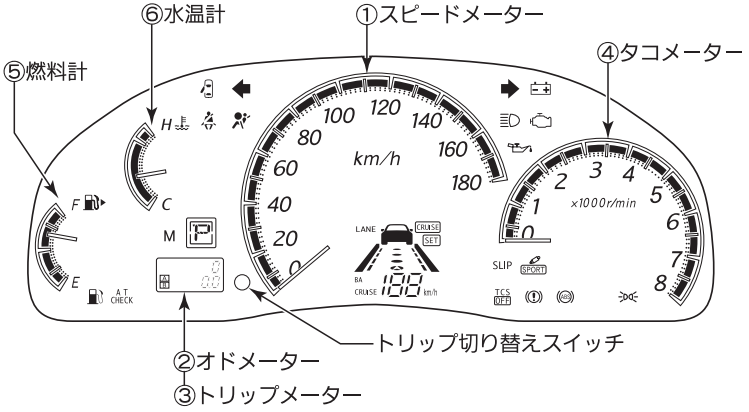
●運転のしかた…… 129
キースイッチ …… 129
パーキングブレーキ …… 130
セレクトレバー（5M-AT 車）…… 132
セレクトレバー（4AT 車）…… 135
A/T モードスイッチ …… 138
シフトロックシステム …… 140
アクティブダンパーサスペンションスイッチ… 142
エンジンのかけかた …… 142
オートマチック車の運転のしかた …… 145
4WD（4 輪駆動）車の扱いかた …… 153
ASCD（オートスピードコントロール）…… 154
車間自動制御システム …… 158
レーンキープサポートシステム(直線路車線維持支援装置) … 180
TCS（トラクションコントロールシステム）… 189
VDC（ビークルダイナミクスコントロール）… 190
アテーサ E-TS …… 192
ブレーキアシスト（プレビュー機能付）…… 193
インテリジェントブレーキアシスト …… 195
ETC(ノンストップ自動料金支払いシステム)ユニットについて… 198

● ABS（アンチロックブレーキシステム） …… 203
ABS …… 203

メーター・表示灯・警告灯の見かた

メーター

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。
キースイッチをONにすると表示します。



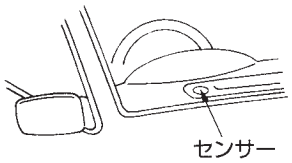
ESD0843Z

・キースイッチがONでライトが点灯しているとき、車外の明るさに応じてメーター照明を自動調光します。

ライト	車外の明るさ	メーター照明
消　灯	—	明るい
点　灯	明るいとき	明るい
	暗いとき	暗い

アドバイス

・自動調光はオートライト用センサーで行います。センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。
センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



TCA0086Z

知識

・メーター・ディスプレイの自動減光を選択することができます.
＊設定のしかたは別冊の取扱説明書（車両情報を見る）をお読みください。

①スピードメーター（速度計）
走行速度を表示します。

②オドメーター（積算距離計）
総走行距離をkmで表示します。



TCA0084Z

③トリップメーター（区間距離計）
区間走行距離をkmで表示します。
（右端の数字は100m単位です。）
・Ⓐ と Ⓑ の2種類の区間走行距離を測定することができます。



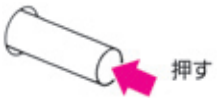
ESA1414Z

・トリップ切り替えスイッチを一瞬押すごとにⒶとⒷが順に切り替わります。

知識

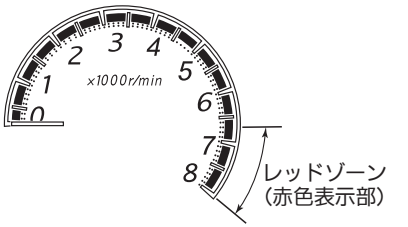
・ⒶとⒷを別々に0に戻すことができます。
・Ⓐで出発してからの距離を測りながら、Ⓑで給油してからの距離を測るというような使いかたができます。
・バッテリーを外したときは、ⒶとⒷの記憶が消去され0に戻ります。

・表示を0に戻すときは、トリップ切り替えスイッチを約1秒以上押します。



TSC0667Z

④タコメーター（エンジン回転計）
1分間あたりのエンジン回転数を表示します。



ESD1011Z

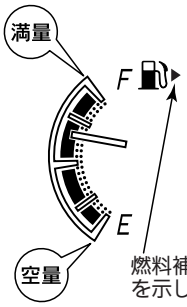
注意

・レッドゾーン（赤色表示部）に入らないように運転してください。レッドゾーンではエンジンが過回転となり故障の原因になります。

⑤燃料計

燃料の残量を表示します。

・燃料タンクの容量は約80ℓです。



ESD0844Z

アドバイス

・Eに近づいたら早めに燃料を補給してください。

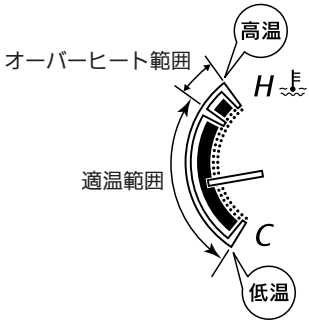
知識

・燃料補給直後は、キースイッチをONにしても、指針が安定するまで少し時間がかかります。
・坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、指針が振れることがあります。
・キースイッチをON状態にして給油を行うと、指針の動きが遅くなりますが故障ではありません。

＊燃料補給口…48ページをお読みください。

⑥水温計

エンジン冷却水の温度を表示します。



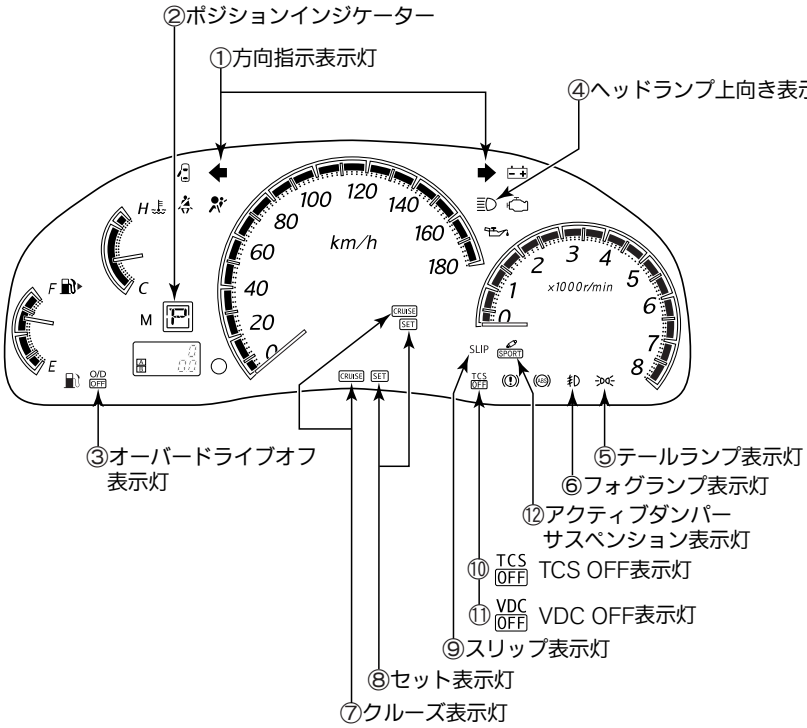
ESD0997Z

警告

・オーバーヒートを示したときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置してください。そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。
＊オーバーヒートしたときは…288ページをお読みください。

表示灯

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。
キースイッチをONにするとメーターを表示します。



ZPA0068

①方向指示表示灯



TCA0087Z

方向指示器又は非常点滅表示灯を作動させると点滅します。

知識

・方向指示器のランプの電球が切れたときは点滅が速くなります。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

＊方向指示器スイッチ…122ページをお読みください。

②ポジションインジケーター



TSB0632Z

キースイッチがONのとき、セレクトレバーのセット位置を表示します。

・5M-AT車はセレクトレバーをマニュアルシフトゲートに入れると、マニュアルモードを示す“M”がが点灯し、設定したシフトポジションの位置を表示します。

＊セレクトレバーの動かしかた…132、136ページをお読みください。

③オーバードライブオフ表示灯（4AT車）



TCA0088Z

キースイッチがONのとき、オーバードライブスイッチをOFFにすると点灯します。

知識

・キースイッチをONにすると、約2秒間点灯しますが、表示灯のチェックのためで異常ではありません。

＊オーバードライブスイッチ…137ページをお読みください。

④ヘッドランプ上向き表示灯



TCA0089Z

ヘッドランプを上向きに点灯させると点灯します。

＊ヘッドランプの上向き、下向き切り替え…121ページをお読みください。

⑤テールランプ表示灯



TCC0014Z

キースイッチの位置に関係なく車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。

＊ライトスイッチ…118ページをお読みください。

⑥フォグランプ表示灯



ESD0132Z

フォグランプを点灯させると点灯します。

＊フォグランプスイッチ…122ページをお読みください。

⑦クルーズ表示灯 グレード オプション



TSA1097Z

〈車間自動制御システム付車〉

クルーズシステムメインスイッチを押す（ONにする）と点灯します。

＊車間自動制御システム…158ページをお読みください。

〈ASCD付車〉

ASCD（オートスピードコントロール）のメインスイッチを押す（ONにする）と点灯します。

＊ASCD…154ページをお読みください。

⑧セット表示灯 グレード オプション



TSA1096Z

〈車間自動制御システム付車〉

車間自動制御システムの定速制御モードが作動中に点灯します。

＊車間自動制御システム…158ページをお読みください。

〈ASCD付車〉

ASCD（オートスピードコントロール）作動中に点灯します。

＊ASCD…154ページをお読みください。

⑨スリップ表示灯



TCA0091Z

〈TCS付車、VDC付車〉

TCS、VDC作動中に点滅します。

＊TCS…189ページをお読みください。

＊VDC…190ページをお読みください。

〈4WD車〉

キースイッチがONで点灯し、エンジンがかかると消灯します。

車が滑りやすい状態にあるときに点滅します。

＊アテーサE-TS…192ページをお読みください。

⑩TCS OFF表示灯 グレード



TCA0092Z

TCS OFFスイッチを押すと点灯します。

＊TCS…189ページをお読みください。

⑪VDC OFF表示灯 グレード



ESA1419Z

VDC OFFスイッチを押すと点灯します。

＊VDC…190ページをお読みください。

⑫アクティブダンパーサスペンション表示灯 グレード



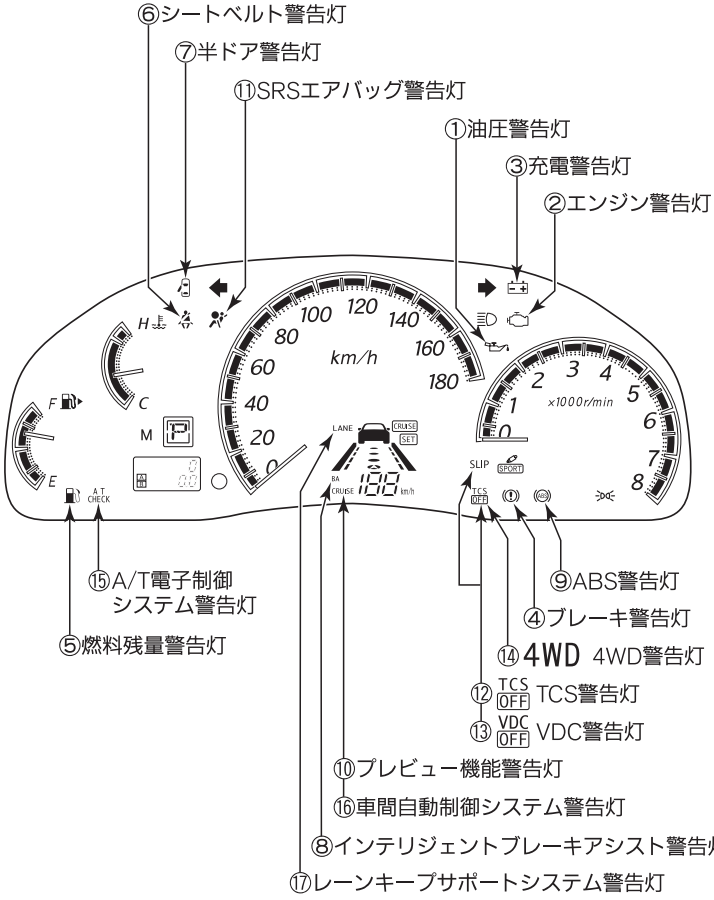
TSA1468Z

キースイッチがONのとき、アクティブダンパーサスペンションスイッチのSPORT側を押すと点灯します。

＊アクティブダンパーサスペンション…142ページをお読みください。

警告灯

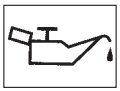
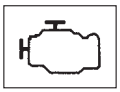
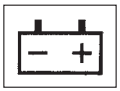
警告灯が点灯又は点滅したときは、すみやかに適切な処置をしてください。
放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
警告灯が点灯又は点滅したとき、モニターに参考情報を表示するものがあります。
詳しくは別冊の取扱説明書をお読みください。
メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。
キースイッチをONにすると、メーターを表示します。



ESD0848Z

●警告灯のチェック

キースイッチをONにすると、警告灯が下記のように点灯・消灯します。
エンジンをかける前に、キースイッチONで点灯することを確認してください。

警　告　灯	点灯・消灯のしかた
油圧警告灯 TCA0093Z 	キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。
エンジン警告灯 TCA0094Z 	
充電警告灯 TCA0095Z 	
4WD警告灯 TSA1101Z 	
インテリジェント ブレーキアシスト警告灯 TSA5542Z 	
プレビュー機能警告灯 (ブレーキアシスト(プレビュー機能付)付車) ESA1674Z 	
車間自動制御システム警告灯 (車間自動制御システム付車) ESA1674Z 	
ブレーキ警告灯 TCA0573Z 	パーキングブレーキを解除しているとき、キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

警　告　灯	点灯・消灯のしかた
TCS警告灯 TCA0096Z 	キースイッチをONにすると数秒間点灯後、消灯します。
VDC警告灯 ESA1421Z 	
ABS警告灯 TSA1103Z 	
A/T電子制御システム警告灯 TSA5594Z 	キースイッチをONにすると約1秒間点灯後、消灯します。
レーンキープサポートシステム警告灯 ESA1675Z 	
SRSエアバッグ警告灯 TCA0334Z 	キースイッチをONにすると約7秒間点灯後、消灯します。

処置

・点灯又は消灯しないときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

①油圧警告灯



TCA0097Z

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

処置

・点灯したときは、ただちに安全な場所に停車しエンジンを止め、日産販売会会社に連絡してください。

注意

・点灯したまま走行しないでください。エンジンを破損するおそれがあります。

アドバイス

・エンジンオイルは定期的に交換してください。

知識

・油圧警告灯はオイル量を示すものではありません。

②エンジン警告灯



TCA0098Z

エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯します。

処置

・点灯したときは、ただちに日産販売会社に連絡してください。

③充電警告灯



TCA0099Z

エンジン回転中、バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。

処置

・点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。

注意

・点灯したまま走行しないでください。バッテリーが破損したり、エンジンが不意に停止し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

④ブレーキ警告灯



TCA0100Z

パーキングブレーキを解除しているとき、キースイッチをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

・キースイッチがONで、次のような場合に点灯します。
＊パーキングブレーキをかけたとき。

処置

・走行中はパーキングブレーキを解除してください。

＊ブレーキ液が不足しているとき。（エンジン始動後でパーキングブレーキを解除しているとき。）

処置

・パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車し、日産販売会社に連絡してください。この場合はブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。

＊ABSの電子制御システムに異常があるとき。（パーキングブレーキを解除し、ブレーキ液量が正常でABS警告灯と同時に点灯したとき。）

処置

・エンジン始動時や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

警告

・パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、点灯したまま走行しないでください。また、ブレーキ液が規定量以下になっていたら走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

・パーキングブレーキの解除のし忘れに注意してください。ブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱しブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

⑤燃料残量警告灯



TCA0101Z

キースイッチがONのとき、燃料の残量が少ないと点灯します。

処置

・点灯したときは、すみやかに指定の燃料を補給してください。

知識

・燃料の残量が約14ℓ以下で点灯します。
なお、走行に使用できる燃料容量は、上記残量より若干少なくなります。
・車両姿勢、走行状況などによっては燃料がタンク内で移動するため、警告灯の点灯するタイミングが変わる場合があります。

⑥シートベルト警告灯



TCA0102Z

キースイッチがONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。

処置

・点灯したときはシートベルトを着用してください。

警告

・走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

・点灯したまま走行すると、ブザーが鳴ります。
＊シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）…117ページをお読みください。

⑦半ドア警告灯



ECD0005Z

キースイッチがONのとき、全ドアが確実に閉まっていないと点灯します。

処置

・ドアを確実に閉めてください。

注意

・走行前に消灯していることを確認してください。ドアが完全に閉まっていない（半ドアの）ときは、走行中に開くおそれがあります。

⑧インテリジェントブレーキアシスト警告灯 グレード オプション

BA

TSA5550Z

・エンジン回転中、インテリジェントブレーキアシストに異常があると“ピー”というブザー音とともに点灯します。
・エンジン回転中、インテリジェントブレーキアシストが一時的に作動しない状態にあるとき点灯します。（ブザー音は鳴りません。）

処置

・“ピー”というブザー音とともに点灯した場合は、安全な場所に停車し、一度エンジンを止めてから、センサー部が汚れていないか確認してください。汚れているときは、汚れている部分を柔らかい布で清掃し、再度エンジンをかけ直してください。センサー部が汚れていないときは、再度エンジンをかけ直してください。

アドバイス

・上記の操作をしても表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

知識

・ワイパースイッチが INTの位置でワイパーが連続作動しているときは、警告灯が点灯することがありますがシステムの異常ではありません。

＊インテリジェントブレーキアシスト…195ページをお読みください。

⑨ABS警告灯



TSA1106Z

キースイッチをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

・キースイッチがONのとき、ABSの電子制御システムに異常があると点灯します。

処置

・キースイッチをONにしても点灯しないとき、又はエンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

知識

・警告灯が点灯しているときは、ABSは作動しませんが、ABSのない通常のブレーキ性能は確保されています。この場合は、ABSが作動しないため、急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時には、タイヤがロックすることがあります。

・キースイッチを一気に回してエンジンを始動すると、警告灯が点灯し続けることがあります。このときは、一度エンジンを止め、キースイッチをゆっくり回して始動し直してください。

＊ABS…203ページをお読みください。

⑩プレビュー機能警告灯

グレード オプション

ESA1445Z

エンジン回転中、プレビュー機能に異常があると、“ピー”というブザー音とともに点灯します。

処置

・点灯したときは、安全な場所に停車して、一度エンジンを止めてから再びエンジンを始動してください。

アドバイス

・エンジン回転中に警告灯が点灯したときは、プレビュー機能の作動は停止しますが、プレビュー機能のない普通のブレーキとして使えます。

・上記の操作をしても表示が点灯し続けるときは、装置の異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

＊プレビュー機能警告灯は、車間自動制御システム警告灯と兼用しています。

＊ブレーキアシスト（プレビュー機能付）…193ページをお読みください。

⑪SRSエアバッグ警告灯



TCA0335Z

キースイッチをONにすると約7秒間点灯後、消灯します。

・キースイッチがONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯又は点滅を続けます。

処置

・キースイッチをONにしても点灯しないとき、又は約7秒間たっても点灯、点滅を続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

警告

・キースイッチONで点灯しないときや、点灯、点滅を続けるときは、放置したままで走行しないでください。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

＊SRSエアバッグ…84ページをお読みください。

＊前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト…94ページをお読みください。

⑫TCS警告灯

グレード



TCA0104Z

キースイッチをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

・エンジン回転中、TCSの電子制御システムに異常があると、TCS OFFとSLIPが同時に点灯します。

処置

・点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

・点灯したときはTCSの作動は停止しますが、TCSのない普通の車として使えます。
滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

＊TCS…189ページをお読みください。

⑬VDC警告灯

グレード



ESA1493Z

キースイッチをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

・エンジン回転中、VDCの電子制御システムに異常があると、VDC OFFとSLIPが同時に点灯、又はVDC OFFのみが点灯します。

処置

・点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

・点灯したときはVDCの作動は停止しますが、VDCのない普通の車として使えます。
滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

＊VDC…190ページをお読みください。

⑭4WD警告灯（4WD車）



TSA1109Z

エンジン回転中、アテーサE-TSシステムに異常があると、点灯又は点滅します。

処置

・点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
・点滅したときは、装着タイヤの種類を点検し、異なる場合は同一のタイヤを装着してください。

アドバイス

・警告灯点灯時アテーサE-TSシステムの作動は停止しますが、通常の走行は可能です。ただしスピードは控えめにしてください。

＊アテーサE-TS…192ページをお読みください。

⑮A/T電子制御システム警告灯（5M-AT車）



TSA5596Z

キースイッチをONにすると約1秒間点灯後、消灯します。

・走行中、オートマチックトランスミッションシステムに異常があると点灯します。

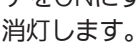
・キースイッチがONで、オートマチックトランスミッションシステムに異常があると約8秒間点滅します。

処置

・点灯又は点滅したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

⑯車間自動制御システム警告灯

グレード オプション



ESA1445Z

エンジン回転中、車間自動制御システムに異常があると、“ピー”というブザー音とともに車間自動制御システムを解除します。

処置

・点灯したときは安全な場所に停車して、一度エンジンを止めてから再度セット操作をしてください。

アドバイス

・上記の操作をしてもセットできない、又は警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

＊車間自動制御システム…158ページをお読みください。

⑰レーンキープサポートシステム警告灯 オプション



ESA1645Z

エンジン回転中、レーンキープサポートシステムに異常があるときは、“ポー”というブザー音とともにレーンキープサポートシステムを解除します。

処置

・点灯したときは、安全な場所に停車して、一度エンジンを止めてから再度セット操作をしてください。

アドバイス

・上記の操作をしてもセットできない、又は警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

＊レーンキープサポートシステム…180ページをお読みください。

警報装置

●ブレーキパッド摩耗警報

ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗すると、走行中にブレーキ付近から金属音（キーキー音）が発生します。

処置

・金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

注意

・金属音が発生したまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

●ヘッドランプ消し忘れ警報

エンジンを止め、ライトを点灯したまま運転席ドアを開けると、ブザーが鳴ります。

処置

・ライトを消してください。

知識

・ブザーの鳴る間隔は、キー抜き忘れ警報と異なります。
・キースイッチがONのときは鳴りません。

●キー抜き忘れ警報

エンジンを止め、キーを差したまま運転席ドアを開けると、ブザーが鳴ります。

処置

・キーを抜いてください。

知識

・ブザーの鳴る間隔は、ヘッドランプ消し忘れ警報と異なります。
・キースイッチがONのときは鳴りません。

●シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）

運転者がシートベルトを着用していない状態で走行すると（約15km/h以上）、約90秒間ブザーが鳴ります。

処置

・シートベルトを着用してください。

警告

・走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

・走行前にメーター内のシートベルト警告灯が消灯していることを確認してください。
＊シートベルト警告灯…110ページをお読みください。

●リバースブザー

キースイッチがONのとき、セレクトレバーを**R**にすると、車内でブザーが鳴ります。

処置

・セレクトレバーを**R**から動かすと鳴り止みます。

知識

・セレクトレバーが**R**に入っていることを、ブザーを鳴らして運転者に警告します。車外の人に注意するものではありません。

●カード抜き忘れ警報

キースイッチがOFFのとき、ETCカードを挿入したまま運転席ドアを開けると、1分間ブザーが鳴ります。

処置

・カードを抜くか、ドアを閉めてください。

知識

・キースイッチをOFFにした後、1分間以上ドアを開けなかった場合はこの機能は作動しません。
・ETCユニットにETCカードを挿入したまま運転席ドアを開放したり、半ドアのままエンジンを始動した場合には、ブザーが鳴ることがあります。

＊ETC（ノンストップ自動料金支払いシステム）ユニットについて…198ページをお読みください。

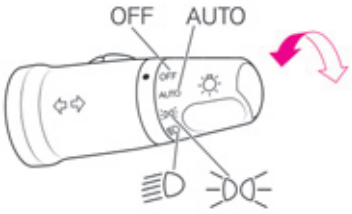
スイッチの使いかた

ライトスイッチ

キースイッチの位置に関係なく使えます。

ライトの点灯・消灯

スイッチを回し、●の位置にマークを合わせると、次のように点灯・消灯します。



ESA1422Z

スイッチ位置	ヘッドランプ（前照灯）	車幅灯・尾灯番号灯
OFF	消　灯	消　灯
AUTO	自動点灯・消灯	
 TCA0106Z	消　灯	点　灯
 ECD0021Z	点　灯	点　灯

＊オートライトシステムの使いかた
…120ページをお読みください。

アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。
- ヘッドランプにステッカーなどを貼り付けたり、ヘッドランプ点灯時にカバーを掛けたりしないでください。レンズが変形するおそれがあります。

知識

- ライトを点灯したままエンジンを止め、運転席ドアを開けると、ヘッドランプ消し忘れ警報が鳴ります。
  ＊ヘッドランプ消し忘れ警報…116ページをお読みください。
- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。
  ＊ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる…23ページをお読みください。

知識

アクティブ AFS

ヘッドランプ点灯時、カーブや交差点などでハンドルを操作すると、ベンディングランプが自動的に進行方向を照射します。夜間走行時、曲路の視覚認識を高めます。

- セレクトレバーがP、R以外の位置のとき作動します。
- キースイッチを ON にしたとき、ベンディングランプが細かく動きますが、システムの作動をチェックしているためで異常ではありません。
- ランプの脱着、バルブの交換は、日産販売会社にご相談ください。

●キセノンヘッドランプについて

- キセノンヘッドランプは、光量が多く太陽光に近い白色であるため、明るく自然で見やすいヘッドランプです。

警告

- キセノンヘッドランプは、点灯時高電圧になります。感電防止のため、ランプの分解、改造はしないでください。ランプの脱着、バルブの交換は、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 点灯、消灯をくり返すと、バルブ寿命が短くなる特性があります。信号待ちなどで短時間停車するときは、点灯したままの方が長持ちします。
- ランプが切れかかったときには、一般の蛍光灯と同じように、著しく明るさが低下したり、点滅したり、赤味を帯びた色になることがあります。そのような現象が現れたときは、日産販売会社にご相談ください。

知識

- ヘッドランプ点灯時は、安定するまで若干明るさや色が変化することがあります。

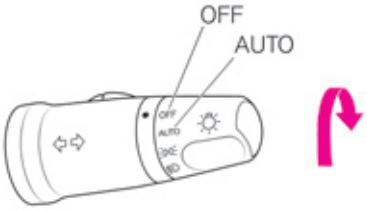
ヘッドランプオートレベライザー

- ヘッドランプが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると、自動的に照射方向を調整するシステムです。

オートライトシステムの使いかた

キースイッチが ON のとき、車外の明るさに応じてライトを自動的に点灯・消灯します。

・スイッチを回し、●の位置にマーク（AUTO）を合わせると、次のように点灯・消灯します。



ESA1423Z

車外の明るさ	ヘッドランプ（前照灯）	車幅灯・尾灯 番号灯
明るいとき	消　灯	消　灯
薄暗いとき	消　灯	点　灯
暗いとき	点　灯	点　灯

・キースイッチを Acc・1（OFF）又は LOCK にして、運転席ドアを開けると消灯します。

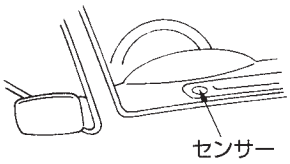
アドバイス

・キースイッチが Acc 又は ON のときエンジンが始動していないと、スイッチが AUTO 位置にある場合、車外が暗くなるとライトは点灯します。長時間点灯させると、バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

・オートライト用センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。

・オートライトの感度を調節することができます。

＊設定のしかたは別冊の取扱説明書（車両情報を見る）をお読みください。



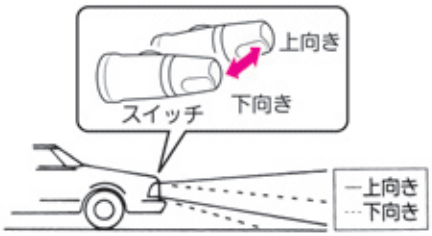
TCA0086Z

知識

・ライトの自動点灯・自動消灯に連動してモニター画面の表示色が自動的に切り替わります。

ヘッドランプの上向き、下向き切り替え

・ヘッドランプ点灯時、スイッチを車両前方に押すと上向き（ハイビーム）になります。
・スイッチを手前に引くと下向き（ロービーム）になります。



TSD0259Z

4灯式の点灯

ヘッドランプの向き	ヘッドランプ位置	
	内　側	外　側
上向き	点　灯	点　灯
下向き	消　灯	点　灯

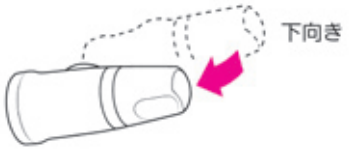
アドバイス

・対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

知識

・ヘッドランプを上向きにすると、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

・ライトスイッチの位置に関係なく、ヘッドランプの下向き位置より更にスイッチを手前に引いている間、ヘッドランプの上向きが点灯します。



ESA1446Z

知識

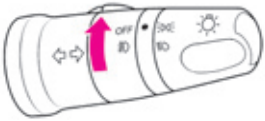
・ヘッドランプを上向きにすると、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

フォグランプスイッチ

ライトが点灯しているときに使えます。

＊ライトの点灯・消灯…118ページをお読みください。

- 霧などで視界が悪いときに使います。
- スイッチの マークを●の位置に合わせると点灯します。
- OFF にすると消灯します。



ECG0006Z

アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

知識

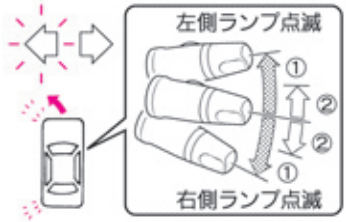
- フォグランプを点灯すると、メーター内のフォグランプ表示灯が点灯します 。
- フォグランプを点灯したままエンジンを止め、運転席ドアを開けると、ヘッドランプ消し忘れ警報が鳴ります。

＊ヘッドランプ消し忘れ警報…116ページをお読みください。

方向指示器スイッチ

キースイッチが ON のとき使えます。

- スイッチを①の位置まで上又は下に動かすと、方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯が点滅します。
- 車線変更などのときには、スイッチを②の位置まで上又は下に軽く押さえます。
  スイッチを押している間、点滅し、手を離すと消灯します。



TSC1826Z

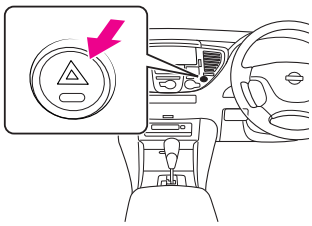
アドバイス

- 右折、左折をした後、スイッチが戻らないときは、手で戻してください。
- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器のランプの電球切れなどのおそれがあります。
  すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

非常点滅表示灯スイッチ

キースイッチの位置に関係なく使えます。
故障などでやむを得ず路上駐車するときや、非常時に使います。

・スイッチを押すと、全ての方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯が点滅します。
・止めるときは、もう一度スイッチを押します。



ESA1426Z

アドバイス

・エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

ワイパー・ウオッシャースイッチ

キースイッチが ON のとき使えます。

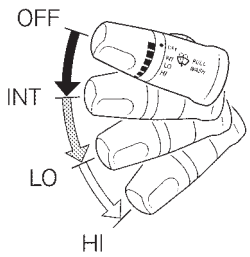
アドバイス

・エンジン停止時に長時間使わないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。
・寒冷地仕様車は、雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。

●ワイパー

ワイパーの作動

・スイッチを下げると、次のようにワイパーが作動します。
・止めるときは OFF の位置に戻します。

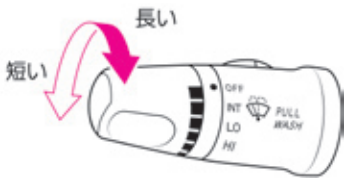


ESA1428Z

〈車速感知式間欠ワイパー〉

スイッチ位置	作　動
OFF	停　止
INT	間欠作動
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動

・間欠作動の間隔を調節するときは、スイッチの先端を回します。



ESA1429Z

知識

・停車中は、間欠作動の間隔が走行中に比べ長くなります。

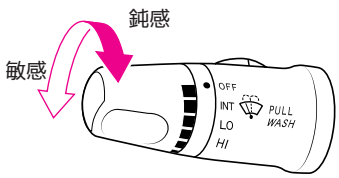
〈雨滴感知式オートワイパー〉

グレード

スイッチ位置	作　動
OFF	停　止
INT	自動制御作動
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動

・スイッチ位置が INT のとき、ルームミラー部にある雨滴感知センサーによって降雨を感知し、降雨量に応じた間欠作動、連続作動（低速及び高速）の調節を自動で行います。

・センサーの感度を調節するときは、スイッチの先端を回します。



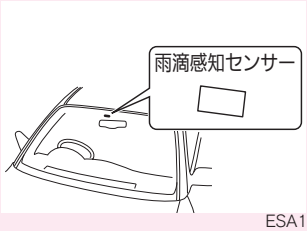
ESB0615Z

センサー感度

敏感：間欠作動の間隔が短いモードになります。
鈍感：間欠作動の間隔が長いモードになります。

注意

・キースイッチが ON でスイッチ位置を INT にしているとき、雨滴感知センサー上部のフロントガラスに手で触れたり、水分の含んだ布などを近づけるとワイパーが作動することがあります。ケガをしたり、ワイパーの破損につながるおそれがありますので、注意してください。また、洗車時には、スイッチ位置を必ず OFF にしてください。



ESA1432Z

アドバイス

・降雨時でも雨滴が雨滴感知センサーにあたらないと、雨滴感知センサーが降雨を検知しないためワイパーが作動しない場合があります。
・雨滴感知センサーに泥、指紋、油膜、虫などが付着したり、排気ガスをあびたりするとワイパーが作動することがあります。また、夜間などは目視しづらいわずかな水滴も検知し、ワイパーが作動することがあります。
・ワイパーブレードの長さや形状が異なると、正常に作動しないことがあります。サイズにあった日産純正品をおすすめします。

知識

・キースイッチが ON のとき、スイッチ位置を INT にすると、1回ワイパーが作動し、その後は雨滴量に応じてワイパーが作動します。
・スイッチ位置を INT にしているとき、キースイッチを ON にすると、雨滴感知センサーが雨滴を検知した場合のみワイパーが作動します。
・雨滴感知センサーが故障したときは、雨滴感知式オート機能は停止しますが、車速感知式ワイパーとして使えます。
・フロントガラスが70℃以上のとき、ワイパーは作動しません。
・停車中は、間欠作動の間隔が走行中に比べ長くなります。

ウオッシャー液の噴射

・スイッチを手前に引くとウオッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。



TSC1827Z

警告

・寒冷時は、ウインドーガラスに吹きつけられたウオッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
ウオッシャー液を噴射する前に、ヒーターを使ってウインドーガラスを温めてください。また、ウオッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にしてください。
＊ウオッシャー液の濃度点検…259ページをお読みください。

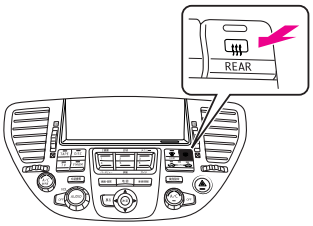
アドバイス

・ウオッシャー液が出ないときは、そのままで30秒以上作動させないでください。モーターの故障の原因となります。
・ウオッシャー液を補給しても液が出ないときは、日産販売会社にご相談ください。
・ガラスが乾いているときは、ウオッシャー液を噴射してからワイパーを使ってください。空ぶきするとガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。
・凍結などでブレードがガラスに張り付いているときは、作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
・降雪時にワイパーを作動させていると、ガラスに雪がたまりワイパーが停止することがあります。一度ワイパースイッチを OFF にし、たまった雪を取り除いてから再度スイッチを入れてください。
・寒冷地仕様車は、雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。

リヤウインドーデフォッガースイッチ

キースイッチが ON のとき使えます。
リヤウインドーガラス内側のくもりを取るときに使います。

・スイッチを押すと作動します。
（スイッチの表示灯が点灯）
約15分間作動後、自動的に切れます。
・作動を止めるときは、スイッチをもう一度押します。
（スイッチの表示灯が消灯）



ESD0868Z

アドバイス

・連続して長時間使用しないでください。消費電力が大きいためバッテリーあがりの原因になります。
・リヤウインドーデフォッガースイッチを押すと、ドアミラーヒーターも同時に作動します。
また、寒冷地仕様車はワイパーデアイサーも同時に作動します。
＊ヒーター付ドアミラーの使いかた…75ページをお読みください。
＊ワイパーデアイサーの使いかた…128ページをお読みください。

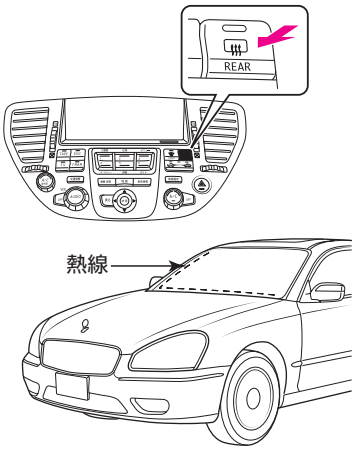
知識

・タイマーの作動時間を約30分間に延長することができます。
・エンジンの始動に連動して作動させることができます。
またそのとき、外気温に応じて自動的にドアミラーのヒーター及びワイパーデアイサー（寒冷地仕様車）も作動します。
＊設定のしかたは別冊の取扱説明書（車両情報を見る）をお読みください。
＊ワイパーデアイサーの使いかた…128ページをお読みください。
＊ヒーター付ドアミラーの使いかた…75ページをお読みください。

●ワイパーデアイサーの使いかた（寒冷地仕様車）

キースイッチが ON のとき使えます。
フロントガラスを温めて、ガラス下端にたまった雪を取り除きやすくします。

・集中コントロールスイッチ部にあるリヤウインドーデフォッガースイッチを押すと作動します。
（スイッチの表示灯が点灯）
約15分間作動後、自動的に切れます。
・作動を止めるときは、スイッチをもう一度押します。
（スイッチの表示灯が消灯）



ZPA0064

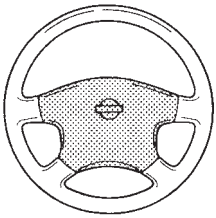
アドバイス

・連続して長時間使用しないでください。消費電力が大きいためバッテリーあがりの原因になります。
・ガラスにたまった雪はこまめに取り除き、視界を確保してください。

ホーンスイッチ

キースイッチの位置に関係なく使えます。

・ハンドルのラッパマークがあるパッド面を押すと、ホーンが鳴ります。



TSA1117Z

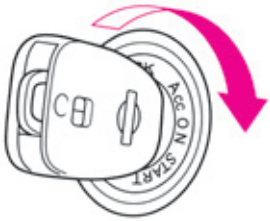
知識

・パッド面のどこを押してもホーンは鳴りますが、パッド面の上部の方が中央部よりも比較的軽い操作で鳴ります。

運転のしかた

キースイッチ

キーをキースイッチに差し込み回します。



TSC1828Z

アドバイス

・1秒以上間隔をあけて抜き差ししてください。保護回路が働き、回せなくなる場合があります。

知識

・ロックの位置からキーが回りにくいときは、ハンドルを左右に軽く回しながらキーを回してください。



TSB0623Z

●各キースイッチ位置の働き

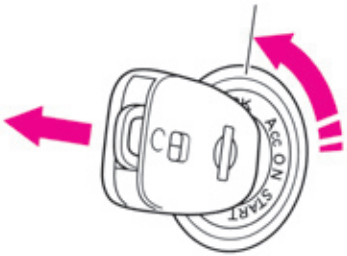
キースイッチ位置		働　き
LOCK	(0)	キーを抜き差しできる位置 （ハンドルがロックされる位置）
(OFF)	(1)	電源が切れる位置
Acc	(2)	エンジン停止時オーディオ、電動ミラー、シガーライターなどが使える位置
ON	(3)	エンジン回転中の位置
START	(4)	エンジンを始動する位置 手を離せば自動的にON位置に戻ります。

アドバイス

・エンジンを止めたまま、オーディオなどを長時間つけておいたり、キースイッチをON、Accにしたままで放置しないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

●キーの抜きかた

・セレクトレバーを[P]に入れます。
・キーを LOCK まで回して抜きます。



TSC1829Z

アドバイス

・セレクトレバーを[P]に入れないでキーを回すと（1）の位置で止まります。その場合は、セレクトレバーを[P]にした後、キーを ON 方向に少し回し、再度 LOCK まで回してください。

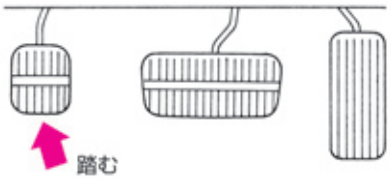
知識

・エンジンを止め、キーを差したまま運転席ドアを開けると、キー抜き忘れ警報が鳴ります。キースイッチが ON のときは鳴りません。
　＊キー抜き忘れ警報…117ページをお読みください。
・トータルコーディネート室内照明のランプスイッチが中立位置のときキーを抜くと、ランプが点灯し、約15秒後に消灯します。

パーキングブレーキ

●ブレーキのかけかた

パーキングブレーキペダルをいっぱいに踏み込みます。



TSC1830Z

アドバイス

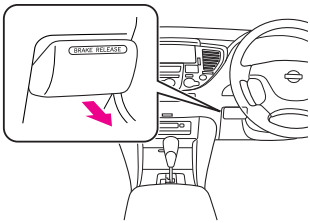
・駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。

知識

・パーキングブレーキをかけると後輪が固定されます。

●解除のしかた

・パーキングブレーキ解除レバーをいっぱいに引きます。



ESA1436Z

警告

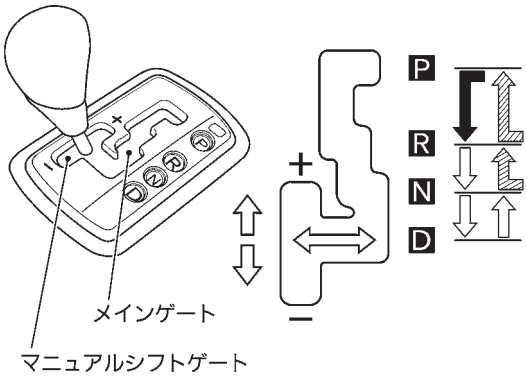
・パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
・窓から身を乗り入れ、パーキングブレーキを解除しないでください。車が動き出したときにブレーキペダルが踏めず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

セレクトレバー（5M-AT車）

●各セレクトレバー位置の働き

セレクトレバー位置	働　　き
P パーキング	駐車及びエンジンを始動するときの位置 キースイッチからキーを抜くことができます。 （キーはPでしか抜けません。）
R リバース	後退するときの位置 車内でブザーが鳴り運転者に知らせます。
N ニュートラル	動力が伝わらない状態の位置 （Nでもエンジンの始動ができますが、安全のためPで始動してください。）
D ドライブ	通常走行するときの位置 速度に応じて1速～5速に自動変速します。
M マニュアルモード	マニュアルモード走行するときの位置 セレクトレバーを＋（アップ）側に動かすとシフトアップします。 セレクトレバーを－（ダウン）側に動かすとシフトダウンします。

●セレクトレバーの動かしかた



ESD1012Z

レバー操作	
TSD0042Z	ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを横方向へ動かし操作します。
TSA5598Z	セレクトレバーを横方向へ動かし操作します。
TSA5600Z	そのまま操作します。

警告

・停車中エンジンをかけ、セレクトレバーを動かすときは、必ずブレーキペダルをしっかりと踏んでください。ブレーキペダルをしっかりと踏んでいないと、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
・次のような操作は、トランスミッションを破損し、思わぬ事故につながるおそれがありますので、絶対にしないでください。
＊車が完全に停止する前にPに入れる。
＊車を前進させているときにRに入れる。
＊車を後退させているときにD、マニュアルシフトゲートに入れる。

注意

・エンジンが停止した状態で、セレクトレバーがP以外にあるときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。パーキングブレーキをかけていないと、車が動きだし、思わぬ事故につながるおそれがあります。
・セレクトレバーがN、D、マニュアルモードでキースイッチを ON から OFF にしたとき、OFF 後約3分間はPへ動かすことができますが、3分経過後はセレクトレバーをPへ動かすことができません。
その場合は、次の操作をしてください。
1. 車を完全に止めてから、パーキングブレーキをかけます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま、キーを ON 位置に回します。（セレクトレバーが動くようになります。）
3. 駐車するときはセレクトレバーをPに動かします。
4. キーを LOCK 位置まで回して抜きます。

リバースロックシステム

・この車は、車速が約10km/h 以下でないとセレクトレバーをNからRへ動かすことができません。
・万一、バッテリーあがりなどでNからPにセレクトレバーを動かせないときは、パーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み、シフトロック解除ボタンを押しながらセレクトレバーをPに動かします。
＊シフトロックの解除のしかた…140ページをお読みください。

●マニュアルモードの使いかた

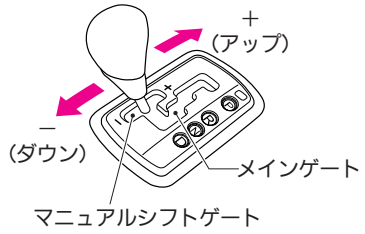
停車中や走行中に、セレクトレバーをDからマニュアルシフトゲートに入れると、マニュアルモードとなります。

・セレクトレバーをDからマニュアルシフトゲートに入れます。
（メーター内のマニュアルモードインジケーターランプが点灯し、ポジションインジケーターに設定シフトポジションの位置を表示します。
なお、マニュアルモードにしたときは常に初期表示としてO/D OFF状態の“M4”と表示します。）
・変速は設定したシフトポジションの範囲内で行います。
例：“M3”に設定した場合、1～3速内で変速します。

〈シフトポジションをアップするとき〉
・セレクトレバーを＋（アップ）側に動かします。

〈シフトポジションをダウンするとき〉
・セレクトレバーを－（ダウン）側に動かします。

＊セレクトレバーを同じ方向に連続して動かしたときは、シフトポジションを連続して切り替えます。



ESD1013Z

〈マニュアルモードを解除するとき〉
・セレクトレバーをメインゲートに戻すと、通常のD位置での走行状態に戻ります。

知識

・マニュアルモードでは、走行性能を確保するため、又は安全のため、セレクトレバーを操作しても希望するギヤに変速しない場合があります。
・走行中にエンジンが高回転になると自動的にシフトアップします。
また、車速が下がると自動的にシフトダウンし、停車前に1速に入ります。

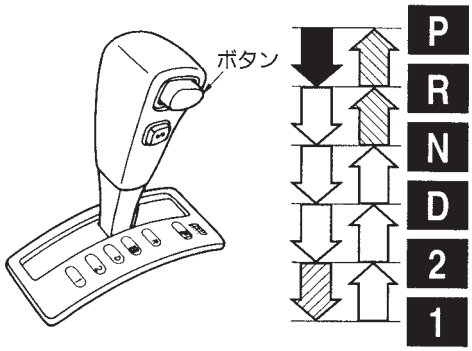
O/D OFF機能
・セレクトレバーがD位置で停止中、又は走行中にマニュアルシフトゲートに入れると、O/D OFF機能が働きます。（M1～M4での走行となります。）
・セレクトレバーを＋（アップ）、又はメインゲートのD位置に戻すと、O/D OFF解除となります。

セレクトレバー（4AT 車）

●各セレクトレバー位置の働き

セレクトレバー位置	働　　き
P パーキング	駐車及びエンジンを始動するときの位置 キースイッチからキーを抜くことができます。 （キーはPでしか抜けません。）
R リバース	後退するときの位置 車内でブザーが鳴り運転者に知らせます。
N ニュートラル	動力が伝わらない状態の位置 （Nでもエンジンの始動ができますが、安全のためPで始動してください。）
D ドライブ	通常走行するときの位置 速度に応じてギヤが1速、2速、3速、4速に自動変速します。 （通常はオーバードライブスイッチを ON にしておきます。…137ページをお読みください。）
2 セカンド	主に坂道走行するときの位置 エンジンブレーキが必要なときに使います。 速度に応じてギヤが1速、2速に自動変速します。
1 ファースト（ロー）	主に坂道走行するときの位置 強いエンジンブレーキが必要なときに使います。 1速に固定します。

●セレクトレバーの動かしかた



TSA5527Z

レバー操作	
➡	ブレーキペダルを踏んだままボタンを押して操作します。
⇨	ボタンを押さずにそのまま操作します。
⇨	ボタンを押して操作します。

警告

- 停車中エンジンをかけ、セレクトレバーを動かすときは、必ずブレーキペダルをしっかりと踏んでください。ブレーキペダルをしっかりと踏んでいないと、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 次のような操作は、トランスミッションを破損し、思わぬ事故につながるおそれがありますので、絶対にしないでください。
  ＊車が完全に停止する前にPに入れる。
  ＊車を前進させているときにRに入れる。
  ＊車を後退させているときにD、2、1に入れる。

アドバイス

- ⇨印の操作は、ボタンを押さないで操作する習慣をつけてください。ボタンを押して操作すると、意に反してP、R、1に入れてしまうおそれがあります。
- Pから操作するとき、ボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かせないことがあります。ボタンは、ブレーキペダルを踏んでから押してください。

●各セレクトレバー位置の限界速度

セレクトレバーを操作するときは、エンジンを過回転させないために、下表の速度を超えないようにしてください。

（単位：km/h）

エンジン型式	セレクトレバー位置	
	2	1
VK45DE	120	55

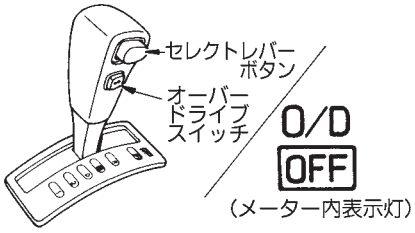
注意

・限界速度を超えると、エンジンを破損するおそれがあります。

●オーバードライブスイッチ

セレクトレバーがD位置のとき使えます。

・通常走行するときはスイッチをONにします。
・坂道走行で次のような場合はスイッチをOFFにします。
＊下り坂で軽いエンジンブレーキをかけたいとき。
＊上り坂で4速と3速の変速回数が少ない、なめらかな走行をしたいとき。



TSA5556Z

スイッチ位置	働　き
ON	1速から4速（オーバードライブ）まで自動変速します。（メーター内の表示灯が消灯）
OFF	1速から3速まで自動変速します。（メーター内の表示灯が点灯）

知識

・トランスミッションの油温が低いときは、オーバードライブに変速しないことがあります。
・オーバードライブ（4速）は静粛性、燃費性能が良くなります。

A/T モードスイッチ

車の走行・使用条件に合わせて、3種類の走行モードを選択することができます。

・通常走行するときは、オートモードにします。

パワーモード

登坂時や加速走行時に使用します。

・スイッチの POWER（PWR）側を押します。
［スイッチの POWER（PWR）表示灯が点灯］

オートモード

経済的な走行に使用します。

・スイッチを中立の位置にします。
［パワーパターンで走行中には POWER（PWR）表示灯が点灯］

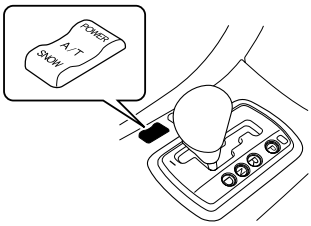
スノーモード

雪道などの滑りやすい路面で使用します。

・スイッチの SNOW 側を押します。
［スイッチの SNOW 表示灯が点灯］

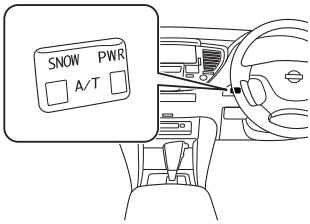
・セレクトレバーを D 位置にすると、滑りやすい路面にあった駆動力となり、発進、走行がしやすくなります。

〈5M−AT 車〉



ESD1014Z

〈4AT 車〉



ESD1066Z

アドバイス

・通常走行時にスノーモードを選択すると、発進加速性能が極端に低下したり、高速走行時には車速が減少することがあります。そのときは、スノーモード以外のモードに切り替え、一度アクセルから足を離してください。通常の走行に戻ります。

変速のしかた	
パワーモード	・変速する車速が高めになります。 ・5M−AT 車は、1速から5速まで、4AT 車は1速から4速（オーバードライブ OFF 時は3速）まで自動変速します。
オートモード	・アクセルペダルの踏み込み量や速度に応じて、自動的に変速する車速を切り替えます。 ・5M−AT 車は、1速から5速まで、4AT 車は1速から4速（オーバードライブ OFF 時は3速）まで自動変速します。
スノーモード	**〈5M−AT 車〉** ・アクセルペダルの踏み込みに対して、エンジントルクの出かたが緩やかになります。 **〈4AT 車〉** ・セレクトレバーの位置により次のようになります。 **D**：1速で発進し4速（オーバードライブ OFF 時は3速）まで自動変速します。 **2**：1速で発進し2速まで自動変速します。 **1**：1速に固定します。

シフトロックシステム

オートマチック車を安全にお使いいただくために、シフトロックシステムが付いています。

シフトロックの作用

①キースイッチがONのときは、ロック装置が作動し、ブレーキペダルを踏んでいないと、Pからセレクトレバーを動かすことができません。

・5M−AT車はセレクトレバーを横方向に押したまま、4AT車はセレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かせないことがあります。

5M−AT車は、ブレーキペダルを踏んでからセレクトレバーを横方向に押し、そのままセレクトレバーを動かしてください。

4AT車は、ブレーキペダルを踏んでから、セレクトレバーボタンを押しセレクトレバーを動かしてください。

②セレクトレバーをPに入れないと、キースイッチからキーが抜けません。

・P以外ではキーをLOCK位置まで回せません。

③キースイッチがONのとき、セレクトレバーをRに入れると、後退位置を知らせるブザーが車内で鳴ります。

・車外の人に注意するものではありません。

シフトロックの解除のしかた

万一バッテリーあがりなどでPからセレクトレバーが動かないときは、次の要領で解除します。

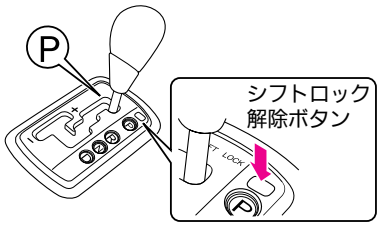
①安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。



TSC0679Z

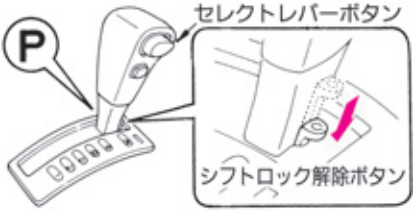
②シフトロック解除ボタンを押しながら、5M-AT車はセレクトレバーを横方向へ操作し、4AT車はセレクトレバーのボタンを押し、手前に引いて動かします。

〈5M−AT車〉



ESD1015Z

〈4AT 車〉



TSA5557Z

アドバイス

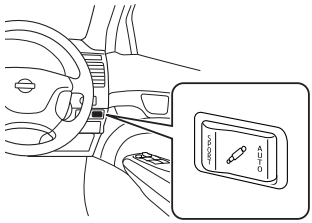
・Pからセレクトレバーが動かないときは、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

知識

・5M-AT 車は、シフトロック解除後、再びセレクトレバーをNからPに戻すときは、シフトロック解除ボタンを押しながら操作してください。

アクティブダンパーサスペンションスイッチ グレード

車の走行や使用条件に合わせて、ショックアブソーバーのかたさ（減衰力）を選択することができます。



ESA1444Z

オートモード

低・中速の滑らかな乗心地と高速のしっかりした走りをバランスさせたセッティングとなります。

・スイッチの AUTO 側を押します。（メーター内の表示灯が消灯）

スポーツモード

中・高速の操縦安定性を重視したセッティングとなります。

・スイッチの SPORT 側を押します。（メーター内の表示灯が点灯）



TSA1468Z

エンジンのかけかた

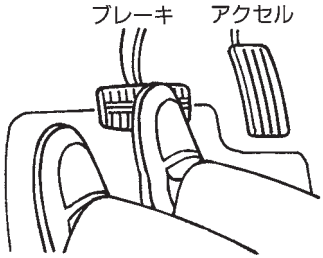
●エンジンをかける前に

各部の調節とペダル位置の確認

①正しい運転姿勢をとり、ペダルが確実に踏めハンドル操作が楽にできるよう、ハンドル、シート位置を調節します。

＊ハンドル、シート…53、54ページをお読みください。

②アクセルペダルとブレーキペダルの位置を右足で確認します。



TCA0579Z

警告

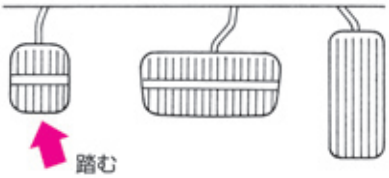
・ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。

知識

・ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、“カチッ”と音が聞こえることがありますが異常ではありません。

パーキングブレーキの確認

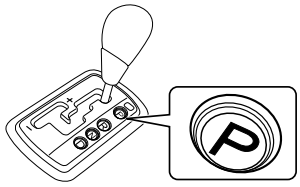
パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
（ブレーキ警告灯が点灯）
＊パーキングブレーキ…130ページをお読みください。



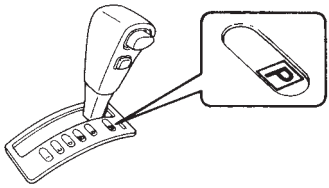
TSC1830Z

セレクトレバー位置の確認

セレクトレバーがPにあることを確認します。



ESD1289Z



TSD0407Z

＊セレクトレバー…132、135ページをお読みください。

注意

・Nでも始動できますが、安全のため必ずPで始動してください。

●エンジンのかけかた

通常の始動

警告

・換気の悪い車庫や屋内では、暖機運転をしないでください。排気ガスによる一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。

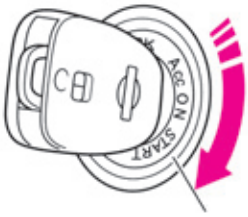
注意

・エンジンをかけるとき、キースイッチをSTART位置で10秒以上保持しないでください。バッテリーあがりやスターターが故障する原因になります。
・エンジンがかからないときは、キースイッチをAcc又は(OFF)に戻し、10秒以上待ってから再始動してください。

アドバイス

・始動直後はエンジンが暖まっていませんので、無用の空吹かしや高回転運転はしないでください。エンジンのためによくありません。また、エンジンが暖機された後でも無用の空吹かしはしないでください。
・暖機運転は、水温計の針が動き出す程度で十分です。

①ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
②アクセルペダルを踏まずに、キースイッチを START 位置に回し、エンジンを始動します。
・エンジンがかかったら、キースイッチから手を離します。



TSC1832Z

③しばらく暖機運転します。暖機中はエンジン回転が上がっていますが、暖機が終わると自動的にエンジン回転が下がります。

＊エンジンイモビライザー（盗難防止装置）…31ページも合わせてお読みください。

エンジンが暖まっているときの始動

高速走行や登坂走行後など、エンジンがかかりにくいときは、次の要領で始動します。
①アクセルペダルを少し（踏み込み量の約1/5）踏み込んだ状態で、エンジンを始動します。
②エンジンがかかったら、アクセルペダルをエンジン回転の上昇に合わせて徐々に戻します。

オートマチック車の運転のしかた

※セレクトレバー位置の（ ）内は、4AT 車を示します。

オートマチック車は、クラッチ操作が無くギヤチェンジを自動化してあるため、運転操作が簡単になりますが、オートマチック車特有の取り扱いかたがありますので、運転の基本操作を十分理解して、正しく操作する習慣をつけてください。

●オートマチック車の特性

クリープ現象

・エンジンがかかっているとき、セレクトレバーがD、R、マニュアルシフトゲート（D、2、1、R）の位置にあると、動力がつながった状態になり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動き出します。この現象をクリープ現象といいます。
・車を少し動かすとき（渋滞や狭い場所での移動）は、クリープ現象を利用すると、アクセルペダルを踏まなくても、ブレーキ操作だけで速度を調節することができます。

⚠ 注意

・停車中は、車が動き出さないように、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。エンジン始動直後やエアコン作動時などは、エンジン回転が上がりクリープ現象が強くなるため、ブレーキペダルを特にしっかりと踏んでください。

キックダウン

D、マニュアルシフトゲート（D、2）の位置で走行中に、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り替わり急加速します。これをキックダウンといいます。
・追い越しや急加速が必要なときに使います。

⚠ 警告

・滑りやすい路面や急カーブなどでは、キックダウン操作を避けてください。タイヤがスリップして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●発進のしかた

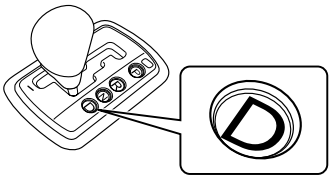
通常の発進

①ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだままにします。

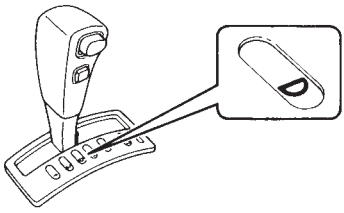
警告

・発進時は絶対にアクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーの操作をしないでください。急発進して、重大な事故につながるおそれがあります。

②セレクトレバーを、前進するときはD、又はマニュアルシフトゲート（D、又は2、1）に、後退するときはRに入れます。
セレクトレバー位置を、目で確認してください。



ESD1016Z



TSA5558Z

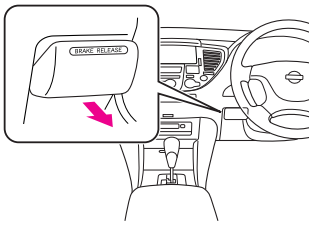
注意

・セレクトレバーをD、R、マニュアルシフトゲート（D、2、1、R）に入れると、クリープ現象で車が動き出します。エンジン始動直後やエアコン作動時は、特に動き出す力が強くなりますので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

知識

・セレクトレバーをPから動かすときは、ブレーキペダルを踏んでいないと動きません。

③パーキングブレーキを解除します。
＊パーキングブレーキ…130ページをお読みください。

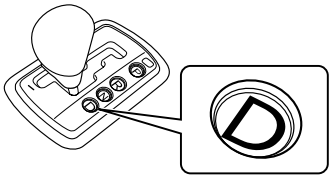


ESA1436Z

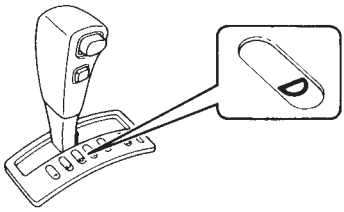
④ブレーキペダルを徐々にゆるめた後、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。

急な上り坂での発進

①セレクトレバーの位置を、目で確認します。



ESD1016Z

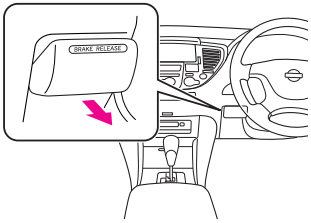


TSA5558Z

注意

・上り坂で、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。トランスミッションが故障する原因となります。

②パーキングブレーキをかけたままで、ブレーキペダルを徐々にゆるめます。
③アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動き出す感触を確認します。
④パーキングブレーキを解除し、発進します。

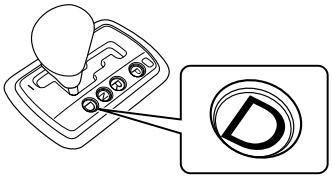


ESA1436Z

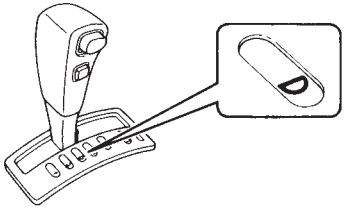
●走行のしかた

通常の走行

・セレクトレバーを**D**に入れたまま走行します。
・アクセルペダルとブレーキペダルの操作だけで加速、減速を行います。
アクセルペダルの踏みかげんと走行速度により、適切なギヤに自動変速されます。



ESD1016Z



TSA5558Z

警告

・4AT 車は高速走行中**2**又は**1**に入れないでください。急激なエンジンブレーキがかかりタイヤがスリップしたり、エンジンが過回転となり、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。
＊各セレクトレバー位置の限界速度
…137ページをお読みください。

注意

・走行中はNにしないでください。エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションが故障する原因となります。

急加速したいときは

アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。
キックダウンし急加速します。
＊キックダウン…145ページをお読みください。



TSC0678Z

警告

・滑りやすい路面や急カーブなどでの急加速は避けてください。タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

・低速ギヤに切り替わる（キックダウンする）と、エンジン回転が急に上がります。

上り坂の走行

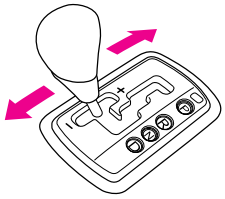
・速度が下がってきたら、Dのままでアクセルペダルを踏み込みます。坂の勾配に応じて、自動的に低速ギヤに切り替わります。

知識

・アクセルペダルの踏みかげんと走行速度により、キックダウンします。

〈5M−AT 車〉

・自動変速の回数が多いときは、坂の勾配に応じてマニュアルモードに入れると、変速回数が少ない、なめらかな走行ができます。
＊マニュアルモードの使いかた…134ページをお読みください。
＊ A/T モードスイッチ…138ページも合わせてお読みください。



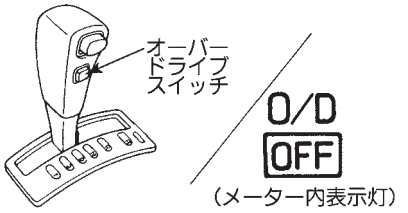
ESD1017Z

〈4AT 車〉

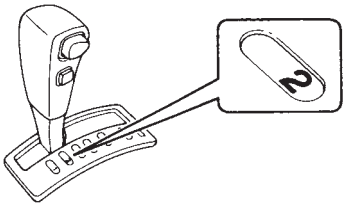
・自動変速の回数が多いときは、坂の勾配に応じて、オーバードライブスイッチを OFF にするか、セレクトレバーを2に入れると、変速回数が少ない、なめらかな走行ができます。

＊オーバードライブスイッチ…137ページをお読みください。

＊ A/T モードスイッチ…138ページも合わせてお読みください。



TSD0316Z



TSA5559Z

下り坂の走行

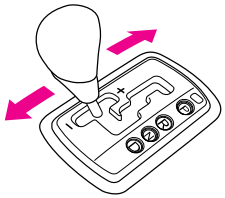
エンジンブレーキを併用して走行します。

〈5M−AT 車〉

・坂の勾配に応じてマニュアルモードに入れます。
強いエンジンブレーキが必要な場合は、マニュアルモードの2速又は1速にします。

・勾配のゆるい下り坂では、マニュアルモードの4速又は3速にすると、軽いエンジンブレーキが得られます。

＊マニュアルモードの使いかた…134ページをお読みください。

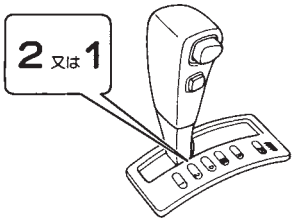


ESD1017Z

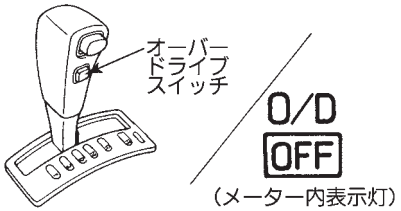
〈4AT 車〉

・坂の勾配に応じて、セレクトレバーを2又は1に入れます。
強いエンジンブレーキが必要な、急な下り坂では1に入れます。

・勾配のゆるい下り坂では、オーバードライブスイッチを OFF にすると、軽いエンジンブレーキが得られます。
＊オーバードライブスイッチ…137ページをお読みください。



TSA5560Z



TSD0316Z

警告

・オートマチック車はDのままで下り坂を走行すると、エンジンブレーキの効きが弱く、スピードが出すぎることがあります。このようなときは、フットブレーキだけを使い続けると、フットブレーキに負担がかかり、過熱してブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。必ずエンジンブレーキを併用してください。

・滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキは効かせないでください。タイヤがスリップするおそれがあり危険です。

注意

・走行中はセレクトレバーをNに入れないでください。エンジンブレーキが全く効かず、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションが故障する原因となります。

・4AT 車は高速走行中2、1に入れないでください。エンジンが過回転となり、エンジンを破損するおそれがあります。
＊各セレクトレバー位置の限界速度…137ページをお読みください。

●停車のしかた

・セレクトレバーはDのままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。



TSC0679Z

・上り坂では、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
・停車時間が長くなるときは、セレクトレバーをNに入れます。

警告

・停車中の空吹かしはしないでください。万一、セレクトレバーがD、R、マニュアルシフトゲート（D、2、1、R）に入っていると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後の再発進は、セレクトレバーの位置を、目で確認してください。

注意

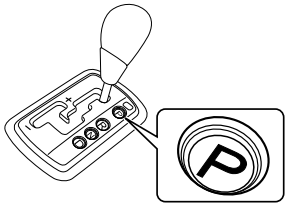
・エアコンを使っているとエンジン回転が変動し、クリープ現象が断続的に強くなることがあります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏んでください。

アドバイス

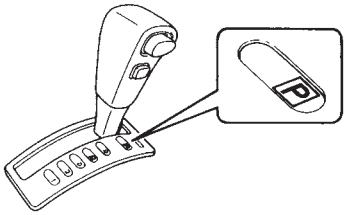
・上り坂ではクリープ現象を利用した停車はしないでください。車が後退しないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、パーキングブレーキを確実にかけてください。

●駐車のしかた

①車を完全に停止させます。
②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
③セレクトレバーをPに入れ、目で確認します。



ESD1007Z



TSC1831Z

④エンジンを止めます。

注意

・車から離れるときは、必ずセレクトレバーをPに入れ、エンジンを止めてください。エンジンがかかったままで、セレクトレバーがD、R、マニュアルシフトゲート（D、2、1、R）に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

・Pに入れると駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

＊駐・停車するときは…16ページも合わせてお読みください。

●そのほかに気をつけること

警告

・坂道などでセレクトレバーをD又はマニュアルシフトゲート（D又は2、1）に入れたまま惰性での後退をしたり、Rに入れたまま惰性での前進をしないでください。エンジンが止まり、極度にハンドルの操作が重くなったりブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車を少し移動させるとき

・車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダル、アクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

・後退時は身体をひねった状態となり、ペダルの操作を間違うおそれがあります。ブレーキペダルが確実に踏める姿勢をとるようにしてください。
・少し後退したときなどは、Rに入れたことを忘れてしまうことがあります。後退した後は、すぐNに戻す習慣をつけてください。

4WD（4輪駆動）車の扱いかた

●4WD 車について

4WD 車は、滑りやすい路面などで優れた走行性能を発揮しますが、万能ではありません。

＊アテーサ E-TS…192ページをお読みください。

●走行するときは

オフロード（不整地）走行やラリー走行用ではありません。走行するときは以下のことを必ずお守りください。

＊渡河などの水中走行はしないでください。

＊砂地、ぬかるみなど、前輪が空転しやすいところでの連続走行はしないでください。

＊脱輪などにより車輪が宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。



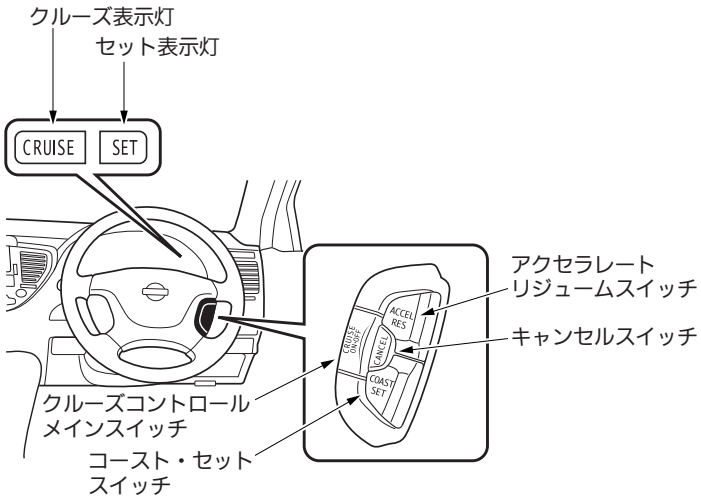
TSA5585Z

・運転操作は一般車と同様です。ハンドル、アクセル、ブレーキなどの操作は慎重に行い、安全運転に心がけてください。

知識

・4WD 車は、2WD 車に対し、制動距離が短くなるわけではありません。

ASCD（オートスピードコントロール） グレード



ESA1455Z

ASCD をセットするとアクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。
約40～100km/h の間で任意の速度にセットできます。

注意

・高速道路や混雑の少ない道路などで使うと便利ですが、安全のため急な下り坂、見通しが悪い道路、混雑している道路、積雪・凍結などで滑りやすい道路では使わないでください。

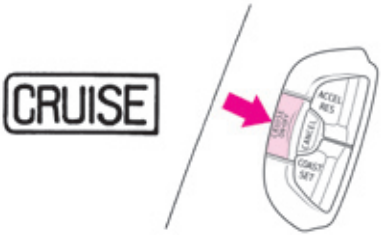
アドバイス

・ASCD の電子制御システムに異常があると ASCD の作動が停止し、メーター内のセット（SET）表示灯が点滅します。
表示灯が点滅したときは、クルーズコントロールメインスイッチを OFF にし、日産販売会社で点検を受けてください。

●定速走行するとき

セットのしかた

①クルーズコントロールメインスイッチを押します。（ON）
（メーター内のクルーズ表示灯が点灯）



TSA5528Z

②車速がセットしたい速度になったら、コースト・セットスイッチを押します。
（メーター内のセット表示灯が点灯）



TSA5529Z

・以上で定速走行を開始します。

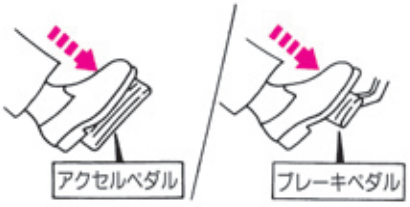
アドバイス

・ASCD を使わないときは、クルーズコントロールメインスイッチを OFF にしてください。間違ってハンドルのスイッチを押すと ASCD がセットされてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。
・定速走行中アクセルペダルを踏むと加速しますが、アクセルペダルを戻すと、セットした速度で定速走行に戻ります。
・次の場合は定速走行が解除されます。
＊キャンセルスイッチを押したとき
＊ブレーキペダルを踏んだとき
＊車速が30km/h 以下になったとき
＊クルーズコントロールメインスイッチを OFF にしたとき
＊設定車速より約13km/h 以上車速が低下したとき
＊セレクトレバーをNに入れたとき
・ハンドルにある ASCD のスイッチを押しながら、クルーズコントロールメインスイッチを押して電源を入れると（ON）、セット（SET）表示灯が点滅する場合があります。セットするときは①、②の順番で行ってください。

●定速走行中に設定速度を変えるとき

ペダルを踏んで変えるとき

①アクセル、又はブレーキペダルを踏み、速度を変えます。



TSC1833Z

②希望の速度になったらコースト・セットスイッチを押します。

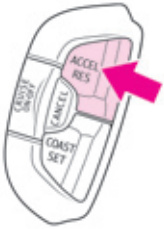


ESA1456Z

ハンドルのスイッチで変えるとき

〈設定速度を上げたいとき〉

①アクセラレート・リジュームスイッチを押し続けると加速します。
②希望の速度になったら手を離します。



ESA1457Z

〈設定速度を下げたいとき〉

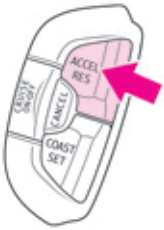
①コースト・セットスイッチを押し続けると減速します。
②希望の速度になったら手を離します。



ESA1456Z

もう一度、定速走行に戻したいとき

アクセラレート・リジュームスイッチを押します。
（車速が約40～100km/h のとき戻せます。）



ESA1457Z

●セットを解除するとき
ブレーキペダルを踏むか、キャンセルスイッチを押します。



TSC1834Z

● ASCD のシステムを解除するとき
クルーズコントロールメインスイッチを押して OFF にします。（メーター内のクルーズ表示灯が消灯）



ESC0999Z

車間自動制御システム

グレード オプション

セレクトレバーがDのとき、以下のような2通りのモードで走行することができます。

・車間制御モード
先行車との距離を測定し、車速に応じた車間距離を自動的に保ちながら走行するモード
＊160ページをお読みください。

・定速制御モード
任意に設定した車速で定速走行するモード
＊174ページをお読みください。

車間制御モード・定速制御モードの選びかた

キースイッチが ON のときに選択することができます。

車間制御モードで使用するときは

①クルーズシステムメインスイッチを押して ON にします。



ESD1027Z

②メーター内にある車間自動制御システムディスプレイのクルーズ表示灯、設定車間表示、設定車速が点灯し、セット待機状態になります。
メーター内にある車間自動制御システムディスプレイの表示は上記のイラストのようになります。

定速制御モードで使用するときは

①クルーズシステムメインスイッチを約1.5秒以上押し続け ON にします。



ESD1028Z

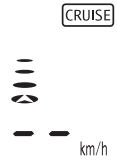
②メーター内にある車間自動制御システムディスプレイのクルーズ表示灯が点灯し、セット待機状態になります。
メーター内にある車間自動制御システムディスプレイの表示は上記のイラストのようになります。

注意

・車間制御モードと定速制御モードでは、制御の内容が異なります。車間自動制御システムを使用するときは、どちらのモードが選択されているかを車間自動制御システムディスプレイで必ず確認してください。

知識

・モードを選択した後、他方のモードに切り替えたい場合は、クルーズシステムメインスイッチでシステムを一旦 OFF にしてから、再度先述の操作を行ってください。
・各モード使用時の車間自動制御システムディスプレイの表示は以下のようになります。

	車間制御モード	定速制御モード
セット待機状態	 ESD1029Z	 ESD1064Z
制御中	〈例〉 ESD1038Z	 ESD1065Z

車間制御モード

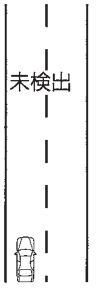
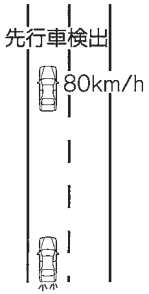
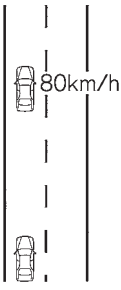
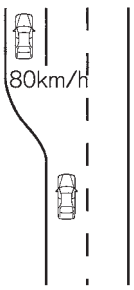
先行車との距離を測定し、車速に応じた車間距離を自動的に保ちながら走行することができます。

セレクトレバーがDのときに以下の制御を行います。

・先行車がいないときは、運転者がセットした車速（約40km/h ～100km/h）で定速走行します。

・先行車がいるときは、運転者がセットした車速（約40km/h ～100km/h）を上限として、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。

・先行車がいなくなったときは、セットした速度までゆっくりと加速し、定速走行を行います。

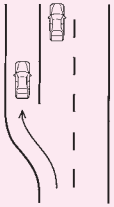
走行状況	定速走行 先行車がいないとき	減速走行 設定した車速より遅い先行車が現れたとき	追従走行 設定した車速より遅い先行車に追従するとき	加速走行 設定した車速より遅い先行車がいなくなったとき
例	100km/h に設定	100km/hで定速走行時に、80km/hの先行車がいるとき	100km/h に設定しているときに、80km/h の先行車がいるとき	100km/h に設定しているときに、80km/h の先行車がいなくなったとき
	 TSA1598Z 100km/h （設定車速）	 TSA1599Z 100km/h →80km/h	 TSA1600Z 80km/h	 TSA1601Z 80km/h →100km/h （設定車速）

⚠ 注意

・車間距離制御には限界がありますので、車間自動制御システムを過信しないでください。脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨・霧などの視界不良を補助するものではありません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
・システムの制御によってブレーキ操作を行いますが、自動的に車両を停止させるシステムではありません。車速が約35km/h 以下になると、ブザーが鳴ると同時に車間自動制御システムは自動的に解除されます。（ブレーキ制御も解除されます。）
・減速能力には限界があるので、比較的速度変化の緩やかな高速道路や自動車専用道路などでご使用ください。
また、自車の前へ他車が割り込んだときや、先行車が急ブレーキをかけたときなどは、十分な減速ができず先行車に接近することがあります。
この場合は、ブザー及び車間自動制御システム表示による警報で注意を促します。
・次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので車間自動制御システムを使わないでください。
＊交通量の多い道や急カーブのある道
道路状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
＊凍結路や積雪路など滑りやすい路面
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
＊悪天候（雨、霧、雪など）のとき
先行車との車間距離が正確に検出できない場合があります。
ワイパーを低速、又は高速で作動させる（ワイパースイッチが INT の位置でワイパーが低速、又は高速で作動しているときを含む）と車間自動制御システムは自動的に解除されます。
＊前方からの強い光（太陽光など）を受けたとき
先行車との距離が正確に検出できない場合があります。
＊センサー部に雨滴、雪などが付着しているとき
先行車との距離が正確に検出できない場合があります。
＊急な下り坂
先行車がいない場合はシステムの制御によるブレーキ操作を行わないため、セットした車速をこえてしまうおそれがあります。
また、先行車がいて追従走行している場合には、ブレーキが加熱してしまうおそれがあります。
＊急な上り坂、下り坂が繰り返される道
先行車を正確に検出できず、先行車に近づきすぎて思わぬ事故につながるおそれがあります。
＊頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況のとき
交通状況にあった速度で走行できないため、事故につながるおそれがあります。

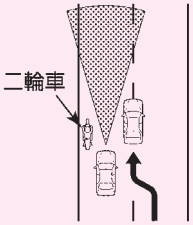
⚠ 注意

＊高速道路などで、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどに進入する（本線から出る）とき
本線上で車間自動制御システムによりセット車速よりも遅い車速で走行する先行車に追従走行している場合には、自車又は先行車の車線変更などで、自車線上に先行車がいなくなることによりセット車速までシステムの制御により加速するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSA1602Z

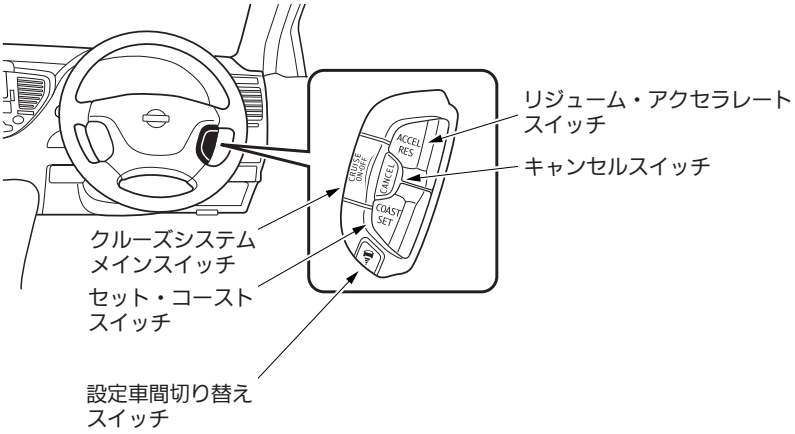
・停止中の車両や自車速より極端に遅い車両に対しては、車間自動制御システムによる制御も接近警報も行いません。料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両や極端に速度の遅い車両などには十分注意してください。
・このシステムは先行車のリフレクター（反射器）を主に検出しているため、次の場合には、先行車を正確に検出できず、車間距離が適切に保てなくなる場合があります。
＊先行車のリフレクターが高い位置にある車（トレーラーなど）のとき
＊先行車の後部が著しく汚れているとき
＊先行車や他車線の車が路上の水や雪などを巻き上げて走っているとき
＊先行車や他車線の車からの排煙（黒煙）がひどい場合や、走行道路周辺で煙が発生して前方の視界が十分に見通せないとき
＊先行車がリフレクター部にフィルムなどを貼った車やリフレクターが付いていない車、リフレクター部が破損している車のとき
＊後席やトランク中に極端に重い荷物を積んだとき
＊急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
・近距離ではセンサーの検出エリアが狭いため、自車線の端を走行する二輪車を検出できなかったり、間近に割り込んでくる先行車の検出が遅れたりして、車間距離が適切に保てない場合があります。



ESA1691Z

・センサーの汚れを自動で判定する機能を備えておりますが万全ではありません。
状況によってはセンサーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。このような状況では、車間距離が適切に保てなくなるおそれがありますので、常に前方に注意して走行してください。また、センサー部はいつもきれいにしておいてください。
なお、汚れを判定した場合は、車間自動制御システムは自動的に解除されます。
・道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）や自車の状況（ステアリング操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっては、一時的に先行車を検出できなくなったり、隣の車線の車両や周辺のものを検出して制御したり、警報が作動する場合があります。
また、一時的に先行車を検出できず、先行車に近づく場合があります。

●車間自動制御システムコントロールスイッチ



ESD1031Z

クルーズシステムメインスイッチ

車間自動制御システムのON・OFFができます。

知識

・クルーズシステムメインスイッチは、車間自動制御システムのメインスイッチと、レーンキープサポートシステムのメインスイッチを兼用しています。
（レーンキープサポートシステム付車のみ）

セット・コーストスイッチ

セット操作ができます。
設定車速を下げる操作ができます。

リジューム・アクセラレートスイッチ

制御を解除後、解除前の設定車速で再びセットすることができます。
設定車速を上げる操作ができます。

キャンセルスイッチ

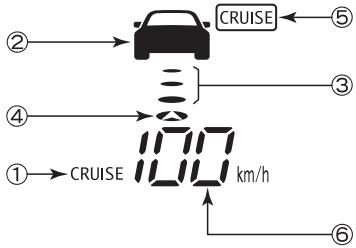
制御の解除操作ができます。

設定車間切り替えスイッチ

設定車間を「長」「中」「短」の3段階に切り替えることができます。

●車間自動制御システムディスプレイ

車間自動制御システムディスプレイはメーター内にあります



ESD1033Z

①車間自動制御システム警告灯（オレンジ）

車間自動制御システムに異常があることをお知らせします。

②先行車検出表示

先行車検出の有無をお知らせします。

③設定車間表示

設定車間切り替えスイッチで設定した設定車間を表示します。

④自車マーク

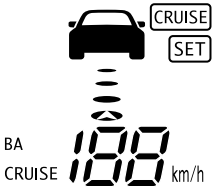
⑤クルーズ表示灯

メインスイッチが ON になっていることをお知らせします。

⑥設定車速表示

設定した車速を表示します。

・キースイッチを ON にすると電球切れチェックのため下記のように点灯し、エンジンをかけると消灯します。



ESD1163Z

●セットするとき

①クルーズシステムメインスイッチを押して ON にします。
（クルーズ表示灯、設定車間表示、設定車速表示が点灯し、セット待機状態になります。）

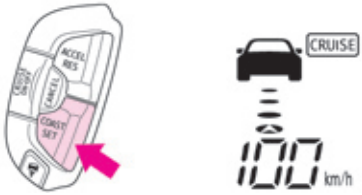


ESD1035Z

②設定したい車速まで加速又は減速します。

③セット・コーストスイッチを押します。

・スイッチを押したときの車速が設定車速になります。
（先行車検出の有無、設定車間、設定車速が表示されます。）



ESD1036Z

以上の操作で制御を開始します。

注意

・車間自動制御システムを使用しないときは、メインスイッチを OFF にしてください。間違ってスイッチを押すと車間自動制御システムがセットされてしまい思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

・セレクトレバーがD以外のときはセットできません。
・スノーモード選択時はセットできません。このときは車間自動制御システムのディスプレイが点滅します。
車間自動制御システムを使用するときは、スノーモードを解除した後、メインスイッチで車間自動制御システムを一旦 OFF にし、再度①から操作し直してください。
＊ A/T モードスイッチ…138ページをお読みください。

知識

・VDC 又は TCS が OFF のときはセットできません。
このときは車間自動制御システムのディスプレイが点滅します。
車間自動制御システムを使用するときは、VDC 又は TCS を ON にした後、メインスイッチで車間自動制御システムを一旦 OFF にし、再度①から操作し直してください。
＊VDC…190ページをお読みください。
＊TCS…189ページをお読みください。



ESD1037Z

・ワイパーを低速（LO）又は高速（HI）で作動させているとき（ワイパースイッチが INT の位置でワイパーが低速、又は高速で作動しているときを含む）はセットできません。
・エンジンを止めるとメインスイッチは自動的に OFF になります。
・設定車間はエンジンをかけるたびに「長」になります。「中」又は「短」に切り替えたいときは設定車間切り替えスイッチを操作します。
＊車間距離設定の変えかた…169ページをお読みください。

システムの作動

〈先行車がいるとき〉

運転者が設定した車間距離を保つように車速を制御します。
（先行車検出表示が点灯します。）



ESD1038Z

知識

- 設定車速（約40～100km/h）を上限とする範囲で制御します。
- システムの制御によりブレーキ操作を行うときは、ブレーキペダルが動き自車の制動灯が点灯します。

注意

- ブレーキペダルの下に足を置かないでください。車間自動制御システムの制御によりブレーキを作動させたとき、足が挟まれるおそれがあります。

〈先行車がいなくなったとき〉

設定車速までゆっくりと加速し、定速走行します。
（先行車検出表示が消灯します。）



ESD1039Z

知識

- 設定車速までの加速中に先行車が現れれば、再び車間制御（追従走行）を行います。
- 設定車速まではシステムの制御によって加速しますが、素早く加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。

●設定車速の変えかた

⚠ 注意

・車間制御（追従走行）しているときは、先行車に合わせた車速に制御されるため、リジューム･アクセラレートスイッチを押して、設定車速を上げても加速しません。
ただし、このときに設定車速は現行の走行車速より高く設定されるので、先行車がいなくなった後その設定車速まで加速します。設定車速は車間自動制御システムディスプレイの設定車速表示を確認しながら変更してください。

設定車速を変えたいとき

〈設定車速を上げたいとき〉

・リジューム・アクセラレートスイッチを押すと、設定車速が5km/h きざみで上がります。
・車間自動制御システムディスプレイに設定車速が表示されます。



ESD1040Z

〈設定車速を下げたいとき〉

・セット・コーストスイッチを押すと設定車速が5km/h きざみで下がります。
・車間自動制御システムディスプレイに設定車速が表示されます。



ESD1041Z

一時的に加速、減速をしたいとき

〈加速したいとき〉

・アクセルペダルを踏むと、加速します。
アクセルペダルを離せば、元の制御状態に戻ります。

注意

・アクセルペダルを踏んでいるときは、システムの制御によるブレーキ操作も警報も行いません。

〈減速したいとき〉

・ブレーキペダルを踏むと、減速（制御が解除）します。
（設定車速表示の車速値が消灯し、セット待機状態になります。）
・解除前の設定車速で再びセットしたいときは、リジューム・アクセラレートスイッチを押します。
（車間自動制御システムディスプレイが再びセット状態表示になります。）



ESD1040Z

注意

・通常、車間制御（追従走行）中は先行車の速度に合わせて自動的に加速、減速を行いますが、車線変更などで加速が必要なとき、及び先行車が急減速したり、他車が割り込むなどして先行車に接近しそうになったときなどはアクセルペダル、又はブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。

知識

・アクセルペダルを踏んで加速した場合や、セット・コーストスイッチで設定車速を下げた場合などで設定車速より実際の車速の方が高くなったときは、設定車速表示が点滅します。



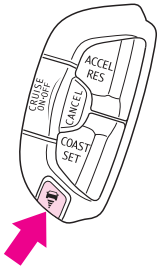
ESD1042Z

・アクセルペダルを戻した後に定速走行し、車速が設定車速となった場合や、車間制御で車速が設定車速以下となったときは、設定車速が点灯状態に戻ります。

●車間距離設定の変えかた

先行車との車間距離を交通状況に応じて選ぶことができます。
制御中又はセット待機状態のときに設定車間を切り替えることができます。

・設定車間切り替えスイッチを押すごとに「長」→「中」→「短」→「長」の順に切り替わります。



ESD1043Z

設定車間	ディスプレイ
長	 ESD1044Z
中	 ESD1045Z
短	 ESD1046Z

知識

・各制御車間距離は車速に応じて変わり、車速が高いほど長くなります。
・車速100km/h で走行しているとき、設定車間での制御車間距離の目安は次の通りです。
　長：約60m
　中：約50m
　短：約35m

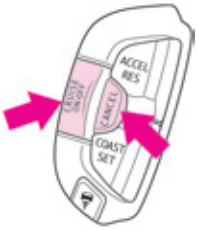
アドバイス

・エンジンを止めると、設定車間は「長」に戻ります。
（エンジンをかけるたびに初期の設定車間は「長」になります。）

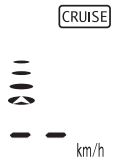
●解除のしかた

キャンセルスイッチ又は、クルーズシステムメインスイッチを押すか、ブレーキペダルを踏んでシステムを OFF にします。

・キャンセルスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。



ESD1047Z



ESD1029Z

・次の場合は“ピー”というブザー音とともに制御が自動で解除されます。

＊車速が、約35km/h を下回ったとき

＊セレクトレバーを D 以外の位置にしたとき、又はスノーモードにしたとき

＊ワイパーを低速（LO）、又は高速（HI）で作動させたとき（ワイパースイッチが INT の位置でワイパーが低速、又は高速で作動しているときを含む）

＊ VDC 又は TCS が作動したとき

＊ VDC 又は TCS が OFF のとき

＊前方から強い光（太陽光など）を受けたとき

＊センサー部が汚れ、車間距離の測定が困難になったとき

＊タイヤが空転したとき

●接近警報

車間制御中（追従走行中）に先行車の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、次のようにブザーと車間自動制御システムディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。

この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。

・先行車に接近し、車間距離が十分でないと判断されるときは

＊ブザーが“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴ります。

＊車間自動制御システムディスプレイの設定車間表示が点滅します。



ESD1048Z

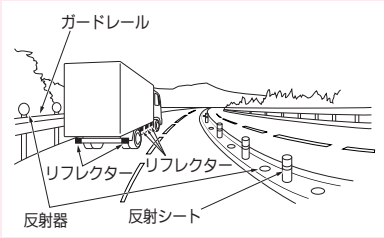
・先行車に衝突するおそれがあると判断されるときは
＊ブザーが“ピピピピ…”と鳴ります。
＊車間自動制御システムディスプレイの先行車検出表示、設定車間表示が点滅します。



ESD1049Z

⚠ 注意

・警報ブザーが頻繁に鳴るような状況では、車間自動制御システムを使用しないでください。
・短い車間距離でも、次の場合には警報が作動しないことがあります。
＊先行車との相対速度が小さいとき（ほぼ同じ速度で走っているとき）
＊先行車の方が自車より速いとき（車間距離が次第に離れているとき）
＊アクセルペダルを踏んでいるとき
＊他車が至近距離に割り込んできたとき
・料金所や渋滞の最後尾で停車中の車両や、自車速より極端に車速が遅い車両に対しては警報が作動しません。
・道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、車線規制や工事中などで車線の幅が狭くなっている道）や、自車及び周辺車両の状況（ステアリング操作、車線内の位置、事故や故障で走行が不安定な場合など）によっては、一時的に隣車線の車両のリフレクターや、車道脇に設置されている反射器、反射シート、ガードレールの反射器などを検出して、接近警報が作動する場合があります。

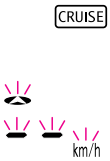


ESD0984Z

●警告表示

次の場合は、“ピー”というブザー音とともに車間自動制御システムが自動的に解除され、車間自動制御システム警告灯及び車間自動制御システムディスプレイの一部が点灯又は点滅しセットできなくなります。

＊VDC 又は TCS が作動したとき
＊VDC 又は TCS が OFF のとき
＊スノーモードを選択したとき
＊タイヤが空転したとき
＊前から強い光（太陽光など）を受けたとき



ESD1164Z

処置

・制御が解除されたときの状態が改善されてから、クルーズシステムメインスイッチでシステムを一旦 OFF にした後、再びセット操作を行ってください。

アドバイス

・上記の操作をしてもセットできない、又は表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

＊センサー部が汚れ、先行車の検出が困難になったとき



ESD1165Z

処置

・点灯したときは、安全な場所に停車して、一度エンジンを止めてから、汚れている部位を柔らかい布で清掃し、再びセット操作を行ってください。

アドバイス

・上記の操作をしてもセットできない、又は表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

＊車間自動制御システムに異常があるとき

CRUISE

ESA1445Z

処置

・点灯したときは、安全な場所に停車して、一度エンジンを止めてから再度セット操作を行ってください。

アドバイス

・上記の操作をしてもセットできない、又は表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

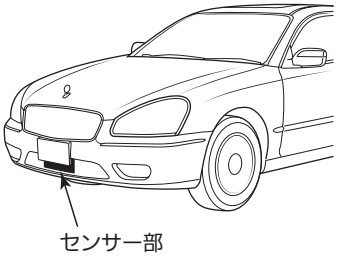
●センサー部の取り扱い

車間自動制御システムを正しく作動させるために、以下のことを守ってください。

・バンパー開口部に装着されているセンサー部はいつもきれいにしておいてください。
汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
センサー本体の窓部が著しく汚れた場合は、日産販売会社にご相談ください。

・センサー及びセンサー部周辺に強い衝撃を与えないでください。また、センサーにある軸調整ネジ部に触れたり、分解したりしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでセンサー取付部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。

・センサー部周辺には、ステッカー（透明なものを含む）を貼ったりアクセサリーなどを取り付けないでください。故障、誤作動の原因になります。



ZPA0065

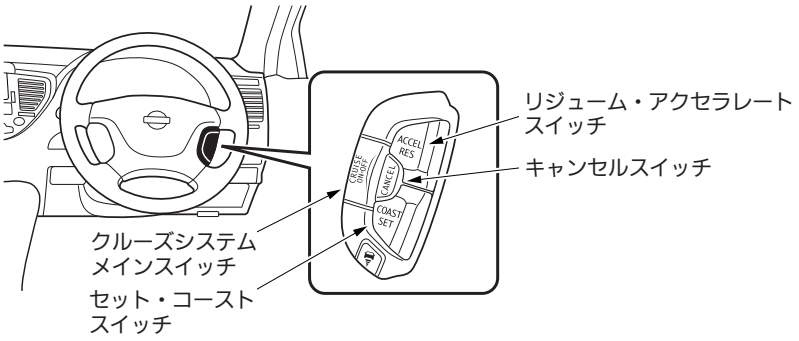
定速制御モード

セレクトレバーがDのとき、アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。
約40km/h ～100km/h の間で任意の速度にセットできます。

⚠ 注意

・定速制御モード中は、車間制御を行わないため、システムの制御によるブレーキ操作も警報も行いません。
先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
・次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので車間自動制御システムを使わないでください。
＊交通量の多い道や急カーブのある道
交通状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
＊凍結路や積雪路など滑りやすい路面
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
＊急な下り坂
急な下り坂ではエンジンブレーキが十分効かないため、セットした速度を越えてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●車間自動制御システムコントロールスイッチ



ESD1032Z

クルーズシステムメインスイッチ

車間自動制御システムのON・OFFができます。

知識

・クルーズシステムメインスイッチは、車間自動制御システムのメインスイッチと、レーンキープサポートシステムのメインスイッチを兼用しています。
（レーンキープサポートシステム付車のみ）

セット・コーストスイッチ

セット操作ができます。
設定車速を下げる操作ができます。

リジューム・アクセラレートスイッチ

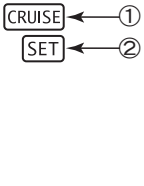
制御を解除後、解除前の設定車速で再びセットすることができます。
設定車速を上げる操作ができます。

キャンセルスイッチ

制御の解除操作ができます。

●車間自動制御システムディスプレイ

車間自動制御システムディスプレイはメーター内にあります



ESD1051Z

①クルーズ表示灯

メインスイッチが ON になっていることをお知らせします。

②セット表示灯

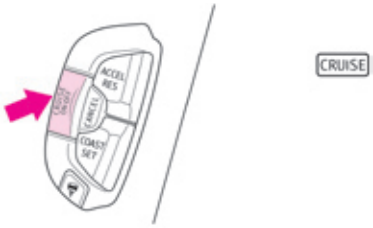
定速制御モードで走行していることをお知らせします。
（設定車速をセットすると点灯します。）

③車間自動制御システム警告灯（オレンジ）

車間自動制御システムに異常があることをお知らせします。

●セットするとき

①クルーズシステムメインスイッチを約1.5秒以上押し続けて ON にします。
（メーター内のクルーズ表示灯が点灯し、セット待機状態となります。）

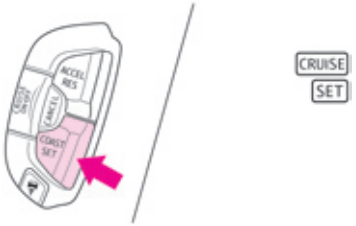


ESD1052Z

②設定したい車速まで加速又は減速します。

③セット・コーストスイッチを押します。

・アクセル又はブレーキペダルから足を離してください。
・スイッチを押したときの車速が設定車速になります。
（メーター内のセット表示灯が点灯します。）



ESD1053Z

以上の操作で制御を開始します。

注意

・車間自動制御システムを使用しないときは、メインスイッチを OFF にしてください。間違ってスイッチを押すと車間自動制御システムがセットされてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

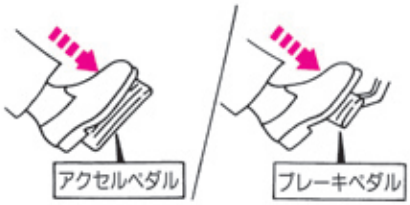
知識

・定速走行中アクセルペダルを踏むと加速しますが、アクセルペダルを戻すと、セットした速度で定速走行に戻ります。

●設定車速の変えかた

ペダルを踏んで変えるとき

①アクセル、又はブレーキペダルを踏み、速度を変えます。



TSC1833Z

②希望の速度になったらセット・コーストスイッチを押します。



ESD1041Z

ハンドルのスイッチで変えるとき

〈設定車速を上げたいとき〉

①リジューム・アクセラレートスイッチを押し続けると加速します。

②希望の速度になったら手を離します。



ESD1040Z

〈設定車速を下げたいとき〉

①セット・コーストスイッチを押し続けると減速します。

②希望の速度になったら手を離します。



ESD1041Z

一時的に加速、減速をしたいとき

〈加速したいとき〉

・アクセルペダルを踏むと、加速します。
アクセルペダルを離すと、セットした速度での定速走行に戻ります。

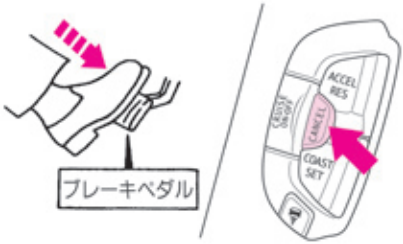
〈減速したいとき〉

・ブレーキペダルを踏むと、減速（制御を解除）します。
（セット表示灯が消灯し、セット待機状態になります。）

・解除前の設定車速で再びセットしたいときは、リジューム・アクセラレートスイッチを押します。
（セット表示灯が再び点灯します。）

●セットを解除するとき

ブレーキペダルを踏むか、キャンセルスイッチを押します。

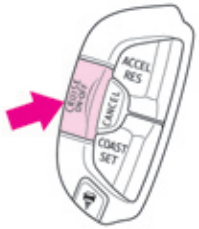


ESD1054Z

・次の場合は“ピー”というブザー音とともに制御が自動で解除されます。
＊車速が、約35km/h 以下になったとき
＊設定車速より約13km/h 以上車速が低下したとき
＊セレクトレバーを D 以外の位置にしたとき
＊ VDC 又は TCS が作動したとき
＊タイヤが空転したとき

●定速制御モードを解除するとき

クルーズシステムメインスイッチを押して OFF にします。
（メーター内のクルーズ表示灯が消灯）



ESD1055Z

●警告表示

車間自動制御システムに異常がある場合、“ピー”というブザー音とともにシステムが自動的に解除され、車間自動制御システム警告灯が点灯してセットできなくなります。

CRUISE

ESA1445Z

処置

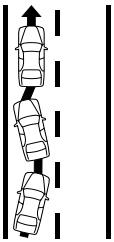
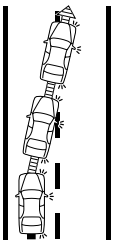
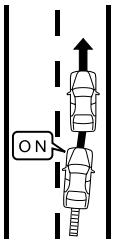
・点灯したときは、安全な場所に停車して、一度エンジンを止めてから、再度セット操作を行ってください。

アドバイス

・上記の操作をしてもセットできない、又は表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

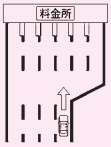
レーンキープサポートシステム（直線路車線維持支援装置） オプション

高速道路の直線路において、走行レーンの白線（又は黄線）に沿って走行するように、ハンドルの操舵力の一部を補助的に付加するシステムです。
直線路を走行中、片勾配や横風などによって走行位置が乱されるとき、車両通行帯のほぼ中央位置を保つように制御します。

走行状況	制御中	制御待機中	制御復帰
例	直線路では、車線に沿って走行するようにハンドルに補助的な力を加えます。車線を逸脱しそうになった場合は、音と表示によりお知らせします。カーブでは、車線に沿って走行するだけの力を付加しません。	運転者が車線変更などのためにハンドルや、方向指示器を操作した場合、一時的に制御を解除します。	待機中に運転者の操作が終了し、カメラが走行レーンの白線（又は黄線）を再度検出すると、制御が復帰します。
	 ESA1663Z	 ESA1665Z	 ESA1666Z

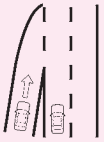
注意

・レーンキープサポートシステムは全自動運転装置ではありません。
・車線維持制御には限界があります。路面の傾斜、わだち、横風などの状態によっては走行レーンの白線（又は黄線）に沿って走行できない条件がありますので、システムを過信しないでください。
脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。常に道路状況に注意を払い、状況に応じたハンドルの保持、操作を行ってください。
・このシステムは、ルームミラー上方に装着されているカメラによって、道路上の走行レーンの白線（又は黄線）を認識して車線を検出しているため、ペイントが整備された高速道路や自動車専用道路の本線上で使用してください。
・直線路のみシステムは作動します。カーブにさしかかると徐々に制御を解除します。しかし再び直線路を走行すると徐々に制御を開始します。
・次のような場所や状況では、走行レーンの白線（又は黄線）を正しく検出できず、レーンキープサポートシステムが作動しない、又は作動が自動的に解除される場合があります。
＊高速道路料金所手前などの白（黄）線がない場所



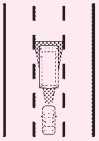
ESA1667Z

＊白（黄）線が消えかかっている場所
＊白（黄）線上に雪、水溜まり、汚れなどがあるとき
＊車線の分岐、合流がある場所



ESA1668Z

＊トンネルの出入り口など、周辺の明るさが急に変わったとき
＊前の車との車間距離が短く、前方の車線が遮られるとき



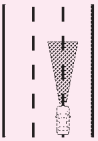
ESA1669Z

＊自車の進行方向が走行レーンの白線（又は黄線）で規定された車線とずれているとき



ESA1670Z

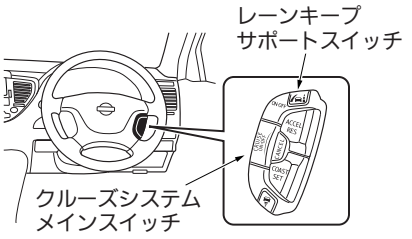
＊車線を規定する白（黄）線をまたいで走行しているとき



ESA1671Z

・次のような状況では、走行レーンの白線（又は黄線）を正しく検出できずレーンキープサポートシステムが作動しない、又は作動が自動的に解除される場合があります。レーンキープサポートシステムを使用しないでください。
＊悪天候（雨、霧、雪、砂嵐など）のとき
＊朝日、夕日など強い光を前方から受けるとき

●レーンキープサポートスイッチ



ESA1637Z

クルーズシステムメインスイッチ

レーンキープサポートシステムの ON・OFF ができます。

知識

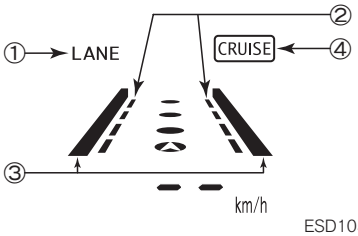
- クルーズシステムメインスイッチは、レーンキープサポートシステムと車間自動制御システムのメインスイッチを兼用しています。
- クルーズシステムメインスイッチは、1回押すごとに ON、OFF が切り替わります。ディスプレイ表示を確認し、どちらの状態か確認してから操作してください。

レーンキープサポートスイッチ

レーンキープサポートシステムのセット・解除操作ができます。

●レーンキープサポートシステム表示

メーター内のクルーズシステムディスプレイ内にあります。



ESD1056Z

①レーンキープサポートシステム故障表示

レーンキープサポートシステムに異常があることをお知らせします。

②レーンキープサポートシステムセット表示

レーンキープサポートシステムがセットされていることをお知らせします。

③レーンキープサポートシステム制御表示

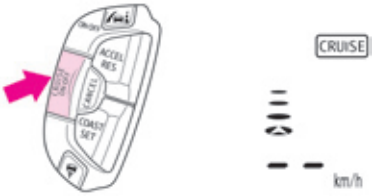
レーンキープサポートシステムが制御中であることをお知らせします。

④メインスイッチ通電表示

クルーズシステムメインスイッチが ON になっていることをお知らせします。

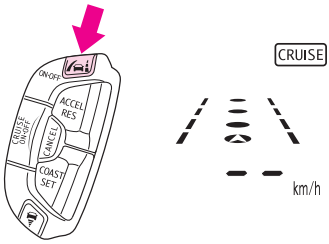
●セットするとき

①クルーズシステムメインスイッチを押して ON にします。



ESD1057Z

②車速が約65km/h ～100km/h のとき、レーンキープサポートスイッチを ON にします。
（レーンキープサポートシステムセット表示が点灯し、制御待機状態になります。）

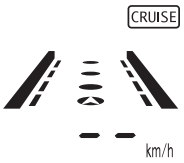


ESD1058Z

知識

・レーンキープサポートスイッチを ON にしても、走行レーンの白線（又は黄線）を検出するまで、制御待機状態となります。

③走行レーンの白線（又は黄線）を検出すると、制御を開始します。
（レーンキープサポートシステム制御表示が点灯します。）



ESD1059Z

注意

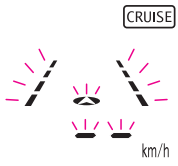
・レーンキープサポートシステムを使用しないときは、メインスイッチを OFF にしてください。間違ってスイッチを押すとレーンキープサポートシステムがセットされてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

・方向指示器スイッチを操作すると、制御を一時中断します。方向指示器の作動が終了し走行レーンの白線（又は黄線）を検出した場合、再び制御を開始します。
・車速が約60km/h ～100km/h の範囲でなくなった場合や、ブレーキ操作を行った場合は、制御が解除されます。再び制御を行いたい場合は、セットをし直してください。
・エンジンを止めるとクルーズシステムメインスイッチは自動的に OFF になります。
・レーンキープサポートシステムが制御を開始すると、ハンドルに振動や音を感じることがありますが、異常ではありません。

知識

・車速が制御可能車速範囲（約65km/h～100km/h）外ではセットできません。車速を制御可能車速範囲内にしてから、再びセット操作を行ってください。
・運転者がブレーキペダルを踏んでいるときはセットできません。ブレーキペダルから足を離し、再度①から操作し直してください。
・スノーモード選択時や、VDC が OFF のときはセットできません。このときはクルーズシステムディスプレイが点滅します。



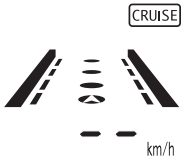
ESD1060Z

レーンキープサポートシステムを使用するときは、スノーモード以外のモードを選択し、VDC を ON にした後、クルーズシステムメインスイッチでクルーズシステムを一旦 OFF にし、再度②から操作し直してください。
＊ A/T モードスイッチ…138ページをお読みください。
＊ VDC…190ページをお読みください。
・セレクトレバーがD以外のときはセットできません。
・エンジンを止めるとクルーズシステムメインスイッチは OFF になります。

システムの動作

〈直線路を走行中のとき〉

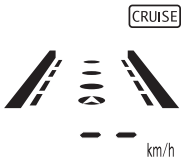
道路上の走行レーンの白線（又は黄線）に沿って走行するように、ハンドル操舵力の一部を補助的に付加します。



ESD1059Z

〈曲線路を走行中のとき〉

付加する力が徐々に低下します。



ESD1059Z

知識

・再び直線路を走行すると、徐々に制御を開始します。

〈走行レーンの白線（又は黄線）を検出できなくなったとき〉
一時的に制御を解除します。



ESD1061Z

知識

・再び走行レーンの白線（又は黄線）を検出すると、制御を開始します。

〈車線変更などの操作を行ったとき〉
一時的に制御を解除します。



ESD1061Z

知識

・運転者の操作が終了し、カメラが走行レーンの白線（又は黄線）を再度検出すると、制御を開始します。

●解除のしかた

・レーンキープサポートスイッチを押すか、クルーズシステムメインスイッチを押してシステムを OFF にします。



ESA1642Z

知識

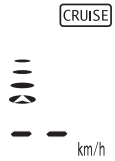
・クルーズシステムメインスイッチで解除したときは、車間自動制御システムも同時に解除されます。

・次の場合には、自動的に制御が待機状態となります。
＊方向指示器を操作したとき
＊車線変更などのために、ハンドルを操作したとき
＊走行レーンの白線（又は黄線）を検出できなくなったとき
（このとき、警報が“ポー”と鳴ります。）

知識

・操作が終り、走行レーンの白線（又は黄線）を検出すると制御を再開します。

・次の場合は、“ポー”というブザー音とともに、セットが自動的に解除され、レーンキープサポートシステムセット表示が消灯します。



ESD1062Z

＊車速が約60km/h を下回ったとき、又は約100km/h を上回ったとき

処置

・制御可能車速範囲（約65km/h ～100km/h）内にしてから、再びセット操作を行ってください。

＊シフトレバーを**D**以外の位置にしたとき

処置

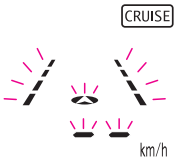
・シフトレバーをD**位置にし、再びセット操作を行ってください。**

＊走行レーンの白線（又は黄線）を検出できなくなり、待機状態が長時間継続したとき

処置

・走行レーンの白線（又は黄線）が整備された道路になってから、再びセット操作を行ってください。

・次の場合は、“ポー”というブザー音とともに解除され、レーンキープサポートシステム表示の一部が点滅しセットできなくなります。



ESD1060Z

＊ ABS、VDC、TCS が作動したとき

処置

・ABS、VDC、TCS の作動が終了してからクルーズシステムメインスイッチを一旦 OFF にした後、再びセット操作を行ってください。

＊ VDC のスイッチを押して OFF にしたとき

処置

・VDC を ON にしてからクルーズシステムメインスイッチを一旦 OFF にした後、再びセット操作を行ってください。

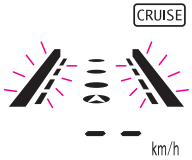
＊ A/T モードスイッチがスノーモードのとき

処置

・スノーモード以外を選択し、クルーズシステムメインスイッチを一旦 OFF にした後、再びセット操作を行ってください。

●逸脱警報

・システム作動中、運転状況からその後車線を逸脱するおそれがあると判断されたときは、次のようにブザーとレーンキープサポートシステム表示によって運転者に注意を促します。この場合は逸脱しないようにハンドル操作を行ってください。
＊警報が“ポッポッポッ…”と鳴ります。
＊レーンキープサポートシステムセット表示とレーンキープサポートシステム制御表示が点滅します。



ESD1063Z

注意

・警報ブザーが頻繁に鳴るような状況では、レーンキープサポートシステムを使用しないでください。
・レーンキープサポートスイッチをONにしていても、制御が待機状態のときには逸脱警報は作動しません。
・車線から逸脱するおそれがあるときでも、走行レーンの白線（又は黄線）を正しく検出していない場合には、警報が作動しないことがあります。
・警報の作動中、ハンドル操作をしたり、車線が検出できなくなり待機状態になった場合は、警報の作動が終了します。
・道路状況や自車の状況（車線内の位置）によっては走行レーンの白線（又は黄線）を正しく検出できず、警報が作動する場合があります。

●故障表示

レーンキープサポートシステムに異常があるときは、“ポー”というブザー音とともにレーンキープサポートシステムを解除し、ディスプレイ上でお知らせします。

LANE

ESA1645Z

処置

・点灯したときは安全な場所に停車して、一度エンジンを止めてから再びセットし直してください。

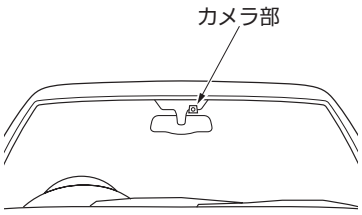
アドバイス

・上記の操作をしてもセットできない、又は表示が点灯し続けるときは、装置の異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

●カメラ部の取り扱い

レーンキープサポートシステムを正しく作動させるために、以下のことを守ってください。

- ルームミラー付近に装着されているカメラの前面のフロントガラスは、いつもきれいにしておいてください。
- カメラのレンズに指など触れないようにしてください。
- フロントガラスの外側が汚れているときは、ワイパー又は柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。フロントガラスの内側やカメラレンズ部の清掃は日産販売会社にご相談ください。
- カメラレンズ部周辺及びカメラ前面のフロントガラスには、カメラの視界を遮るようなシール、サンシェード、アクセサリーなどを取り付けないでください。
- インストルメントパネル上に紙やアクセサリーなど光を反射しやすいものを置かないでください。反射光がカメラ前のフロントガラスに映り、カメラが正確に走行レーンの白線（又は黄線）を検出できません。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。カメラの光軸が狂い、正しく機能しなくなるおそれがあります。万一、カメラに強い衝撃を与えた場合は、カメラの機能を確認するために日産販売会社で点検を受けてください。



ESA1424Z

TCS（トラクションコントロールシステム） グレード

濡れた路面や雪道などの滑りやすい路面では、発進や加速の際に駆動輪がホイールスピン（空転）して発進しにくかったり、横滑りや尻振りを起こすことがあります。
TCS は、駆動輪がホイールスピンしそうになると、電子制御の働きにより、駆動輪への伝達トルクを最適にコントロールし、ホイールスピンを防止して車両の発進、加速性を向上させると共に走行安定性も向上させるシステムです。

- TCS が実際に作動しているとき、メーター内のスリップ表示灯が点滅します。
- スリップ表示灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。
  ＊スリップ表示灯…104ページをお読みください。
  ＊ TCS 警告灯…113ページをお読みください。

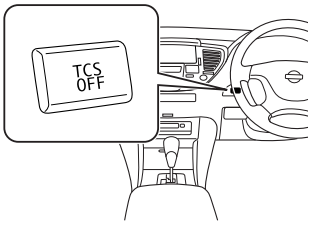
注意

- この装置はホイールスピン（タイヤの空転）を防止するものですが、高速時の急ハンドルなどのときのような車両そのもののスリップやスピンを防止するものではありません。滑りやすい路面では特に安全運転を心がけてください。
- 下記部品を純正以外に交換した場合や、改造した場合に TCS 警告灯が点灯することがあります。
  ＊タイヤ、ホイール（指定サイズ以外）
  ＊エンジン関係部品（マフラー、ECCS コントロールユニットなど）
- サスペンション、タイヤ、ブレーキ関係部品の著しい摩耗及劣化状態で走行した場合、TCS 警告灯が点灯することがあります。

● TCS OFF スイッチの使いかた

TCS の作動をやめたいときに使います。

- TCS OFF スイッチを押すと、TCS の働きを停止します。（メーター内表示灯が点灯）
- もう一度、スイッチを押すか、エンジンを再始動すると TCS は作動を回復し、表示灯が消灯します。



TSA5532Z

アドバイス

- TCS が作動すると発進時や加速時に車体にわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- ぬかるみや新雪から脱出するとき、スリップ状態を感知し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジン回転が上がらないことがあります。回転数を上げたいときは TCS OFF スイッチを押してシステムを OFF にしてください。

VDC（ビークルダイナミクスコントロール） グレード

走行中、滑りやすい路面や障害物の緊急回避などのときには、車両が横滑りや尻振りを起こすことがあります。

VDC は横滑りや尻振りを起こしそうになると横滑り状態をセンサーが判別し、ブレーキ制御とエンジン出力制御により走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

- VDC が実際に作動しているとき、メーター内のスリップ表示灯が点滅します。
- VDC システム内のトラクションコントロール機能のみが作動しているときもスリップ表示灯が点滅します。
- スリップ表示灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。

＊スリップ表示灯…104ページをお読みください。

＊ VDC 警告灯…114ページをお読みください。

⚠ 注意

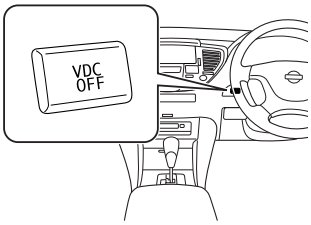
- この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDC の作動にも限界があるため、滑りやすい路面やコーナーの手前では特にスピードを落とし安全運転に心がけてください。
- 標準以外のサスペンション部品（ショックアブソーバー、ストラット、スプリング、ブッシュなど）や車体補強部品（ロールバー、タワーバーなど）を装着したり、サスペンション部品が著しく劣化した状態では VDC が正常に作動しないことや VDC 警告灯が点灯することがあります。
- 標準以外のエンジン関連部品（マフラーなど）を装着すると、VDC が正常に作動しないことや VDC 警告灯が点灯することがあります。
- 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動くものの上に車があるとき、VDC の警告灯が点灯することがあります。この場合はターンテーブルなど動くものの上から降りてからエンジンをかけ直してください。
- 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行すると VDC が正常に作動しなかったり、VDC 警告灯が点灯することがあります。このような路面を走行しないでください。
- VDC 付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

● VDC OFF スイッチの使いかた

VDC の作動をやめたいときに使います。

・VDC OFF スイッチを押すと、VDC の働きを停止します。（メーター内表示灯が点灯）

・もう一度、スイッチを押すか、エンジンを再始動すると VDC は作動を回復し、表示灯が消えます。



TSA5531Z

アドバイス

・ぬかるみや新雪から脱出するとき、スリップ状態を感知し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジン回転が上がらないことがあります。
回転数を上げたいときは VDC OFF スイッチを押してシステムを OFF にしてください。

・VDC が作動すると発進時や加速時に車体及びペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。

知識

・エンジン始動直後や走行中に、エンジンルームからモーターなどの音がしますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

アドバイス

・VDC OFF スイッチを押すと、ABS 機能を除く VDC の全ての機能（トラクションコントロールを含む）が停止します。滑りやすい路面では特に注意して走行してください。

アテーサ E-TS グレード

アテーサ E-TS システムは前輪と後輪の駆動力を最適な配分に制御し、FR 車の優れた旋回性能と4WD 車の安定性を両立させた4WD システムです。
電子制御の働きにより走行状態や路面状況に応じて前・後輪の駆動力配分を0：100（後輪駆動状態）～50：50（4輪駆動状態）まで連続制御し、エンジンの出力（駆動力）をタイヤを通して路面に有効に伝えます。

＊スリップ表示灯…104ページをお読みください。
＊4WD 警告灯…114ページをお読みください。

・スリップ表示灯はキースイッチ ON で点灯し、エンジンがかかると消灯します。
・走行中、車輪のスリップなどで前後輪の回転に差が生じたとき点滅します。
・スリップ表示灯は次のような場合に点滅します。
＊滑りやすい路面での発進時にアクセルを踏みすぎたとき。
＊滑りやすい路面でのカーブなどでアクセルを踏みすぎたとき。
＊サーキット走行などでタイヤの限界を越えるような走行をしたとき。
・4WD 警告灯はキースイッチ ON で点灯し、エンジンがかかると消灯します。
・アテーサ E-TS システムに異常があると点灯します。
・前後輪のタイヤ径差が大きい状態で走行したとき点滅します。

注意

・4WD 警告灯が点灯したとき、又はキースイッチ ON にしても点灯しないときはすみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
・装着タイヤの種類及びタイヤ空気圧などを点検してください。タイヤが異なるときは同一のタイヤを装着してください。また、タイヤ空気圧が不足のときは空気を入れてください。それでも点滅を続けるときは日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

・スリップ表示灯が点灯したときは車が滑りやすい状態となっていますので、特に慎重に運転してください。
・走行中4WD 警告灯が点灯したときは、アテーサ E-TS システムは停止しますが、通常の走行は可能です。
・エンジンをかけるときや走行中に後方からモーター音が聞こえることがありますが、すぐに停止すれば異常ではありません。

ブレーキアシスト（プレビュー機能付）　グレード　オプション

ブレーキアシスト

ブレーキアシストは、ブレーキペダルを踏む力が一定以上の強さを超えると、より大きな制動力を発生することにより、ドライバーのブレーキ操作を補助する装置です。

アドバイス

・ブレーキアシストはあくまでもドライバーのブレーキ操作を補助する装置です。ブレーキアシストの付いていない車と同様に、スピードを控えめに、早め早めのブレーキで安全運転をしてください。

プレビュー機能

プレビュー機能は、車両前部に取り付けたセンサーで、自車線前方の車両との距離や相対速度を測定し、緊急制動が必要と判断した場合には運転者がブレーキペダルを踏む前に自動的にブレーキに予圧をかけ、運転者がブレーキを操作したときの応答性を向上させるシステムです。

・車速35km/h 以下では作動しません。
・次の場合は、自動的にシステムが解除します。
　＊運転者がブレーキペダル又はアクセルペダルを踏んだとき。
　＊システムが緊急制動を必要と判断したが、運転者がブレーキペダル又はアクセルペダルを踏まなかったとき。（約1秒後に解除します。）

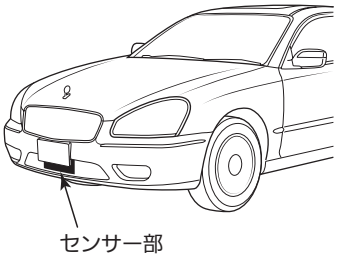
⚠ 注意

・プレビュー機能は、自動的に車両を減速させるシステムではありません。プレビュー機能の付いていない車と同様に、運転者のブレーキ操作が必要です。早め早めのブレーキで安全運転をしてください。
・プレビュー機能には限界がありますので、システムを過信しないでください。脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意を補助するものではありません。プレビュー機能の付いていない車と同様に、運転者は周囲の状況に注意し、安全運転をしてください。
・次のような場合は、システムが正しく機能しない場合がありますが、プレビュー機能のない普通のブレーキとして使えます。
（ブレーキアシストは働きます。）
＊センサー部が汚れていたり、雨滴、雪などが付着した場合、また前方から強い光（太陽光など）を受けたときは先行車を検出できない場合があります。
＊道路形状（カーブなど）や自車の状況（ステアリング操作や車線内の位置など）によって、先行車を検出できなかったり、隣の車線の車両や周囲のものを検出して作動するとき。
・プレビュー機能が作動したときに、ブレーキペダルが若干動いたり、ブレーキペダル付近から音がすることがありますが、異常ではありません。

●センサー部の取り扱い

プレビュー機能を正しく作動させるために、以下のことを守ってください。

・バンパー開口部に装着されているセンサー部はいつもきれいにしておいてください。
汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
センサー本体の窓部が著しく汚れた場合は、日産販売会社にご相談ください。
・センサー及びセンサー部周辺に強い衝撃を与えないでください。また、センサーにある軸調整ネジ部に触れたり、分解したりしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでセンサー取付部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
・センサー部周辺には、ステッカー（透明なものを含む）を貼ったりアクセサリーなどを取り付けないでください。故障、誤作動の原因になります。

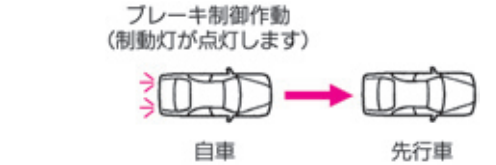


ZPA0065

インテリジェントブレーキアシスト グレード オプション

レーダーセンサーにより追従中の先行車との距離を測定し、ほぼ真後ろから先行車に追突するおそれのあるとき、ドライバーによる緊急の回避操作が直ちに必要だと判断した場合は警報を鳴らし、ドライバーの操作により追突が避けられないと判断した場合はブレーキをかけて減速し追突時の被害を軽減します。

インテリジェントブレーキアシストは、以下の条件のとき作動します。
・キースイッチが ON のとき
・自車の車速が約15km/h 以上のとき
・自車の車速が追従中の先行車の車速より約15km/h 以上高いとき

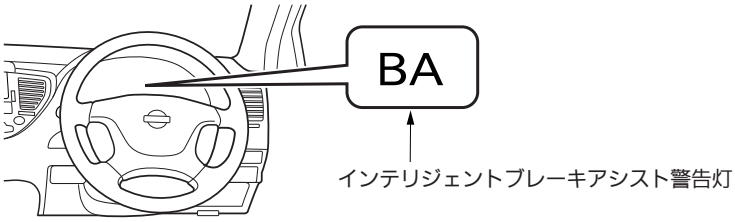
		例
1	レーダーセンサーにより、追従中の先行車を検出します。	 TSD0318Z
2	追突を避けるため、緊急の回避操作が直ちに必要だと判断した場合、警報を鳴らしドライバーの操作を促がします。	 TSD0319Z
3	ドライバーの操作により追突が避けられないと判断した場合、ブレーキをかけて減速し、追突時の被害を軽減します。	 TSD0320Z

⚠ 注意

・インテリジェントブレーキアシストは追突を自動的に回避するシステムではありません。常に安全運転を心がけてください。
・システムの制御によりブレーキ操作を行いますが、自動的に車両を停止させるシステムではありません。
・停止中の車両や停止中の車両と区別のつきにくい低速走行中の車両、及び二輪車に対してシステムは作動しません。
また急な割り込み車両、歩行者や動物、道路上の落下物に対しては、システムは作動しません。
・先行車との距離が極端に短い場合には、システムは作動しません。
・次のような場合には、システムは作動しません。
＊ワイパーを低速、又は高速で作動させたとき
（ワイパースイッチが INT の位置で、低速又は高速で作動しているときを含む）
＊前方から強い光（太陽光など）を受けたとき
＊センサー窓部が汚れているとき
・このシステムは先行車のリフレクター（反射器）を主に検出しているため、次の場合には先行車を正確に検出できず、システムが作動しない場合があります。
＊先行車のリフレクターが高い位置にある車（トレーラーなど）のとき
＊先行車の後部が著しく汚れているとき
＊悪天候（雨、霧、雪など）のとき
＊先行車や他車線の車が路上の水や雪などを巻き上げて走っているとき
＊先行車や他車線の車からの排煙（黒煙）がひどいときや、走行道路周辺で煙が発生して前方が十分に見通せないとき
＊先行車が、リフレクター部分にフィルムなどを貼った車やリフレクターが付いていない車、リフレクター部が破損している車のとき
＊後席やトランク中に極端に重い荷物を積んでいるとき
＊急な加減速を行っているとき
＊急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行しているとき
・道路形状（カーブ路、カーブの出入り口）や自車の状況（ステアリング操作、車線内の位置）、先行車の状況（車線内の位置）によっては、システムが作動しない場合があります。
・センサーの汚れを自動で判定する機能を備えておりますが万全ではありません。
状況によってはセンサーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。
このような状況では、システムが作動しない場合がありますので、センサー部はいつもきれいにしておいてください。
・ブレーキペダルの下に足を置かないでください。インテリジェントブレーキアシストの制御によりブレーキが作動したとき、足が挟まれるおそれがあります。

●警告表示

インテリジェントブレーキアシスト警告灯はメーター内にあります。



ESD1026Z

・次の場合は、システムが作動しなくなります。
“ピー”というブザー音とともにインテリジェントブレーキアシスト警告灯が点灯し、お知らせします。
＊センサー部が汚れ、先行車との距離の測定が困難になったとき
＊インテリジェントブレーキアシストに異常があるとき

処置

・“ピー”というブザー音とともに点灯した場合は、安全な場所に停車し、一度エンジンを止めてから、センサー部が汚れていないか確認してください。汚れているときは、汚れている部分を柔らかい布で清掃し、再度エンジンをかけ直してください。センサー部が汚れていないときは、再度エンジンをかけ直してください。

アドバイス

・上記の操作をしても表示が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

・次の場合は、システムが一時的に作動しなくなります。
インテリジェントブレーキアシスト警告灯が点灯し、お知らせします。（ブザー音は鳴りません。）
＊ワイパーを低速（LO）、又は高速（HI）で作動させたとき
（ワイパースイッチが INT の位置で、ワイパーが低速又は高速で作動しているときを含む）
＊前方から強い光（太陽光など）を受けたとき

知識

・一時的に作動しない状態から復帰すると、インテリジェントブレーキアシスト警告灯は消灯します。
・ワイパースイッチが INT の位置でワイパーが連続作動しているときは、警告灯が点灯することがありますがシステムの異常ではありません。

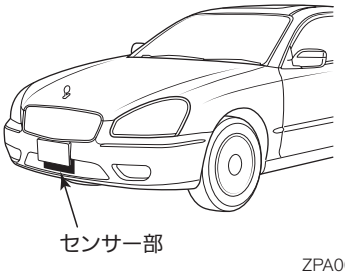
●センサー部の取り扱い

インテリジェントブレーキアシストを正しく作動させるために、次のことを守ってください。

＊バンパー開口部に装着されているセンサー部はいつもきれいにしておいてください。
汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
センサー本体の窓部が著しく汚れた場合は、日産販売会社にご相談ください。

＊センサー及びセンサー部周辺に強い衝撃を与えないでください。また、センサーにある軸調整ネジ部に触れたり、分解したりしないでください。故障の原因になります。事故などでセンサー取付部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。

＊センサー部周辺には、ステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリーなどを取り付けないでください。故障の原因となります。



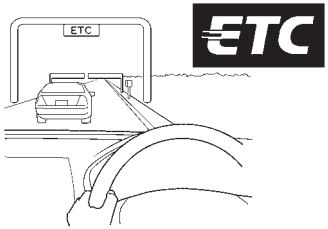
ZPA0065

ETC（ノンストップ自動料金支払いシステム）ユニットについて

＊ ETC は、財団法人道路システム高度化推進機構の登録商標です。

有料道路料金所の ETC 利用可能な車線（以下「ETC 車線」と称す）内に設置された道路側アンテナと車載 ETC ユニット間の無線通信により、従来のような現金、クレジットカードなどの受け渡しを行わずに自動的に料金支払いができるシステムです。

・車両に搭載された ETC ユニットに、ETC 対応 IC カード（以下「ETC カード」と称す）を挿入して使います。



ESA1459Z

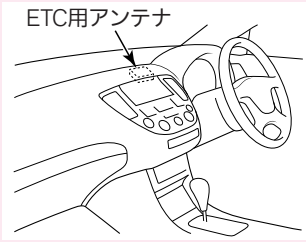
警告

・ETC ユニットを分解したり、改造したりしないでください。分解すると保証対象外になります。また、改造すると電波法により罰せられることがあります。

・ETC カード以外のもの（コイン、金属板など）を挿入しないでください。また、濡れた手で操作したり、濡れたカードを挿入しないでください。事故、火災、感電、故障の原因となります。

注意

・車を離れるときは、ETC カードを車内に放置しないでください。故障、変形、盗難のおそれがあります。
・インストルメントパネルの上に物を置かないでください。内蔵された ETC 用アンテナの感度が低下し、正常に作動できないおそれがあります。



ESA1460Z

・ETC カードを ETC ユニットに入れたまま、バッテリーを外さないでください。
・安全のため、走行中は ETC カードの出し入れをしないでください。

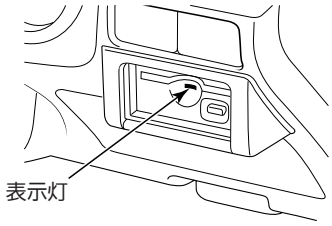
アドバイス

・システム作動中は ETC ユニット内の温度が上昇します。そのため、ETC カードの表面も温かくなりますが、故障ではありません。
・ETC カード以外のカードを入れると、温度の上昇により変形又は破損するおそれがありますので、挿入しないでください。

●使いかた

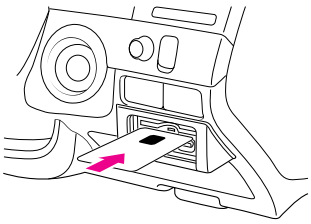
乗車時（ETC カード未挿入）

①キースイッチを Acc 又は ON にすると、カード挿入部の表示灯が点灯します。



ESA1462Z

② ETC カードは印刷面を上にして、矢印の方向に“ピッ”と音がするまで押し込みます。



ESA1461Z

アドバイス

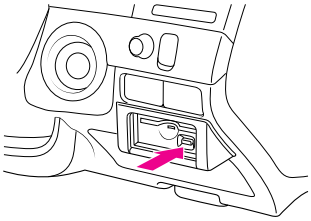
・ETC カードに印刷されている矢印の方向に沿って、カードを挿入してください。

知識

・キースイッチを Acc 又は ON にすると、ETC ユニットの機能チェックが自動的に行われます。
・ETC カードを挿入したままでも、キースイッチを Acc 又は ON にすることができます。
・ETC カード挿入後は、モニター画面に ETC カードの挿入を認識した内容が表示されるまで、カード排出などの操作を行わないでください。
・ETC ユニットは、ETC カードの中の情報を読み取り、モニター画面に表示出力することができます。カード内情報読み取り中は、カードを取り出さないでください。
・ETC ユニット、ETC カードなどの条件及び状態に異常があった場合には、ETC による料金所通過はできません。係員のいる車線へ入り、指示に従って通行してください。
・ETC ユニットによる料金支払いをしない場合は、ETC ユニットからカードを抜き取ってください。

降車時

・カード取り出しスイッチを押し、ETC カードを取り出します。



ESA1463Z

知識

・キースイッチを OFF にし、ETC カードを挿入したまま運転席ドアを開けると、1分間カード抜き忘れ防止警報が鳴ります。カードを抜くか、ドアを閉めると鳴り止みます。（キースイッチを OFF にした後、1分間以上ドアを開けなかった場合は、この機能は作動しません。）
・ETC ユニットに ETC カードを挿入したまま運転席ドアを開放又は半ドアのままエンジンを始動した場合、カード抜き忘れ警報が鳴ることがあります。
＊カード抜き忘れ警報…117ページをお読みください。

● ETC ユニットのセットアップ

・ETC ユニットの使用にあたっては、財団法人道路システム高度化推進機構が定める方法によりセットアップ（通行料金の支払いに必要な情報を ETC ユニットに記録して利用可能な状態にする行為）を行ってください。

・ETC ユニットが搭載されている車両のナンバープレートが変更になった場合、ETC ユニットが搭載されている車両をけん引できる構造に改造した場合、及び ETC ユニットを他の車両に付け替えた場合は、再度セットアップをしてください。

知識

・ETC ユニットがセットアップされていないと、ETC カードの挿入を認識したり、ETC 車線を走行中に、道路側アンテナと無線通信することができません。

● ETC カードについて

・ETC カードは、お客さまご自身による申し込みが必要です。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

・ETC カードの取り扱いについては、ETC カード発行会社の提示する注意事項をお読みください。

・貸与された ETC カードが紛失、破損、変形してしまった場合、又は盗難などにより亡失してしまった場合は、すみやかに ETC カード発行会社に通知してください。

・有効期限を過ぎた ETC カード及び公団又は公団との契約に基づいた ETC カード発行会社が無効とした ETC カードは、利用することができません。

● ETC 利用上の注意

・ETC 車線には、以下のような表示内容の車線表示板（料金所の車線上に設置された ETC の利用可否を示す案内板）が設置されています。これらの表示により ETC 車線であることを確認し、減速して安全確認の上進入してください。

＊「ETC」、「ETC 専用」
これらが表示された車線では、ETC を利用する車両のみ通行できます。

＊「ETC ／一般」
この表示がある車線では、ETC を利用する車両及び一旦停車して係員に対して通行料金を支払う車両が通行できます。

・ETC 車線通行中、前車が停車することがありますので、必要な車間距離を保持して走行してください。特に「ETC ／一般」と表示のある車線では、前車に ETC を利用しない車両が走行している場合があります。その場合、一時停止するので注意してください。

・ETC 車線を通行するときは、側方に設置された路側表示器（通行可否、車種区分、通行料金の金額などを表示する装置）を確認してください。通行可能の場合は「↑」、通行不可能の場合は「STOP 停車」を表示しています。

・路側表示器が「STOP 停車」を表示しているときは、ETC 車線上にある開閉式の横木（以下「開閉バー」と称す）が閉まっています。停車して係員の指示に従ってください。また、その場合には、むやみに車外に出たり前進又は後退したりしないでください。

・ETC 車線では開閉バーなどの設備に衝突しないように、安全な速度で通行してください。

・ETC 車線内では他の車両と並んで走行したり、追い抜いたりしないでください。

・係員が車線を横断する場合がありますので、十分注意してください。

知識

・ETC では料金の支払いに電波通信を使用しているため、周囲の状況による自然発生的な通信不良が原因で、料金所を正常に通過できなくなる場合があります。
車載の ETC ユニットに異常が見当たらない場合は、本ユニットをそのままご使用いただけます。

● ETC を利用しない場合の通行方法

・ETC を利用しない場合は、ETC 専用車線（車線表示板に「ETC」又は「ETC 専用」の表示のある車線）には進入しないでください。誤って進入した場合は、開閉バーが開きません。停車し係員の指示に従ってください。この場合、むやみに車外に出たり前進又は後退したりしないでください。

ABS（アンチロックブレーキシステム）

ABS

● ABS とは

急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロック（車輪の回転が止まる）を防止して、車両の安定性を向上させると共にハンドル操作による障害物回避をしやすくしたシステムです。

● ABS 付車の取り扱いについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

①危険だと感じたら、ためらわず思いきりブレーキペダルを踏み込んでください。



TSC0679Z

② ABS が作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これは ABS の正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。

③障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。

警告

- ABS はあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABS の付いていない車と同様に、コーナーの手前では十分な減速が必要です。早め早めの操作で安全運転をしてください。
- ABS はブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABS の付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度をひかえめにし、車間距離を十分とって運転してください。
- ABS は各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着してください。指定サイズ以外では ABS が正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- キースイッチを ON にしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルームよりモーターなどの音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。
- 車両を確実に停止させるために、ABS は低速では作動しません。路面の状況により異なりますが、約 10km/h 以下では作動しません。

室内装備の使いかた 4

●エアコンの使いかた…… 206
エアコンを上手に使うために …… 206
吹き出し口について …… 207
吸い込み口の切り替え …… 210
オゾンセーフフルオートエアコン …… 212
リヤセンターアームレスト内蔵コントロールスイッチ… 219
ピュアトロン …… 220

●オーディオの使いかた…… 221
オーディオを上手に使うために …… 221
シーマホログラフィックサウンドシステム…… 224
BOSE サウンドシステム …… 224
ステアリングスイッチ …… 232
リヤセンターアームレスト内蔵コントロールスイッチ… 234

●室内装備品の使いかた…… 236
サンバイザー …… 236
時計 …… 236
トータルコーディネート室内照明 …… 238
灰皿 …… 240
シガーライター …… 242
アクセサリー用電源ソケット …… 243
グローブボックス …… 244
コンソールボックス …… 245
リヤセンターアームレスト（ボックス付） … 246
コンソールポケット（前席カップホルダー）… 247
後席カップホルダー …… 248
カードホルダー …… 248
インストポケット …… 249
開閉式ドアポケット …… 249
オーバーヘッドコンソール …… 249
後席用オーバーヘッドコンソール …… 250
後席用バニティーミラー …… 251
サンシェード …… 252
アシストグリップ …… 254
サブトランク …… 254

エアコンの使いかた

エアコンを上手に使うために

●エアコンを使うとき

エアコンは必ずエンジンをかけた状態で使ってください。

警告

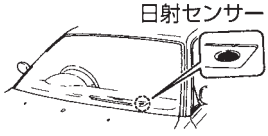
・エンジンがかかっていないときに送風してもエアコンとして機能しません。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。必ずエンジンをかけて使ってください。

●自動温度調節

自動温度調節は日射センサーと温度センサーで行っていますので、センサーを汚したりふさいだりしないでください。センサーの感度が低下すると、自動温度調節が正常に作動しなくなります。

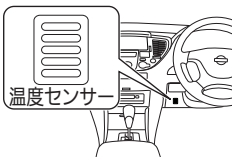
アドバイス

・日射センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけたままにしないでください。



TCA0122Z

・シールを貼るなどして車内の温度センサー部の穴をふさがないでください。



ESA1464Z

●脱臭クリーンフィルター

ほこり、花粉、粉じんなどを集じんし、排気ガスなどの臭いをやわらげる脱臭クリーンフィルターを装着しています。集じん性能を維持するため、メンテナンスは確実に行ってください。

交換時期：
1年ごと又は12,000km 走行ごと

アドバイス

・交換時期に満たない場合でも、エアコンやヒーターの吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。
・脱臭クリーンフィルターの取り付け、交換などについては、日産販売会社にご相談ください。

●長期間冷房を使わないとき

冷房装置のオイルの循環を切らさないために、ときどき冷房運転をしてください。

アドバイス

・フルオートエアコンは、外気温が0℃近くまで下がると冷房装置が作動しないことがありますので、暖かい日に行ってください。

●エアコンガス

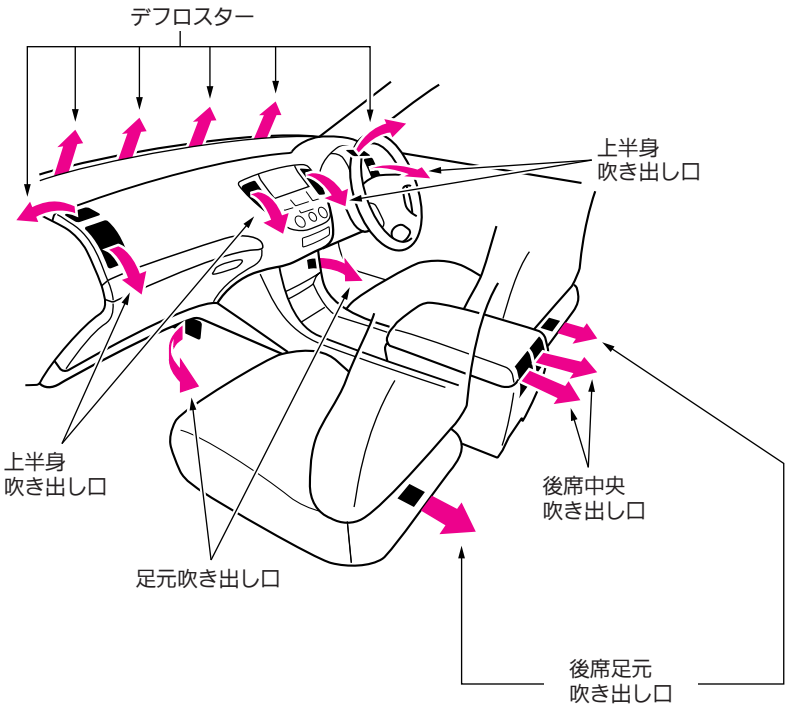
本車両のエアコンガスは新冷媒を使用しています。

アドバイス

・エアコンガスは必ず新冷媒 HFC134a（R134a）を入れてください。
・地球温暖化防止のため大気放出はしないでください。
・エアコンの冷え具合が悪いときは、日産販売会社にご相談ください。

吹き出し口について

●吹き出し口の位置



ESD0849Z

注意

・特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間連続してあたらないように運転者が注意してください。
低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

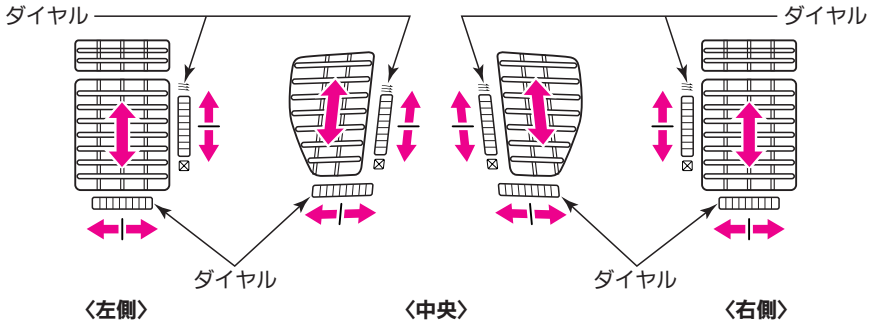
●吹き出し風の調節

・吹き出し風の方向調節は、ダイヤル又はツマミを上下又は左右に動かして調節します。
・吹き出し口は、ダイヤルを回して風量の調節と開閉ができます。
（開：≒　閉：☒）

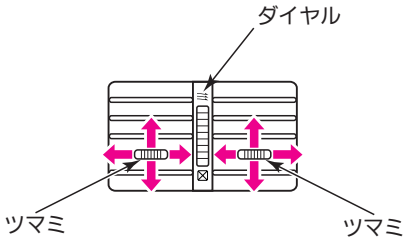
知識

・冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。

〈前席上半身吹き出し口〉



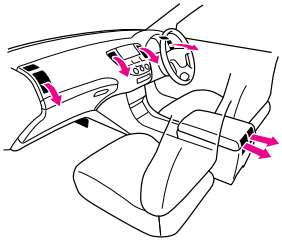
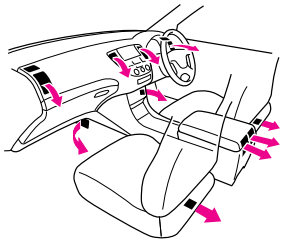
〈後席吹き出し口〉

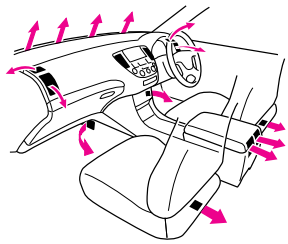
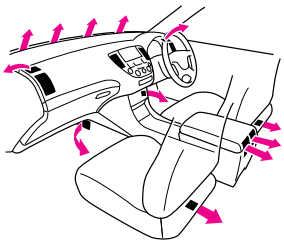


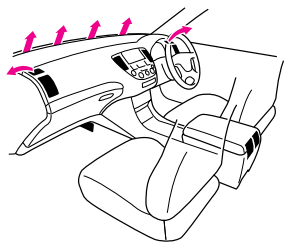
ESD0850Z

●吹き出し口の切り替えと使用目的

使用目的に合わせて、吹き出し口切り替えスイッチ又はデフロスタースイッチを押して切り替えます。

使用目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき
表　　示	 ECD0014Z	 ECD0015Z
吹き出し口	 ESD1018Z	 ESD1019Z

使用目的	足元に送風したいとき	足元への送風と窓ガラスのくもりを取りたいとき
表　　示	 ECD0016Z	 ECD0017Z
吹き出し口	 ESD1020Z	 ESD1021Z

使用目的	前面及び側面ガラスのくもりを取りたいとき
表　　示	
吹き出し口	 ESD1022Z

吸い込み口の切り替え

●内気循環、外気導入の切り替え

警告

- 通常は自動制御、又は外気導入で使い、内気循環は必要なときだけ使ってください。内気循環で長時間使った場合、排気管に腐食や損傷による穴や亀裂があると、排気ガスによる一酸化炭素中毒になる危険があります。
- 内気循環で長時間使用すると、窓ガラスがくもりやすくなり視界が損われ危険ですので、一時的に使ってください。

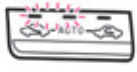
アドバイス

- 外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。

- 外気を車内に入れるときは、内外気切換えスイッチを押し、外気導入の表示にします。
- 外気を車内に入れないときは、内外気切換えスイッチを押し、内気循環の表示にします。
- 自動制御に切り替えるときは、内外気切換えスイッチを押し、自動制御の表示にします。

＊吸い込み口の切り替えは、以下の2種類があります。

- 内外気切換えスイッチの表示灯のAUTOが点灯しているときは、吸い込み口を自動で切り替えます。

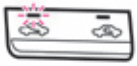
スイッチ	使用目的
 ESA1451Z 点　灯	**外気導入** 外気を取り入れたいときや、たばこの煙などを外に出したいとき。
 ESA1453Z 点　灯	**内気循環** トンネル内や渋滞などで外気が汚れているときや、早く冷暖房したいとき。
 ESA1472Z（外気導入中）	**自動制御** 車外の排気ガス濃度に応じて、吸い込み口を自動で切り替えたいとき。
 ESA1473Z（内気循環中）	

知識

- 自動制御システムは、排気ガスの有害成分（HC/CO）を車両前部のセンサーで感知し、吸い込み口を切り替えています。そのため風向きによって排気ガスを検知できない場合がありますが異常ではありません。
- 自動制御システムは臭い（家畜、人糞など）、煙、土埃は感知しないため、内気循環には切り替わりません。
- 自動制御システムのセンサーの感度を調節することができます。
  ＊設定のしかたは別冊の取扱説明書（車両情報を見る）をお読みください。

オプション

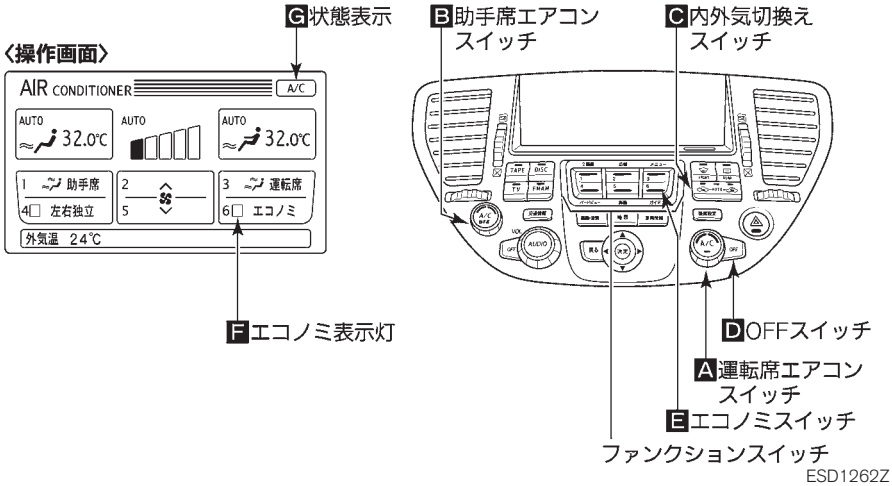
- 内外気切換えスイッチの表示灯が消灯しているときは、吸い込み口を自動制御で切り替えます。

スイッチ	使用目的
 ESA1442Z 点　灯	**外気導入** 外気を取り入れたいときや、たばこの煙などを外に出したいとき。
 ESA1448Z 点　灯	**内気循環** トンネル内や渋滞などで外気が汚れているときや、早く冷暖房したいとき。
 ESA1450Z 消　灯	**自動制御** 車内の温度に応じて、吸い込み口を自動制御させるとき。

オゾンセーフフルオートエアコン

＊ファンクションスイッチの各スイッチ名称は、モニターに表示されています。ファンクションスイッチで操作するときは、運転席エアコンスイッチ**A**又は助手席エアコンスイッチ**B**を押し、操作画面を表示させてから操作してください。
詳しくは別冊の取扱説明書をお読みください。

●オートで使うとき



ESD1262Z

通常の使いかた

以下の操作で、温度、風量、吹き出し口（㎒を除く）、内外気切り替えが自動調節され、四季を通じて車内を常に快適な状態に保ちます。
＊吸い込み口の切り替え…210 ページをお読みください。

①運転席エアコンスイッチ**A**又は助手席エアコンスイッチ**B**を押します。
（モニターに AUTO と表示）

知識

・オートで使用中に、風量、吹き出し口をマニュアル操作すると、モニターにそれぞれ MANUAL と表示されますが、操作したスイッチ以外は自動調節されます。
＊任意に設定を変えて使うとき…216ページをお読みください。

②運転席エアコンスイッチA、又は助手席エアコンスイッチBを回して希望温度にします。
温度の調節範囲は18～32℃です。
右回転…温度が上がる
左回転…温度が下がる

知識

- 運転席エアコンスイッチを回すと、運転席と助手席の温度設定を同時に調節します。
- 助手席エアコンスイッチを回すと、助手席温度設定のみを調節することができます。
  ＊運転席と助手席を別々に調節したいとき…217ページをお読みください。

③内外気切換えスイッチCを押し、自動制御に切り替えます。
＊止めるときは、OFF スイッチDを押します。

アドバイス

- 外気温が0℃近くまで下がると、冷房、除湿を行わないことがあります。
- エンジン始動直後で冷却水温が低いときは、吹き出しを停止します。
- 外気温が低いときは、外気温に応じてフロントデフロスターへの風量が多くなります。

省燃費運転で使うとき

・オートで使用中にエコノミスイッチEを1回押します。
（エコノミ表示灯Fが点灯）
＊通常の使いかたに戻すときは、運転席エアコンスイッチAを押します。

知識

- 省燃費運転とはエアコンコンプレッサーによるエンジンへの負担を軽減し、燃費性能を良くするものです。
- 省燃費運転で使うと車内の湿度がエアコン作動時よりも若干高くなります。

ヒーターとして使うとき

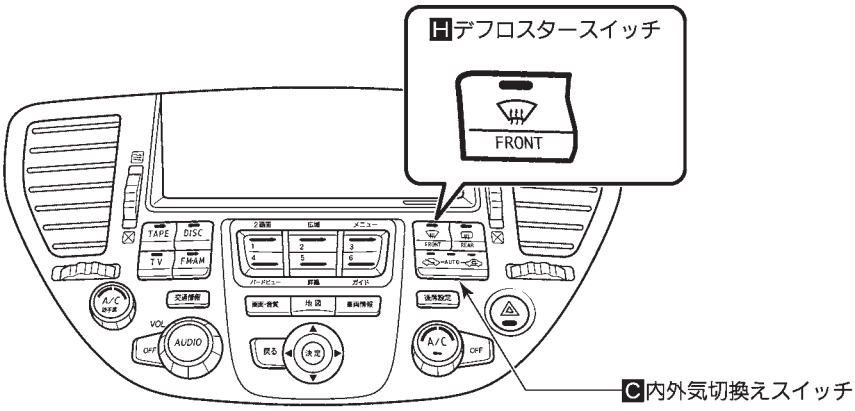
①オートで使用中にエコノミスイッチEを2回押します。
（状態表示Gが消灯）

②運転席エアコンスイッチA、又は助手席エアコンスイッチBを回して希望温度にします。
温度の調節範囲は18～32℃です。
右回転…温度が上がる
左回転…温度が下がる
＊通常の使いかたに戻すときは、運転席エアコンスイッチAを押します。

知識

- ヒーターとして使うときは、車内温度は外気温度より低くなりません。
- 外気温、湿度が低いときなどに使います。

●窓ガラスのくもりを取るとき



ESD0852Z

・デフロスタースイッチHを押します。
（スイッチの表示灯が点灯し、モニターに⛐と表示）
デフロスターから風が吹き出し、吸い込み口は外気導入に固定されます。

アドバイス

・デフロスタースイッチを押したときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。
・エアコンのセット温度を低くすると、フロントウインドーガラスの外側に露が付くことがあります。
・早くくもりを取りたいときは、吹き出し温度を高くし、吹き出し風量を多くします。
＊風量を変更したいとき…216ページをお読みください。

知識

・モニターに吹き出し口が AUTO と表示しているとき、デフロスタースイッチを押すと MANUAL と表示しますが、風量（AUTO と表示）と温度は自動調節します。
・デフロスタースイッチを押したときは、運転席と助手席を別々に温度調節をすることはできません。運転席側のみ設定温度が表示されます 。

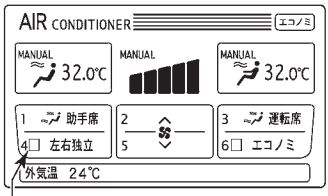
＊元に戻すときは、もう一度デフロスタースイッチ🅷を押します。

知識

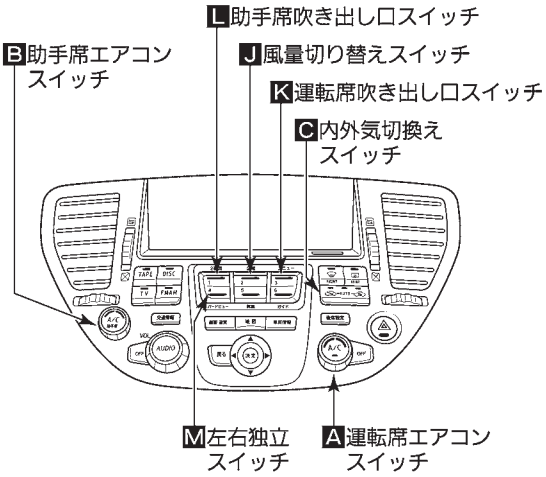
・リヤウインドーガラスのくもりを取るときは、リヤウインドーデフォッガースイッチを使用します。
＊リヤウインドーデフォッガースイッチ…127ページをお読みください。

●任意に設定を変えて使うとき

〈操作画面〉



N左右独立表示灯



ESD1263Z

お好みに合わせて風量、吹き出し口、吸い込み口の設定を切り替えることができます。

知識

- 切り替え操作をしたスイッチ以外で、それまで自動調節されていた部位は、自動調節を継続します。
- オート（自動調節）に戻したいときは、212ページの通常の使いかたの要領で操作します。

風量を変更したいとき

- 風量切り替えスイッチJを押すごとに切り替わります。（MANUAL と表示）
  ∧…風量が多くなる
  ∨…風量が少なくなる

MANUAL



（風量少ない）　（風量多い）

ESA1477Z

吹き出し口を変更したいとき

・運転席吹き出し口スイッチK、助手席吹き出し口スイッチLを押すごとに切り替わります。
（MANUAL と表示）



（運転席側のみ）
ESA1478Z

知識

・助手席吹き出し口スイッチを押すと、助手席側のみの吹き出し口を切り替えます。
・運転席側の吹き出し口のみを切り替えたいときは、左右独立スイッチMを押してから、運転席吹き出し口スイッチを押してください。（スイッチの表示灯が点灯）

吸い込み口を固定したいとき

・内外気切換えスイッチCを押すごとに内気循環、外気導入、自動制御に切り替わります。

運転席と助手席を別々に調節したいとき

・左右独立スイッチMを押します。
（左右独立表示灯Nが点灯）
・運転席エアコンスイッチAと助手席エアコンスイッチBで、別々に温度調節ができます。
・運転席吹き出し口スイッチKと助手席吹き出し口スイッチLで、別々に吹き出し部の切り替えができます。

＊元に戻すときは、もう一度左右独立スイッチを押します。
（左右独立表示灯Nが消灯）

知識

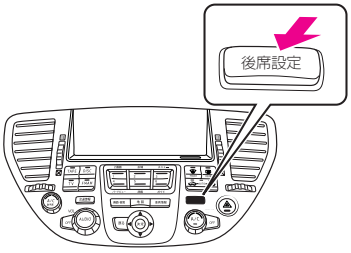
・左右独立スイッチを押さなくても、助手席エアコンスイッチ、助手席吹き出し口スイッチは常に助手席側のみの調節ができます。

●後席吹き出し口の調節

集中コントロールスイッチ部

グレード オプション

・後席設定スイッチを押すと、設定メニューがモニターに表示されます。
・ファンクションスイッチを押して後席吹き出し口表示灯を点灯させると、後席中央吹き出し口から風が出ます。
＊詳しくは別冊の取扱説明書をお読みください。

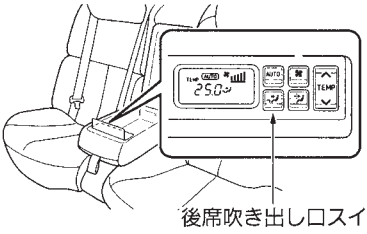


ESD0854Z

リヤセンターアームレスト部

グレード オプション

・後席センターアームレスト部の後席吹き出し口スイッチを押すと後席中央吹き出し口から風が出ます。（表示部に表示灯が点灯）
＊作動を止めるときは、もう一度押します。



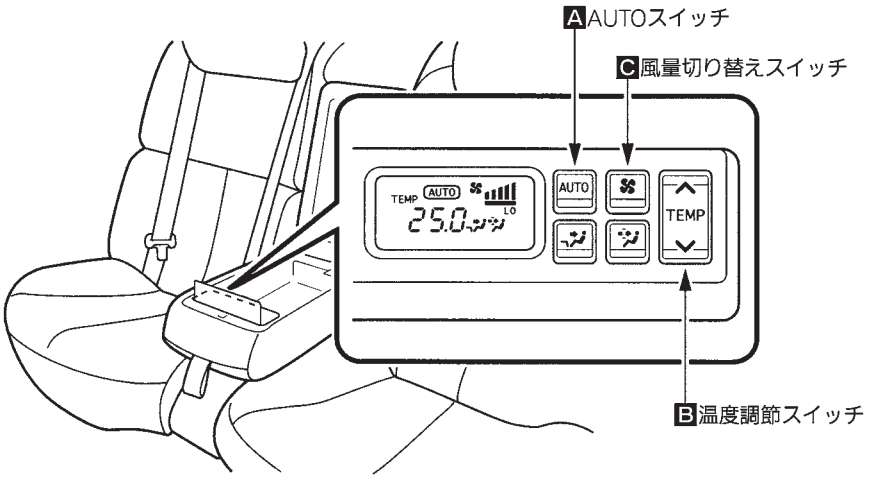
後席吹き出し口スイッチ

ESD1023Z

アドバイス

・前席の吹き出し口が になっているときは使えません。
・前席の吹き出し口が 以外のときは後席足元にも風が出ます。

リヤセンターアームレスト内蔵コントロールスイッチ グレード オプション



TSD0317Z

後席センターアームレスト部のスイッチで温度、吹き出し風量の調節ができます。

アドバイス

・後席のスイッチでエアコンを OFF にすることはできません。

知識

・前席の温度、吹き出し風量も同時に変わります。

通常の使いかた

以下の操作で、温度、風量、吹き出し口（を除く）、内外気切換えが自動調節され、四季を通じて後席を常に快適な状態に保ちます。

① AUTO スイッチ**A**を押します。
（表示部に AUTO と表示）

②温度調節スイッチ**B**を押して希望温度にします。
温度の調節範囲は18～32℃です。
∧側…温度が上がる
∨側…温度が下がる

風量を変更したいとき

・風量切り替えスイッチ**C**を押すごとに切り替わります。

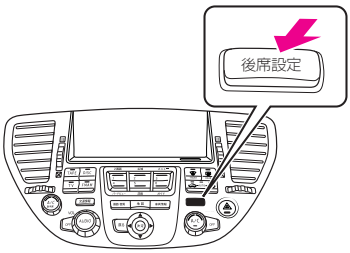


ESC1004Z

ピュアトロン

集中コントロールスイッチ部

・後席設定スイッチを押すと、設定メニューがモニターに表示されます。
・ファンクションスイッチを押すごとに弱→強→ OFF の順に切り替わります。
＊詳しくは別冊の取扱説明書をお読みください。

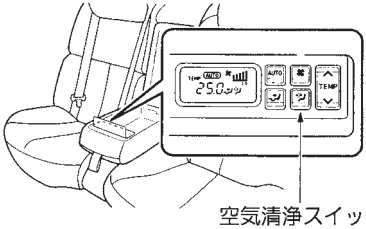


ESD0854Z

リヤセンターアームレスト部

グレード オプション

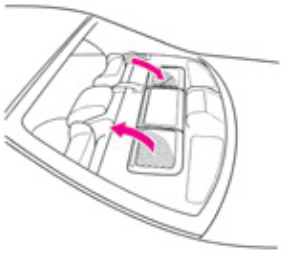
・空気清浄スイッチを押すとピュアトロンが作動します。
・押すごとに弱(LO)→強(HI)→ OFF の順に切り替わります。



ESD1024Z

知識

・ピュアトロンを作動させても冷房効果を損うことはありません。



TSC1835Z

●定期メンテナンスについて

エアコンを快適にお使いいただくために、空気清浄器の定期的なメンテナンスを行ってください。
・フィルターと脱臭剤の定期的な交換をおすすめします。
(交換は日産販売会社にご相談ください。)
＊交換時期の目安は、1年、又は20,000km 走行ごとです。

アドバイス

・フィルターと脱臭剤は、周辺環境、使用状況により寿命が異なります。
・交換時期に満たない場合でも、ピュアトロンの吹き出し風量が極端に減少したときは、日産販売会社にご相談ください。

オーディオの使いかた

オーディオを上手に使うために

●安全運転のために

運転中は車外の音が聞こえる適度な音量でお聞きください。



TSC0681Z

警告

・音量が大きすぎると車外の状況が判らないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、走行中のオーディオ操作は前方不注意となるおそれがあります。十分注意して行ってください。

●ラジオの受信について

ラジオの受信は、車両の移動に伴う電波の変動、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することができない場合があります。



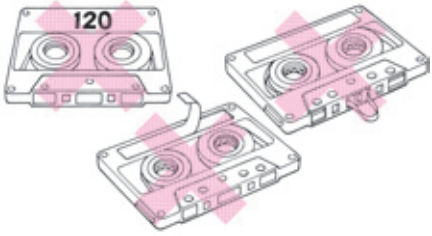
TCA0371Z

知識

・オーディオを聞いているとき、車内、又は車の近くで携帯電話や無線機を使うと、ノイズ（雑音）が入ることがあります。

●カセットを上手に使うために

・カセットデッキのヘッド部は、1か月に1回程度を目安に、クリーニングテープで汚れを取ってください。
・90分を超えるテープは使わないでください。テープが薄いため巻き込むおそれがあります。
・ラベルがはがれかけたテープや変形したテープは使わないでください。回転不良やテープの取り出しができなくなるおそれがあります。
・テープの巻きたるみを取ってください。たるみがあるとテープを巻き込むおそれがあります。



TSC0682Z

アドバイス

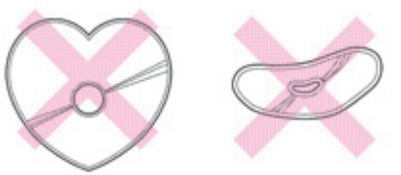
・テープはケースに入れ、直射日光のあたる場所や高温多湿の場所、また、磁気のあるものの近くを避けて保管してください。

● CD（コンパクトディスク）を上手に使うために

・CD は規格に準じた下図のマークがついているものを使ってください。下図のマークがないものは使えません。

TCA0126Z

・コピーコントロール CD は規格に準拠していない特殊ディスクのため、再生できないことがあります。
・寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内に露が生じ、正常に作動しないことがあります。その場合は CD を取り出し、しばらくの間、除湿や換気をしてから使ってください。
・炎天下に長時間駐車したときなどプレーヤーの温度が高いときは、正常に作動しないことがあります。温度を下げてから使ってください。
・走行中に振動が激しいと、音とびすることがあります。
・CD-R(Compact Disc Recordable)、CD-RW(Compact Disc Rewritable)は再生できないことがあります。
・次のような CD は故障の原因となりますので使わないでください。
＊ハート型や八角形などの特殊な形状の CD
＊そったり、大きな傷のある CD
＊読み取り面が汚れている CD
＊内外周が荒く処理された CD
＊個人でシールやラベルを貼ったり、タイトルや画像などを印刷した CD



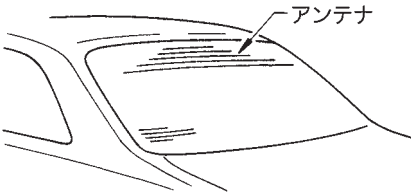
TSC0683Z

アドバイス

・CD はケースに入れ、直射日光のあたる場所や高温多湿の場所を避けて保管してください。

●アンテナについて

・アンテナ線はリヤウインドーガラスの内側にあります。



TSA5606Z

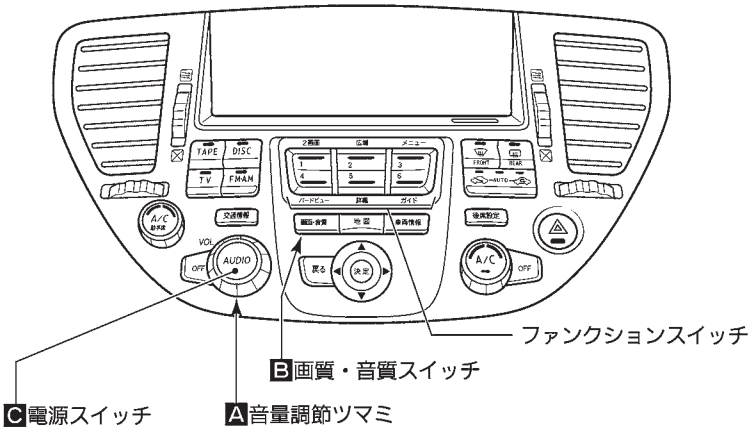
アドバイス

・アンテナ線部にミラータイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けないでください。受信感度が低下し、ノイズ（雑音）などが入るおそれがあります。
・ガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布でアンテナ線にそって軽くふいてください。
＊リヤウインドーの清掃…270ページをお読みください。
・アンテナ線は、手荷物などで傷つけないようにしてください。

シーマホログラフィックサウンドシステム グレード
BOSE サウンドシステム グレード オプション
（CD、カセット、AM/FM 電子チューナーラジオ
CD オートチェンジャーコントロール機能付）

＊ TV システム及び TV/ ナビゲーションシステムは別冊の取扱説明書をお読みください。
＊ファンクションスイッチ及びジョイスティックで操作するときは、電源スイッチ**C**を押し、操作画面を表示させてから操作してください。

音量、音質、バランスの調節



ESD0855Z

ラジオ、カセット、CD などを聞くときに調節してください。

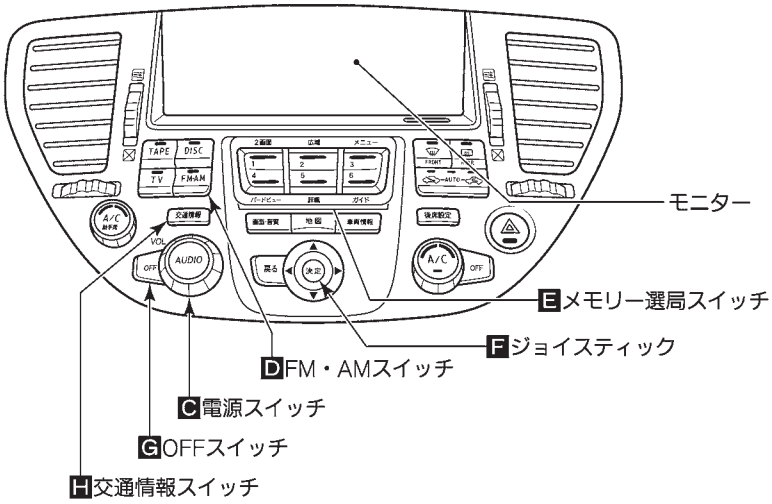
●音量調節

音量調節ツマミ**A**を回して調節します。

●音量のバランス、音質の調整

画質・音質スイッチ**B**を押します。
音質調整を選択し、調整します。
＊詳しくは別冊の取扱説明書をお読みください。

ラジオの聞きかた



ESD0856Z

●ラジオ放送を聞くとき

①電源を入れます。

・キースイッチをAcc又はONにし、FM・AMスイッチD又は電源スイッチCを押します。

知識

・電源スイッチで電源を入れたとき、カセットなどを再生し始めたときはFM・AMスイッチを押します。

②放送の種類を選択します。

・FM・AMスイッチDを押します。押すごとにAM→FM1→FM2の順に切り替わります。
（表示部にAM、FM1、FM2と表示）

③聞きたい放送局を選局します。

・あらかじめ記憶されている放送局を選局するときは、メモリー選局スイッチEを押します。

・記憶された以外の放送局を選局するときは、ジョイスティックFを上下に押します。
（モニターに周波数を表示）

＊詳しくは別冊の取扱説明書をお読みください。

＊ラジオを止めるときは、OFFスイッチGを押します。

知識

・バッテリーを外したときは、放送局の記憶が消去されます。バッテリーを接続後、放送局の記憶をやり直してください。

＊放送局の選局のしかた、放送局の記憶のしかた…226ページをお読みください。

●交通情報を聞くとき

・交通情報スイッチ**H**を押します。

＊止めるときは、もう一度スイッチを押します。

知識

・交通情報スイッチには、あらかじめAM放送の1620kHzが記憶されています。
・交通情報スイッチで受信中は、他の選局スイッチを押しても選局しません。交通情報スイッチを、もう一度押すと、元に戻ります。
・交通情報スイッチの周波数を変えて記憶させるときは、AM又はFM放送を受信し、交通情報スイッチを“ピッ”と音がするまで押し続けます。（AM、FM、chの表示はしません。）再度、交通情報スイッチに1620kHzを記憶させるときは、周波数を合わせてから交通情報スイッチを“ピッ”と音がするまで押し続けます。

●放送局の選局のしかた

ジョイスティック**F**を上下に押すと周波数が変わります。

TUNE ＋（上）…周波数が上がる
TUNE －（下）…周波数が下がる

〈自動選局〉

・ジョイスティックをTUNE ＋側又はTUNE －側を“ピッ”と音がするまで押すと、ラジオ放送を受信したところで止まります。

〈手動選局〉

・ジョイスティックをTUNE ＋側又はTUNE －側を一瞬押すと、周波数が1ステップずつ変化します。

知識

・受信電波が弱く自動選局できないときは、ジョイスティックを一瞬ずつ倒して手動選局してください。

●放送局の記憶のしかた

・記憶させたい放送局を選局し、メモリー選局スイッチ**E**のいずれか（1～6）を“ピッ”と音がするまで押し続けます。

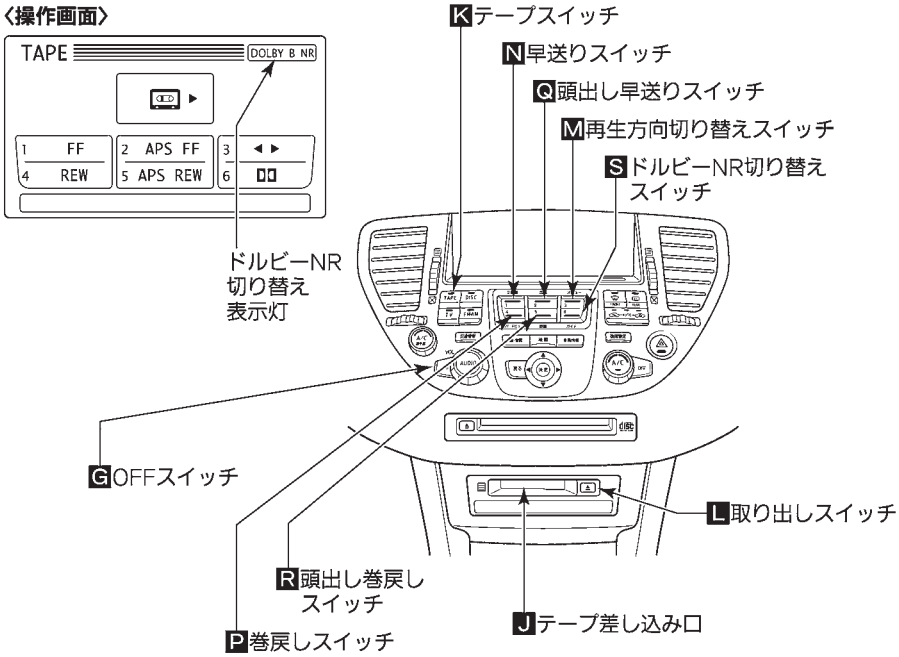
知識

・AM、FM1、FM2にそれぞれ12局ずつ記憶できます。
・バッテリーを外したときは、放送局の記憶が消去されます。バッテリーを接続後、放送局の記憶をやり直してください。

＊詳しくは別冊の取扱説明書をお読みください。

カセットテープの聞きかた

〈操作画面〉



ESD1267Z

●カセットテープを聞くとき

・キースイッチをAcc又はONにし、テープを差し込み口Jに入れると再生を始めます。
・テープがすでに入っているときは、テープスイッチKを押します。

＊再生を止めたいときは、OFFスイッチGを押します。

知識

・電源スイッチを押すとテープの再生を始めます。

●テープを取り出すとき

・取り出しスイッチLを押します。

●再生方向を変えるとき

・再生方向切り替えスイッチMを押します。

●早送り、巻戻しをするとき

・早送りするときは早送りスイッチNを、巻戻しするときは巻戻しスイッチPを押します。

＊止めるときは、もう一度同じスイッチを押すか、テープスイッチKを押します。

●曲をとばして聞くとき

・現在聞いている次の曲以降を頭出しするときは、頭出し早送りスイッチQを押します。
・現在聞いている曲又はそれ以前の頭出しをするときは、頭出し巻戻しスイッチRを押します。（9曲まで）
・途中で中断するときは、テープスイッチKを押します。

知識

・曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のときや雑音があるときは、正常に作動しないことがあります。

●ドルビー NR 録音したテープを聞くとき

・ドルビー NR 切り替えスイッチSを押します。
（ドルビーNR切り替え表示灯が点灯）

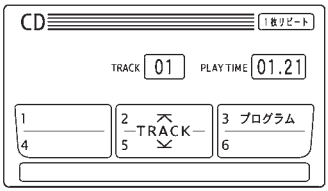
＊元に戻すときは、もう一度押します。
（ドルビーNR切り替え表示灯が消灯）

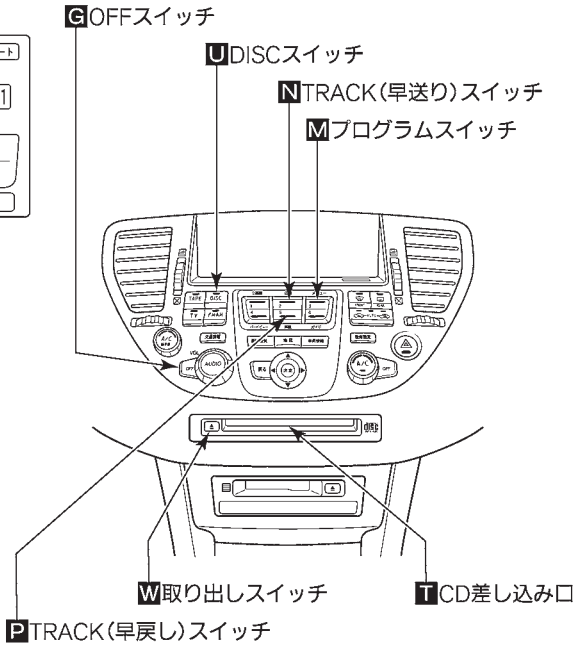
知識

・ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
・本機は Dolby B NR に対応しています。

CD（コンパクトディスク）の聞きかた

〈操作画面〉





ESD1268Z

● CD を聞くとき

・キースイッチを Acc 又は ON にし、CD のラベル面を上にして CD 差し込み口Tに入れると再生を始めます。
・CD がすでに入っているときは、DISC スイッチUを押します。

＊再生を止めたいときは、OFF スイッチGを押します。

知識

・電源スイッチを押すと CD の再生を始めます。

アドバイス

・8センチ（シングル）CD もアダプターなしで使うことができます。アダプターは故障の原因になりますので使わないでください。

● CD を取り出すとき

・取り出しスイッチWを押します。

●早送り、早戻しするとき

・再生中、TRACK(早送り)スイッチ[N]を押し続けるか、TRACK(早戻し)スイッチ[P]を押し続けます。手を離すと、そこから再生を始めます。
・スイッチを押し続けていると途中から速度が速くなります。

知識

・1曲目の最初に戻ると再生を始めます。

●曲をとばして聞くとき

・TRACK(早送り)スイッチ[N]を一瞬押すごとに曲番が進み、再生を始めます。
・TRACK(早戻し)スイッチ[P]を一瞬押すごとに曲番が戻り、再生を始めます。
・スイッチを押した回数分、曲を飛び越します。

知識

・TRACK(早戻し)スイッチを1回押すと聞いている曲の最初に戻ります。

●曲の順番を変えて聞くとき

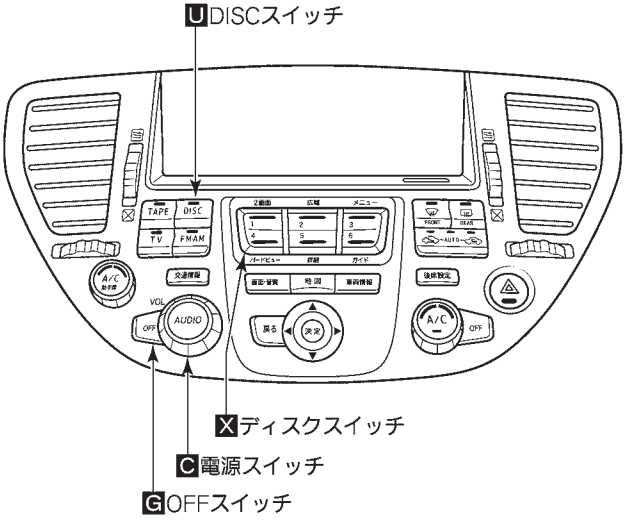
・プログラムスイッチ[M]を押すごとに次のように再生します。

1曲リピート…同じ曲をくり返し再生します。
1枚ランダム…自動的に曲の順番を変えて再生します。
1枚リピート…全曲を曲順にくり返し再生します。

知識

・ランダム演奏中は、同じ曲を続けて再生することもあります。
・オートチェンジャー使用時には切り替えの表示が異なりますので、別冊の取扱説明書をお読みください。

オートチェンジャーでの CD の聞きかた　ディーラーオプション



ESD0859Z

● CD を聞くとき

・CD はあらかじめ CD オートチェンジャーにセットしておきます。
・キースイッチを Acc 又は ON にし、DISC スイッチ U を押すと再生を始めます。

＊本体に CD が入っているときは、DISC スイッチを押すと、CD ⟷ CD オートチェンジャーが交互に切り替わります。

＊再生を止めたいときは、OFF スイッチ G を押します。

知識

・電源スイッチ A を押すと CD の再生を始めます。

● CD を選んで聞くとき

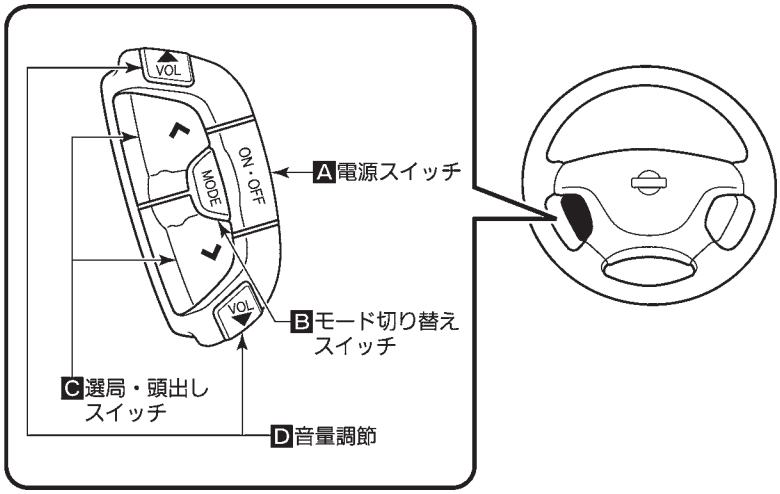
・ディスクスイッチ X を押します。
ディスクスイッチを押すと、CD の番号が変わり、再生を始めます。
　∧…番号が進む
　∨…番号が戻る

知識

・CD オートチェンジャーの取り扱いかたは、付属の取扱説明書をお読みください。
・詳しくは、取り付けた日産販売会社にご相談ください。

ステアリングスイッチ

＊TV システム及び TV/ ナビゲーションシステムは別冊の取扱説明書をお読みください。



ESA1487Z

手元でオーディオの操作ができます。
＊詳しくは別冊の取扱説明書をお読みください。

●電源スイッチ

・電源スイッチ**A**を押すごとに電源が ON、OFF します。

●モード切り替えスイッチ

・モード切り替えスイッチ**B**を押すごとに次のように切り替わります。
AM → FM → CD → TAPE → TV

知識

・テープ及び CD が入っていないとテープ、CD には切り替わりません。
・TV システムが接続されていないと、TV は切り替わりません。
・オートチェンジャー及び DVD ビデオ使用時には切り替えのモードが異なります。

●選局・頭出しスイッチ

ラジオを聞いているとき

・選局・頭出しスイッチ**C**を押すとプリセットされているメモリーを呼び出します。
　∧…プリセットチャンネルが上がる
　∨…プリセットチャンネルが下がる
＊プリセットについて…詳しくは別冊の取扱説明書をお読みください。
・選局・頭出しスイッチ**C**を“ピッ”と音がするまで押すと、ラジオ放送を受信したところで止まります。
　∧…周波数が上がる
　∨…周波数が下がる

知識

・電波が弱い所では自動的に選局できないことがあります。

カセットを聞いているとき

・選局・頭出しスイッチ**C**を一瞬押すと、スイッチを押した回数分曲をとばして再生します。(9曲まで)
　∧…現在聞いている次の曲以降の頭出し
　∨…現在聞いている曲、又はそれ以前の曲の頭出し
＊途中で頭出しを中断するときは、同じスイッチを“ピッ”と音がするまで2回繰り返し押し続けます。

知識

・途中で頭出しを中断するとき、同じスイッチを“ピッ”と音がするまで1回押すと早送り、巻戻しに切り替わり、もう一度同じスイッチを“ピッ”と音がするまで押すと再生に戻ります。

・選局・頭出しスイッチ**C**を“ピッ”と音がするまで押すと、早送り、巻戻しをします。
　∧…早送りする
　∨…巻戻しする
＊早送り、巻戻しを止めたいときは、もう一度同じボタンを“ピッ”と音がするまで押し続けます。

CD を聞いているときは

・選局・頭出しスイッチ**C**を押した回数分、曲をとばして再生します。
　∧…現在聞いている次の曲以降の頭出し
　∨…現在聞いている曲、又はそれ以前の曲の頭出し

知識

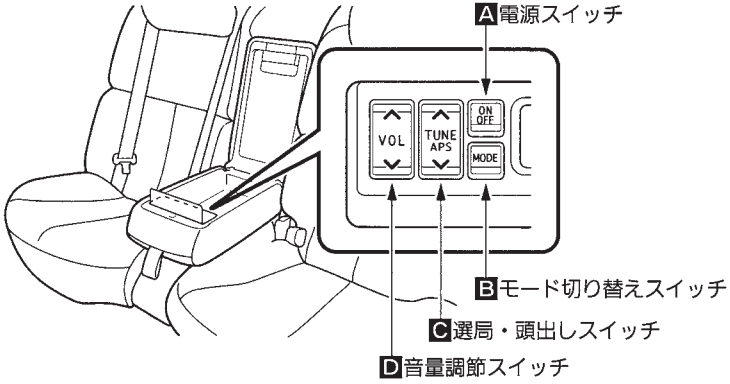
・∨側のスイッチを1回押すと聞いている曲の最初に戻ります。

●音量調節スイッチ

・音量調節スイッチ**D**を押すと音量が調節できます。
　上側（▲）…音量大きくなる
　下側（▼）…音量小さくなる

リヤセンターアームレスト内蔵コントロールスイッチ グレード オプション

＊TV システム及び TV/ ナビゲーションシステムは別冊の取扱説明書をお読みください。



ESD1067Z

後席センターアームレスト部のスイッチでオーディオの操作ができます。

＊詳しくは別冊の取扱説明書をお読みください。

●電源スイッチ

・キースイッチが Acc 又は ON のとき、電源スイッチ**A**を押すごとに電源が ON、OFF します。

●モード切り替えスイッチ

・モード切り替えスイッチ**B**を押すごとに次のように切り替わります。

┌AM→FM→DISC→TAPE→TV┐

知識

・テープ及び CD が入っていないとテープ、CD には切り替わりません。
・TV システムが接続されていないと、TV には切り替わりません。
・オートチェンジャー及び DVD ビデオ使用時には切り替えのモードが異なります。

●選局・頭出しスイッチ

ラジオを聞いているとき

・選局・頭出しスイッチ[C]を押すとプリセットされているメモリーを呼び出します。
　∧…プリセットチャンネルが上がる
　∨…プリセットチャンネルが下がる
＊プリセットについて…詳しくは別冊の取扱説明書をお読みください。
・選局・頭出しスイッチ[C]を“ピッ”と音がするまで押すと、ラジオ放送を受信したところで止まります。
　∧…周波数が上がる
　∨…周波数が下がる

知識

・電波が弱い所では自動的に選局できないことがあります。

カセットを聞いているとき

・選局・頭出しスイッチ[C]を一瞬押すと、スイッチを押した回数分曲をとばして再生します。(9曲まで)
　∧…現在聞いている次の曲以降の頭出し
　∨…現在聞いている曲、又はそれ以前の曲の頭出し
＊途中で頭出しを中断するときは、同じスイッチを“ピッ”と音がするまで2回繰り返し押し続けます。

知識

・途中で頭出しを中断するとき、同じスイッチを“ピッ”と音がするまで1回押すと早送り、巻戻しに切り替わり、もう一度同じスイッチを“ピッ”と音がするまで押すと再生に戻ります。

・選局・頭出しスイッチ[C]を“ピッ”と音がするまで押すと、早送り、巻戻しをします。
　∧…早送りする
　∨…巻戻しする
＊早送り、巻戻しを止めたいときは、もう一度同じスイッチを“ピッ”と音がするまで押し続けます。

CD を聞いているときは

・選局・頭出しスイッチ[C]を押した回数分、曲をとばして再生します。
　∧…現在聞いている次の曲以降の頭出し
　∨…現在聞いている曲、又はそれ以前の曲の頭出し

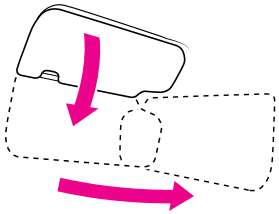
●音量調節スイッチ

・音量調節スイッチ[D]を押すと音量が調節できます。
　上側（∧）…音量大きくなる
　下側（∨）…音量小さくなる

室内装備品の使いかた

サンバイザー

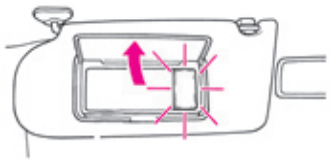
・前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
・横からの日差しを防ぐときは、下に下げ、左（助手席は右）のフックから外し、横にして使います。



ESD0860Z

知識

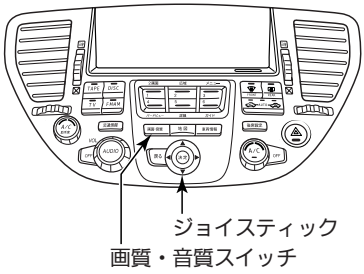
照明付バニティーミラー
・サンバイザー裏側に照明付きのバニティーミラー（鏡）が付いています。



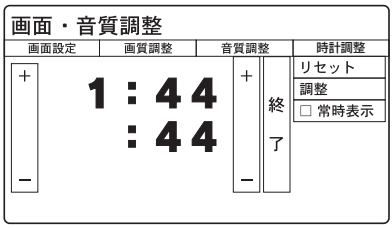
TSA5607Z

時　計

〈モニター内〉
・キースイッチが Acc 又は ON のとき表示します。



ESD0861Z



ESD1068Z

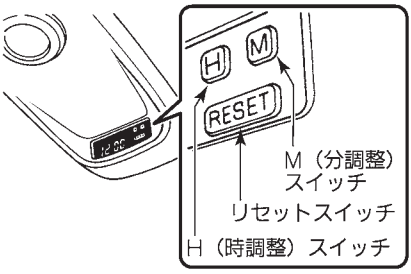
●時刻を合わせるとき

＊詳しくは、別冊の取扱説明書をお読みください。
・画面・音質スイッチを押します。
・ジョイスティックで時計調整を選択し、調整画面を表示させます。
・ジョイスティックで“調整”を選択します。
・ジョイスティックを上下に動かして時間を調整した後、“終了”を選択すると調整が終了します。

〈後席用オーバーヘッドコンソール内〉

グレード オプション

・キースイッチが Acc 又は ON のとき表示します。



TSD0260Z

●時刻を合わせるとき

・H（時調整）スイッチを押すと“時”が、M（分調整）スイッチを押すと“分”が早送りされます。

・スイッチを押している間、数字が進みます。

●時報に合わせるとき

〈モニター内〉

・時報に合わせてジョイスティックでリセットを選択します。

＊ナビゲーション付車は操作方法が異なります。別冊の取扱説明書をお読みください。

〈後席用オーバーヘッドコンソール内〉

グレード オプション

・時報に合わせてリセットスイッチを押します。

例：12時01分～12時29分の間にスイッチを押すと、12時00分を表示します。
12時30分～12時59分の間にスイッチを押すと、1時00分を表示します。

知識

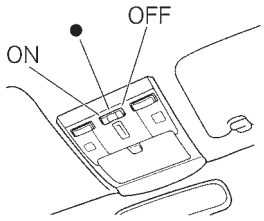
・バッテリーを外したときは、時刻の記憶が消去されます。バッテリーを接続後、正しい時刻に調整してください。

トータルコーディネート室内照明

●ルームランプスイッチの使いかた

・マップランプ、後席用パーソナルランプを同時に点灯・消灯させます。
・それぞれのランプは単独で使うこともできます。
・キースイッチの位置に関係なく使えます。スイッチを押す位置により次のように点灯・消灯します。

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯
●（中立）	通常はこの位置で使います。運転席又は助手席ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。（キースイッチにキーが差し込まれていないときは、運転席ドアを閉めると約15秒間点灯後、消灯します。）
OFF	消灯



TSA5535Z

アドバイス

・エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

知識

・スイッチが●（中立）の位置のとき、ドアを開けたまま約30分経過するとマップランプ、後席用パーソナルランプは消灯します。

●マップランプ

キースイッチの位置に関係なく使えます。
・スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。



TSA5536Z

アドバイス

・エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

知識

・運転席ドア又は助手席ドアを開閉したとき、閉まっているドア側のランプは薄暗く点灯します。
・ルームランプスイッチが ON 位置のとき、又は中立位置でドアを開けたままのときはマップランプスイッチを押し戻しても常時点灯します。

●後席用パーソナルランプ

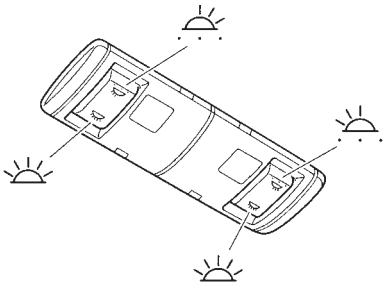
キースイッチの位置に関係なく使えます。スイッチを押す位置により、次のように点灯・消灯します。

アドバイス

・エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

〈ツインモニター無車〉

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
（車両後方側）TSA1706Z	左右席のランプが常時点灯
（中立）	通常はこの位置で使います。ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。（キースイッチにキーが差し込まれていないときは、運転席ドアを閉めると約15秒間点灯後、消灯します。）
（車両前方側）TSA1707Z	スイッチを押したランプだけが常時点灯



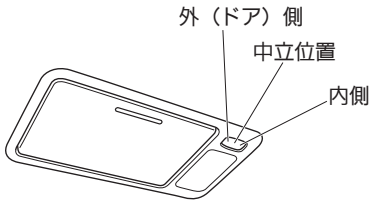
TSA1196Z

知識

・後席ドアを開閉したとき、閉まっているドア側のランプは薄暗く点灯します。
・ルームランプスイッチがON位置のとき、又は中立位置でドアを開けたままのときは、後席用パーソナルランプを操作しても常時点灯します。

〈ツインモニター付車〉

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
外(ドア)側	スイッチを押したランプだけ常時点灯
中立	通常はこの位置で使います。ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。（キースイッチにキーが差し込まれていないときは、運転席ドアを閉めると約15秒間点灯後、消灯します。
内側	左右席のランプが常時点灯



ESD0862Z

キー連動室内照明システム

ドアの施錠、解錠に連動して、トータルコーディネート室内照明が点灯・消灯します。
ルームランプスイッチ、後席用パーソナルランプスイッチが中立位置にあり、キーが抜かれているときに作動します。

〈乗車時〉

- 運転席ドアを解錠すると、トータルコーディネート室内照明が約15秒間点灯後、消灯します。
- トータルコーディネート室内照明点灯中に、キースイッチを Acc 又は ON にするか、運転席ドアを施錠すると消灯します。

〈降車時〉

- キーをキースイッチから抜きとると、トータルコーディネート室内照明が約15秒間点灯後、消灯します。
- トータルコーディネート室内照明点灯中に運転席ドアを施錠すると消灯します。

知識

- トータルコーディネート室内照明の点灯、消灯や点灯時間を選択することができます。
  ＊設定のしかたは別冊の取扱説明書（車両情報を見る）をお読みください。

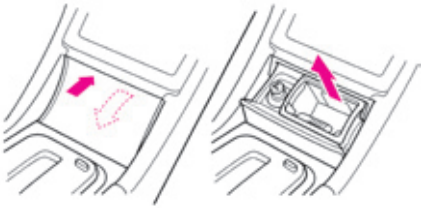
灰　皿

注意

- 灰皿を使った後はマッチやタバコの火が消えていることを確認し、ふたを必ず閉めてください。
  また、紙くずなど燃えやすい物は入れないでください。出火するおそれがあります。

●前席用灰皿

- ふたを押すと開きます。
- 閉めるときは、ふたを押し戻します。
- 清掃するときは、灰皿内側のケースを持って引き出します。
- 取り付けるときは、そのまま押し込みます。

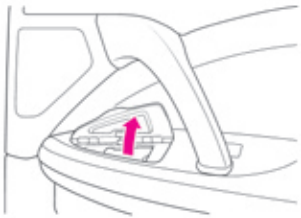


ESA1490Z

●後席用灰皿

後席ドア左右にあります。

・ふたを横方向に開けます。
・清掃するときは、灰皿内側のケースを持って引き出します。
・取り付けるときは、そのまま押し込みます。

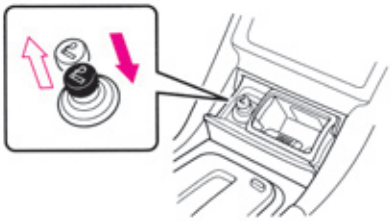


ESA1491Z

シガーライター

キースイッチが Acc 又は ON のとき使えます。

・シガーライターを押し込み、手を離して約10秒待ちます。
・自動的に元の位置に戻ったら引き抜いて使います。



ESA1492Z

警告

・シガーライターは信号待ちなどの停車中に使ってください。走行中に使うと前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

・シガーライターの金属部分に触れないでください。やけどをするおそれがあります。
・シガーライターを押し込んだまま押さえないでください。過熱して焼損するおそれがあります。
・他車のシガーライターを差し込まないでください。また、シガーライターの差し込み口からは、日産純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。焼損や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

・30秒たっても自動的に戻らないときは、元の位置まで引き戻し、日産販売会社で点検を受けてください。

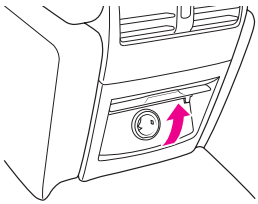
アクセサリー用電源ソケット

キースイッチが Acc 又は ON のとき使えます。

〈コンソールボックス後部〉

・カーアクセサリーの電源をとるときに、ふたを開けて使います。

容量は12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。



ESA1494Z

＊イラストは、ビデオ入力端子無車です。

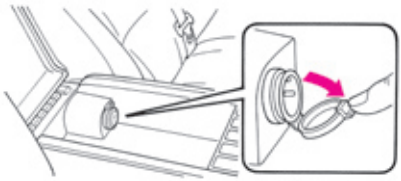
〈リヤセンターアームレスト内部〉

グレード オプション

・市販の車載電話及び携帯電話の車載キットの電源をとるときに使用します。

・ふたを開けて使います。

容量は12V（ボルト）、3.2A（アンペア）、38W（ワット）です。



TSA5537Z

⚠ 注意

・2マタソケットなどでタコ足配線をしないでください。

・安全のため、消費電力がカーアクセサリー用は120W 以下、電話用は38W 以下のものを使用してください。

・相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入して使用してください。挿入が不完全になると、異常発熱し、内部温度ヒューズが切れる場合があります。

・相手プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源スイッチを OFF にするか、キースイッチを OFF にします。

・使用中及び使用直後はソケット及び相手プラグが熱くなっていることがありますので、注意してください。

・使用後はキャップをしてください。

・シガーライターを電源ソケットに差し込まないでください。

・ソケットに水などがかからないようにしてください。

・ソケットには指や金属などを入れないでください。

アドバイス

・バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけて使用してください。エンジンを切った状態やアイドリング状態で長時間使用しないでください。また、エンジンをかけているときでも、同時にエアコン、ヘッドランプ、リヤウインドーデフォッガーなどの使用は避けてください。

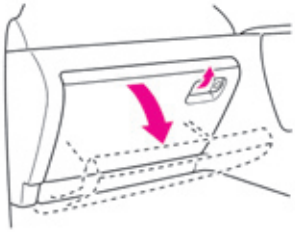
グローブボックス

注意

・グローブボックスを開けたまま走行しないでください。収納した物が飛び出したり、ブレーキをかけたとき、ふたに当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。

●開閉のしかた

・ノブを手前に引いて開けます。
・閉めるときは、前方へ押してロックさせます。



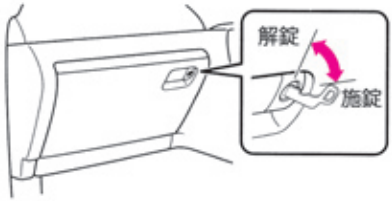
TSA5538Z

知識

・グローブボックス上側はポケットになっています。小物入れなどとしてお使いください。（ナビゲーションシステム付車、オートチェンジャー付車は除く）

●施錠・解錠のしかた

・エマージェンシーキーをキー穴に差し込み、右に回すと施錠し、中立位置に戻すと解錠します。
＊エマージェンシーキーの使いかた…30ページをお読みください。



TSB0624Z

知識

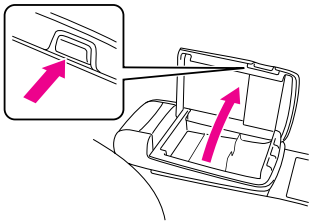
・キーは半分ぐらい差し込んだ状態で止まります。
・カードキーでも施錠・解錠できます。
・電子キーでは施錠・解錠できません。
・グローブボックスの中にトランクオープナーキャンセルスイッチがあります。
＊トランクオープナーキャンセルスイッチの使いかた…39ページをお読みください。

コンソールボックス

上段、下段で2通りに使えます。

〈上段〉

・ふたの横のボタンを押して上半分を横に開けます。
・ふたは運転席、助手席両側から開けることができます。



ESA1495Z

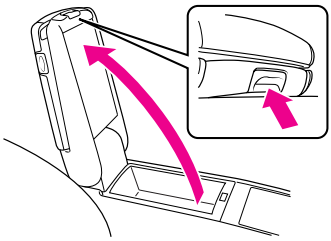
・前側はコイン入れになっています。

知識

・上段のふたは、運転席側又は助手席側のどちらかが確実に閉まっていないと開かない構造になっています。

〈下段〉

・ノブを車両後方に押しながら上段部を持ち上げます。
・閉めるときは、上段部を押し下げてロックさせます。



ESD0863Z

注意

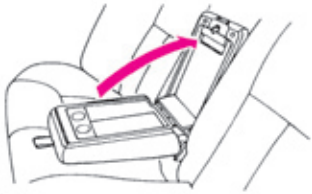
・上段を持ち上げたままにしないでください。思わぬケガをするおそれがあります。
・上段のふたを閉めてから、下段を持ち上げてください。

知識

・コンソール内に電話を取り付けるときは、日産販売会社又は電話取扱店にご相談ください。

リヤセンターアームレスト（ボックス付）

・ロックノブを押し上げながらふたを開けます。
・閉めるときは、ふたを押してロックします。



TSC1819Z

・グレードにより、カップホルダーの位置が異なります。
＊後席カップホルダー…248ページをお読みください。

コンソールポケット（前席カップホルダー）

警告

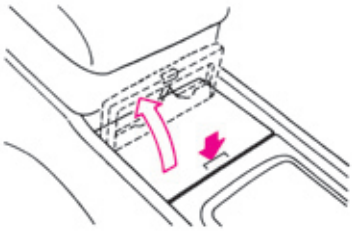
・運転中は、信号待ちなどの停車中に使ってください。走行中に飲物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

・飲物をこぼさないように急発進、急ブレーキに注意してください。熱い飲物がこぼれると、やけどをするおそれがあります。

●小物入れとして使うとき

・ふたの前側を押して開きます。
・閉めるときは、ふたを押し戻します。



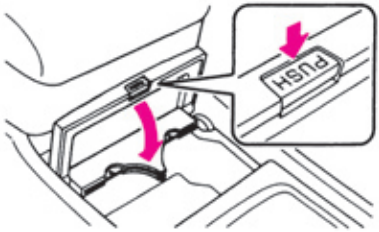
TSD0291Z

知識

・トレイは取り外して清掃することができます。

●カップホルダーとして使うとき

・ふたを開けてから、ふた側のPUSH部を押すとホルダー部が下がります。



TSD0292Z

・カップ又は缶のサイズに合わせてホルダーの△部を押し込むか、押し戻して使います。



TSD0293Z

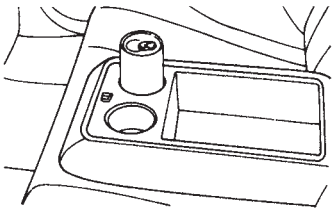
知識

・ホルダー部が下がった状態でふたを閉めると、次にふたを開けたときにはホルダー部が下がったままになっています。

後席カップホルダー

●標準タイプ　グレード

後席センターアームレスト内にあります。



TSA1212Z

●格納タイプ　グレード　オプション

センターアームレストを倒し、ボタンを押すと前方へ出てきます。（ふたを押し戻すと格納します。）



TSD0321Z

カップホルダーには180mℓ缶から350mℓ缶まで置けます。また、切り欠き部分には、小型パック類も置くことができます。

注意

・使わないときは、格納してください。出したままにしておくと、誤って手をついたり、足を引っ掛けたりしてケガをするおそれがあります。

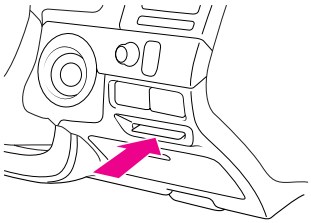
アドバイス

・ジュースなどをこぼしたときはすみやかにふき取ってください。そのままにしておくと、固まってしまい、ボタンを押しても出てこないことがあります。

カードホルダー　オプション

＊ETC（ノンストップ自動料金支払いシステム）ユニット付車には付きません。
ハンドルの右側にあります。

・カードを押し込みます。
・使うときはカードを押して出します。



ESA1497Z

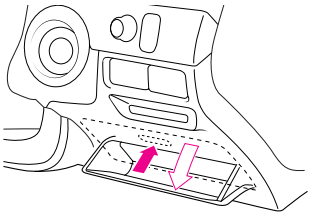
知識

・給油カードより小さいものは入れないでください。取り出せなくなるおそれがあります。

インストポケット

ハンドルの右側にあります。

・ふたを押して開きます。
・閉めるときは、ふたを押し戻します。

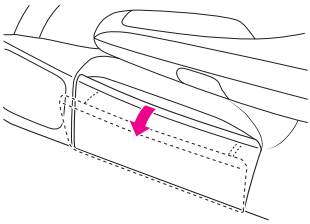


ESA1498Z

開閉式ドアポケット

前席ドア下部にあります。

・ポケットを引き出して、物を出し入れします。
・出し入れしたあとは、ポケットを押し戻します。



ESA1499Z

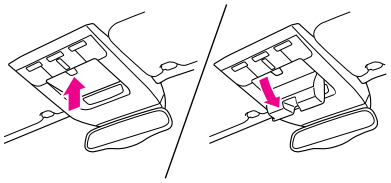
アドバイス

・ポケットが閉まらないような大きい物を押し込んだり、ポケットを無理に押し戻したりしないでください。ポケットが破損するおそれがあります。

オーバーヘッドコンソール

マップランプの前側にあります。

・ボタンを押すと開きます。
サングラスなどを入れることができます。
・閉めるときは、ロックするまで押します。



TSA5544Z

注意

・開閉は停車中に行い、開けたまま走行しないでください。また、サングラス以外の重量のある物を入れないでください。落下して思わぬケガにつながるおそれがあります。
・炎天下での駐車は大変高温になりますのでサングラス、メガネ、ライターなどを入れたままにしないでください。変形するおそれがあります。

後席用オーバーヘッドコンソール グレード オプション

ツインモニター無車

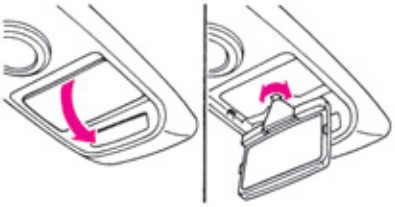
後席専用の時計、バニティーミラー、読書灯があります。

＊時計の使いかた…237ページをお読みください。

●バニティーミラー

・引き出して使います。

・ミラーは前後左右に動かすことができます。



TSC1838Z

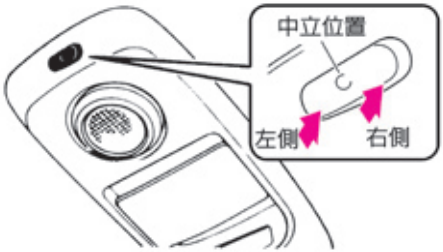
●読書灯

キースイッチの位置に関係なく使えます。

・スイッチを押す位置により、次のように点灯・消灯します。

・ランプを動かして照らす方向を調節することができます。

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
左側	左側の後席用パーソナルランプと同時に常時点灯します。
中立位置	消灯
右側	常時点灯



TSA5605Z

アドバイス

・エンジン停止時にランプを長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

＊後席用パーソナルランプ…239ページをお読みください。

ツインモニター付車

後席専用の時計、読書灯があります。

＊時計の使いかた…237ページをお読みください。

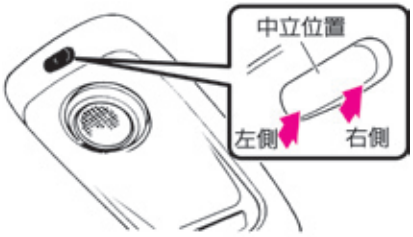
●読書灯

キースイッチの位置に関係なく使えます。

・スイッチを押す位置により、次のように点灯・消灯します。

・ランプを動かして照らす方向を調節することができます。

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
左側	常時点灯
中立位置	消灯
右側	左側の後席用パーソナルランプと同時に常時点灯します。



TSD0336Z

アドバイス

・エンジン停止時にランプを長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

＊後席用パーソナルランプ…239ページをお読みください。

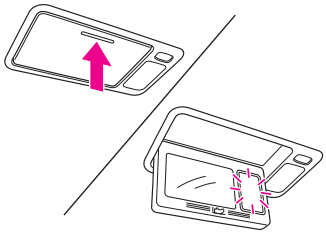
後席用バニティーミラー

オプション

・後席用バニティーミラーを押すと開きます。

・開くとバニティーミラー照明が点灯します。

・閉じるときは、ロックするまで押します。



ESD0865Z

サンシェード グレード

警告

・電動式サンシェード作動時にアームに触れたり、サンシェードの収納口に手などを入れないでください。巻き込まれたり、挟まれたりして重大な傷害につながるおそれがあります。



TSA5547Z

・サンシェード収納口に髪などが掛からないように注意してください。サンシェード下降時に巻き込まれ重大な傷害につながるおそれがあります。



TCA0575Z

・電動式サンシェード作動時に、サンシェード収納口をのぞかないでください。サンシェード上昇時に顔などにぶつかり重大な傷害につながるおそれがあります。

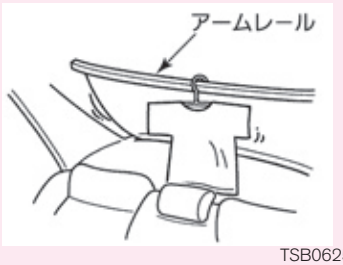
注意

・サンシェード収納口に物を載せたり、入れたりしないでください。作動時に巻き込まれたりして故障の原因になります。



TSA5548Z

・アームレールにハンガーなどを掛けたり、手や顔などでアームを押すなどしてアームを曲げないでください。破損の原因になります。



TSB0625Z

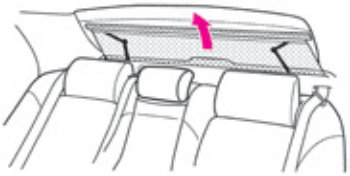
・サンシェードを引っ張らないでください。破損の原因になります。

リヤ電動サンシェード

キースイッチが Acc 又は ON のとき操作できます。
前席と後席で別々に操作することができます。

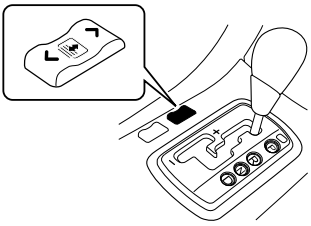
●サンシェードの開閉

・スイッチの∧側を押すと、サンシェードが上昇します。
・スイッチの∨側を押すと、サンシェードが下降します。



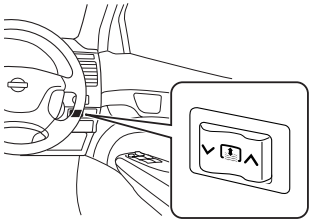
ESA1500Z

〈前席スイッチ〉
〈5M‐AT 車〉



ESD1025Z

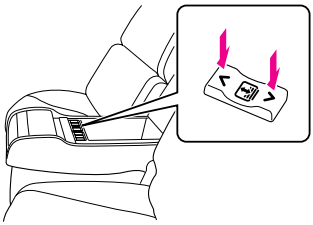
〈4AT 車〉



ESA1504Z

〈後席スイッチ〉

＊車種により一部イラストと異なります。



ESA1502Z

アドバイス

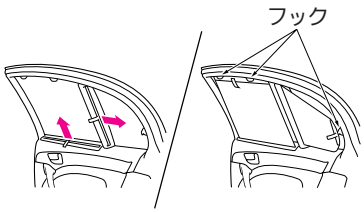
・サンシェードがたるんでいると、スイッチの∨側を押しても下降しないときがあります。そのときは、サンシェードのたるみがなくなるまでアームレールをゆっくり引き上げ、再度スイッチの∨側を押してください。
・上記の操作をしてもサンシェードが下降しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

リヤドアサンシェード

後席ドアガラス左右にあります。
手動で操作します。

●サンシェードの開閉

・車両前方の窓ガラスのシェードは、上方へ引き出し、フックに引っ掛けます。
・車両後方側の窓ガラスのシェードは、車両後方側に引き出し、フックに引っ掛けます。
・フックから外すと、自動的に巻き取り格納します。



ESA1503Z

アシストグリップ

助手席、後席左右に付いています。



TSC1839Z

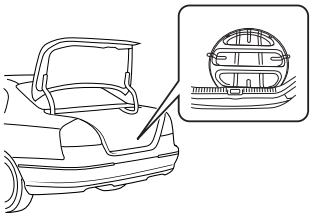
知識

・後席右側のフックには、ハンガーを掛けることができます。

サブトランク

＊車両装着タイヤ付車には付きません。

収納スペースとしてお使いください。
・トランクルームのカーペットとボードを持ち上げます。



ZAA0040

車との上手なつきあいかた 5

●快適ドライブのために…… 256
雨の日の快適ドライブ …… 256
夏の快適ドライブ …… 257
寒冷時の取り扱い …… 258
タイヤチェーンの装着 …… 264
車内休憩時の注意 …… 265

●お手入れのしかた…… 266
外装のお手入れ …… 266
内装のお手入れ …… 269
本革シートのお手入れ …… 270
モケットシートのお手入れ …… 271
その他のお手入れ …… 272

●環境保護のために…… 277

●点検・整備、保証について…… 278
点検・整備について …… 278
保証について …… 278

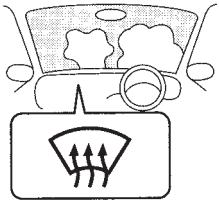
快適ドライブのために

雨の日の快適ドライブ

●窓ガラスがくもるとき

フロント、サイドウインドーガラス

エアコンで除湿します。
エアコンの吹き出し口を⛆にして、吸い込み口は外気導入にします。
冬でもエアコンを活用してください。
＊窓ガラスのくもりを取るとき…214 ページをお読みください。



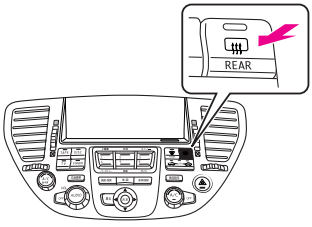
TCA0130Z

アドバイス

・早くくもりを取りたいときは、吹き出し温度を高くし、吹き出し風量を多くします。

リヤウインドーガラス

リヤウインドーデフォッガーを作動させ、くもりを取ってください。
＊リヤウインドーデフォッガースイッチ…127 ページをお読みください。



ESD0868Z

●ガラスが油膜でギラギラするとき

ガラスクリーナーを使って、ガラスの表面やワイパーのゴムを清掃してください。



TCA0131Z

アドバイス

・油膜があると、雨の夜などは対向車の光が乱反射して見にくくなることがあります。

●ワイパーのふき残しがあるとき

・ワイパーブレードのゴムが摩耗していたり、異物がかみ込んでいると線が残ります。ワイパーブレードを清掃し、異物を取り除いてください。
・ゴムが摩耗しているときは、早めにゴムを交換してください。
＊ワイパーブレードの交換はメンテナンスノート（別冊）の「簡単な整備のしかた」をお読みください。



TCA0132Z

夏の快適ドライブ

●オーバーヒートを防ぐために

日頃から冷却水の量をこまめに点検してください。

水温計がオーバーヒートを示しそうになったら、車を安全な場所に止めて冷やしてください。

＊オーバーヒートしたときは…288ページをお読みください。



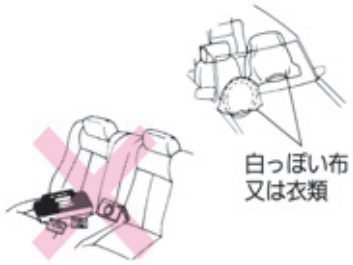
TCA0133Z

アドバイス

・地面に水漏れの跡があるときや、冷却水が早くなくなるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

●炎天下で駐車するとき

シートやハンドルに白い布やサンシェードなどを掛けたり、ボディカバーなどを掛けて温度の上昇を防いでください。熱に弱い製品は車内に置かないでください。



TSA5588Z

警告

・お子さまや介護が必要な方だけを車内に残さないでください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

注意

・炎天下では、樹脂部品や金属部品が高温になっていることがあり、触れるとやけどをするおそれがあります。特に小さいお子さまを乗せるときは注意してください。

また、車内が高温になるので、カセット、カメラ、サングラスなど樹脂製の小物、ガスライターや炭酸系の飲物を置いたままにしないでください。変形したり爆発するおそれがあります。特にインストルメントパネルの上など、直接日光の当たる場所は大変高温になるので注意してください。

●海に出かけたあとは

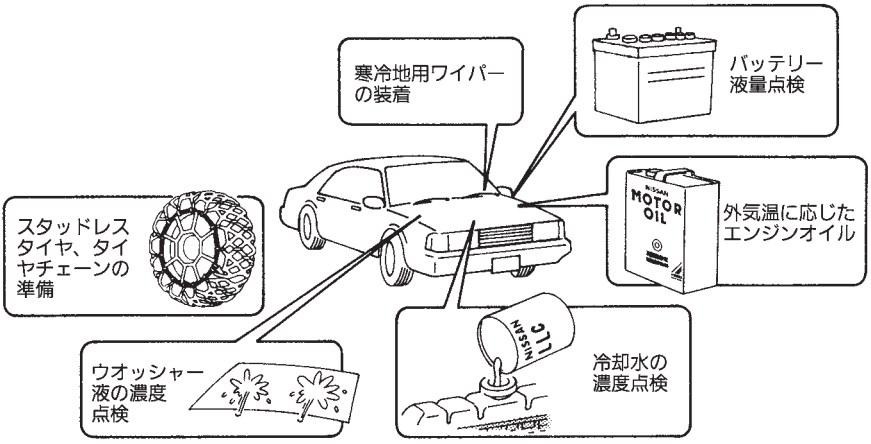
車体に付着した塩分を良く洗い落としてください。また、下回りも念入りに洗ってください。

知識

・塩分を付着させたままにすると、サビの原因となります。

寒冷時の取り扱い

車の冬じたく



TSB0400Z

●エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルを使ってください。

＊サービスデータのエンジンオイル…302 ページをお読みください。

アドバイス

・エンジンオイルの交換は日産販売会社にご相談ください。

●バッテリー液の点検、補給

バッテリー液の点検、補給のしかたは、メンテナンスノート（別冊）の「簡単な整備のしかた」をお読みください。

●冷却水の濃度点検

冷却水の凍結を防ぐため、エンジンクーラントの濃度を点検してください。

エンジンクーラントの濃度	凍結温度
30%	約−15℃
50%	約−35℃

冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。

アドバイス

・寒冷地仕様車は工場出荷時に50%にしてあります。
・冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

●スタッドレスタイヤ、タイヤチェーンの準備

・スタッドレスタイヤに交換するときは、4輪とも必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤに交換してください。
・タイヤチェーンはお客さまのタイヤサイズに合った日産純正品をおすすめします。
＊タイヤ・ロードホイールを交換するときは…275 ページをお読みください。
＊タイヤチェーンの装着…264 ページをお読みください。

●ウオッシャー液の濃度点検

ウオッシャー液の凍結を防ぐため、ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。
＊ウオッシャー液の補給…272 ページをお読みください。

注意

・外気温に応じた希釈割合に合わせてください。不適合の場合、ウインドーガラスに噴射した液が凍結し、視界不良となるおそれがあります。

●寒冷地用ワイパーブレードの装着

寒冷地用ワイパーブレードは、ワイパーブレードの金属部分をゴムで包み、雪の付着を少なくするものです。装着するときは、お車のサイズに合った日産純正部品をお使いください。

注意

・高速走行時は通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなります。速度を落として走行してください。
・凍結などでブレードがガラスに張り付いているときは、作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。

アドバイス

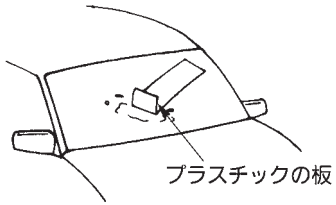
・降雪期以外は通常ブレードに戻してください。

＊ワイパーブレードの交換…273 ページをお読みください。

出発前の準備

●窓ガラスの雪や霜を落とす

プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように落としてください。



TCA0135Z

警告

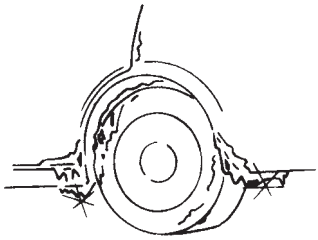
・屋根に積もった雪は落としてください。フロントウインドーに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

・ウインドーガラスにワイパーブレードが凍結しているときは作動させないでください。ワイパーが破損したり、モーターが故障することがあります。

●足回りの着氷を落とす

足回り（ブレーキホース、フェンダー裏側など）に付着した氷塊を取り除いてください。



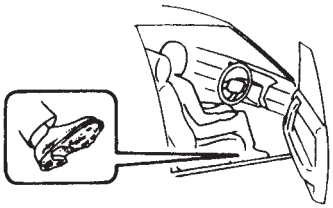
TCA0136Z

アドバイス

・氷塊などを取り除くときは、部品を破損しないように注意してください。

●靴の雪を落とす

乗車時、靴に付いた雪はよく落としてください。



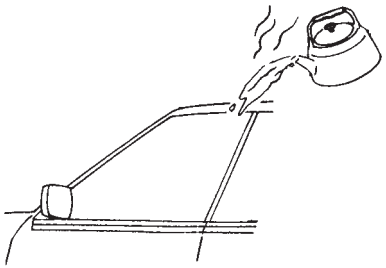
TCA0137Z

アドバイス

・雪が付いていると、ペダル類の操作時に滑ったり、窓ガラスのくもりの原因となります。

●車が凍結したら

凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐにふき取ってください。



TSA1222Z

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワイパー、電動ミラー、パワーウインドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

雪道を走行するとき

●滑りやすい路面の走りかた

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離をとり、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。

＊タイヤチェーンの装着…264 ページをお読みください。



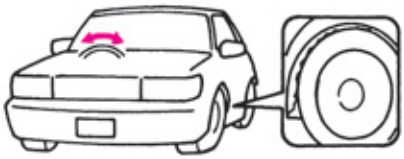
TSA5589Z

警告

- 無理な運転をすると横滑りなどを起こし、方向性を失い、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●走行中の雪の付着に注意

・ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。
効きが悪いときは、低速走行でブレーキを軽く踏み、ブレーキの湿り気を乾かしてください。
・フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。



TSC0688Z

アドバイス

・ブレーキを踏んでブレーキの湿り気を乾かすときは、前後の車との距離を十分にとってください。

寒冷時の駐車

●長時間駐車するとき

・セレクトレバーをPに入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。
・フロントグリルを風が吹いてくる方向に向けて駐車しないでください。
・軒下や樹木の下には駐車しないでください。
・寒冷地仕様車は、ワイパーアームを起こしておくと、ブレードとウインドーガラスの凍結を防止することができます。



TSA5590Z

アドバイス

・パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
・風上に向けて駐車すると、エンジンルームに雪が入ったりエンジンが冷えて始動しにくくなります。
・軒下や樹木の下に駐車すると、落雪で車が損傷するおそれがあります。
・寒冷地仕様車は、雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。

雪道を走行したあとは

・凍結防止剤をまいた道路を走行した後は、早めに洗車してください。
・洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。



TCA0140Z

アドバイス

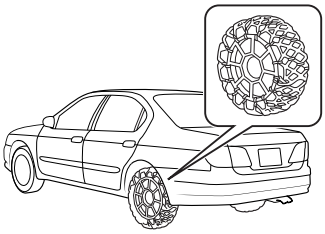
・寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行ができなくなるおそれがあります。

知識

・放置しておくとサビの原因となります。

タイヤチェーンの装着

・タイヤチェーンは必ず後2輪に装着してください。4WD 車も後2輪に装着してください。
・この車は、タイヤとフェンダーのすき間が狭く、タイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できないものがあります。
タイヤチェーンはお客さまの車に適合した日産純正品をおすすめします。適合するタイヤチェーンについては日産販売会社にご相談ください。



ESA1506Z

●タイヤチェーン装着の前に

・車は安全に作業できる平らな場所に止めてください。
・パーキングブレーキをかけエンジンを止めます。さらに、非常点滅表示灯を点滅させ、必要に応じて停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。

注意

・タイヤチェーンはタイヤチェーンに付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。不適正に装着するとブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。
・タイヤサイズに合わないものなど車に不適合なタイヤチェーンを使用すると、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

アドバイス

・応急用タイヤにはタイヤチェーンを装着できません。後輪がパンクした場合は、応急用タイヤを前輪に取り付け、外した前輪を後輪に取り付けてから、チェーンを装着してください。
・タイヤチェーンを装着すると、アルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
・タイヤチェーンを装着したときはタイヤチェーンに付属の取扱説明書で指示された速度で走行してください。安全が損われたりタイヤチェーンが切れやすくなります。
・雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。
また、4WD車は機構に無理がかかり故障の原因となります。
・タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行したり、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

知識

- 4輪に冬用タイヤ（スノータイヤ、スタッドレスタイヤ）を装着すると、雪道で発進、走行、停止がしやすくなります。
- 停止表示板（停止表示灯）は車載されておりませんので、必要に応じて準備してください。

●タイヤチェーンの装着のしかた

- タイヤチェーンは付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。

車内休憩時の注意

●仮眠するとき

- 次のような場所に車を止めてください。
  ＊駐車可能な安全な場所
  ＊車の周囲に壁などがない場所
  ＊車の近くに燃えやすい物がない場所
  ＊他車の排気口が近くにない場所
- エンジンは必ず止めてください。
- エアコンの吸い込み口は外気導入にしてください。
- 助手席又は後席に乗ってください。

警告

- 壁などに囲まれた場所で長時間エンジンをかけたままにすると、排気ガスによる一酸化炭素中毒になる危険があります。
- エンジンをかけたまま仮眠すると、無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、車の発進やエンジン過熱による火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エアコンの吸い込み口を内気循環で長時間使った場合、排気管に腐食や損傷による穴や亀裂があると、排気ガスによる一酸化炭素中毒になる危険があります。

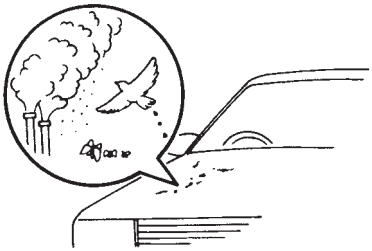
お手入れのしかた

外装のお手入れ

●塗装面を美しく保つために

駐車、保管場所に注意

・駐車、保管するときは、風通しの良い車庫や屋根のある場所をおすすめします。
・樹木の下は、虫や鳥のふん、樹液などが付着しますので避けてください。



TSA1225Z

洗車・ワックスがけの実施

・塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。洗車やワックスがけはこまめに行ってください。

汚れに適した処理を

・ほこり、汚れなどが付着したときは、柔らかい布や毛ばたきなどで軽くふき取ってください。



TCA0141Z

・ばい煙、虫や鳥のふん、樹液、鉄粉、虫の死がいなどが付着したときは、セーム皮や柔らかいスポンジなどを使い、洗車してください。



TCA0142Z

・コールタール、落ちにくい汚れ、水あかなどが付着したときは、日産純正ケミカル用品で取り除いてください。
・海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したときは、早めに下回りを含め洗車してください。

アドバイス

・日産純正ケミカル用品は用途により使い分けが必要です。用途にあったものをお使いください。
・外装のお手入れをするときは、ガソリンなどは使わないでください。塗装面が変色するおそれがあります。

●洗車のしかた

注意

・雨滴感知式オートワイパー付車は、必ずスイッチ位置を OFF にしてください。ケガをしたり、ワイパーの破損につながるおそれがあります。

水洗いするとき

①車体に水をかけながら下回り、車体の順で汚れを洗い落とします。
②塗装面は高い位置から低い位置の順に水をかけながら、セーム皮や柔らかいスポンジなどを使い、汚れを落としてください。（汚れがひどいときは、日産純正ボディーシャンプーを使ってください。）
③はん点が残らないように、水をふき取ります。



TCA0142Z

アドバイス

・洗車するときは、エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良やエンジンの不調、電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
・硬いブラシや、たわしなどは使わないでください。塗装面などを傷つけるおそれがあります。

アドバイス

・下回りを洗うときはケガをしないように注意してください。
・寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。
・ボディーシャンプーを使ったときは、塗装面にボディーシャンプーが残らないように十分水洗いしてください。

洗車機を使うとき

〈自動洗車機〉

ドアミラーを格納して洗車してください。

〈高圧（コイン）洗車機〉

洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。

注意

・バックビューモニター付車は、高圧洗車機で洗車する場合カメラの周囲部に直接水をかけないでください。カメラレンズに結露などが発生したり、故障や火災、感電の原因となります。

アドバイス

・自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。
・ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車内に水が漏れるおそれがあります。

●ロングライフ撥水ガラスについて

ロングライフ撥水ガラスは、フロントドアガラスに耐久性の高い撥水膜をコーティング（フッ素コーティング）することにより、雨天走行時の視界を確保するものです。研磨剤の入ったガラス用のケミカル用品は、ロングライフ撥水ガラスの性能を損いますので、使わないでください。

●ワックスのかけかた

ワックスがけは1か月に1回程度、又は水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリック及びパール塗装車とも同じです。

ワックスのかけかた

①塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
②塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

アドバイス

- 新車時にワックスがけを行っても問題ありません。
- 塗装面が熱いときに行うとムラになることがあります。
- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。

ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスを使ってください。
  日産純正カーワックスをおすすめします。

＊詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

●軽い補修のしかた

塗装面の小さい傷は、タッチアップペイントを使って、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

知識

- タッチアップペイントの色は、車の塗装色と少し異なる場合があります。

●アルミロードホイールのお手入れ

中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを洗い落としてください。

アドバイス

・変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
＊強酸性、強アルカリ性の洗剤は使わないでください。
＊洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用してください。（体温以下が目安）
＊洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流してください。
＊硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使わないください。

知識

お手入れには、日産純正クリーナーをおすすめします。
※詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

内装のお手入れ

●カーペットの汚れ取り

電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。



TCA0145Z

注意

・ルームクリーナーを使うときは、ドアや窓を開け、換気してください。

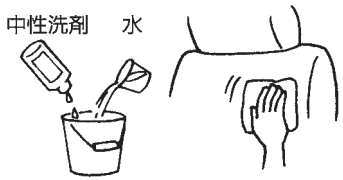
アドバイス

・内装のお手入れをするときは、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。

●布、ビニールレザーの汚れ取り

中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。

汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。



TCA0146Z

注意

・ルームクリーナーを使うときは、ドアや窓を開け、換気してください。

●リヤウインドーの清掃

・ガラスの内側を清掃するときは、熱線やアンテナ線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線やアンテナ線にそって軽くふいてください。
・ガラスクリーナー、洗剤などは使わないでください。

本革シートのお手入れ

オプション

●通常のお手入れ

ガーゼなど柔らかい布でふきます。

●水溶性の汚れを取るとき

柔らかい布をぬるま湯に浸し、固くしぼってからふき取ります。次に乾ぶきします。

●油性の汚れを取るとき

ぬるま湯に中性洗剤を溶かし（濃度2～3%）、柔らかい布に含ませ汚れを取ります。さらに真水に浸した布を固くしぼってふき取り、最後に乾ぶきします。風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

・ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は使わないでください。色落ちや、光沢がなくなるおそれがあります。
・直射日光は変色、変質の原因になります。日よけに心がけてください。

知識

・本革シートのお手入れ用品（クリーナーなど）のご購入については、日産販売会社にご相談ください。

モケットシートのお手入れ

●汚れを取るとき

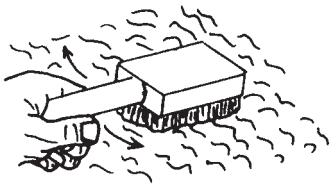
日産純正ルームクリーナーを使い、次の手順でお手入れしてください。

①10～15cm 離れた位置から、洗浄部及び周辺部にクリーナーをスプレーします。

②数10秒放置した後、硬めのブラシで汚れをかき取るように、一定方向へブラッシングします。

③浮き上がった汚れと水分を、乾いたきれいな布で、たたくようによくふき取ります。

④洗浄が終わったら、柔らかいブラシを使って毛並みをそろえ、ドライヤーなどで十分に乾燥させます。



TSA1226Z

注意

・ルームクリーナーを使うときは、ドアや窓を開け、換気してください。

アドバイス

・ルームクリーナーに記載してある説明をよく読んでからお使いください。

・1回の洗浄で汚れが残っているときは、くり返し洗浄してください。

●毛先が倒れたとき

次の手順でお手入れしてください。

①毛先の倒れた部分を霧吹きなどでぬらします。

②毛先の倒れた方向の逆からブラシをかけて毛先を立たせます。

③ドライヤーなどで十分に乾燥させます。



TSA1227Z

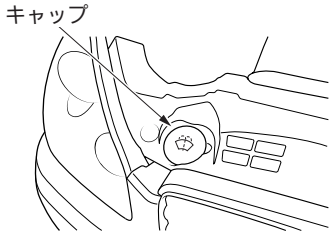
知識

・モケットシートは長期間紫外線にさらすと日焼けすることがあります。夏期は特に日よけに心がけてください。

その他のお手入れ

●ウオッシャー液の補給

・ウオッシャー液が不足しているときは、ウオッシャータンクのキャップを外し、ウオッシャー液を補給してください。ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にして補給します。
日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。
＊ウオッシャータンク容量…303ページをお読みください。



ESA1507Z

注意

・ウオッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけないようにしてください。出火するおそれがあります。

アドバイス

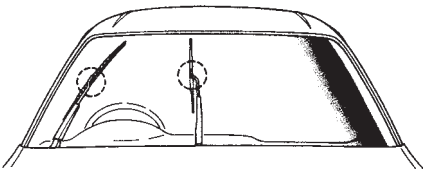
・ウオッシャー液のかわりに石けん水などを入れないでください。
塗装面がしみになるおそれがあります。

知識

・ウオッシャー液の残量が少なくなると、モニターに警告文が表示されます。
＊モニターについては別冊の取扱説明書（車両情報を見る）をお読みください。

●ワイパーブレードの交換

①キースイッチを ON にし、ワイパーを作動させます。ワイパーを下図のところまで動かしてキースイッチを1（OFF）又は LOCK にしワイパーを止めます。



TSA5597Z

＊ワイパーの使いかた…123 ページをお読みください。

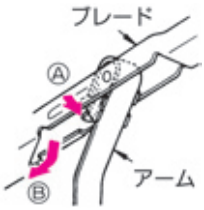
アドバイス

- ワイパーブレードを交換するときはガラスやエンジンフードに傷をつけないよう注意してください。
- ワイパーブレードの長さは運転席側が助手席側に比べて長くなっています。交換するときは左右を間違えないようにしてください。

知識

- 寒冷地仕様車のワイパーは①の操作をしなくてもブレードの交換ができます。

②フロントガラスからワイパーアームを浮かせ、爪（Ⓐ）を押しながらブレードをアーム側に押し込み（Ⓑ）、ブレードを外します。



TSC1840Z

③新しいブレードをアームに入れて（Ⓒ）、ブレードを引っぱります。（Ⓓ）。



TSC1841Z

④ブレードが確実に入っていることを確認します。

⑤ブレード交換後はワイパーの作動を確認し、正しい位置で止めます。

＊ワイパーラバー（ゴム）の交換は別冊のメンテナンスノートをお読みください。

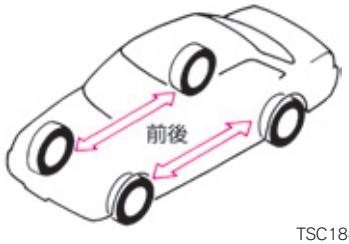
●タイヤの交換

注意

・タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。

タイヤの位置交換（ローテーション）

左右それぞれで前後タイヤの交換を行ってください。
タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を伸ばすために、約5,000km 走行ごとに定期的な位置交換をおすすめします。
＊タイヤ交換のしかた…296 ページをお読みください。



TSC1842Z

注意

・タイヤ間に著しい摩耗差があったり、空気圧が規定値より著しく異なると、車の性能が十分発揮できなくなり、安全性を損ねたり故障の原因になります。

アドバイス

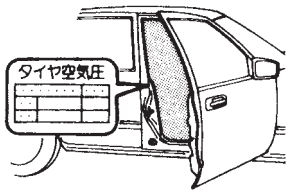
・タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
・タイヤの位置交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。

知識

・車載のジャッキを使って、タイヤの位置交換を行うときは、スペアタイヤを使って1輪ずつ交換してください。

タイヤ空気圧の点検

・タイヤの空気圧は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
タイヤ接地部のたわみが大きいときは、空気圧が不足しています。すみやかに調整するか、日産販売会社にご相談ください。偏平タイヤの空気圧はたわみ状態ではわかりにくいので、タイヤエアゲージを使用し点検してください。
・タイヤ空気圧は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。
・タイヤ空気圧は走行に伴い約一割程度上がることがあります。
・タイヤの空気圧は運転席ドア開口部に表示、及び巻末のサービスデータに記載してあります。



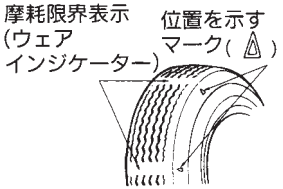
TCD0073Z

注意

・タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

タイヤ摩耗の点検

摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が表れたら、タイヤを交換してください。



TCC0133Z

タイヤ・ロードホイールを交換するとき

・タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
・タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。

⚠ 注意

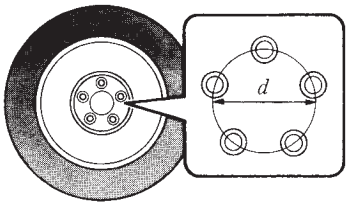
・指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けないでください。不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損われ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
・特に4WD 車は径が異なるタイヤを装着すると、車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。また、TCS 付車や VDC 付車もシステムが正常に作動しないことがあります。
次のようなタイヤの装着はしないでください。
＊摩耗差の大きいタイヤの装着
＊前輪又は後輪だけに冬用タイヤを装着
＊サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
・タイヤの交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。

・ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。ロードホイールのサイズは下表を参照してください。

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D.	オフセット
225/60R16	16×7½JJ	114.3mm (5穴)	40mm
225/55R17	17×7½JJ		

P.C.D. とは

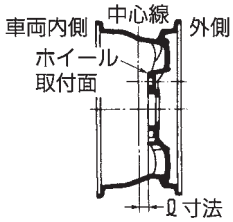
ホイールナットを取り付けるボルト中心の円の直径（d）



TCA0150Z

オフセットとは

ロードホイールの中心線から取付面までの長さ（ℓ）



TCA0151Z

アドバイス

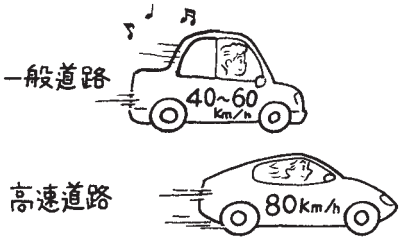
- ロードホイールは、リムサイズやオフセットが同じでも、他の車の物は使えない場合があります。お手持ちの物をご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- アルミロードホイールには荷重制限がありますので、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実にとってください。

環境保護のために

お車をお使いいただく過程では、窒素酸化物や二酸化炭素の排出をはじめ環境に様々な影響を与えます。次の点にご注意いただき環境保護にご協力ください。

●省エネ運転に心がける

・急発進・急加速は避けてください。また、経済速度を維持した走行を心がけてください。一般道路なら時速40～60km 程度、高速道路なら時速80km 程度が経済的な速度です。



TCA0152Z

・人待ちや荷降ろしなどで比較的長い時間停車するときは、エンジンを停止してください。また、暖機運転は水温計の針が動き出す程度で十分です。

・不必要な荷物を積んだままの走行はやめてください。ルーフラックなども使わないときは、車から取り外してください。



TCA0153Z

●点検・整備を必ず実施する

点検・整備を適切に実施することで、部品の劣化や摩耗などによる大気汚染や騒音の増加などを防ぐことができます。また、タイヤの空気圧が低いと燃料を余分に消費します。適正な空気圧に調整してください。



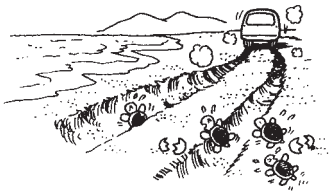
TCA0154Z

●使用済部品は適切に処理する

使用済みのバッテリーやタイヤなどの部品を廃棄するときは、新しい部品をお買い求めになった販売店に処分を依頼してください。
エンジンオイルなどの廃液やエアコンの冷媒（フロンガス）も必ず適切な処理をしてください。

●周囲の環境を考えて走行する

砂浜や高原の走行は、動植物の生態環境を破壊するおそれがあります。道路以外の不整地などを走行するときは、大切な自然環境を壊さないように十分注意して走行してください。



TCA0155Z

点検・整備、保証について

別冊の「メンテナンスノート」に、点検・整備及び保証の内容について記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

点検・整備について

・お車を最良の状態でお使いいただくため、点検・整備は必ず実施してください。
メンテナンスノートに点検・整備のやりかたや時期などを記載しています。
・点検・整備は実施することが法律で義務づけられています。
・点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。
・点検・整備を実施したときは、必ずその結果をメンテナンスノートに記入してください。
・購入後1か月（又は1,000km 走行時）、6か月（又は5,000km 走行時）は無料で点検が受けられます。

知識

ピットサイン

・車の点検・整備時期の走行距離を事前に設定しておくと、設定した時点からの走行距離に達したときにモニターに表示します。
＊設定のしかたは別冊の取扱説明書（車両情報を見る）をお読みください。

保証について

・保証書には、お車が故障したときの無料修理の条件や範囲を記載しています。一度お読みになり確認しておいてください。



TCA0156Z

●発炎筒の使いかた…… 280

●道路で故障したときは…… 281
安全な場所に退避できないとき …… 281
一般の道路で故障したとき …… 281
高速道路や自動車専用道路で故障したとき… 281
踏み切りや交差点でエンストしたとき … 282
踏み切りで出られないとき …… 282

●けん引するときは…… 283
他車にけん引してもらうとき …… 283
後ろ側のフックについて …… 285

●バッテリーがあがったときは…… 286

●オーバーヒートしたときは…… 288

●ヒューズを交換するときは…… 289

●工具・ジャッキ・スペアタイヤについて…… 291
格納場所 …… 291
スペアタイヤ …… 291
ジャッキアップのしかた …… 293

●パンクしたときは…… 296
タイヤ交換のしかた …… 296

●事故がおきたときは…… 299

発炎筒の使いかた

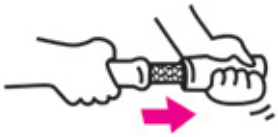
故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

①助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



TSC0693Z

②本体を回しながらケースから引き抜きます。



TSC0694Z

③点火部をケースのすり薬でこすって点火します。



TCA0159Z

警告

- お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
- トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

知識

- 点火後は約5分間燃え続けます。発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

道路で故障したときは

道路で故障したときは、必ず安全な場所に車を退避させてください。ただちに非常点滅表示灯などで、後続車に危険を知らせてください。

安全な場所に退避できないとき

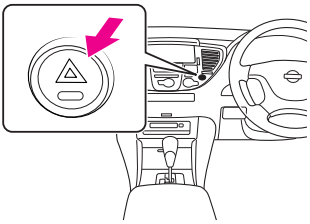
車が安全な場所に移動できないなど緊急を要するときは、発炎筒で後続車に知らせてください。

＊発炎筒の使いかた…280 ページをお読みください。

一般の道路で故障したとき

①車を広場や路肩など安全な場所に止め、非常点滅表示灯を点滅させてください。

②安全を確保後、救援を頼みます。



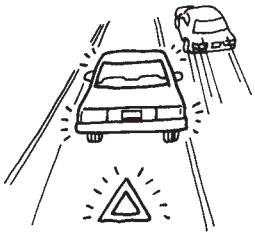
ESA1426Z

アドバイス

・動けないときは、付近の人に押してもらい、安全な場所に移動してください。

高速道路や自動車専用道路で故障したとき

①車を路肩など安全な場所に止め、非常点滅表示灯を点滅させ、車の後方に停止表示板又は停止表示灯を置いてください。

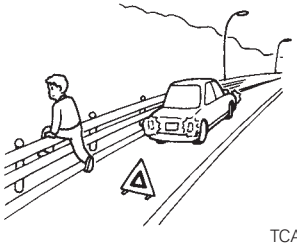


TCA0160Z

知識

・停止表示板（停止表示灯）の表示は法律で義務づけられています。
・停止表示板（停止表示灯）は車載されていませんので、必要に応じて準備してください。

②全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。



TCA0161Z

③安全を確保後、救援を頼みます。

踏み切りや交差点でエンストしたとき

①あわてずエンジンをかけ直してみます。
②エンジンがかからないときは、付近の人に救援を求めて、車を押してもらい安全な場所に移動してください。このときセレクトレバーを**N**にしてください。



TSC1843Z

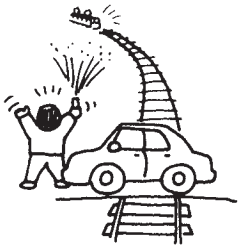
③安全な場所に移動後、救援を頼みます。

⚠ 注意

・エンジンが止まると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなりますので注意してください。

踏み切りで出られないとき

①ただちに踏み切りの非常ボタンを押してください。
②車に備え付けの発炎筒で一刻も早く列車に知らせてください。
＊発炎筒の使いかた…280 ページをお読みください。



TCA0163Z

けん引するときは

車が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。

他車にけん引してもらうとき

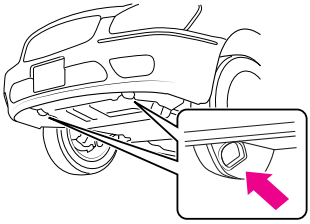
注意

・けん引してもらうときは、キーを抜かないでください。ハンドルがロックされ操作ができなくなり危険です。
・エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなりますので注意してください。
・長い下り坂では、ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
・4WD 車はトレーラーに車載するか、4輪接地の状態でけん引してもらってください。2輪を上げた状態でけん引すると、上げた車輪が回転して、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。
・TCS 付車や VDC 付車の前輪を上げてけん引するときは、キースイッチを ON にしないでください。TCS や VDC が作動しブレーキがかかることがあります。

アドバイス

・オートマチック車をけん引してもらうときは、速度30km/h 以下、距離30km 以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスミッションが破損することがあります。できるだけレッカー車、又はトレーラーを依頼してください。
・トラックや大型4WD 車など、けん引フックの位置が高い車両でのけん引はしないでください。ロープでバンパーを傷つけるおそれがあります。
・けん引ロープはできるだけソフトロープをお使いください。

①自車及び他車のけん引フックにロープを掛けます。



ZCE0030

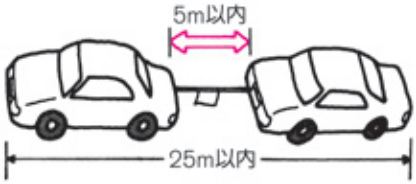
注意

・指定以外のフックは絶対に使わないでください。フック部が破損するおそれがあります。

アドバイス

・ロープを掛けるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。

②ロープ中央に30cm ×30cm 以上の白い布を必ず付けてください。



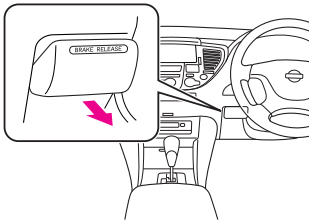
TSC1844Z

③セレクトレバーをNにします。
キースイッチを Acc 又は ON にしてください。



TSC1845Z

④パーキングブレーキを解除します。



ESA1436Z

警告

・パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキが過熱して効かなくなるおそれがあります。

⑤けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。



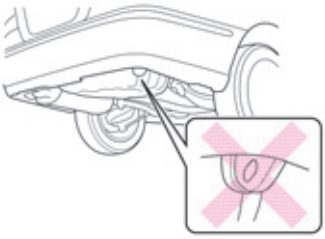
TSA5604Z

知識

・前の車のブレーキに合わせてブレーキを踏むと、ロープをたるませない運転ができます。

後ろ側のフックについて

後ろ側のフックは船舶輸送時の固定専用です。
けん引には絶対に使わないでください。
この車で他車をけん引することはできません。



ESA1509Z

アドバイス

・けん引用として使うと、車両を損傷するおそれがあります。

バッテリーがあがったときは

次のようなときは、バッテリーあがりです。
・スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
・ライトがいつもより極端に暗い。
・ホーンの音が小さい。又は鳴らない。

●処置のしかた

12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつなぎ始動してください。

①ボルトとクリップ3個を外して、バッテリーのカバーを外します。

知識

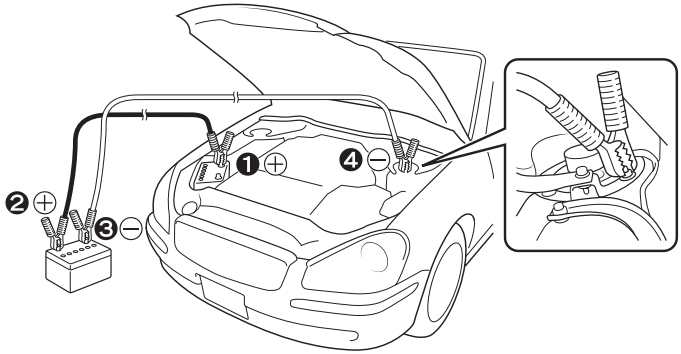
・ボルトは車載工具のジャッキハンドルバーを使用してゆるめてください。
＊車載工具…291ページをお読みください。
＊クリップ、ボルト位置…305ページをお読みください。

②ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1本目
❶自車（あがった）バッテリーの⊕端子
❷救援車（正常な）バッテリーの⊕端子
2本目
❸救援車（正常な）バッテリーの⊖端子
❹自車の車体（バッテリーから離れたボルトなど）

警告

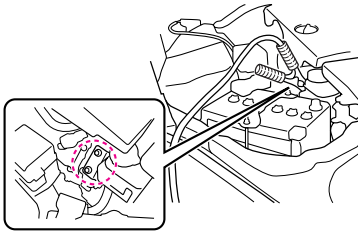
・ブースターケーブルは、自車バッテリーの⊖端子に直接つながないでください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
・ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させないでください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。



ESA1510Z

知識

・❹のブースターケーブルは次の位置につなぐこともできます。



ESD1216Z

③救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。
④自車のエンジンをかけます。
・エンジンをかけるときは、ヘッドランプやエアコンスイッチなどは切ってください。
・エンジンが始動しても、しばらくエアコンやオーディオを使わないでください。
⑤ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。
⑥バッテリーカバーを取り付けます。
⑦早めに日産販売会社で点検を受けてください。

警告

・バッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
・バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をした後、医師の診療を受けてください。

注意

・ブースターケーブルをつなぐ順番と位置は必ず守ってください。誤ったつなぎかたをすると焼損するおそれがあります。
・ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意してください。
・ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないように、確実につないでください。
・ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

アドバイス

・押しがけでの始動はできません。
・バッテリーを交換するときは、バッテリー上面にある記号（バッテリー型式）が同じ物と交換してください。

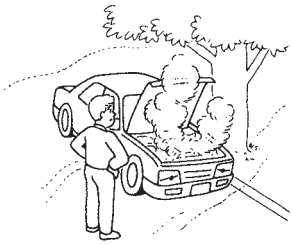
オーバーヒートしたときは

警告

- エンジンフードのすき間から蒸気が出ているときは、エンジンフードを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっているため、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。蒸気が出ていないときでも高温の部分があるので、エンジンフードを開けるときは十分に注意して開けてください。
- エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバータンクのキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

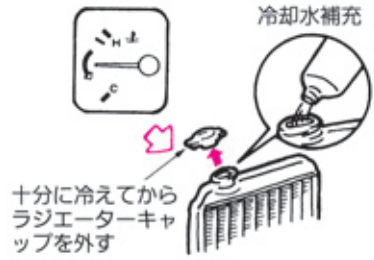
①水温計がオーバーヒートの範囲を示したときは、ただちに安全な場所に車を止めてください。
＊水温計…100 ページをお読みください。

②エンジンをかけたままエンジンフードを開け、風通しをよくして冷えるのを待ちます。
万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを止め自然冷却してください。



TCA0166Z

③水温計の針が下がってきたらエンジンを止めしばらく待ちます。
エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。



TSC1846Z

④冷却水が不足しているときは、ラジエーターとリザーバータンクに冷却水を補充してください。
水漏れしているときは、日産販売会社に連絡して点検を受けてください。
＊ラジエーターとリザーバータンクの位置は、エンジンルーム内配置図…305 ページをご覧ください。

アドバイス

- 冷却水や冷却ファンなどに異常がない状態でたびたびオーバーヒートするときは、日産販売会社にご相談ください。
- 応急的に水だけを補充したときは、できるだけ早くエンジンクーラントを交換してください。

ヒューズを交換するときは

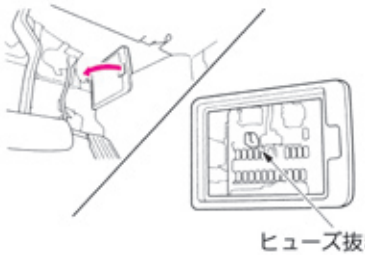
ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。
故障の状況から、関係するヒューズの位置を確認してください。

・この車には、スペアヒューズは付いていません。ヒューズについては、日産販売会社などでご購入ください。

●ヒューズボックスの位置

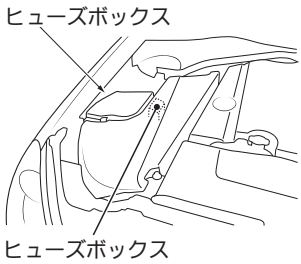
ヒューズボックスは運転席足元とエンジンルームにあります。

〈運転席足元〉



TSA5545Z

〈エンジンルーム〉



ESH0534Z

知識

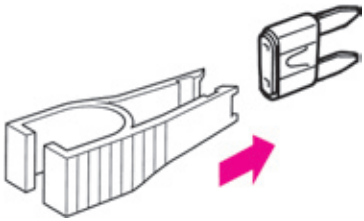
・カバーの下にもヒューズボックスがあります。ボルトとクリップ3個を外してから、カバーを外してください。

●ヒューズの位置

・ヒューズの位置はヒューズボックスのふたに表示してあります。
・車種により、付いていないヒューズがあります。

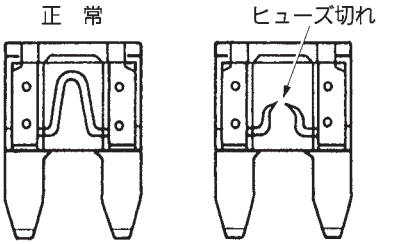
●ヒューズの交換のしかた

①キースイッチを LOCK 位置にします。
②ヒューズボックスを開けます。
③ヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか確認します。



TSC1847Z

④ヒューズが切れているときは、同じ容量のスペアヒューズと交換します。



TCA0169Z

警告

・規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使わないでください。配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

アドバイス

・交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

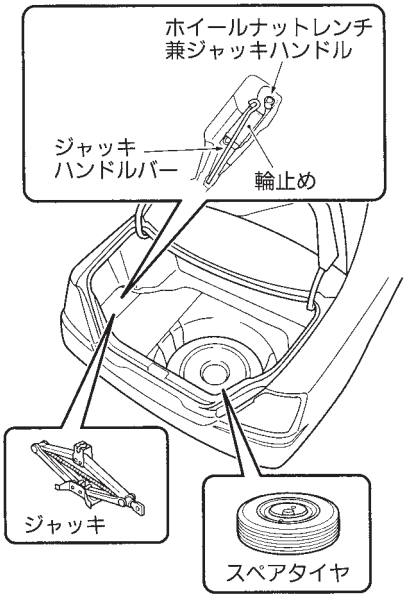
知識

・ヒューズの種類により、ヒューズの内部形状が異なります。

工具・ジャッキ・スペアタイヤについて

格納場所

工具、ジャッキ、スペアタイヤはトランクルームに格納されています。



TSA5546Z

注意

・工具、ジャッキ、スペアタイヤを使った後は、元の場所に格納してください。車内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

・停止表示板（停止表示灯）は標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。

スペアタイヤ

スペアタイヤは応急用タイヤを搭載してあります。
（車両装着タイヤはオプション）

注意

・スペアタイヤの空気圧はときどき点検してください。また、年に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。長期間放置すると空気圧が減り、万一のとき使用できないことがあります。
応急用タイヤの空気圧は420kPa（4.2kg/cm^2）です。
・タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。
・スペアタイヤを取り付けたときは、タイヤ接地部のたわみを確認してください。たわみが大きいときは空気圧が不足しています。すみやかに空気圧を調整してください。
空気圧が不足したまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●応急用タイヤについて

応急用タイヤは、タイヤがパンクしたときに応急用として一時的に使うタイヤです。
まちがった使いかたをすると、思わぬ事故につながるおそれがありますので、次のことを守ってください。

注意

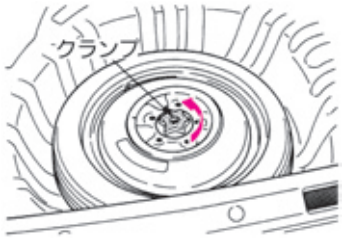
- 応急用タイヤ及びホイールはこの車専用です。他車の応急用タイヤを使ったり、他車に使わないでください。
- 応急用タイヤに交換したときは、100km/h 以下で走行してください。
- 応急用タイヤには、タイヤチェーンは取り付けられません。
- 雪道、凍結路で後輪がパンクしたときは、応急用タイヤを後輪に使わず、前輪に付け、外した前輪を後輪に取り付けてください。
- 応急用タイヤに交換したときは、できるだけ早く標準タイヤに戻してください。
- 摩耗した応急用タイヤは、新品と交換してください。

アドバイス

- 応急用タイヤに交換すると、車高が少し低くなります。地面の突起物などを乗り越えるときは、車体が接触しないように注意してください。

●スペアタイヤの取り出しかた

- 応急用タイヤ搭載車は、トランクルームのサブトランクの裏にあるフックをトランク開口部のふちに引っ掛けます。
- 車両装着タイヤ搭載車は、ボードを外します。
- タイヤを固定しているクランプをゆるめてタイヤを取り出します。



TSC1848Z

＊スペアタイヤを格納するときは、取り出したときと逆の手順で行ってください。

注意

- タイヤは重いので、取り出すときは正しい姿勢で行ってください。

ジャッキアップのしかた

警告

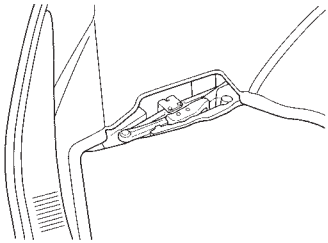
・ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らないでください。
ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。
・ジャッキアップ中は、エンジンを始動しないでください。車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

注意

ジャッキを使うときは、次のことを必ず守ってください。
・ジャッキは必ず車載されたものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、車載されたジャッキは他車に使わないでください。
・ジャッキはタイヤ交換又はタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
・平坦で硬いところに駐車して作業してください。
・使用前にパーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにしてください。
・輪止めなどで車を固定してください。
・ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
・人や荷物は必ず車から降ろしてください。

●ジャッキの取り出しかた

トランクルーム左側のふたを開けて取り出します。

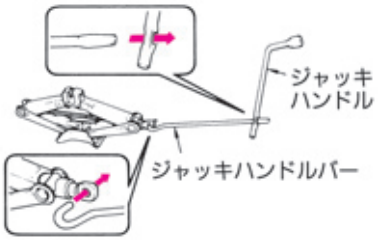


TSA1239Z

・格納するときは、取り出したときと逆の手順で行います。

●ジャッキハンドルのセットのしかた

・ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。



TSC1849Z

注意

・ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

・ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込んでください。

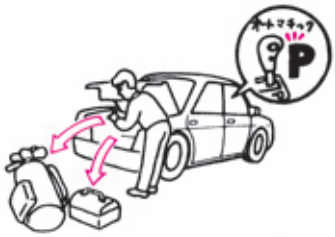
●ジャッキアップのしかた

交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平らな硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。

注意

・やわらかい地面の上では行わないでください。ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。

①エンジンを止めて、パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーを**P**にします。



TSC1850Z

②ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。

・輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。

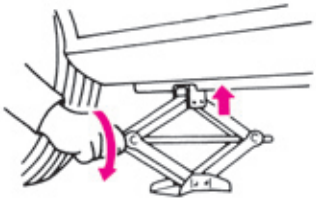


TSC1851Z

注意

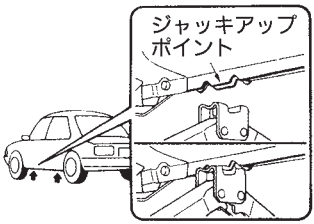
・やむを得ず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにしてください。

③ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイントの中央に入るまで上げます。



TSC0704Z

〈ジャッキアップポイント〉

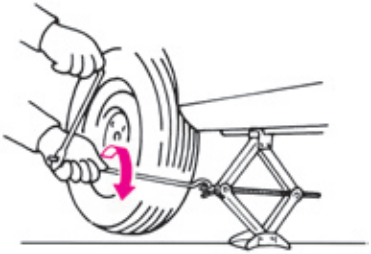


TCA0173Z

アドバイス

・ジャッキアップポイント以外の所にはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。

④ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



TSC0706Z

注意

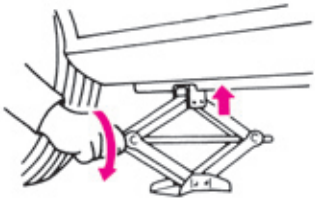
・ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

パンクしたときは

タイヤ交換のしかた

①交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平らな硬い場所）に停車します。
・人や荷物を降ろします。
・必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。
・工具、ジャッキやスペアタイヤを取り出します。
＊ジャッキアップのしかた…293ページをお読みください。

② ジャッキをセットします。
・ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイントの中央に入るまで上げます。
・スペアタイヤをジャッキ近くの車体の下に置きます。

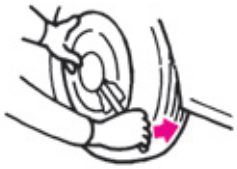


TSC0704Z

アドバイス

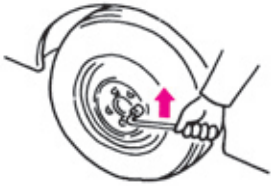
・応急用タイヤを置くときは、ラベル貼付側を上にしてください。
・車両装着タイヤを置くときは、ホイール表面を上にしてください。

③ 工具に布などをあてて、センターキャップを傷つけないように外します。



TSC1852Z

④ホイールナットレンチで、全てのナットを反時計回りに約1回転ゆるめます。

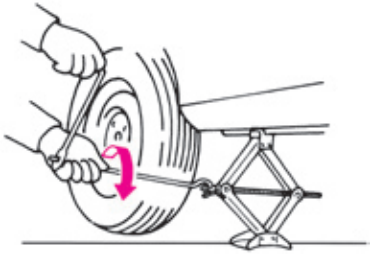


TSC0707Z

アドバイス

・タイヤを接地状態にして行います。

⑤ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまでジャッキアップします。

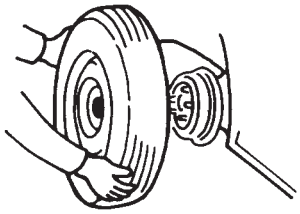


TSC0706Z

注意

・ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

⑥ナットを外し、パンクしたタイヤを外して車体の下に置きます。

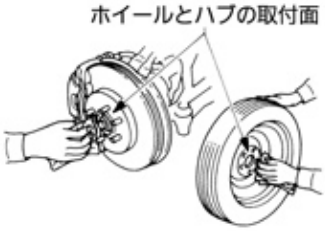


TSA1464Z

アドバイス

・タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。

⑦ハブの取付面とホイール裏側の取付面を布でよくふき、スペアタイヤを取り付けます。



TCA0179Z

注意

・取付面が汚れていると、走行中にナットがゆるみタイヤが外れるおそれがあります。
・車両装着タイヤは、凹んでいる側（裏面）を内側にして取り付けてください。
・応急用タイヤは、ラベル貼付側が外側になるように取り付けてください。逆に付けると他の部品と当たり、思わぬ故障につながるおそれがあります。

⑧ナットのテーパー部が、ホイール穴のシート部に軽く当たる程度まで、時計回りに回して締め付けます。

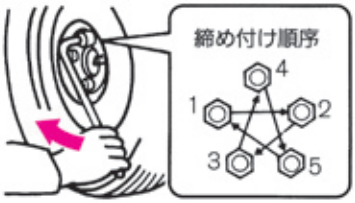


TSC1853Z

警告

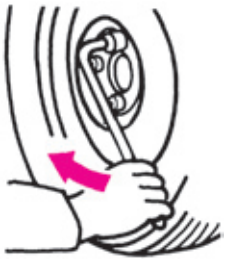
・ナットを取り付けるときは、ナットやボルトにオイルやグリースなどを塗らないでください。走行中にナットがゆるみ、タイヤが外れるおそれがあります。

⑨ナットを、図の順序で2～3回に分けて締め付けます。



TSC1854Z

⑩ジャッキを下げます。
さらにナットを⑨の締め付け順序で十分に締め付けます。
＊ホイールナット締め付けトルク
108N・m（11kg・m）



TSC0710Z

注意

・ジャッキを下げるときは、ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを両手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

・ホイールナットレンチを足で踏んで回したり、パイプなどを使って必要以上に締め付けないでください。ボルトが折れるおそれがあります。

⑪パンクしたタイヤや使用した工具、ジャッキなどをトランクルームに格納します。

注意

・タイヤを取り付けてしばらく走行した後、ナットのゆるみがないか確認してください。

アドバイス

・応急用タイヤは、できるだけ早く標準タイヤに戻してください。
・標準タイヤのホイールにセンターキャップを取り付けるときは、ホイールの突起部と、キャップの溝の位置を合わせてください。

事故がおきたときは

あわてずに次の処置をしてください。

1 続発事故の防止

他の交通の妨げにならないような安全な場所に車を移動させ、エンジンを止めます。

2 負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師・救急車が到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

3 警察への届け出

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを連絡します。

4 相手方の確認とメモ

相手方の氏名、住所、電話番号などを確認してメモします。
同時に事故状況もメモしておいてください。

5 販売会社と保険会社への連絡

ご購入された販売会社と加入の保険会社へ連絡をします。

サービスデータ

●点検値

項目		点検値
オルタネーター・ウオーターポンプ・エアコンコンプレッサーベルト	VK45DE	調整不要※
パワーステアリングポンプベルト	VK45DE	調整不要※
ブレーキペダル	遊び	3〜10mm
	床板とのすき間 約490N（約50kg）で踏んだとき	75mm 以上
パーキングブレーキ	踏みしろ 約196N（約20kg）で踏んだとき	86〜116mm

※ VK45DE エンジンは、ベルトオートテンショナー（自動張力調整機構）を採用しており、ベルト張力調整は不要です。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

●交換油脂類

油脂類の交換は、下記の指定油脂（規格品）を規定量でご使用ください。
また、交換時期についてはメンテナンスノートをお読みください。
なお、詳しくは日産販売会社にご相談ください。

項　目	適　用	規定量（ℓ）※		指定油脂
		オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換	
エンジンオイル	2WD	5.0	5.6	日産純正 SM ストロングセーブ・X（API：SM、SAE：0W −20）
	4WD	6.0	6.6	

※規定量はドレーンプラグからオイルを抜いた場合の量で、エンジンの内部に残ったオイル量を差し引いた目安の量です。よって、レベルゲージにより確認を行ってください。

〈指定エンジンオイルについて〉

API 規格又は ILSAC 規格に適合した指定油脂をお使いください。
なお、規格適合油には右記マークが表示されています。
日産純正銘柄のご使用をおすすめします。
指定油脂の範囲で、外気温に適した粘度（SAE 規格）のものをご使用ください。
（右表参照）
交換時期についてはメンテナンスノートをお読みください。
詳しくは日産販売会社にご相談ください。

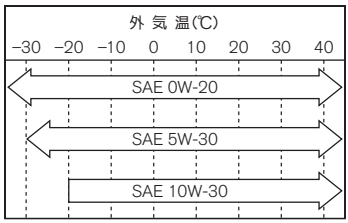


APIマーク



ILSACマーク

TCB0064Z



ECD0023Z

項　　目	適　　用	規定量（ℓ）※1	指定油脂（規格）
オートマチックトランスミッションフルード	2WD	9.8〜10.1	日産純正マチックフルード J ※2
	4WD	9.7	日産純正マチックフルード D
フロントデファレンシャルオイル	4WD	0.65	日産純正デフオイルハイポイドスーパー （API：GL −5、 SAE：80W −90）
リヤデファレンシャルオイル	全車	1.4	日産純正デフオイルハイポイドスーパー （API：GL −5、 SAE：80W −90）
トランスファーオイル	4WD	1.8	日産純正マチックフルード D
パワーステアリングフルード	全車	1.0	日産純正パワーステアリングフルード
ブレーキフルード	全車	−	日産純正ブレーキフルード No.2500（DOT3）
冷却水	全車	9.8	日産純正スーパーロングライフクーラント （エンジンクーラント）
ウオッシャー液	全車	4.5	日産純正ウインドウオッシャー液 ＊外気温に応じて濃度を調節してください。

※1：規定量は目安ですので、レベルゲージにより確認を行ってください。
なおレベルゲージで確認できないものについては、日産販売会社へご相談ください。

※2：オートマチックトランスミッションフルードは、専用のマチックフルード J を必ずご使用ください。それ以外のフルードを使用すると、オートマチックトランスミッションが破損するおそれがあります。

●電球（バルブ）の容量

電球（バルブ）		容量（V－W）
前照灯（ヘッドランプ）	内側（ハイビーム）	12－60
	外側（ロービーム）	キセノンバルブ12－35
	ベンディングランプ	12－55
前部霧灯（フォグランプ）		12－51
車幅灯		12－5
番号灯		12－5
制動灯／尾灯		LED
ハイマウントストップランプ	プライバシーガラス無車	12－18
	プライバシーガラス付車	LED
後退灯		12－18
方向指示器 兼 非常点滅表示灯	前面、後面	12－21
	ドアミラー	LED

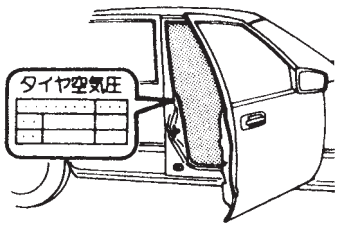
●タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D.	オフセット
225/60R16	16×7 ½ JJ	114.3mm（5穴）	40mm
225/55R17	17×7 ½ JJ		

●タイヤ空気圧　kPa（kg/cm^2）

タイヤサイズ	空　気　圧	
	前　輪	後　輪
225/60R16	210（2.1）	210（2.1）
225/55R17	230（2.3）	230（2.3）
T145/90D16	420（4.2）	420（4.2）

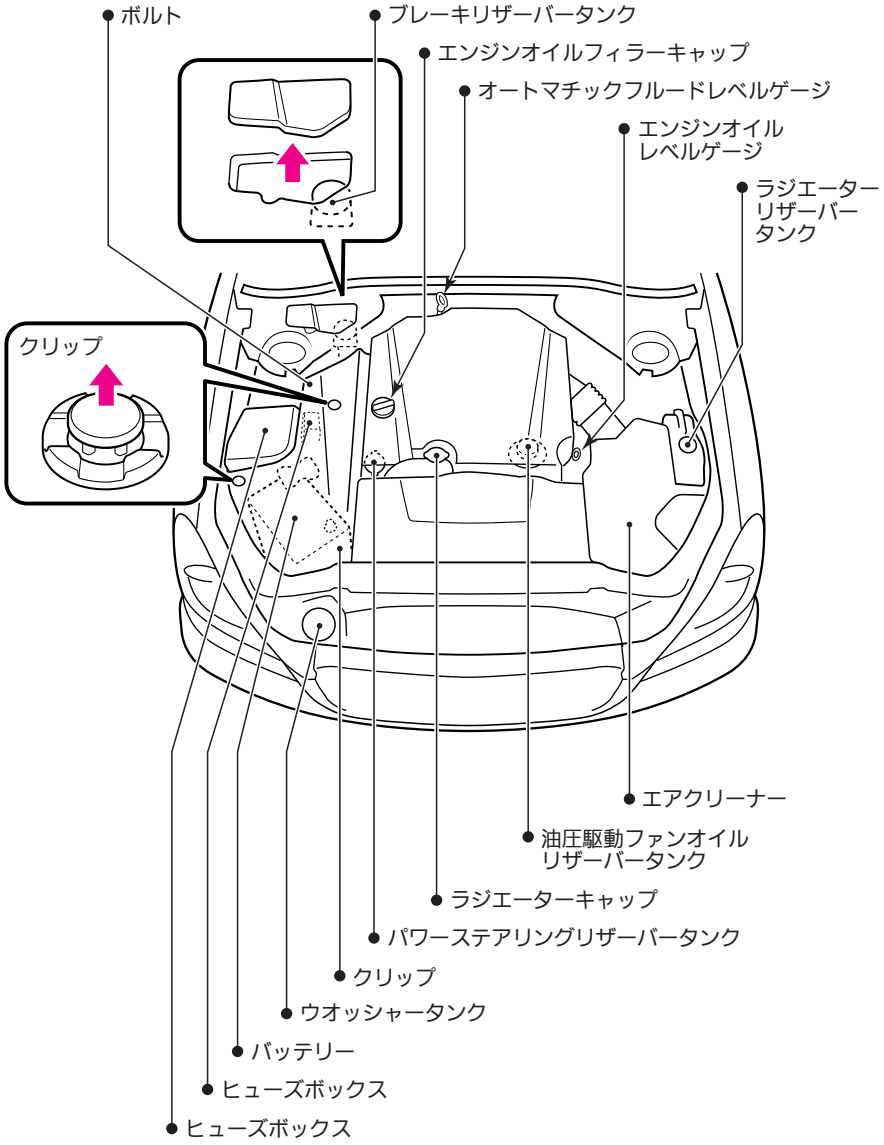
＊タイヤの空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので、確認してください。



TCA0148Z

●エンジンルーム内配置図

＊バッテリーはクリップ止めされたカバーの下にあります。



ESD1000Z

さくいん

ア

アウターミラー（ドアミラー）…… 73
アクセサリー用電源ソケット……243
アクティブダンパーサスペンション
スイッチ……142
アクティブダンパーサスペンション
表示灯……104
アシストグリップ……254
アテーサ E-TS ……192
雨の日の快適ドライブ……256
安全・快適カーライフのために…… 7
アンチロックブレーキシステム（ABS）
……203
アンテナ……223

イ

ELR（緊急固定）付 3 点式
シートベルト…… 81
ETC（ノンストップ自動料金支払い
システム）ユニットについて……198
インストポケット……249
インテリジェントブレーキアシスト
……195
インテリジェントブレーキアシスト
警告灯……111
インナーミラー（ルームミラー）… 76

ウ

ウインカー（方向指示器スイッチ）
……122
ウオッシャー液の補給……272
ウオッシャースイッチ……126
運転席オートドライビングポジション
システム…… 61
運転席パワーシート…… 54
運転のしかた……129

エ

エアコンディショニングシート（前席）
…… 58
エアコンの使いかた……206
エアバッグ警告灯……113
ASCD（オートスピードコントロール）
……154
A/T 電子制御システム警告灯 ……115
A/T モードスイッチ ……138
ABS（アンチロックブレーキシステム）
……203
ABS 警告灯 ……112
SRS エアバッグ …… 84
SRS エアバッグ警告灯 ……113
エンジンイモビライザー
（盗難防止装置）…… 31
エンジンオイル……302
エンジン警告灯……108
エンジンのかけかた……142
エンジンフード（ボンネット）…… 43
エンジンをかける前に……142

オ

応急用タイヤ（スペアタイヤ）……291
オーディオ……221
オートドライビングポジション
システム…… 61
オートマチック車の運転のしかた…145
オートライトシステムの使いかた…120
オートリターン機構…… 61、68
オーバードライブオフ表示灯……102
オーバードライブスイッチ……137
オーバーヒートしたときは……288
オーバーヘッドコンソール……249
オゾンセーフフルオートエアコン…212
オドメーター（積算距離計）…… 99

カ

カーアラーム（盗難防止装置）…… 36
カードキー…… 28
カード抜き忘れ警報……117
カードホルダー……248
外装のお手入れ……266
開閉式ドアポケット……249
カセット（オーディオの使いかた）
……221
カップホルダー……247、248
可倒式ヘッドレスト…… 70
環境保護のために……277
寒冷時の取り扱い……258

キ

キー…… 28
キースイッチ……129
キー抜き忘れ警報……117
キー連動室内照明システム……240
キセノンヘッドランプ……119
キックダウン……145

ク

空気圧（タイヤ）……274、304
クラクション（ホーンスイッチ）…128
クリープ現象……145
クリーンフィルター……206
クルーズ表示灯……103
車のお手入れ……266
車の冬じたく……258
グローブボックス……244

ケ

警告灯……105
警報装置……116
けん引するときは……283

コ

工具……291
後席ヒーター付シート…… 67
後席オートリターン機構…… 61、68
後席カップホルダー……248
後席シート…… 66
後席パワーシート…… 66
後席用オーバーヘッドコンソール…250
後席用パーソナルランプ……239
故障したときは……281
コンソールポケット
（前席カップホルダー）……247
コンソールボックス……245
コンパクトディスク（CD）
（オーディオの使いかた）……222

サ

サービスデータ……301
サブトランク……254
サンシェード……252
サンシェード（サンルーフ）…… 50
サンバイザー……236
サンルーフ…… 50

シ

CD（コンパクトディスク）
（オーディオの使いかた）……222
CD、カセット、AM/FM 電子
チューナーラジオ……224
シート…… 54
シートバイブレーター…… 71
シートベルト…… 78
シートベルト警告灯……110
シートベルト非着用警報
（シートベルトリマインダー）……117
シーマホログラフィックサウンド
システム……224

シガーライター……242
事故がおきたときは……299
照明
　ルームランプ……238
　マップランプ……238
　後席用パーソナルランプ……239
自動防眩ドアミラー…… 73
自動防眩ルームミラー…… 76
シフトロック解除ボタン……140
シフトロックシステム……140
車間自動制御システム……158
車間自動制御システム警告灯……115
車載工具……291
車速検知式オート集中ドアロック… 34
ジャッキ……293
ジャッキアップのしかた……293
充電警告灯……108
衝撃感知式ドアロック解除システム
　…… 32
助手席可倒式ヘッドレスト…… 70
助手席パワーオットマン機構…… 56
助手席リラックスシート…… 69

ス

水温計……100
スイッチの使いかた……118
ステアリング…… 53
ステアリングスイッチ……232
スピードメーター（速度計）…… 99
スペアタイヤ（応急用タイヤ）……291
スリップ表示灯……104

セ

セット表示灯…… 103
セレクトレバー（5M-AT 車） …… 132
セレクトレバー（4AT 車）…… 135
洗車のしかた…… 267
前席エアコンディショニングシート
　……58
前席緊急ブレーキ感応型プリクラッシュ
　シートベルト…… 95
前席ヒーター付シート……56
前席シート……54
前席ロードリミッター付
　プリテンショナーシートベルト……94

タ

ターンシグナル（方向指示器）……122
タイヤ（スペヤタイヤ）……291
タイヤ・ロードホイールを
　交換するときは……275
タイヤチェーンの装着……264
タコメーター（エンジン回転計）… 99

チ

チャージランプ（充電警告灯）……108
チャイルドシート固定機構付
　シートベルト…… 82
チャイルドシートについて…… 72
チャイルドセーフティドアロック… 35

テ

TCS（トラクションコントロール
　システム）……189
TCS OFF 表示灯 ……104
TCS 警告灯 ……113
手入れ……266
テールランプ表示灯……103
電球（バルブ）の容量……304
点検・整備、保証について……278
電源ソケット……243
電子キー…… 28
テンションリデューサー機構…… 81
電動ガラスサンルーフ…… 50

電動チルト・テレスコピック
ステアリング…… 53
テンプメーター（水温計）…… 100

ト

ドア…… 32
ドアポケット…… 249
ドアミラー…… 73
ドアロックスイッチ…… 34
道路で故障したときは…… 281
トータルコーディネート室内照明… 238
時計…… 236
トランク…… 37
トランクオート開閉機構…… 40
トランクオープナー…… 38
トリップ切り替えスイッチ…… 99
トリップメーター（区間距離計）… 99

ナ

内装のお手入れ…… 269
夏の快適ドライブ…… 257

ネ

燃料…… 8、49
燃料計…… 100
燃料残量警告灯…… 110
燃料補給口…… 48

ハ

パーキング（駐車）ブレーキ…… 130
灰皿…… 240
ハザード（非常点滅表示灯）スイッチ
…… 123
挟み込み防止機構（サンルーフ）… 51
挟み込み防止機構（トランクオート
開閉機構）…… 43
挟み込み防止機構（パワーウインドー）
…… 47
発炎筒の使いかた…… 280
バッテリーがあがったときは…… 286
パッド摩耗警報…… 116
バニティーミラー……236、250、251
パワーウインドー…… 45
パワーオットマン機構…… 56
パワーシート…… 54、66
パンクしたときは…… 296
半ドア警告灯…… 111
ハンドル…… 53

ヒ

ヒーター…… 213
ヒーター付シート（前席）…… 56
ヒーター付シート（後席）…… 67
ヒーター付ドアミラー…… 75
Pレンジ連動アンロック機能…… 34
非常点滅表示灯スイッチ…… 122
ピュアトロン…… 220
ヒューズを交換するときは…… 289
表示灯…… 101

フ

VDC（ビークルダイナミクス
コントロール）…… 190
VDC OFF 表示灯…… 104
VDC 警告灯 …… 114
ブースターケーブルのつなぎかた… 287
フード（エンジンフード）…… 43
フォグランプスイッチ…… 122
フォグランプ表示灯…… 103
フューエルフィラーリッド
（燃料補給口）…… 48
フューエルメーター（燃料計）…… 100
プリクラッシュシートベルト…… 95

フルオートエアコン……212
ブレーキアシスト
（プレビュー機能付）……193
ブレーキ警告灯……109
ブレーキパッド摩耗警報……116
プレビュー機能警告灯……112
フロントシート…… 54

ヘ

ヘッドランプ……118
ヘッドランプ上向き表示灯……102
ヘッドランプ消し忘れ警報……116
ヘッドレスト…… 64

ホ

方向指示器スイッチ……122
方向指示表示灯……102
BOSE サウンドシステム ……224
ホーンスイッチ……128
ポジションインジケーター……102
本革シートのお手入れ……270
ボンネット（エンジンフード）…… 43

マ

マップランプ……238
マニュアルモードの使いかた
（5M-AT 車）……134
マルチリモートエントリーシステム
…… 29
万一のとき
発炎筒の使いかた……280
道路で故障したときは……281
けん引するときは……283
バッテリーがあがったときは……286
オーバーヒートしたときは……288
ヒューズを交換するときは……289
工具・ジャッキ・スペアタイヤについて……291
パンクしたときは……296
事故がおきたときは……299

ミ

ミラー
ドアミラー…… 73
ルームミラー…… 76
バニティーミラー…236、250、251

メ

メーター…… 98

モ

モケットシートのお手入れ……271

ユ

油圧警告灯……108
雪道を走行するとき……261

ヨ

4WD 警告灯 ……114
4WD（4 輪駆動）車の扱いかた …153

ラ

ライター（シガーライター）……242
ライトスイッチ……118
ラジオ（オーディオの使いかた）…221

リ

リバースブザー……117
リヤシート…… 66
リヤウインドーデフォッガースイッチ
……127
リヤセンターアームレスト
（ボックス付）……246

リヤセンターアームレスト内蔵
コントロールスイッチ
（エアコン）……219
リヤセンターアームレスト内蔵
コントロールスイッチ
（オーディオ）……234
リヤ電動サンシェード……253
リヤドアサンシェード……254
リラックスシート…… 69

ル

ルームミラー…… 76
ルームランプ……238

レ

レーンキープサポートシステム……180
レーンキープサポートシステム警告灯
……116

ロ

ロードホイールを交換するときは…275
ロードリミッター付プリテンショナー
シートベルト…… 94
ロングライフ撥水ガラスについて…268

ワ

ワイパー……123
ワイパー・ウオッシャースイッチ…123
ワイパーデアイサーの使いかた……128
ワイパーブレードの交換……273
ワックスのかけかた……268

A

ABS（アンチロックブレーキシステム）
……203
ABS 警告灯 ……112
A/C（エアコン）の使いかた ……206
ASCD（オートスピードコントロール）
……154
A/T（オートマチック）車の
運転のしかた……145
A/T セレクトレバー ……132、135
A/T 電子制御システム警告灯 ……115
A/T モードスイッチ ……138
AV 機器 ……224

B

BOSE サウンドシステム ……224

C

CD オートチェンジャー……231
CD（コンパクトディスク）を
上手に使うために……222
CRUISE（クルーズ）表示灯……103

E

ETC（ノンストップ自動料金支払い
システム）……198

O

ODO メーター …… 99
O/D（オーバードライブ）スイッチ
……137

P

Pレンジ連動アンチロック機能…… 34

S

SLIP 表示灯 ……104

SRS エアバッグ …… 84
SRS エアバッグ警告灯 ……113

T

TCS（トラクションコントロール
システム）……189
TCS OFF 表示灯 ……104
TCS 警告灯 ……113
TRIP（トリップメーター）…… 99

V

VDC（ビークルダイナミクス
コントロール）……190
VDC OFF 表示灯……104
VDC 警告灯 ……114

日産車の環境保全への取組みを詳細に紹介した「車種別環境情報」をインターネットでご覧いただけます。

（http://www.nissan.co.jp/INFO/E_NOTE/）

日産自動車へのご相談は下記にお願いいたします。

お客さま相談室

0120-315-232

受付時間：**9:00～17:00**

お問い合わせ・ご相談内容につきましては、お客さま対応や品質向上のために記録し活用させていただいております。
なお、内容によっては、当社の販売会社等から回答させていただくことが適切と判断した場合には、必要な範囲で情報を開示し、当該販売会社等からお客さまにご連絡をとらせていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。
当社における個人情報の取り扱いの詳細については、日産自動車ホームページ（http://www.nissan.co.jp）にて掲載しています。

日産自動車株式会社

〒220-8686 神奈川県横浜市西区高島一丁目1番1号